# 第56回 日本植物生理学会年会

会期: 2015年3月16日(月)~18日(水)

会場: 東京農業大学世田谷キャンパス

(〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1)

懇親会:会場キャンパス内の学生食堂

(すずしろ、グリーン)

- 1. 参加登録受付
- 2. 昼食案内
- 3. クローク
- 4. 保育室
- 5. 発表される方へ
- 6. アプリケーションでの要旨集の閲覧について
- 7. 無線LAN サービスについて
- 8. 座長の方へ
- 9. 特許
- 10. 禁止事項
- 11. 年会中の連絡方法
- 12. ミキサー
- 13. 懇親会

- 14. 年会特別企画「高校生生物研究発表会」
- 15. ランチョンセミナー
- 16. 関連集会
- 17. 学会関連委員会
- 18. 授賞式·受賞講演

日程表

シンポジウム

学会賞授賞式・受賞講演

関連集会

ランチョンセミナー

- 一般講演(口頭)
- 一般講演 (ポスター)

座長リスト

# 第56回 日本植物生理学会年会委員会

委員長 佐々木卓治

副委員長 藤原 徹/樋口恭子

顧 問 福田裕穂

総 務 樋口恭子/平野博之/有村慎一

会 計 阿部光知/太治輝昭 懇親会・ミキサー 樋口恭子/川崎信治

プログラム委員会 植村知博/杉山宗隆/楢本悟史/野口 航(副委員長)/

平野博之(委員長)/藤本 優/別役重之/増田 建/

溝井順哉/柳澤修一/渡邊雄一郎

シンポジウム 篠崎和子/栁澤修一

関連集会 渡邊雄一郎

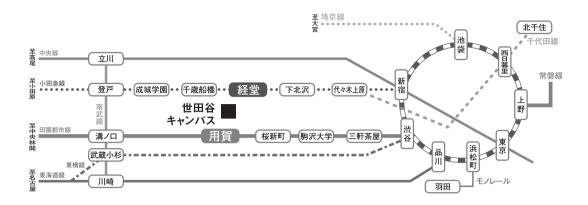
展示・広告 寺島一郎/塚谷裕一

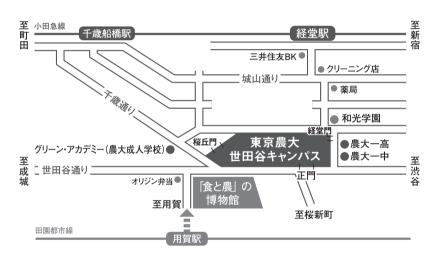
会 場 齋藤彰宏/小松憲治/伊藤晋作/渡辺 智

保育室 須恵雅之



# 会場までの主要交通機関





■ 経堂駅より 徒歩15分 ■ 用賀駅より バス7分

### 利用交通機関

#### ■電車

- ・小田急電鉄(新宿方面から) 小田急線「経堂」駅下車
  - → 徒歩15分「経堂門」
- ・小田急電鉄(町田方面から) 小田急線「千歳船橋」駅下車
  - → 徒歩15分「桜丘門」

### ■バス

#### 渋谷駅から

- ・東急バス「渋23」系統(渋谷駅西口バス34番乗り場) 祖師ヶ谷大蔵駅行き「農大前」駅下車
  - ➡ 徒歩1分「正門」
- ・<u>小田急パス・東急パス「渋24」系統</u> (渋谷駅西口バス3番乗り場) 成城学園前駅行き「農大前」駅下車
  - ➡ 徒歩1分「正門」
- ・<u>小田急バス「渋26」系統</u>(渋谷駅西口バス3番乗り場) 調布駅南口行き「農大前」駅下車
  - ➡ 徒歩1分「正門」

#### 千歳船橋駅から

- ・<u>東急バス「用01」系統</u>(千歳船橋駅前バス乗り場B) 用賀駅行き「農大成人学校前」駅下車
  - ➡ 徒歩1分「桜丘門」
- ・<u>東急バス「渋23」系統</u> (千歳船橋駅前バス乗り場B) 渋谷駅行き「農大成人学校前」駅下車
  - → 徒歩1分「桜丘門」

#### 東急三軒茶屋駅から

- ・東急バス「渋23」系統(東急三軒茶屋駅前バス7番乗り場) 祖師ヶ谷大蔵駅行き「農大前」駅下車
  - ➡ 徒歩1分「正門」

祖師ヶ谷大蔵駅行き「農大成人学校前」駅下車

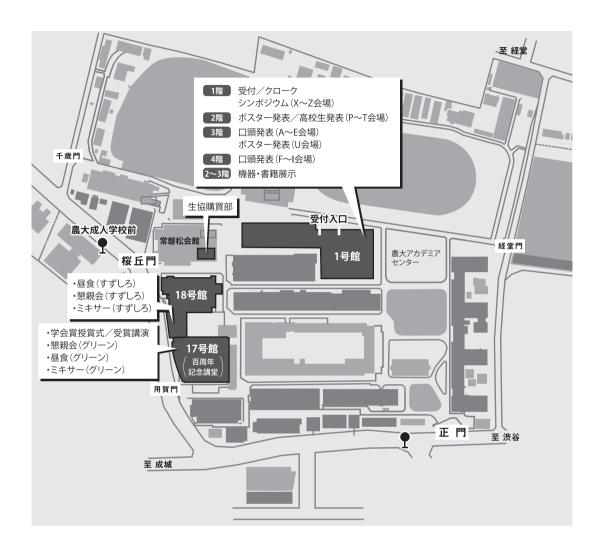
➡ 徒歩1分「桜丘門」

### ■ 電車とバス

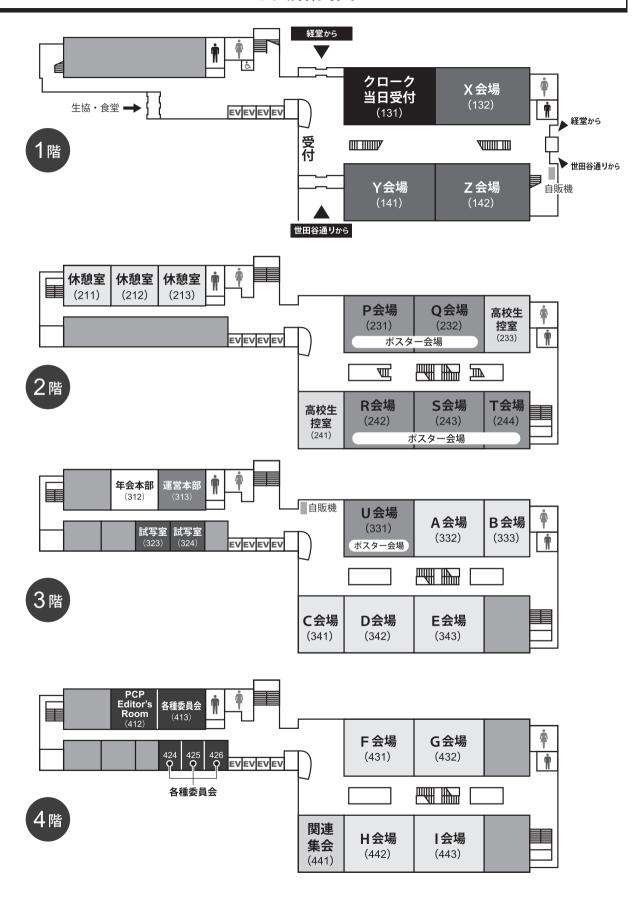
#### 東急電鉄「用賀」駅から

- ・東急バス「用01」系統 (東急用賀駅前バス2番乗り場) 祖師ヶ谷大蔵駅行き「農大成人学校前」駅下車
  - ➡ 徒歩1分「桜丘門」

# 構内案内図



# 会場案内図



### 1. 参加登録受付

- 1) 3月16日(月)午前8時30分より,1号館1階中央ロビー付近にて行います.一般講演が始まる午前9時30分ごろは混雑が予想されますので,16日午前すぐの時間帯に発表予定の方は,早めに受付を済ませてください.なお,3月17日(火)および18日(水)は,1号館1階131教室(クロークと同じ教室)にて受付を行います.
- 2) 予約参加登録済みの方は、「予約参加受付」で参加受付を行って下さい、
- 3) 参加申込みをしていない方(参加費を納入していない方)は、「当日参加受付」で参加手続きをして下さい。 当日参加申込書は年会 HP に掲載していますので、ご利用ください。 当日参加の参加費等は、次の通りです。

なお,事前に参加費を払い込まれていない方については、オンライン登録の有無に関わらず当日参加費を申し受けます.

当日年会参加費	(講演要旨集代金を含む)
通常会員	10,000 円
学生会員	6,000円
非会員	13,000円
懇親会費	
通常会員	6,000円
学生会員	4,000円
講演要旨集のみ	5,000円

- 4) 会場内では、常時名札を着用して下さい、年会委員会では随時、名札の確認を行います。
- 5) 会員・非会員を問わず、学部3年生以下の大学生と中学校・高等学校の教員・生徒は無料で参加できます。 「当日参加受付」にて身分証明書を提示し、名札を受け取って下さい。無料参加者には要旨集は配布されませんが、プログラムが印刷された学会通信を先着100名に配布します。

### 2. 昼食案内

年会期間中は会場内の学生食堂( $11:00 \sim 14:00$ )および大学生協売店が利用できます。会場の1号館1階ロビーにて弁当の販売も行う予定です。経堂駅からキャンパスまでの農大通りや、正門外の世田谷通り沿いに飲食店もあります。

### 3. クローク

クロークは1号館1階132教室に設けます。開設時間帯は以下の通りです。夜間の保管はできませんので、必ずその日のうちに荷物をお引取り下さい。また、貴重品の入ったお荷物はお預かりできません。

1日目 3月16日 (月) 8:30 ~ 19:00 2日目 3月17日 (火) 8:30 ~ 18:30 3日目 3月18日 (水) 8:30 ~ 16:00

#### 4. 保育室

開催期間中の3月16日(月)~18日(水)、乳幼児同伴者のための保育室を開設します。保育室は、年会会場である東京農業大学世田谷キャンパスに隣接した施設に設けます。また、懇親会時にも開設します。 事前予約制となっています。詳細は年会HPでご確認ください。

### 5. 発表される方へ

日本植物生理学会国際委員会より、年会の国際化を促すため口頭発表・ポスター発表とも、図表は英語で作るよう提言が出されています。本東京年会の発表については、下記の指針にそって図表を作成してくださいますようお願いいたします。なお、図表の作成に当たっては、色弱者の方へのバリアフリープレゼンテーション方法に関するサイト http://www.nig.ac.jp/color/もご参照ください。

- ①口頭発表で映写するスライドの使用言語は英語とする. 最後に簡潔な英語のまとめのスライドを用意する. 口頭発表は英語で行うことも可とする.
- ②ポスターの言語も基本的には英語とする. ただし. 日本語の演題名と要約をつける.

### 1) 一般発表をされる方へ

①発表者の資格について

会則7条3項に,年会の研究発表者は本会会員に限ると定められています.発表者が本会の非会員である場合は発表前に入会手続きをお取り下さい.

②発表の形態について

一般発表の形態(ポスター発表か口頭発表か)については、申し込み時のご希望に添えるように年会委員会で決定しています。「どちらでも可」とした場合には、すべて口頭発表としました。発表形態をプログラムでご確認のうえ、準備をお進め下さい。

③ポスター発表について

ポスター展示用パネルは、幅 $90 \text{ cm} \times$ 高さ 210 cm (床まで) のサイズです、幅90 cm +満、高さ 120 cm 前後のポスターをご準備ください、ポスター貼り付けのためのピンは年会側で用意します。

ポスターの掲示・撤去

- ・前半の部で発表される方(演題番号が 1P, 1Q, 1R, 1S, 1T, 1U で始まる方)は、1 日目の 9 時から 12 時 30 分までに掲示し、2 日目の 9 時から 10 時までに撤去してください。それ以降に残ったポスターについては、年会委員会で撤去させていただきます。
- ・後半の部で発表される方(演題番号が 2P, 2Q, 2R, 2S, 2T, 2U で始まる方)は,2 日目の 12 時から 16 時までに掲示してください.撤去は,3 日目の 16 時までにお願いします.それ以降に残ったポスター については,年会委員会で撤去させていただきます.

#### 質疑応答

- ・前半の部のポスターの発表者は、1 日目の  $16:30 \sim 18:30$  に、演題番号 ①奇数 ②偶数 の順番でそれぞれ 1 時間ずつ、
- ・後半の部のポスターの発表者は、3 日日の  $13:00 \sim 15:00$  に、演題番号 ①奇数 ②偶数 の順番でそれぞれ 1 時間ずつ。

それぞれのポスターの前にて質疑応答を行ってください.

④口頭発表について

#### 口頭発表についての注意事項:

- ・口頭発表は質疑応答を含めて 15 分を予定しています。時間に沿った進行のため、12 分の発表と 2 分 30 秒の質疑応答でお願いいたします。
- ・発表に先立って、パソコンからの投影を試写室で必ず行い、作動確認をお願いします。試写室は発表会場となる1号館3階(323教室、324教室を予定)に設けます。
- ・発表には液晶プロジェクターのみが使用できます。液晶プロジェクターの解像度は、1280×720(アスペクト比率 16:9)です。お使いのパソコンとプロジェクターのアスペクト比が異なる場合には、画面が横長に引き伸ばされる可能性がありますので、パソコンの解像度は1280×720に設定してください。

- ・会場内のスクリーンは2枚で、両方に同じ映像が投影されます。ポインターを使用する場合は座長席に近い方のスクリーンに照射してください(両方のスクリーンにポインターを当てたい場合は、パソコンのマウスポインター機能をご活用ください。ただし、スライドの背景を黒に近い色にすると、マウスポインタが見えなくなりますので、ご注意ください。).
- ・年会委員会では発表用のパソコンは用意できませんので、発表者は各自でご用意ください。また、機器の操作に補助が必要な場合は、演者ご自身で補助者を手配してください。
- ・発表される方は、前演者が発表を終了するまでに入力切替え器にパソコンを接続し、必ずファイルを開いておいてください。
- ・入力切替え器への接続は、演台に用意してあるケーブルを使用し、挿し終えた状態で外部モニター出力 に切り替えてください。外部モニターの認識にリスタートが必要なパソコンの場合には予めリスタート しておいてください。
- ・接続はミニ Dsub15 ピン外部出力コネクターを介して行いますので、Mac 等、特殊な接続アダプターが 必要な場合は、各自でご持参願います。
- ・終了時には、必ず次の演者用にコネクターを外してもとの位置へ戻しておいてください。
- 2) シンポジウム講演者の方へ

シンポジウムでの講演は、講演時間の長さが異なる以外、一般講演の口頭発表と同様に行われます。その他の必要な事項についてはシンポジウムのオーガナイザーにご確認願います。

### 6. アプリケーションでの要旨集の閲覧について

前回年会に引き続き、年会要旨集の携帯端末用アプリケーションを配布いたします。アプリケーションは iOS 版と Android 版があり、対応するスマートフォンやタブレット等で要旨集が閲覧できるようになります。利用される方は App Store ならびに Google Play からダウンロードしてください。ダウンロードは 3月13日(金)以降に可能となる予定です。アプリケーションの閲覧の際には、上記日程以降に送信予定のメールに記載の Password をご利用ください。要旨の閲覧は年会参加者のみ可能です。

### 7. 無線LAN サービスについて

キャンパス内で使用できる無線 LAN の ID とパスワードを全参加者に配布します。事前参加登録をされた 方に郵送される葉書に ID とパスワードが記載されますのでそれをご利用ください。当日参加の方にも受け 付けの際に ID とパスワードをお渡しします。接続説明書はコングレスバッグと共に配布します。

### 8. 座長の方へ

座長を担当くださる方は、担当時間の15分前に会場にお集まり下さい、担当される方々で、分担を決めていただきたくお願いいたします。年会以前にご相談のうえ、分担を決めていただいて結構ですが、当日、開始前には必ず集合してご確認ください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 9. 特許

以前は、当年会において発表された内容について日本植物生理学会が発表証明書を発行してきました。しかし、平成22年3月の「発明の新規性喪失の例外規定の適用を受けるための出願人の手引き」の改定により、現在では当該証明書が必要となる場合はないものと考えられています。(詳しくは、http://www.jpo.go.jp/shiryou/kijun/kijun2/pdf/reigai/30jo\_qa\_shu.pdf#page=9を参照してください。)したがって、当年会においては日本植物生理学会による発表証明書の発行は行なわないことといたします。ご承知おきくださいますようお願いいたします。

### 10. 禁止事項

発表内容に関して、カメラ、ビデオ、携帯電話による撮影、もしくは講演音声の録音等を、発表者に無断で行うことを厳に禁止します。

### 11. 年会中の連絡方法

・年会本部への連絡の方法

3月15日 (年会前日) 午後~18日 (年会3日目) の年会本部へのご連絡やお問い合わせは, e-mail (jspp2015@ nacos.com) にてお願いします.

・年会参加者への連絡方法

年会参加者等への伝言は、年会受付付近の「伝言板」に掲示します。 会場内での呼び出し等は行いません。 なお、「伝言板」は年会参加者相互の連絡用に開放しますので、自由にご利用下さい。

### 12. ミキサー

年会 1 日目の 3 月 16 日 (月) 18:30 から、会場キャンパス内の生協食堂「グリーン」および隣接する学生食堂「すずしろ」にてミキサーを行います。ぜひご参加ください。

### 13. 懇親会

年会2日目の3月17日(火)18:00から、会場キャンパス内の生協食堂「グリーン」および隣接する学生食堂「すずしろ」で懇親会を開催します、中庭では余興を行う予定です。ぜひご参加ください。

### 14. 年会特別企画「高校生生物研究発表会」

次代を担う高校生の皆さんに植物科学や生命科学全般により一層の興味と関心をもってもらうことを目標に、恒例となった「高校生生物研究発表会」を、本年会でも特別企画として開催します。ぜひ本企画に積極的に参加し、議論してくださるようお願いいたします。また、優れた発表を投票に基づいて選考し、表彰します。この投票、表彰式への参加も併せてお願いします(投票締切は14:00の予定)。なお、高校生ポスター発表の要旨集は別冊子として配付します。

日 時:年会3日目 3月18日 (水) 10:00~15:30

会 場:1号館2階ポスター発表各会場

主 催:第56回日本植物生理学会年会委員会

9:30 ~ 10:00 ポスター受付・掲出

10:00~10:10 開会式

11:00~12:30 奇数番号ポスター発表コアタイム (ポスター説明・質疑応答)

12:30 ~ 14:00 偶数番号ポスター発表コアタイム (ポスター説明・質疑応答)

14:30 ポスター撤収

15:00~15:30 表彰式·閉会式

#### 15. ランチョンセミナー

◆学会本部企画ランチョンセミナー

「科研費」の最近の動向 Current Activities of the Grants-in-Aid System

日 時:年会1日目 3月16日 12:30~13:15 (スケジュール詳細は p.57 をご覧ください.)

会 場:D会場

内 容:日本学術振興会から、科研費の配分機関として制度の概要、応募から審査、決定までの流れを中心に、補助金、助成金の執行と適切な管理、不正防止に関すること、また、成果の公開、科研費の普及啓発などについても、ご説明いただきます。また、日本学術振興会には、公平・公正で透明性の高い審査・評価の実施のために、学術システム研究センターが設置され、研究機関に籍を置く第一線の研究者が、科研費等の審査委員候補者の選考、審査結果の検証、分科細目表の見直しや制度の改善など、幅広い業務に参画しています。学術的な見地から、最新の学術動向や現場の声を事業運営に反映させるための様々な活動について、ご紹介いただきます。

#### ◆PCP特別企画

「世界からみた PCP(PCP: a Society Journal with an International Flavour)」

日 時:年会2日目 3月17日 12:00~12:45 (スケジュール詳細は p.58 をご覧ください。)

会 場:D会場

内容: PCPのインパクトファクターは現在 4.978 (Plant Science 分野では世界で 15 位)で、質の高いジャーナルとして国際的に評価されています。日本の学会誌でこのような評価を得ることは稀なことで、PCPの成長は大変喜ばしいことです。今年の PCP 特別企画では、海外エディターの Christian Hardtke 先生(スイス・ローザンヌ大学)、Ljerka Kunst 先生(カナダ・ブリティッシュコロンビア大学)らをお招きして、PCPが今どのような論文を求めているのか、海外研究者の視点を交えてお話しいただきます。Managing Editorの Liliana Costa も来日しますので、投稿・審査に関して質問する良い機会となることを期待しています。

#### ◆男女共同参画キャリアパスセミナー

「仕事と家庭の両立を目指す男性会員のパネルディスカッション」

日 時:年会3日目 3月18日  $12:00 \sim 12:45$  (スケジュール詳細は p.59 をご覧ください.)

会 場:F会場

内 容: 仕事と育児を両立しながら活動を続けている男性会員 4 名をパネリストとしてお招きし、両立した 活動に向けた考えや工夫についてパネルディスカッションを行います。司会:藤田祐一・酒井達也 (男女共同参画委員)、パネリスト: 園池公毅(早稲田大学・教授)・豊岡公徳(理化学研究所・上 級研究員)・中西洋一(名古屋大学・助教)・山本治樹(大阪大学・学術振興会特別研究員)。

### 16. 関連集会

◆第17回植物オルガネラワークショップ

「オルガネラ機能の最適化メカニズム」

日 時:年会前日 3月15日(日) 13:30~18:40 (スケジュールの詳細は p.53 をご覧ください)

会 場:東京大学 駒場 I キャンパス 21 KOMCEE WEST B1階 レクチャーホール

(http://www.komcee.c.u-tokyo.ac.jp/)

内 容:本ワークショップでは、植物オルガネラ研究に関する最前線の話題を提供いたします。参加は無料です。また、ワークショップ後に予定していますミキサーの参加費は3,500円(予定)で、当日会

場にて徴収します。ワークショップおよびミキサーへの参加希望者は3月9日(月)までに次のホームページよりお申し込み下さい。当日参加も歓迎します。

http://sfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/pctech/workshop

世話人(50音順):

小保方潤一,加藤裕介,河野重行,楠見健介,小林康一,小林裕和,西村芳樹,林田信明,宮沢 豊

連絡先:小林康一(東京大学) kkobayashi@bio.c.u-tokyo.ac.jp

楠見健介(九州大学) kusumi.k.239@m.kyushu-u.ac.jp

#### ◆第13回植物生体膜シンポジウム

「植物生理学における膜輸送研究」

日 時:年会前日 3月15日(日) 17:30~20:00 (スケジュールの詳細は p.54 をご覧下さい)

会 場:1号館441教室

内 容:植物の膜輸送分野の発展に長年多大な貢献をしてきた3人の研究者(岩井純夫先生・鹿児島大学, 島崎研一郎先生・九州大学,新免輝男先生・兵庫県立大学)による研究発表を行う。

参加申込:不要

連絡先:村田芳行(岡山大学) E-mail: muta@cc.okayama-u.ac.jp

森 泉 (岡山大学) E-mail:imori@okayama-u.ac.jp

木下俊則(名古屋大学)E-mail: kinoshita@bio.nagoya-u.ac.jp

備 考:シンポジウム終了後に懇親会を企画しております.

日時:3月15日(日)20時30分から

場所:未定(経堂駅前)

会費:未定(3000円から5000円くらい)

参加申込:村田 < muta@cc.okayama-u.ac.jp > に2月13日(金)までにご連絡ください.

件名は、【生体膜シンポ】でお願いします.

### ◆データベース講習会

日 時:年会1日目 3月16日 (月) 18:30  $\sim$  20:30 (スケジュールの詳細は p.55 をご覧下さい)

会 場:D会場

内容:今回は以下の植物オミックス情報データベースについて紹介します. PCP データベース特集号も 併せてご覧ください.

- 1. 「NGS公共データから構築した DNA多型注釈データベースと解析ワークフローの紹介」 望月孝子(国立遺伝学研究所・大量遺伝情報研究室)
- 2. 「AtCAST データベース:遺伝子発現プロファイルの相関から植物の応答を推定するツール」 寛雄介・嶋田幸久(横浜市立大学・木原生物学研究所)
- 3. 「植物オミックス統合データベース Plant Omics Data Center:遺伝子発現ネットワーク情報と高精度機能アノテーション情報の蓄積紹介」

大柳一・矢野健太郎(明治大・農)

共 催:科研費・新学術領域研究「ゲノム・遺伝子相関:新しい遺伝学分野の創成」

世話人:小林 正明(明治大・農)

大柳 一(国立遺伝学研究所)

矢野健太郎 (明治大・農)

E-mail: kyano@isc.meiji.ac.jp

#### ◆植物生理若手の会2015

「海外研究留学体験記 ~ヨーロッパ編~|

日 時:年会1日目 3月16日(月) 18:45~20:35(スケジュールの詳細はp.56をご覧下さい)

会 場:A会場

内容:学会および大学等の国際化が求められる中、研究者にとって海外研究留学経験というキャリアはより重要になってきています。また、海外の最先端の研究に触れることや異国の地で生活することは、研究者としてのみならず人としても大きく成長させてくれるものです。さらに、海外留学経験は国内研究の利点および問題点等の再認識につながると思います。しかしながら、海外留学について経験者から生の声を聞ける機会というのはあまりありません。そこで、2013 年度講演会でご好評頂いた海外留学シリーズの第二弾として、ヨーロッパ留学を経験されたお二方をお招きして留学体験、および留学先での研究についてお話して頂きます。どのように海外で研究する機会を得るか、研究室の選択基準、海外での生活について、留学の利点と問題点等、研究留学に興味がある方には大変参考になる内容になると思います。さらに留学についてだけでなく、国内と海外の研究の違いなどについても議論を行いたいと思います。浅井秀太さんは英国センズベリー研究所にて4年間、植物と病原菌の相互作用についてご研究され、昨年春より理化学研究所に戻られました。

田中茂幸さんは5年前にドイツ・マックスプランク陸生微生物学研究所に留学され、現在も同研究所のスタッフサイエンティストとして植物病原菌由来の病原性因子のご研究を続けておられます。学生や若手に限らず、留学を希望する方々、海外の研究と日本の研究の違いに興味のある方々はぜひこの貴重な機会に海外留学について様々な意見交換をしていただきたく存じます。夕刻よりの開催ですが、皆様の御参加をお待ち申し上げております。

事前登録は不要ですが、例年通り御弁当を一括注文いたします、講演会終了後には講演者を囲んで懇親会を行います、お弁当、懇親会参加を希望される方は責任者までメール(jsyppmeeting@yahoo.co.jp)にてご連絡願います。

### 17. 学会関連委員会

3月15日(日)年会前日

13:30 ~ 15:00 「413 教室 PCP編集委員会

15:00 ~ 18:00 「413 教室 PCP編集実行委員会

16:00~18:00 [424教室] 広報委員会

17:00~18:00 [425教室] 学会賞選考委員会

3月16日(月)年会1日目

18:30 ~ 21:30 [Y会場] 代議員会

3月17日(火)年会2日目

12:00~13:00 [425教室] 広報委員・サイエンスアドバイザー懇談会

12:00~13:00 [426教室] 男女共同参画委員会

3月18日(水)年会3日目

#### 18. 授賞式・受賞講演

3月17日(火) 年会2日目 16:10~17:55 百周年記念講堂 (スケジュールの詳細は p.52 をご覧ください)

# Time<sup>®</sup> 2015/03/16(Mon) 第1日目

Ç	) 10 11 12	13	14 15 16	17	18 19
百周年 記念講堂					
А	栄養成長		栄養成長		植物生理 若手の会 (18:45-20:35)
В	生体膜/イオン・物質輸送		生体膜/イオン・物質輸送		
С	一次代謝		一次代謝		
D	光受容体・光応答		光受容体・光応答		データベース講習会 (18:30-20:30)
E	細胞骨格		膜交通		i (ランチョンセミナー) D最近の動向」
F	光合成(光化学系)		光合成(光合成色素他)		
G	システム生物学 (ゲノム・バイオインフォマ ティックス)		システム生物学 (オミクス解析)		
Н	植物微生物相互作用(免疫1)		植物微生物相互作用(免疫2)		
1	環境応答/非生物ストレス応答 (乾燥・浸透圧他)		環境応答/非生物ストレス応答 (ストレス下の成長制御)		
X	シンポジウム S01 Epigenetic and transcriptional control of environmental response		シンポジウム S04 植物の能力とその利用 一植物の機能を掘り起こす―		
Υ	シンポジウム S02 Molecular dissection of reproductive processes in plants		シンポジウム S05 植物細胞壁の形成と維持の ダイナミズム		代議員会 (18:30-21:30)
Z	シンポジウム S03 Ectopic meristems and developmental plasticity in plants		シンポジウム S06 Next generation researches in plant physiology: Extensive environmental adaptation in plants		
P Q R S T U	ポスター掲出 前半:演題番号1P~1U で 始まる方	ポスター発	表(前半)	質疑応答 (奇数番号) (個	男数番号)
すずしろ グリーン					ミキサー (18:30-19:45)

# Time<sup>®</sup> 2015 / 03 / 17 (Tue) 第2日目

	9 10 11 1	2 1	3 14 15	16	17	18 19
百周年 記念講堂				学会賞排 受賞講演 (16:10-2	寅	
А	栄養成長		栄養成長			
В	転写制御		転写後制御/タンパク質分解			
С	一次代謝・二次代謝		二次代謝			
D	時計	•	植物ホルモン/シグナル伝達物質	PCP特別	別企画(ランチ	ョンセミナー) -PCP: A Society
Е	オルガネラ		オルガネラ	Journal	with an Inter	rnational Flavour—
F	光合成(電子伝達他)		光合成(アンテナ他)			
G	光合成・呼吸の環境応答		光合成・呼吸の環境応答			
Н	環境応答/非生物ストレス応答 (温度)		植物微生物相互作用(免疫3)			
1	環境応答/非生物ストレス応答(イオン・金属・栄養)		環境応答/非生物ストレス応答(イオン・金属・栄養)			
X	シンポジウム S07 Learning plant physiology on plant- pathogen interactions		シンポジウム S10 How Can Leaves Be Free from Sunburn? Kozi Asada Memorial Symposium			
Y	シンポジウム S08 Green chemical biology workshop		シンポジウム S11 The frontiers of vascular biology in plants			
Z	シンポジウム S09 Behavior of meristems in response to environmental factors		シンポジウム S12 Response for environmental stimulation: From signaling to gene regulation			
P Q R S T U	ポスター撤去 (前半)	ポスター掲出後半:演覧	出 題番号が 2P〜2U で始まる方			
すずしろ グリーン						懇親会(18:00-20:00)

# Time<sup>®</sup> 2015/03/18(Wed) 第3日目

table		11	12			14		5 1	6	17	18	1	9
百周年 記念講堂					1		 				1	1 1 1	
А	花成/生殖成長						1						
В	細胞周期・分裂						1						
С							1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
D	植物ホルモン						1						
Е	細胞壁						1						
	エピジェネティッ 制御	7	J.	号女共同キャ 仕事と家庭	・リアパスも の両立を目	zミナー (  指す男h	ランチ 生会員の	ョンセミナー)	(カッショ:	>]			
G	新技術						1						
Н	植物微生物相互(共生)	作用					1						
	環境応答/非生物(酸化・レドックス重力他)	』ストレス応答 く・塩ストレス・					1						
X	シンポジウム S' Frontiers in plan	13 t calcium sign	aling				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
	シンポジウム S' Lipid-based micr microdomains		nd				1						
Z	シンポジウム S <sup>*</sup> Molecular messa ground	15 age from the u	under				1						
P Q R S T U	ポスター発表(	後半)			質疑応答(奇数番号	- (偶数		ポスター撤去(後半)					
T		高校生発表	(P~S会場)	:								1	
1 1階ラ 号 館 2階ラ		校生発表 開会	会式					高校生発表	表彰式・	閉会式			

### 第 1 日目 午前 シンポジウム 01

# 3月16日(月) 09:30~12:30 X会場

# Epigenetic and transcriptional control of environmental response

Organizers Keiko Sugimoto (RIKEN CSRS) Hidetaka Ito (Hokkaido Univ.)

<ul><li>Chairp</li></ul>	person: Keik	co Sugimoto
09:30		Introduction
<ul><li>Chairp</li></ul>	person: Hide	etaka Ito
09:35	S01-1	Coordination between cell growth, cell cycle and tissue patterning during shoot organ growth <a href="Robert Sablowski">Robert Sablowski</a> (¹John Innes Centre)
10:05	S01-2	Role of Polycomb repressive pathways in regulating cell differentiation in Arabidopsis <u>Francois Roudier</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Institut de Biologie de l'ENS)
10:35	S01-3	Epigenetic control of plant cell differentiation and environmental response Momoko Ikeuchi <sup>1</sup> , Akira Iwase <sup>1</sup> , Keiko Sugimoto <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> RIKEN CSRS)
<ul><li>Chairp</li></ul>	person: Keik	xo Sugimoto
11:00	S01-4	Epigenetic dynamics in plant drought stress response <u>Jong-Myong Kim</u> <sup>1,2</sup> , Taiko Kim To <sup>3</sup> , Motoaki Seki <sup>1,2,4</sup> (¹RIKEN CSRS, ²CREST JST, ³NIG, <sup>4</sup> Yokohama City Univ. Kihara Biol. Inst.)
11:30	S01-5	Epigenetic regulation of a heat-activated transposon in plant <u>Hidetaka Ito</u> <sup>1,2</sup> (¹Hokkaido University, Faculty of Science, ²JST PRESTO)
11:55	S01-6	Temperature signalling pathways in plant development <u>Philip A. Wigge</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Sainsbury Laboratory, Cambridge University)
<ul><li>Chairp</li></ul>	person: Hide	etaka Ito
12:25		Discussion

# 共 催

新学術領域

「大地環境変動に対する植物の生存・成長突破力の分子的統合解析」

## 3月16日(月) 09:30~12:30 Y会場

### Molecular dissection of reproductive processes in plants

Organizers Teh-hui Kao (Plant Biol. Grad. Prog. Penn State Univ., Dept. Biochem. & Mol. Biol. Penn State Univ.)

Masao Watanabe (Grad. Sch., Life Sci., Tohoku Univ.)

09:30 Opening remarks

Masao Watanabe<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch., Life Sci., Tohoku Univ.)

### Chairperson: Masao Watanabe

09:35 S02-1 Molecular function of phytohormone GAs in reproductive processes

Miyako Ueguchi-Tanaka<sup>1</sup>, Jyunmu Tanaka<sup>1</sup>, Kenji Yano<sup>1</sup>, Koichiro Aya<sup>1</sup>, Sayaka Takehara<sup>1</sup>, Masatoshi Nakajima<sup>2</sup>, Makoto Matsuoka<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Biosci Biotechnol Center, Nagoya Univ., <sup>2</sup>University of Tokyo)

10:10 S02-2 Exploring Key Determinants for Reproductive Barrier in Endosperm

Tetsu Kinoshita<sup>1</sup>, Kaoru Tonosaki<sup>1</sup> (<sup>1</sup>KIBR, Yokohama City Univ.)

10:40 So2-3 Self-Incompatibility in *Petunia*: a Complex Self/non-self Recognition System between Pollen and Pistil

Penglin Sun<sup>1</sup>, Justin Williams<sup>2</sup>, Li Shu<sup>1</sup>, <u>Teh-hui Kao</u><sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Plant Biol. Grad. Prog., Penn State Univ., <sup>2</sup>Dept. Biochem. & Mol. Biol., Penn State Univ.)

11:15 S02-4 Pollen-stigma interaction in the Brassicaceae

<u>Sota Fujii</u><sup>1</sup>, Megumi Iwano<sup>1</sup>, Kanae Ito<sup>1</sup>, Seiji Takayama<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Biological Sciences, Nara Institute of Science and Technology)

11:50 S02-5 Identification of novel key molecules for pollen tube guidance

<u>Tetsuya Higashiyama</u><sup>1,2,3</sup> (<sup>1</sup>ITbM, Nagoya Univ., <sup>2</sup>Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ., <sup>3</sup>ERATO Live-Holonics)

12:25 Closing remarks

<u>Teh-hui Kao</u><sup>1</sup> (<sup>1</sup> Plant Biol. Grad. Prog. Penn State Univ., Dept. Biochem. & Mol. Biol. Penn State Univ.)

### 共 催

文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究 「ゲノム・遺伝子相関一新しい遺伝学分野の創成一」

(Grants-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas

"Correlative Gene System: Establishing Next-Generation Genetics" from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT))

# 3月16日(月) 09:30~12:15 Z会場

# Ectopic meristems and developmental plasticity in plants

Organizers Kimitsune Ishizaki (Grad. Sch. Sci., Kobe Univ.) Takuya Suzaki (NIBB)

09:30		Opening remarks
<ul><li>Chair</li></ul>	person: Tak	kuya Suzaki
09:35	S03-1	Shoot meristem formation: core mechanism and its modification <u>Mitsuhiro Aida</u> <sup>1</sup> (¹Graduate School of Biological Sciences, Nara Institute of Science and Technology)
10:00	S03-2	Vegetative propagation: development of asexual progenies from vegetative tissue Kimitsune Ishizaki¹ (¹Grad. Sch. Sci., Kobe Univ.)
10:25	S03-3	A novel gibberellin response gene triggers internode elongation in deepwater rice <u>Keisuke Nagai</u> <sup>1</sup> , Yuma Kondo <sup>1</sup> , Anzu Minami <sup>1</sup> , Masaya Koike <sup>1</sup> , Takeshi Kuroha <sup>1</sup> , Motoyuki Ashikari <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Biosci. Biotec. Cent., Univ. Nagoya)
<ul><li>Chair</li></ul>	rperson: Kir	mitsune Ishizaki
10:50	S03-4	Organogenesis and developmental plasticity triggered by symbiotic bacterial infection <u>Takuya Suzaki</u> <sup>1,2</sup> , Takema Sasaki <sup>1,2</sup> , Hanna Nishida <sup>1,2</sup> , Masayoshi Kawaguchi <sup>1,2</sup> (¹NIBB, ²SOKENDAI)
11:15	S03-5	Studies on the rhizome development of <i>Oryza logistaminata</i> <u>Akiko Yoshida</u> <sup>1</sup> , Yasuhiko Terada <sup>2</sup> , Katsumi Kose <sup>2</sup> , Motoyuki Ashikari <sup>3</sup> , Junko Kyozuka <sup>1</sup> (¹Grad. Sch. Agric. Sci., The Univ. Tokyo, ²Inst. Appli. Phys., Tsukuba Univ., ³Grad. Sch. Bioagric Sci., Nagoya Univ.)
11:40	S03-6	A modeling approach for the evolution of mass flowering in bamboos: from a perspective of rhizome branching pattern  Yuuya Tachiki <sup>1</sup> , Akifumi Makita <sup>2</sup> , Yoshihisa Suyama <sup>3</sup> , Akiko Satake <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> EES, Hokkaido Univ., <sup>2</sup> Bioresouce, Akita Prif. Univ., <sup>3</sup> Agric. Tohoku Univ.)
12:05		Discussion

### 第1日目 午後 シンポジウム 04

## 3月16日(月) 13:30~16:30 X会場

## 植物の能力とその利用―植物の機能を掘り起こす―

オーガナイザー 樋口 恭子(東京農大)

洋一 (東京農大) 坂田

佐々木 卓治 (東京農大)

13:30 はじめに

樋口恭子1(1東京農大)

13:35 学長挨拶

● 座長: 佐々木 卓治

13:40 S04-1 植物科学で食糧増産にチャレンジする

芦苅基行<sup>1</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学・生物機能開発利用研究センター)

● 座長: 樋口 恭子

14:05 S04-2 イネのシンク拡大と光合成の改善

牧野周<sup>1</sup>, 鈴木雄二<sup>1</sup>, 小原実広<sup>2</sup>, 金田吉弘<sup>3</sup> (<sup>1</sup>東北大学大学院農学研究科植物栄 養生理学分野, 2国際農林水産業研究センター, 3秋田県立大学生物資源学部)

14:30 成長とストレス耐性のクロストーク:アブシジン酸シグナル伝達機構の進化の視点から S04-3

<u>坂田洋一</u><sup>1</sup>,梅澤泰史<sup>2</sup>,竹澤大輔<sup>3</sup>(<sup>1</sup>東京農業大学バイオサイエンス学科, <sup>2</sup>東京農工大学 BASE, <sup>3</sup>埼玉大学・大学院理工学研究科)

●座長:坂田 洋一

14:50 アブシジン酸シグナル伝達を制御する低分子化合物の同定と利用 S04-4

岡本昌憲<sup>1</sup>(<sup>1</sup>鳥取大学・乾地研)

15:10 休憩

● 座長: 樋口 恭子

15:20 S04-5 食品における小麦・米内在酵素の作用

野口智弘1(1東農大・応生・食加技セ)

●座長:佐々木 卓治

15:40 大根のゲノム解読と肥大根のトランスクリプトーム解析 S04-6

三井裕樹<sup>1</sup>, 小松憲治<sup>1</sup>, 下村道彦<sup>2</sup>, 片寄裕一<sup>3</sup>, 加々美勉<sup>4</sup>, 佐々木卓治<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京農 業大学。2三菱スペース・ソフトウエア株式会社。3農業生物資源研究所。4株式会

社サカタのタネ)

国際連携によるキャッサババイオマスの量的・質的向上を目指して S04-7

内海好規1, 櫻井哲也1, 内海稚佳子12, 武井良郎13, 阿部知子4, 平野智也4,

Ham Huy Le<sup>5</sup>, Dong Van Nguyen<sup>5</sup>, Jarunya Narangajavana<sup>6</sup>, Kanokporn Triwitayakorn<sup>6</sup>, 石谷学<sup>7</sup>, <u>関原明 <sup>1,2,3</sup></u> (<sup>1</sup>理研・環境資源科学研究センター, <sup>2</sup>JST CREST, <sup>3</sup>横浜市立 大・木原生物学研究所, 4理研・仁科加速器研究センター, 5農業遺伝学研究所,

<sup>6</sup>マヒドン大. <sup>7</sup>国際熱帯農業センター)

16:25 おわりに

佐々木卓治1(1東京農大)

### 第 1 日目 午後 シンポジウム 05

# 3月16日(月) 13:30~16:30 Y会場

### 植物細胞壁の形成と維持のダイナミズム

オーガナイザー 馳澤 盛一郎(東京大・院・新領域) 桧垣 匠(東京大・院・新領域)

	座長	:	馳澤	盛一郎
$\overline{}$		•	MG/=	יוט הדי

 13:30
 はじめに

 13:35
 S05-1
 遺伝子共発現に基づくパラログ遺伝子群の機能多様性の予測 大林武¹、岡野悠太郎¹、成瀬孝史¹、青木裕一¹、岡村容伸¹、田高周¹、木下賢吾¹².3

(<sup>1</sup>東北大・院・情報, <sup>2</sup>東北大・加齢研, <sup>3</sup>東北大・ToMMo)

14:00S05-2植物の細胞板形成を支える分子メカニズム<br/><u>笹部美知子</u>¹, 桧垣匠², 大和田理恵¹, 相田治寿¹, 西田結花¹, 馳澤盛一郎²,<br/>町田泰則³(¹弘前大・農生, ²東京大・院・新領域, ³名古屋大・院・理)

14:25S05-3植物プロトプラストの細胞壁再生の時間的・空間的制御機構<br/>横山隆亮¹, 九鬼寛明¹, 桧垣匠², 竹内美和¹, 馳澤盛一郎², 西谷和彦¹<br/>(¹東北大・院・生命科学, ²東京大・院・新領域)

### ●座長:桧垣 匠

15:25 S05-5 ペクチン架橋形成によるホウ素栄養環境に応答した成長制御 三輪京子 <sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>北海道大・地球環境, <sup>2</sup>JST・さきがけ)

15:50S05-6寄生植物と宿主植物の細胞壁をめぐる攻防<br/>
吉田聡子¹, Musembi Mutuku¹, Songkui Cui¹, 堀千明¹, 清水崇史¹, 市橋泰範¹,<br/>
瀬尾光範¹, 出村拓¹², 白須賢¹ (¹理研・CSRS, ²奈良先端大・バイオ)

16:15 総合討論・おわりに

## 共 催

新学術領域「植物細胞壁機能」

### 第1日目 午後 シンポジウム 06

# 3月16日(月) 13:30~16:30 Z会場

Next generation researches in plant physiology: Extensive environmental adaptation in plants

Organizer Yosuke Tamada (Natl. Inst. Basic Biol.)

### Chairperson: Yosuke Tamada

13:30		Opening remarks
		Yosuke Tamada <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Natl. Inst. Basic Biol.)
13:33	S06-1	Genus <i>Vigna</i> — Finding the Honey in the Wild — <u>Ken Naito</u> <sup>1</sup> , Hiroaki Sakai <sup>2</sup> , Sompong Chankaew <sup>3</sup> , Eri Ogiso <sup>1</sup> , Kohtaro Iseki <sup>1</sup> , Takehisa Isemura <sup>1</sup> , Norihiko Tomooka <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Genetic Resource Center, NIAS, <sup>2</sup> Agrogenomics Res. Center, NIAS, <sup>3</sup> Kasetsart Univ.)
14:07	S06-2	Integration of transcriptomics and meteorology
		Atsushi J. Nagano <sup>1,2</sup> (¹Center for Ecological Research, Kyoto University, ²JST PRESTO)
14:41	S06-3	The Arabidopsis immune signaling network: modeling the topology and beyond <u>Masanao Sato</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Natl. Inst. Basic Biol.)
15:15	S06-4	Molecular convergence of digestive enzymes in carnivorous plants
		Kenji Fukushima <sup>1,2</sup> , Mitsuyasu Hasebe <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> Natl. Inst. Basic Biol., <sup>2</sup> Dept Basic Biol, Sch Life Sci, Grad Univ Adv Stud)
15:43	S06-5	Theoretical/experimental analysis of robustness and plasticity in biological systems <u>Chikara Furusawa</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> QBiC, RIKEN)
16:28		Closing remarks Yosuke Tamada <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Natl. Inst. Basic Biol.)

# 3月17日(火) 9:00~12:00 X会場

# Learning plant physiology on plant-pathogen interactions

Organizers Hirofumi Nakagami (RIKEN CSRS) Yusuke Saijo (NAIST)

Chairperson:	1 1: :	N   -   :
L.nairnerson.	HIROTIIMI	Makadami

09:00		Opening remarks
09:02	S07-1	Extracellular ATP acts as a damage-associated molecular pattern in plants <u>Kiwamu Tanaka</u> <sup>1</sup> (¹Department of Plant Pathology, Washington State University)
09:26	S07-2	Defense Activation And Priming Upon Danger Sensing In Plant Immunity Eva-Maria Reimer-Michalski <sup>3</sup> , Barbara Kracher <sup>3</sup> , Franziska Turck <sup>3</sup> , Kohji Yamada <sup>3</sup> , <u>Yusuke Saijo</u> <sup>1,2,3</sup> ( <sup>1</sup> Nara Institue of Science and Technology, Graduate School of Biological Sciences, <sup>2</sup> JST PRESTO, <sup>3</sup> Max Planck Institute for Plant Breeding Research)
09:50	S07-3	Role of Receptor-Like Cytoplasmic Kinases in plant immunity  Xiangxiu Liang <sup>1</sup> , Lei Li <sup>1</sup> , Meng Li <sup>1</sup> , Feng Feng <sup>1</sup> , Wang Guoxun <sup>1</sup> , Wang Jinlong <sup>1</sup> , Zhou  Zhaoyang <sup>1</sup> , Jian-Min Zhou <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Institute of Genetics and Developmental Biology, Chinese Academy of Sciences)
<ul><li>Chair</li></ul>	person: Yus	uke Saijo
10:20	S07-4	Virulence-promoting effectors in the corn smut fungus Ustilago maydis <u>Shigeyuki Tanaka</u> <sup>1</sup> , Thomas Brefort <sup>1,2</sup> , Nina Neidig <sup>1,3</sup> , Daniel Lanver <sup>1</sup> , Regine Kahmann <sup>1</sup> (¹Max Planck Institute for Terrestrial Microbiology, ²Comprehensive Biomarker Center, ³Novartis Vaccines and Diagnostics)
10:44	S07-5	Dead or Alive: early MAMP-responsive phosphoprotein watches hypersensitive cell death induction  Hidenori Matsui¹, Yuko Nomura¹, <u>Hirofumi Nakagami</u> ¹ (¹Plant Proteomics Research Unit, RIKEN CSRS)
11:08	S07-6	Robustness and tunability: design principles of plant immune signaling networks  Akira Mine <sup>1</sup> , Carolin Seyfferth <sup>1</sup> , <u>Kenichi Tsuda</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Max Planck Inst. Plant Breeding Res.)
11:32	S07-7	Immune co-factor NPR1 regulates reciprocal interaction between salicylic acid and jasmonic acid-mediated signal pathways <u>Yasuomi Tada</u> <sup>1</sup> , Mika Nomoto <sup>2</sup> , Tsukagoshi Hironaka <sup>2,5</sup> , Nodoka Oka <sup>2</sup> , Takamasa Suzuki <sup>2,3</sup> , Tomonao Matsushita <sup>6</sup> , Mutsutomo Tokizawa <sup>7</sup> , Yoshiharu Yamamoto <sup>7</sup> , Tetsuya Higashiyama <sup>2,3,4</sup> , Steven Spoel <sup>8</sup> (¹Centr. Gene Res., Nagoya Univ., ²Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ., ³JST, ERATO, Higashiyama Live-Holonics Project, Nagoya Univ., ⁴WPI-ITbM, Nagoya Univ., ⁵PRESTO, JST, <sup>6</sup> Fac. Agr., Kyushu Univ., <sup>7</sup> Fac. Appl. Biol. Sci., Gifu Univ., <sup>8</sup> Sch. Biol. Sci., Univ. Edinburgh)
11:56		Closing remarks

# 3月17日(火) 9:00~12:05 Y会場

### Green chemical biology workshop

Organizers Yukio Kurihara (RIKEN CSRS)

Hiroyasu Motose<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sci. Nat. Sci. & Tech., Okayama Univ., <sup>2</sup>Dep. Biol., Fac. Sci., Okayama Univ.) Yoshiteru Noutoshi (Grad. Sch. Env. LifeSci., Okayama Univ.)

09:00 Opening remarks

Yukio Kurihara<sup>1</sup> (<sup>1</sup>RIKEN CSRS)

#### Chairperson: Yoshiteru Noutoshi

09:05 S08-1 Chemical Biology of Coronatine; the effect on the guard cell

Minoru Ueda<sup>1</sup>, Shusuke Egoshi<sup>1</sup>, Yasuhiro Ishimaru<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci., Tohoku Univ.)

09:30 S08-2 When Chemistry Meets Biology: Generating New Tools for Scientific Discovery in the Plant

<u>Erich Kombrink</u><sup>1</sup> (<sup>1</sup>Chemical Biology Laboratory, Max Planck Institute for Plant Breeding Research, Koeln, Germany)

#### Chairperson: Yukio Kurihara

09:55 S08-3 Chemical biology of immune priming in *Arabidopsis thaliana* 

Yoshiteru Noutoshi<sup>1</sup> (¹Grad. Sch. Env. LifeSci., Okayama Univ.)

10:20 So8-4 Detection of parasitic plant suicide germination compounds using a high-throughput Arabidopsis HTL/KAI2 strigolactone perception system

Yuichiro Tsuchiya<sup>1</sup>, Shigeoo Toh<sup>2</sup>, Duncan Holbrook-Smith<sup>2</sup>, Toshinori Kinoshita<sup>1</sup>, Peter McCourt<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Nagoya University WPI-ITbM, <sup>2</sup>Department of Cell & Systems

Biology, University of Toronto)

10:45 S08-5 Chemical biology of vascular development

Hiroyasu Motose<sup>1,2</sup>, Kaori Yoshimoto<sup>1</sup>, Chika Kobayashi<sup>2</sup>, Kenichiro Hayashi<sup>3</sup>, Yoshiteru Noutoshi<sup>4</sup>, Hiroyoshi Takamura<sup>1</sup>, Isao Kadota<sup>1</sup>, Taku Takahashi<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sci. Nat. Sci. & Tech., Okayama Univ., <sup>2</sup>Dep. Biol., Fac. Sci., Okayama Univ., <sup>3</sup>Dep. Biol. Sci., Okayama Univ. Sci., <sup>4</sup>Grad. Sci. Env. Life Sci., Okayama Univ.)

#### Chairperson: Hiroyasu Motose

11:10 S08-6 Chemical genetic approach for plant cell wall patterning

<u>Arata Yoneda</u><sup>1</sup>, Eri Kamon<sup>1</sup>, Taku Demura<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Biol. Sci., NAIST, <sup>2</sup>CSRS, RIKEN)

11:35 S08-7 Chemical phenomics for biomass engineering

Emiko Okubo-Kurihara<sup>1</sup>, Yukio Kurihara<sup>1</sup>, Misato Ohtani<sup>2</sup>, Natsumaro Kutsuna<sup>3,7</sup>, Noriko Nagata<sup>4</sup>, Megumi Kobayashi<sup>4</sup>, Masanori Komatsu<sup>5</sup>, Jun Kikuchi<sup>1,5</sup>, Koichi Kakegawa<sup>6</sup>, WenDee Ong<sup>1</sup>, Taku Demura<sup>1,2</sup>, Minami Matsui<sup>1</sup> (<sup>1</sup>RIKEN CSRS, <sup>2</sup>Grad Sch of Biological Sci, Nara Institute of Science and Technology, <sup>3</sup>Grad Sch of Frontier Sci, The University of Tokyo, <sup>4</sup>Faculty of Science, Japan Women's University, <sup>5</sup>Grad Sch of Nanobioscience, Yokohama City University, <sup>6</sup>Department of Biomass Chemistry, Forestry and Forest Products Research Institute, <sup>7</sup>LPixel Inc., R&D Division)

12:00 Closing remarks

Yoshiteru Noutoshi<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Env. LifeSci., Okayama Univ.)

Chairperson: Takeshi Izawa

# 3月17日(火) 9:00~11:55 Z会場

# Behavior of meristems in response to environmental factors

Organizers Masaaki Umeda (NAIST; JST, CREST) Takeshi Izawa (NIAS)

09:00		Opening remarks
09:05	S09-1	Stem cell replenishment maintains genome integrity <u>Masaaki Umeda</u> <sup>1,2</sup> , Keisuke Fujimoto <sup>1</sup> , Naoki Takahashi <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST, <sup>2</sup> JST, CREST)
09:30	S09-2	Control of rice inflorescence architecture of rice by <i>TAWAWA1</i> <u>Junko Kyozuka</u> <sup>1</sup> , Hiroki Tokunaga <sup>1</sup> , Akiko Yoahida <sup>1</sup> , Ryo Yamazaki <sup>1</sup> , Masanobu Chikamori <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> University of Tokyo, Graduate School of Agricultural and Life Sciences)
09:55	S09-3	Regulation of shoot meristem activity by strigolactones produced under phosphate deficiency Mikihisa Umehara <sup>1</sup> (¹Dept. Appl. Biosci., Fac. Life Sci., Toyo Univ.)
10:20		Break
<ul><li>Chair</li></ul>	person: Mas	saaki Umeda
10:35	S09-4	Jumonji H3K27 demethylases moderate precocious flowering at higher temperature in Arabidopsis <u>Toshiro Ito</u> <sup>1,2</sup> (¹Temasek Life Sciences Laboratory, ²Nara Institute of Science and Technology)

S09-5	Flowering phenology and environmental change: comparison between temperate and tropical
	rain forests
	Suat Hui Yeoh <sup>1</sup> , Akiko Satake <sup>2</sup> , Shinya Numata <sup>3</sup> , Tomoaki Ichie <sup>4</sup> , Lee Soon Leong <sup>5</sup> ,
	Norlia Basherudin <sup>5</sup> , Norwati Muhammad <sup>5</sup> , Yu-Yun Chen <sup>6</sup> , Yoshiko Kosughi <sup>7</sup> ,
	Makoto Tani <sup>7</sup> , Naoki Tani <sup>8</sup> ( <sup>1</sup> University of Malaya, <sup>2</sup> Hokkaido University, <sup>3</sup> Tokyo
	Metropolitan University, <sup>4</sup> Kochi University, <sup>5</sup> Forest Research Institute Malaysia,
	<sup>6</sup> National Dong Hwa University, <sup>7</sup> Kyoto University, <sup>8</sup> Japan International Research Center
	for Agricultural Sciences)
	S09-5

		,
11:25	S09-6	Deciphering of field transcriptome in rice
		<u>Takeshi Izawa</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> NIAS Functional Plant Research Unit)

11:50 Closing remarks



PCP sponsored symposium

## 3月17日(火) 13:00~16:05

### How Can Leaves Be Free from Sunburn? Kozi Asada Memorial Symposium

Organizers Jun'ichi Mano (Science Research Center, Yamaguchi University) Tsuvoshi Endo (Graduate School of Biostudies, Kvoto University)

Chikahiro Miyake (Graduate School of Agricultural Science, Kobe University, Japan)

13:00 Celebrating the Fifth PCP/OUP Sponsored Symposium

Miki Matoba<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Oxford University Press)

13:05 Opening Remarks

Tsuyoshi Endo<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Biostudies, Kyoto University)

Chairperson: Chikahiro Miyake

The Role of Energy Dissipation and Reactive Oxygen Species in Retrograde Cell Death S10-1 Signaling in Arabidopsis

> Stanislaw Karpinski<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Department of Plant Genetics, Breeding and Biotechnology, Faculty of Horticulture and Landscape Architecture, Warsaw University of Life Sciences)

S10-2 Action of Oxylipin Carbonyls as Oxidative Signal Agents

Jun'ichi Mano<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Science Research Center, Yamaguchi University)

Chairperson: Tsuyoshi Endo

14:00 S10-3 Progress in Non-Intrusive Assessment of Photosystem I by PAM Technology

> Ulrich Schreiber<sup>1</sup>, Christof Klughammer<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Botanik I, Julius-von-Sachs Institute of Biosciences, Wuerzburg University)

S10-4 Regulation of Redox State of Photosynthetic Electron Transport System under the Electron

Sink-Limited Photosynthesis

Keiichiro Shaku<sup>1</sup>, Ginga Shimakawa<sup>1</sup>, Chikahiro Miyake<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Agricultural Science, Kobe University)

Chairperson: Ichiro Terashima

14:50 S10-5 Variation in Photosynthetic Electron Flow to Oxygen on Plants, Algae and Cyanobacteria

Murray Badger<sup>1</sup> (<sup>1</sup>ARC Centre of Excellence for Translational Photosynthesis, Australian

National University)

S10-6 Role of Flavodiiron Proteins in Oxygenic Photosynthesis 15:15

Eva-Mari Aro<sup>1</sup> (<sup>1</sup>University of Turku, Department of Biochemistry)

S10-7 Cyclic Electron Transport around Photosystem I in Higher Plants

<u>Tsuyoshi Endo</u><sup>1</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Biostudies, Kyoto University)

#### 第2日目 午後 シンポジウム 11

# 3月17日(火) 13:00~16:00 Y会場

### The frontiers of vascular biology in plants

Organizers Yuki Kondo (Grad. Sch. of Sci., Univ. Tokyo)

Makoto Shirakawa (Grad. Sch. of Biostudies., Kyoto Univ)

Kaori Furuta (Grad. Sch. of Biol. Sci., NAIST)

Shunsuke Miyashima (Grad. Sch. of Biol. Sci., NAIST)

13:00 はじめに

Shunsuke Miyashima<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. of Biol. Sci., NAIST)

#### Chairperson: Shunsuke Miyashima

13:05 S11-1 Embryonic vasculature formation

<u>Saiko Yoshida</u><sup>1</sup>, Pierre Barbier de Reuille<sup>4</sup>, Milad Adibi<sup>2</sup>, Richard Smith<sup>3</sup>, Dolf Weijers<sup>2</sup> (<sup>1</sup>IST Austria, <sup>2</sup>Wageningen Univ., <sup>3</sup>MPI, <sup>4</sup>Univ. Bern)

13:30 S11-2 A signal transduction pathway that regulates cell differentiation in the vascular meristem Yuki Kondo<sup>1</sup>, Hiroo Fukuda<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)

### Chairperson: Yuki Kondo

13:55 S11-3 Arabidopsis NAC45/86 direct sieve element morphogenesis culminating in enucleation Kaori Furuta¹ (¹Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST)

Fate Determination and Differentiation of Myrosin Cells: Guardians for Vascular Tissue

Makoto Shirakawa<sup>1,2</sup>, Haruko Ueda<sup>1</sup>, Atsushi J. Nagano<sup>3,4</sup>, Tomoo Shimada<sup>1</sup>,

Takayuki Kohchi<sup>2</sup>, Ikuko Hara-Nishimura<sup>1</sup> (¹Graduate School of Science, Kyoto
University, ²Graduate School of Biostudies, Kyoto University, ³Center for Ecological
Research, Kyoto University, ⁴PRESTO, Japan Science and Technology Agency)

### Chairperson: Makoto Shirakawa

Leaf water transport and construction of water-transport pathway in veins

Haruhiko Taneda<sup>1</sup>, Akihiro Ohtsuka<sup>1</sup>, Mikiko Kojima<sup>2</sup>, Hitoshi Sakakibara<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Science, The University of Tokyo, <sup>2</sup>Center for Sustainable Resource Science, RIKEN Center)

Evolution of water-conducting cells in land plants; lessons from VNS family genes

Misato Ohtani<sup>1,2</sup>, Bo Xu<sup>1</sup>, Yoshimi Nakano<sup>1</sup>, Shiori Terada<sup>1</sup>, Minoru Kubo<sup>1</sup>, Taku Demura<sup>1,2</sup>

(<sup>1</sup>Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST, <sup>2</sup>RIKEN CSRS)

15:35 おわりに

Yuki Kondo<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. of Sci., Univ. Tokyo)

# 3月17日(火) 13:00~16:00 Z会場

# Response for environmental stimulation: From signaling to gene regulation

Organizers Sachihiro Matsunaga (Dept. Appli. Sci., Fac. Sci. Tech., Tokyo Univ. Sci.) Toshinori Kinoshita (WPI-ITbM, Nagoya Univ.)

Chairperson: Tosh	hinori Kinoshita
-------------------	------------------

13:00		Opening remarks <u>Toshinori Kinoshita</u> <sup>1</sup> (¹WPI-ITbM, Nagoya Univ.)
13:05	S12-1	Perception of root-derived peptides by shoot LRR-RKs mediates systemic N-demand signaling <u>Yoshikatsu Matsubayashi</u> <sup>1</sup> , Ryo Tabata <sup>1</sup> , Kumiko Sumida <sup>1</sup> , Hidefumi Shinohara <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ.)
13:35	S12-2	Tissue-specific clocks in Arabidopsis show asymmetric coupling <u>Motomu Endo</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Kyoto University)
14:05	S12-3	Vascular hijack by parasitic plants <u>Ken Shirasu</u> <sup>1</sup> , Juliane Ishida <sup>1</sup> , Musembi Mutuku <sup>1</sup> , Thomas Spallek <sup>1</sup> , Songkui Cui <sup>1</sup> ,  Yasunori Ichihashi <sup>1</sup> , Simon Saucet <sup>1</sup> , Satoko Yoshida <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Plant Immunity Research Group,  RIKEN CSRS)
Chai	rperson: Sa	achihiro Matsunaga
14:35	S12-4	Carrying the ball for flowering: Florigen distribution and genome-wide epigenetic regulation in the shoot apical meristem <u>Hiroyuki Tsuji</u> ¹ (¹NAIST)
15:05	S12-5	New insight into blue light-induced stomatal opening in Arabidopsis <u>Shin-ichiro Inoue</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Grad Sch Sci, Nagoya Univ.)
15:30	S12-6	Maintenance of chromatin stability as a basis for environmental response <u>Takuya Sakamoto</u> <sup>1</sup> , Takeshi Hirakawa <sup>1</sup> , Satoru Fujimoto <sup>1</sup> , Yuki Sakamoto <sup>1</sup> , Sachihiro Matsunaga <sup>1</sup> , ( <sup>1</sup> Dept. Appli. Sci., Fac. Sci. Tech., Tokyo Univ. Sci.)
15:55		Closing remarks <u>Sachihiro Matsunaga</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Dept. Appli. Sci., Fac. Sci. Tech., Tokyo Univ. Sci.)

### 第3日目 午前 シンポジウム 13

# 3月18日(水) 9:00~12:00 X会場

# Frontiers in plant calcium signaling

Organizer Kazuyuki Kuchitsu (Dept. Appl. Biol. Sci., Tokyo Univ. of Science)

09:00		Introduction <u>Kazuyuki Kuchitsu</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Dept. Appl. Biol. Sci., Tokyo Univ. of Science)
<ul><li>Chair</li></ul>	person: Kaz	zuyuki Kuchitsu
09:05	S13-1	Integration of calcium and ROS signaling in <i>Arabidopsis</i> <u>Jörg Kudla</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Univ. Münster, IBBP)
09:35	S13-2	ROS-Ca <sup>2+</sup> signaling networks in <i>Arabidopsis</i> and <i>Marchantia</i> <u>Kenji Hashimoto</u> <sup>1</sup> , Kazuyuki Kuchitsu <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Dept. Appl. Biol. Sci., Tokyo Univ. of Science)
09:55	S13-3	Ca <sup>2+</sup> signaling in stomatal guard cells <u>Izumi Mori</u> <sup>1</sup> , Yoshiyuki Murata <sup>2</sup> , Shintaro Munemasa <sup>2</sup> , Wenxiu Ye <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> IPSR, Okayama Univ., <sup>2</sup> Grad. Sch. Env. Life., Okayama Univ.)
10:15	S13-4	Chloroplasts and mitochondria-mediated Ca <sup>2+</sup> signaling in plants <u>Takashi Shiina</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Grad. Sch. Life and Env. Sci., Kyoto Pref. Univ.)
10:35	S13-5	Visualization of plant-wide rapid calcium signals underlying systemic resistance responses <u>Masatsugu Toyota</u> <sup>1,2</sup> , Simon Gilroy <sup>1</sup> (¹Univ. Wisconsin-Madison, ²PRESTO, JST)
11:00	S13-6	Live imaging of calcium dynamics during double fertilization in <i>Arabidopsis</i> <u>Yuki Hamamura</u> <sup>1,2,3</sup> , Tetsuya Higashiyama <sup>1,2,4</sup> (¹Div. Biol. Sci. Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ., ²JST ERATO Higashiyama Live-Holonics, Nagoya Univ., ³Dep. Biol. Sci., Univ. Montreal, ⁴WPI-ITbM, Nagoya Univ.)
11:25	S13-7	Cruising inside cells <u>Atsushi Miyawaki</u> <sup>1,2</sup> (¹RIKEN Brain Sci. Inst., ²RIKEN Center for Advanced Photonics)
11:55		General discussion

# 3月18日(水) 9:00~12:10 Y会場

### Lipid-based microstructures and microdomains

Organizers Mie Shimojima (Center for Biol. Resour. Inform., Tokyo Tech.) Koichiro Awai (Grad. Sch. of Sci., Shizuoka Univ.)

09:00 Opening remarks

Mie Shimojima<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Center for Biol. Resour. Inform., Tokyo Tech.)

Chairperson: Koichiro Awai

09:05 S14-1 NEW INSIGHTS INTO BIOSYNTHESIS OF PLANT CUTICULAR WAX

Tegan Haslam<sup>1</sup>, Ljerka Kunst<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept of Botany, Univ. British Columbia, Vancouver)

09:40 S14-2 Lipid-based microstructures and their possible roles in a charophyte alga *Klebsormidium* flaccidum

Satoshi Kondo<sup>1</sup>, Koichi Hori<sup>1</sup>, Takashi Nobusawa<sup>1</sup>, Kinuka Ohtaka<sup>1</sup>, Tei Watanabe<sup>1</sup>, Noriaki Tounosu<sup>1</sup>, Atsuko Kobayashi<sup>3</sup>, Yuko Sasaki-Sekimoto<sup>3</sup>, Mie Shimojima<sup>3</sup>, <u>Hiroyuki Ohta<sup>1,2,4</sup></u> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Biosci. & Biotech., Tokyo Tech., <sup>2</sup>JST CREST, <sup>3</sup>ELSI, Tokyo Tech., <sup>4</sup>Cent. Biol. Res. & Infor, Tokyo Tech.)

10:05 S14-3 Function of plasmamembrane microdomain in plant oxidative stress

<u>Maki Kawai-Yamada</u><sup>1</sup>, Minoru Nagano<sup>1</sup>, Toshiki Ishikawa<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci. Engineer., Saitama Univ.)

10:30 Coffee break

Chairperson: Mie Shimojima

10:40 S14-4 TGD1, 2 and 3 are an essential lipid ABC transporter complex for chloroplast lipids

Rebecca Roston<sup>1</sup>, Jinpeng Gao<sup>2</sup>, Christoph Benning<sup>2</sup> (<sup>1</sup>University of Nebraska Lincoln,
Department of Biochemistry, <sup>2</sup>Michigan State University, Department of Biochemistry

and Molecular Biology)

11:15 S14-5 Lipids in the thylakoid membranes, a microstructure for photosynthesis

<u>Koichiro Awai</u><sup>1,2,3</sup> (¹Graduate School of Science, Shizuoka University, ²Research Institute of Electronics, Shizuoka University, ³JST/PRESTO)

11:40 S14-6 A lipid metabolism required for the constant mitochondrial shape in *Arabidopsis thaliana* Kenta Katayama<sup>1</sup>, Masaaki Demura<sup>1</sup>, Tomoki Kiyose<sup>1</sup>, Yozo Okazaki<sup>2</sup>, Kazuki Saito<sup>2</sup>,

Hajime Wada<sup>3</sup>, Nobuhiro Tsutsumi<sup>1</sup>, <u>Shin-ichi Arimura</u><sup>1,4</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. of Agr. & Life Sci., Univ. of Tokyo, <sup>2</sup>Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, <sup>3</sup>Grad. Sch. of Arts & Sci., Univ. of Tokyo, <sup>4</sup>PRESTO, JST)

Sci., Ulliv. 01 10ky0, PRESTO, JST

12:05 Closing remarks

Koichiro Awai<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. of Sci., Shizuoka Univ.)

# 3月18日(水) 9:00~12:00 Z会場

### Molecular message from the under ground

Organizers Hironaka Tsukagoshi (Nagoya Univ.; JST PRESTO) Motoyuki Ashikari (Nagoya Univ.; JST CREST)

- OI '	1.12	T 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
Chairperson:	Hironaka	Isukadoshi

09:00		Opening remarks
09:05	S15-1	Developmental and Functional Responses of Rice Root System to Soil Water Conditions <u>Yoshiaki Inukai</u> <sup>1</sup> , Misuzu Takahashi-Nosaka <sup>1</sup> , Shunsaku Nishiuchi <sup>2</sup> , Mana Kano-Nakata <sup>1</sup> ,  Emi Kameoka <sup>2</sup> , Akihide Shibata <sup>2</sup> , Jonathan Niones <sup>3</sup> , Roel Suralta <sup>3</sup> , Akira Yamauchi <sup>2</sup> (¹ICCAE, Nagoya U., ²Grad. Sch. Bioagr. Sci., Nagoya U., ³PhilRice)
09:30	S15-2	Studies in the Response to Some Environmental Cues of the Rhizome of <i>O. longistaminata</i> <u>Kanako Uehara</u> <sup>1</sup> , Akiko Yoshida <sup>2</sup> , Junko Kyozuka <sup>2</sup> , Motoyuki Ashikari <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Bioscience and Biotechnology center, Nagoya University, <sup>2</sup> Tokyo University Graduate school of Agricultural and Life Sciences)
09:55	S15-3	Genetic regulatory mechanisms of lateral root spacing <u>Hidehiro Fukaki</u> <sup>1</sup> , Koichi Toyokura <sup>1</sup> , Tatsuaki Goh <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Grad. Sch. Sci., Kobe Univ.)
<ul><li>Chair</li></ul>	person: Mot	oyuki Ashikari
10:20	S15-4	The regulation mechanism of root development by ROS <u>Hironaka Tsukagoshi</u> <sup>1,2</sup> , Kaho Mabuchi <sup>3</sup> , Hiromasa Maki <sup>3</sup> , Takamasa Suzuki <sup>4,5</sup> ,  Mika Nomoto <sup>4</sup> , Wolfgang Busch <sup>6</sup> , Benfey Philip <sup>7</sup> , Tetsuya Higashiyama <sup>4,5,8</sup> ,  Yasuomi Tada <sup>1,4</sup> (¹The Center for Res, Nagoya univ., ²PRESTO, JST, ³Grad. Sch.Bioagr.  Sci., Nagoya univ., ⁴Grad.Sch.Sci., Nagoya univ., ⁵JST ERATO, Higashiyama live-holonics, <sup>6</sup> Gregor Mendel Inst, <sup>7</sup> Duke Univ., <sup>8</sup> WPI-ITbM, Nagoya univ.)
10:45	S15-5	Identification of novel auxin signaling components in root development using GWAS <u>Takehiko Ogura</u> <sup>1</sup> , Christian Goeschl <sup>1</sup> , Wolfgang Busch <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> GMI-Gregor Mendel Institute of Molecular Plant Biology)
11:10	S15-6	Molecular Genetic Control of Root Protophloem Formation and its Systemic Consequences <u>Christian Hardtke</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> University of Lausanne, Department of Plant Molecular Biology)
11:50		Closing remarks

JST PREST 及び CREST "二酸化炭素資源化を目指した植物の物質生産力強化と生産物活用のための基盤技術の創出(Creation of essential technologies to utilize carbon dioxide as a resource through the enhancement of plant productivity and the exploitation of plant products)"領域

### 第2日目 午後 授賞式・受賞講演

# 3月17日(火) 16:10~17:55 東京農業大学 百周年記念講堂

# 日本植物生理学会授賞式 学会賞・奨励賞・PCP 論文賞

16:10	選考経過報告	各選考委員会委員長
16:25	賞状授与	会長

### 日本植物生理学会賞・受賞講演

16:35 A01 日本植物生理学会賞

「植物に特徴的な細胞分裂の分子機構の研究」 町田泰則(名古屋大学大学院理学研究科)

16:55 A02 日本植物生理学会奨励賞

「基部陸上植物ゼニゴケにおける器官発生制御機構の解析」 石崎公庸(神戸大学大学院理学研究科)

17:15 A03 日本植物生理学会奨励賞

「植物転写因子研究」

光田展隆 (産業技術総合研究所生物プロセス研究部門)

17:35 A04 PCP 論文賞

篠原秀文(基礎生物学研究所(現·名古屋大学大学院理学研究科))

Hidefumi Shinohara and Yoshikatsu Matsubayashi (2013)

Chemical Synthesis of Arabidopsis CLV3 Glycopeptide Reveals the Impact of Hydroxyproline Arabinosylation on Peptide Conformation and Activity

(Plant Cell Physiol. 54 (3), 369-374.)

# 2015 年 3 月 15 日(日)13:30 ~ 18:40 東京大学駒場 I キャンパス 21 KOMCEE WEST B1 階 レクチャーホール

(http://www.komcee.c.u-tokyo.ac.jp/)

### 第 17 回植物オルガネラワークショップ「オルガネラ機能の最適化メカニズム」

世話人(50音順):小保方潤一,加藤裕介,河野重行,楠見健介,小林康一,小林裕和,西村芳樹,林田信明,宮沢 豊

13:30 開会·世話人挨拶

セッション 1: 光合成機能のダイナミクス(13:35~15:20)

13:35 ~ 14:10 ウミウシにおける外来葉緑体の PSII 活性維持機構

前田太郎(基礎生物学研究所・生物機能解析センター)

14:10 ~ 14:45 緑藻におけるサイクリック電子伝達, それに関わる役者と調整の解析と考察 高橋拓子(京都大学・大学院理学研究科)

14:45 ~ 15:20 ライブセルイメージングで葉緑体チラコイド膜についてどこまで理解できるのか

岩井優和 $^{1,2}$ , 横野牧生 $^3$ , 黒川量雄 $^2$ , 市原昭 $^2$ , 中野明彦 $^{2,4}$  ( $^1$ JST さきがけ,  $^2$ 理化学研究所・ライブセル分子イメージング研究チーム,  $^3$ 北海道大学・低温科学研究所,

4東京大学・大学院理学系研究科)

15:20 ~ 15:35 休憩

セッション 2: オルガネラの機能化制御(15:35 ~ 17:20)

15:35~16:10 膜脂質合成が駆動する葉緑体発達とその制御

小林康一、和田元(東京大学・大学院総合文化研究科)

16:10 ~ 16:45 植物オルガネラの PPR タンパク質と RNA 編集

一瀬瑞穂<sup>1</sup>、杉田護<sup>1</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学・遺伝子実験施設)

16:45 ~ 17:20 ポストゴルジオルガネラが担う環境ストレス応答

植村知博(東京大学・大学院理学系研究科)

17:20 ~ 17:30 休憩

17:30~18:30 特別講演「環境ストレス応答と耐性獲得に関わる葉緑体機能」

篠崎一雄 (理化学研究所・環境資源科学研究センター)

18:30 総合討論

18:40 閉会

19:00 ~ ミキサー

KOMCEE WEST B1 階 MM ホール (ワークショップ会場と同じ建物です)

上記のワークショップを第56回日本植物生理学会年会のサテライトとして開催します。ワークショップへの参加は無料です。また、ミキサーの参加費は3,500円(予定)で、当日会場にて徴収します。ワークショップおよびミキサーへの参加希望者は3月9日(月)までに次のホームページよりお申し込み下さい。当日参加も歓迎します。http://sfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/pctech/workshop

連絡先: 小林 康一 (kkobayashi@bio.c.u-tokyo.ac.jp)

楠見 健介 (kusumi.k.239@m.kyushu-u.ac.jp)

53

### 大会前日 午後 関連集会

# 3月15日(日) 17:30~20:00 1号館441教室

### 第 13 回植物生体膜シンポジウム「植物生理学における膜輸送研究」

17:30 ~ 17:35	世話人挨拶(村田)
17:35 ~ 18:20	「気孔シグナル分子としての cGMP類縁体」 岩井純夫(鹿児島大学)
18:20 ~ 19:05	「気孔の青色光による開口機構の研究」 島崎研一郎 (九州大学)
19:05 ~ 19:50	「モデル植物としての車軸藻類―オオシャジクモを用いた傷害応答の電気生理学的解析―」 新免輝男(兵庫県立大学)

参加申込:不要

責任者:村田芳行(岡山大学)

森 泉(岡山大学) 木下俊則(名古屋大学)

備考:シンポジウム終了後に懇親会を企画しております.参加を希望される方は、 村田 < muta@cc.okayama-u.ac.jp> に 2月13日(金)までにご連絡ください. 件名は、【生体膜シンポ】でお願いします.

### 第1日目 午後 関連集会



### 3月16日(月)18:30~20:30 D会場

### データベース講習会

18:30 ~ 18:35 はじめに

矢野健太郎 (明治大・農)

18:35  $\sim$  19:00 「NGS 公共データから構築した DNA 多型注釈データベースと解析ワークフローの紹介」

望月孝子(国立遺伝学研究所・大量遺伝情報研究室)

筧雄介, 嶋田幸久 (横浜市立大学・木原生物学研究所)

19:35 ~ 20:10 「植物オミックス統合データベース Plant Omics Data Center:

遺伝子発現ネットワーク情報と高精度機能アノテーション情報の蓄積紹介」

大柳一, 矢野健太郎 (明治大・農)

20:10 ~ 20:20 総合討論

大柳一(国立遺伝学研究所)

世話人:小林 正明(明治大・農)

大柳 一 (国立遺伝学研究所)

矢野 健太郎 (明治大・農)

E-mail: kyano@isc.meiji.ac.jp

### 共 催

科研費・新学術領域研究「ゲノム・遺伝子相関:新しい遺伝学分野の創成」

# 第1日目 午後 関連集会

# 3月16日(月) 18:45~20:35 A 会場

# 植物生理若手の会 2015 (第 33 回講演会) 海外研究留学体験記 ~ヨーロッパ編~

18:45 ~ 18:55 世話人挨拶

18:55 ~ 19:35 「イギリス研究留学記~宿主病原菌相互作用機構解明に向けて~」 浅井秀太 (理化学研究所 環境資源科学研究センター)

19:40 ~ 20:20 「研究者生活先としてのドイツ」 田中茂幸 (ドイツ・マックスプランク陸生微生物学研究所)

20:20 ~ 20:35 総合討論

世話人:門田 康弘 (理化学研究所 環境資源科学研究センター)

清水 崇史 (理化学研究所 環境資源科学研究センター)

宮本 皓司(帝京大学 理工学部)

熊倉 直祐 (理化学研究所 環境資源科学研究センター)

E-mail: jsyppmeeting@yahoo.co.jp

### 第1日目 午後 ランチョンセミナー

# 3月16日(月)12:30~13:15 D会場

# 本部企画 「科研費」の最近の動向 Current Activities of the Grants-in-Aid System

世話人:坂本 亘 (岡山大学資源植物科学研究所、日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員)

12:30	世話人挨拶
12:33	「科研費」の最近の動向 辻山隆 (日本学術振興会 研究助成第二課長)
12:50	日本学術振興会の諸事業における学術システム研究センターの役割 樋口和憲(日本学術振興会 学術システム研究センター専門調査役)
13:12	質疑応答

※先着100名様までにお弁当とお茶をご用意しています。事前申し込みは不要です。

### 第2日目 午後 ランチョンセミナー

## 3月17日(火) 12:00~12:45 D会場

# PCP 特別企画 世界からみた PCP

-PCP: A Society Journal with an International Flavour-

PCP編集委員会主催·OUP協力

12:00 PCP編集長からのご挨拶 [日本語・英語]

Welcome note from the Editor-in-Chief [Japanese/English]

山谷知行 (東北大学)

Tomoyuki Yamaya (Tohoku University)

12:02 PCP の発展とその布石となった名論文 [日本語・英語]

PCP's growth and publishing highlights over the years [Japanese/English]

榊原均 (理化学研究所)

Hitoshi Sakakibara (RIKEN CSRS)

12:07 PCP の現在: 国際的に評価の高い雑誌として [英語]

PCP's current standing—a top international journal [English]

Liliana Costa (PCP Managing Editor)

12:15 あなたの専門分野における論文出版の動向:海外エディターの視点から [英語]

Publishing trends in your field—an international perspective [English]

Ljerka Kunst (University of British Columbia, Canada)

Christian Hardtke (University of Lausanne, Switzerland)

12:35 質疑応答・ディスカッション [日本語・英語]

Questions & Discussion [Japanese/English]

PCP Editors and staff to answer questions from the audience

※本セミナーはランチョンセミナーです。先着 150 名様までにお弁当とお茶を ご用意しています。事前申し込みは不要です。

#### 第3日目 午後 ランチョンセミナー

### 3月18日(水) 昼休み(時間帯 12:00~12:45) F 会場

男女共同参画キャリアパスセミナー(ランチョンセミナー) 「仕事と家庭の両立を目指す男性会員のパネルディスカッション」

プログラム (敬称略)

進行:日本植物生理学会男女共同参画委員会

12:00 学会長挨拶

日本植物生理学会会長 西村いくこ

12:03 仕事と家庭の両立を目指す男性会員のパネルディスカッション

パネリスト: 園池公毅(早稲田大学・教授)

豊岡公徳(理化学研究所・上級研究員)

中西洋一(名古屋大学・助教)

山本治樹(大阪大学・学術振興会特別研究員)

※昨年同様お弁当とお茶を準備いたします。セミナー当日の8時30分より、 引換整理券を学会本部受付で配布いたします。お弁当の引換整理券の有無に かかわらず、どなたでもご参加いただけます。

# 一般講演(口頭)プログラム

# ●第1日 3月16日(月) 午前(9:30-12:30)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	栄養成長	生体膜/イオン・物質輸送	一次代謝	光受容体・光応答	細胞骨格
9:30	1aA01 シロイヌナズナのLIGOCELLULA1 による葉サイズ決定機構の解析 <u>篠塚奈々絵</u> ! 平方智大, 藤倉斯, 出村拓 <sup>3</sup> 、塚合裕一 <sup>4</sup> 、堀口吾朗 <sup>15</sup> (「立教大・理・生命。 <sup>3</sup> Uniw. Potsdam。 <sup>3</sup> 奈良先端大・バイオ、 <sup>4</sup> 東 大・院・理。 <sup>5</sup> 立教大学理学部生命 理学研究センター)	かかわる膜輸送体の研究 中西洋一, 武村みどり, 木村ゆり,	1aC01 Physiological Role And Horizontal Gene Transfer Of Cyanobacterial CugP-type UDP-glucose Pyrophosphorylase Kaisei Maeda', Yasumichi Takase¹, Rei Narikawa²a, Masahiko Ikeuchi¹-4 (¹Grad. Sch. Arts and Sci., Univ. Tokyo, ˚Crad. Sch. Sci., Shizuoka Univ. ³JST, PRESTO. ⁴JST, CREST)	1aD01 クラミドモナス走光性符号決定に おける眼点の役割 植木紀子 <sup>12</sup> 、持地翔太 <sup>2</sup> 、井手隆広 <sup>1</sup> 、 山口勝司 <sup>4</sup> 、重信秀治 <sup>4</sup> 、得津隆太 郎 <sup>2</sup> 、大西紀和 <sup>2</sup> 、皆川赦 <sup>2</sup> 、庶野雅 文 <sup>3</sup> 、甚林壶一 <sup>3</sup> (東京工業大学資 源化学研究所附属資源循環研究施 設 <sup>2</sup> 中央大学理工学部生命科学 科、 <sup>3</sup> 東京大学大学院理学系研究施 生物科学専攻, <sup>4</sup> 基礎生物学研究所 生物機能解析センター。 <sup>3</sup> 基礎生物 学研究所環境光生物学研究部門)	1aE01 Analyses of tubulins purified from Arabidopsis cell cultures using TOG-column. Takashi Hotta. Takashi Hashimoto (Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST)
9:45	1aA02 業の細胞数が減少するシロイヌナ ズナのoligocellulae-D変異株の解析 佐藤親紀、塚谷裕一。堀口吾明 <sup>13</sup> 佐藤親大・理・生命、 <sup>2</sup> 東大・院・理、 <sup>3</sup> 立教大学理学部生命理学研究セ ンター)	1aB02 シロイヌナズナにおけるホスファチジン酸ホスホヒドロラーゼ過剰 発現体における窒素欠乏耐性機構	1aC02 <b>3</b> Distribution of starch-producing traits among the phylogeny of cyanobacteria <u>Eiji Suzuki</u> ! Christophe Colleoni <sup>2</sup> . Steven Ball <sup>2</sup> (Fac. Bioresource Sci., Akita Pref. Univ., <sup>2</sup> CNRS-USTL)	1aD02 光波長高感度c-di-GMPシグナリ ングにおけるシアノバクテリオク ロムの協調 榎本元 <sup>1</sup> , 成川礼 <sup>23</sup> , 池内昌彦 <sup>14</sup> (『東大· 院· 総合文化。 <sup>2</sup> 静岡大・理。 『JST さきがけ、「JST CREST)	1aE02 微小管上をマイナス端方向へ長距離歩行するキネシンの発見 山田恵恵 <sup>12</sup> . Erik Jonsson <sup>13</sup> . Ronald D. Vale <sup>13</sup> . 五島剛太 <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> Marine Biological Laboratory, Woods Hole, USA. <sup>2</sup> 名古屋大学大学院 理学研究 科生命理学専攻 五島研究室。 <sup>3</sup> HHMI, Dep. Cellular and Molecular Pharmacology, UCSF)
10:00	1aA03 AN3, HAN, TPLが子葉の属性維持に果たす役割の解析 <u>堀口吾朗</u> <sup>21</sup> 、大池諒 <sup>3</sup> 、秋間健太 <sup>3</sup> 、 壞容裕一 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 立教大・理・生命。 <sup>2</sup> 立 教大学理学部生命理学研究セン ター、 <sup>3</sup> 東大・院・理)	1aB03 <b>(3)</b> Cadmium uptake is mediated by a manganese transporter, HvNramp5 in barley Dezhi Wu, Naoki Yamaji, Miki Yamane, Miho Kashino, Kazuhiro Sato, Jian Feng Ma (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)	1aC03 シアノバクテリアにおいて脂肪酸 生合成関連遺伝子の発現制御に関 生合成関連遺伝子の同定 <u>鬼沢あゆみ</u> !,川原彰人?,日原由香子 <sup>1</sup> (「埼玉大・院理工、 <sup>2</sup> 花王(株)・ 生物科学研)	1aD03 好熱性シアノバクテリアにおける サイクリックヌクレオチドシグナ リング因子の解析 <u>神谷綾子</u> <sup>1</sup> , 榎本元 <sup>1</sup> , 成川礼 <sup>23</sup> , 池 内昌彦 <sup>14</sup> (「東大・院・総合文化、 <sup>2</sup> 静岡大・理, <sup>3</sup> JST さきがけ, <sup>4</sup> JST CREST)	laE03 Plant-specific kinesins KINID1 have a dual function in organizing microtubules during both tip growth and cytokinesis in the moss Physcomitrella patens Yuji Hiwatashi <sup>1</sup> , Yoshikatsu Sato <sup>2</sup> , John Doonan <sup>3</sup> (¹Sch. Food, Agri. Environ. Sci., Miyagi Univ. <sup>3</sup> WPI-ITDM, Nagoya Univ. <sup>3</sup> National Plant Phenomics Centre, IBERS, Aberystwyth Univ.)
10:15	1aA04  AN3キメラ葉を用いた補償作用シグナルの作用機構の解析 <u>江崎和百</u> , (1東京大・院・理、了ST さきがけ、3基生研)	1aB04 <b>③</b> Functional characterization of a cation transporter required for root growth in rice Zhichang Chen. Naoki Yamaji, Jian Feng Ma (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)	1aC04 ラン藻Synechocystis sp. PCC6803株の遊離脂肪酸産生株における脂肪酸輪送体遺伝子発現効果 小島幸治 <sup>1</sup> 。松本字生 <sup>1</sup> 。氣多澄 江 <sup>15</sup> 。高谷信之 <sup>25</sup> 。中東憲治 <sup>35</sup> 、池田和貴 <sup>45</sup> 、小俣達男 <sup>25</sup> 、愛知真木子 <sup>15</sup> ('中部大・応用生物、'名大・院・生命農学。 <sup>3</sup> 慶應大・先端研、'理研・IMS・メタボローム、 <sup>5</sup> JST-CREST)	1aD04 フィトクロム分子種による吸収特性の違いと光環境適応への意義 <u>吉原静恵</u> : 大久保陽子', 加川貴俊', 西塚順子', 岡島公司', 直原一德', 徳富哲'(「大阪府大・院理, <sup>2</sup> 農業生物資源研)	1aE04 Novel Coiled-Coil Proteins Regulate Exocyst Association with Cortical Microtubules in Xylem Cells Yoshinisa Oda <sup>12</sup> , Yuki Iida <sup>3</sup> , Yoshinobu Nagashima <sup>3</sup> , Yuki Sugiyama <sup>3</sup> , Hiroo Fukuda <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> National Inst. Genetics, <sup>2</sup> JST, PRESTO, <sup>3</sup> Dep. Biol. Sci, Grad. Sci, Univ. Tokyo)

F会場	G会場	H会場	会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
光合成(光化学系)  1aF01 フィロキノン分子数の異なる光化学系1の解析 吉野宏明 <sup>1</sup> , 井上康則 <sup>2</sup> , 池内昌彦 <sup>1</sup> (「東京・院・総合文化、 <sup>2</sup> 東京理・理工)	システム生物学 (ゲノム・バイオインフォマティックス) 1aG01 Limnothrix sp. ABRG5-3株のゲノム 解読と他種のシアノバクテリアゲ ノムとの比較 阻島直臺 <sup>1</sup> 、兼崎友 <sup>2</sup> 、佐藤修正 <sup>2</sup> 。吉 川博文 <sup>4</sup> 、丸山史人 <sup>8</sup> 、黒川顕 <sup>8</sup> 、太田 啓支 <sup>8</sup> 、田畑哲之 <sup>7</sup> 。高根澤陽 <sup>8</sup> 、西澤 宿康 <sup>8</sup> 、朝山宗彦 <sup>8</sup> 、佐藤直樹 <sup>1</sup> (「東 京大・院総合文化、 <sup>8</sup> 東京展大・佐 生命科学、 <sup>*</sup> 東京展大・応生科、 <sup>8</sup> 京 都大・院医 <sup>9</sup> 、東工大、院生命和 工、 <sup>7</sup> かずさ DNA 研究所、 <sup>8</sup> 茨城大、 資源生物科学)	植物微生物相互作用(免疫1) 1aH01 ジテルベン型ファイトアレキシン合成遺伝子を制御するイネ転写因 子DPFの遺伝子のWRKY45 WRKY626合体による制御機構 福島説子 <sup>12</sup> 、森昌樹 <sup>1</sup> 、高辻博志 <sup>12</sup> ('生物研, <sup>2</sup> 筑波大・院生命環境)	環境応答/非生物ストレス応答 (乾燥・浸透圧他) 1a[01] 棄緑体 H,O,応答性bHLH 転写因子 の機能解析 固本整 <sup>4</sup> , 野志昌弘 <sup>2</sup> , 田茂井政宏 <sup>12</sup> , 高木優 <sup>34</sup> , 丸田隆典 <sup>5</sup> , 重岡成 <sup>12</sup> (「近畿大院・農・バイオ。」近畿大・ 農・バイオ。『産総研・生物プロセス、 特玉大・環境科学。『鳥根大・生資 科・生命工)	シンポジウムSO1 Epigenetic	シンポジウムS0 Molecular	シンポジウムS3 Ectopic meristems	9:30
1aF02 新奇Chlを持つシアノバクテリア より光化学系I標品単維精製と解析 <u>篠田を行</u> , Suleyman I. Allakhverdiev <sup>23</sup> , Min Chen <sup>4</sup> , 二井大 輔 <sup>1</sup> 、太田尚孝 <sup>1</sup> 、秋本誠志 <sup>56</sup> , 鞆達 也 <sup>17</sup> (「東京理科大学・理学部、 <sup>2</sup> Institute of Plant Physiology, Russian Academy of Sciences, Moscow, Russia, <sup>3</sup> Institute of Basic Biological Problems, Russian Academy of Sciences, Pushchino, Moscow Region, Russia, <sup>4</sup> School of Biological Sciences, University of Sydney, Australia, <sup>5</sup> 神戸大学分子 フォト研究センター、 <sup>6</sup> JST CREST、 <sup>7</sup> JST PRESTO)	laG02 The Draft Genome of Hop (Humulus) in Essence for Brewing Eiichiro Ono!, Satoshi Natsume?, Hiroki Takagi? Akira Shiraishi³, Jun Murata³, Hiromi Toyonaga¹, Motoshige Takagi⁴, Josef Patzak⁵, Hiroki Yagashi², Aiko Uemura², Chikako Mitsuoka², Kentaro Yoshida², Karel Krofta⁵, Honoo Sataka³, Rhohei Terauchi² ('Suntory Global Innovation Center Ltd., 2 Twate Biotechnology Research Center, 3 Suntory Foundation for Life Sciences, 4 Suntory System Technology Ltd., 4 Top Research Institute (Czech Republic))	defence pathway through the tyrosine-dephosphorylation of OSMPK6 Yoshihisa Ueno, Riichiro Yoshida, Mitsuko Kishi-Kaboshi, Akane Matsushita, Chang-Jie Jian, Shingo Goto, Akira Takahashi, Hirohiko Hirochika, Hiroshi Takatsuji (Natl. Inst. Agrobiol. Sci.)	1aI02 Analysis of nyctinastic movement using Lifeact-Venus 西谷亭¹,高原正裕²,神澤信行¹(仁智大学理工学部物質生命理工学科,²立教大学理学部生命理学化)	Epigenetic and transcriptional control of environmental response	Molecular dissection of reproductive processes	ristems and developmental plasticity in plants	9:45
1aF03 緑藻クラミドモナスの光化学系I 集光性複合体の構造 小 <u>澤裏一郎</u> <sup>12</sup> 、大西岳人 <sup>1</sup> 、高橋石 子 <sup>1</sup> 、松村拓則 <sup>1</sup> 、高橋裕一郎 <sup>12</sup> (「岡 山大学・院・自然科学、 <sup>2</sup> 科学技術 振興機構 CREST)	laG03 Current status of Research and Development for High-throughput Genotyping System aiming Tailor-made Breeding of Bioenergy Crop, Sorghum bicolor Hajime Ohyanagi <sup>12.3</sup> , Masaaki Kobayashi <sup>12.</sup> , Tomoyuki Takano <sup>3</sup> , Hideki Takanashi <sup>24.</sup> Hiromi Kanegae <sup>4</sup> , Mai Minamikawa <sup>4</sup> , Satomi Asano <sup>12.</sup> , Soichi Ozaki <sup>12.</sup> , Toru Kudo <sup>12.</sup> , Atsushi Nagano <sup>56.</sup> , Hitoshi Tainaka <sup>24.</sup> , Tsuyoshi Tokunaga <sup>25.</sup> , Takashi Sazuka <sup>25.</sup> , Hiroyoshi Iwata <sup>24.</sup> Nobuhiro Tsutsumi <sup>24.</sup> , Kentaro Yano <sup>12.</sup> (*Sch. of Agri., Meiji Univ., *CREST, JST. <sup>3</sup> Mitsubishi Space Software Co., Ltd., *Grad. Sch. of Agricultural and Life Sci., The Univ. of Tokyo, <sup>5</sup> Center for Ecological Research, Kyoto Univ., *PRESTO, JST. *Farth Note, Co. Ltd., *Bioscience and Biotechnology Center, Nagoya Univ.)	1aH03 <b>●</b> The activation mechanism of the NADPH oxidase RBOHD during plant immunity Yasuhiro Kadota¹². Jan Sklenar², Paul Derbyshire². Lena Stransfeld³, Shuta Asa¹¹². Vardis Ntoukakis², Jonathan DG Jones² Ken Shirasu¹, Frank Menke², Alexandra Jones², Cyril Zipfel² (¹RIKEN, CSRS, ²The Sainsbury Laboratory, UK)	1aI03 ゼニゴケを用いたストレス誘導性 の表層微小管脱重合機構の解析 <u>高橋英之</u> <sup>1</sup> , 長尾直弥, 西浜竜一 <sup>2</sup> , 河内孝之 <sup>2</sup> , 橋本隆 <sup>1</sup> (今良先端大 バイオサイエンス, <sup>2</sup> 京大・院・生 命科学)	vironmental response(9:30-12:30)	ses in plants (9:30-12:30)	ticity in plants(9:30-12:15)	10:00
1aF04 光化学系Ⅱタンパク質への部位特 異的変異導入による水分解反応機 構の解析 長尾遼、中西華代、野口巧(名古 屋大院・理)	laG04 Heap: A high-sensitive SNPs Detection Tool for NGS Data Masaaki Kobayashi <sup>1,2</sup> , Hajime Ohyanagi <sup>1,2,3</sup> , Hiromi Toyoshima <sup>1,2</sup> , Hideki Takanashi <sup>2,4</sup> , Hiromi Kanegae <sup>2,4,4</sup> , Satomi Asano <sup>1,2</sup> , Soichi Ozaki <sup>1,2</sup> , Toru Kudo <sup>1,2</sup> , Atsushi Nagano <sup>5,6</sup> , Hitoshi Tainaka <sup>2,4</sup> , Tsuyoshi Tokunaga <sup>2,7</sup> , Takashi Sazuka <sup>2,8</sup> , Hiroyoshi Iwata <sup>2,4</sup> , Nobuhiro Tsutsumi <sup>2,4</sup> , Kentaro Yano <sup>1,2</sup> ('Sch. of Agri., Meiji Univ. <sup>2</sup> JST, CREST, <sup>3</sup> Mitsubishi Space Software Co., Ltd., <sup>4</sup> G, Sch. of Agricultural and Life Sci., The Univ. of Tokyo, <sup>5</sup> Center for Ecological Research, Kyoto Univ. <sup>4</sup> JST, PRESTO, <sup>7</sup> Earth Note, Co. Ltd. <sup>8</sup> Bioscience and Biotechnology Center, Nagoya Univ.)	1aH04 <b>(3)</b> Mutagenic dissection for the endogenous Pep elicitor-triggered defense signaling in Arabidopsis Gaku Murata <sup>1</sup> , Kohji Yamada <sup>2</sup> , Gaku Furuhata <sup>1</sup> , Tetsuya Kurata <sup>1</sup> , Yusuke Saijo <sup>1,23</sup> ( <sup>1</sup> Nara Institute of Science and Technology, <sup>2</sup> Max Planck Institute for Plant Breeding Research, <sup>3</sup> JST PRESTO)	1aI04 VIP1 is involved in touch responses of roots in Arabidopsis Daisuke Tsugama <sup>12</sup> , Tetsuo Takano <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> Grad. Sch. Agric., Univ. Tokyo, <sup>2</sup> JSPS Research Fellow (PD), <sup>3</sup> ANESC., Univ. Tokyo)				10:15

# ●第1日 3月16日(月) 午前(9:30-12:30)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	栄養成長	生体膜/イオン・物質輸送	一次代謝	光受容体・光応答	細胞骨格
10:30	1aA05 Molecular function of the morphogenesis-related peptide ROT4 Tomoyuki Furuya <sup>1</sup> . Pin Guo <sup>12</sup> . Yoichiro Fukao <sup>3</sup> . Hirokazu Tsukaya <sup>1</sup> ('Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, <sup>2</sup> College of Life Sci., Wuhan Univ., <sup>3</sup> Plant Global, NAIST)	1aB05 Further characterization of OsABCC1 involved in As accumulation in rice Won-Yong Song*, Tomohiro Yamaki¹, Naoki Yamaji¹, Youngsook Lee², Jian <u>Feng Ma¹</u> (¹Institute of Plant Science and Resources, Okayama University, ²Pohang University of Science and Technology)	1aC05 緑藻 Chlamydomonas reinhardtii 由 来のリン欠乏応を性プロモーター を用いた脂質蓄積強化 <u>岩井雅子<sup>12</sup></u> 佐々木 (関本) 結子 <sup>3</sup> , 下嶋美恵 <sup>4</sup> , 太田啓之 <sup>123</sup> ( <sup>1</sup> 東京工 業大学 生命理工学研究科 生体シ ステム専攻 太田研究室, <sup>2</sup> (死民T, JST, <sup>3</sup> 東京工業大学、地球生命研 究所 (ELSI), <sup>4</sup> 東京工業大学、バ イオ研究基盤支援総合センター)	1aD05 苔類ゼニゴケを用いた転写因子 PIFによる赤色光シグナル伝達機 構の解析 <u>井上桂荘</u> ,西浜竜一,石崎公庸 <sup>2</sup> , 河内孝之 <sup>1</sup> (「京大・院生命科学, <sup>2</sup> 神戸大・院理)	1aE05 二次細胞壁パターン形成の理解に 向けた新規微小管付随タンパク質 の解析 <u>杉山友着</u> ,福田裕穂 <sup>1</sup> ,小田祥久 <sup>23</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院理・生物科学, <sup>2</sup> 国立遺 伝研・新分野, <sup>3</sup> 科学技術振興機構・ さきがけ)
10:45	1aA06 Genetic dissection of the mechanism controlling leaf thickness in Arabidopsis Yuki Yoshida. Hirokazu Tsukaya (Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)	1aB06 ● Functional characterization of plasma membrane H+ ATPases of rice Vosuke Toda!, Yin Wang <sup>23</sup> , Akira Takahashi!, Naoki Yamaji <sup>3</sup> , Jian Feng Ma <sup>5</sup> , Motoyuki Ashikari <sup>5</sup> , Toshinori Kinoshitai <sup>13</sup> ('Nagoya University, Graduate School of Science, <sup>2</sup> Nagoya University, Institute for Advanced Research, <sup>3</sup> Nagoya University, Institute of Transformative Bio-molecules, 'Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council, <sup>5</sup> Okayama University, Institute of Plant Science and Resources, <sup>6</sup> Nagoya University, Bioagricultural Sciences)	NIES-2202における窒素・リンケ 乏条件下での脂質蓄積および脂肪 酸組成の解析 <u>呼鳴孝志</u> ! 豊島正和 <sup>2</sup> , 森山崇 <sup>2</sup> , 佐 藤直樹 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学 教養学部 統合	laD06 フィトクロムは選択的スプライシングを制御することで光シグナルを伝達する 四方明格 <sup>12</sup> 、花田耕介 <sup>3</sup> 、牛鳥智一 <sup>1</sup> 、中嶋萌子 <sup>1</sup> 、鈴木穰 <sup>4</sup> 、松下智直 <sup>1,5</sup> ( <sup>1</sup> 九州大・院・農 <sup>2</sup> ミュンヘンエ科大・Plat Syst. Biol.、 <sup>3</sup> 九州工業大・若手研究者フロンティア研究アカデミー、 <sup>*</sup> 東京大・院・新領域、 <sup>*</sup> JST・さきがけ)	1aE06 シロイヌナズナNIMA関連キナーゼ6は8-チューブリンをリン酸化 し、細胞成長を制御する <u>高谷彰吾</u> , 小澤真一郎 <sup>12</sup> , 八木慎 宜³, 堀田崇³, 高橋裕一郎 <sup>12</sup> , 橋本 隆², 高橋阜¹, 本瀬宏康¹(「岡山大・院・自然科学, <sup>2</sup> JST. CREST, <sup>3</sup> 奈良 先端大・バイオ)
11:00	1aA07 (3) Regulatory underpinnings of cross-species transcriptional dynamics during leaf development Yasunori Ichihashi <sup>1</sup> , Atsushii Fukushima <sup>1</sup> , Daniel Chitwood <sup>2</sup> , Jie Peng <sup>3</sup> , Ken Shirasu <sup>1</sup> , Neelima Sinha <sup>4</sup> ('RIKEN Center for Sustainable Resource Science, <sup>2</sup> Donald Danforth Plant Science Center, <sup>3</sup> Department of Statistics, University of California at Davis, <sup>4</sup> Department of Plant Biology, University of California at Davis)	1aB07 AtPHT4;4 is a chloroplast-localized ascorbate transporter in <i>Arabidopsis</i> <u>Takaaki Miyaji</u> , Takashi Kuromori, Yu Takeuchi, Naoki Yamaji, Kengo Yokosho, Atsushi Shimazawa, Eriko Sugimotoi, Hiroshi Omotei, Jian Feng Mai, Kazuo Shinozaki, Yoshinori Moriyamai, <sup>2</sup> (Adv. Sci. Res. Center, Okayama Univ., <sup>2</sup> CSRS, RIKEN, <sup>3</sup> Memb, Biochem., Okayama Univ. Grad. Sch. Med. Dent. Pharm. Sci., <sup>4</sup> IPSR, Okayama Univ.)	1aC07 紅葉 Cyanidioschyzon merolae の脂質代謝関連酵素の網羅的解析 <u>毛利奈津美</u> <sup>12</sup> , 森山崇 <sup>12</sup> , 関根康 介 <sup>12</sup> , 豊島正和 <sup>12</sup> , 佐藤直樹 <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> 東京大・院・総合文化、JST, CREST)	1aD07 イネ・フィトクロムAの赤色光受容にPHYA遺伝子の発現特性が関与する可能性について <u>馬場(笠井)晶子</u> <sup>1</sup> ,高野誠 <sup>2</sup> ('生物研・遺伝子組換え研究センター)	1aE07 気孔開口運動における表層微小管機能に関する再検証: 膜交通因子 PATROL1との関係 <u>桧垣匠<sup>1</sup></u> , 橋本 (杉本) 美海 <sup>2</sup> , 秋田 住恵 <sup>1</sup> , 在俣繁 <sup>2</sup> , 射場厚 <sup>3</sup> , 馳澤盛一郎 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大・院・新領域, <sup>2</sup> 名古屋 大・院・生命農学, <sup>3</sup> 九州大・院・理・ 生物科学)
11:15	調的に機能する	1aB08 Characterization of Arabidopsis polyamine transporters, AtLAT family proteins Miki Fujita. Kazuo Shinozaki (RIKEN CSRS)	1aC08 窒素栄養欠乏下における緑藻クラミドモナスの脂質蓄積異常変異体 tar1-1の解析 提出]豊孝! 樵木裕里!, 新川はるか! 山野隆志!, 安藤晶!, 加藤美砂子!, 熊野雅文!, 佐藤直樹培, 福澤 秀哉! (『古大院・生命、35本大院、人文創成科学、3東大院・理、4東大院・建た、5T, CREST)	1aD08 Spatially gene expression profiling during red light-induced apical hook opening Isato Ohnishi¹, Kazumasa Nito¹, Nobuyoshi Mochizuki¹, Tomoharu Kajiyama², Akiniko Fujii², Hideki Kambara², Akira Nagatani¹ (¹Kyoto Univ. ²Central research laboratory, Hitachi, Ltd)	1aE08 Biological implications of the differential stractural modifications in phytosterol side chain Masatoshi Nakamotoʻ, Anne-Catherine Schmit², Dimitri Heintz², Hubert Schaller², Daisaku Ohta¹ ('Grad, Sch. Life and Env. Sci, Osaka Pref. Univ., ²Inst. de Biol. Mole. des Plantes)
11:30	1aA09 シロイヌナズナの薬の向背軸性の確立における AS1-AS2-ETT経路を介したサイトカイニン合成遺伝 子の制御 小鳥晶子 <sup>1</sup> , 石橋奈々子 <sup>2</sup> , 香田住 那 <sup>3</sup> , 小嶋美紀子 <sup>3</sup> , 高橋広夫 <sup>4</sup> , 榊原 보 <sup>5</sup> , 町田乗即 <sup>6</sup> , 町田千代子 <sup>1</sup> (中中 部大・応用生物, <sup>2</sup> 名大・院理・生 命理学, <sup>3</sup> 理研・CSRS, <sup>4</sup> 千葉大・院 園芸)		1aC09 Long-chain unsaturated ketones (alkenones), but not β-glucan, are major storage macromolecules in the marine haptophyte alga, Emiliania huxleyi Yoshinori Tsuii <sup>12</sup> . Masatoshi Yamazaki <sup>2</sup> , Iwane Suzuki <sup>12</sup> . Yoshihiro Shiraiwa <sup>12</sup> ('Fac. Life & Environmtl. Sci., Univ. Tsukuba, <sup>2</sup> CREST, JST, <sup>3</sup> Grad. Sch. Life & Environmtl. Sci., Univ. Tsukuba)	1aD09 Phytochrome Interacting Factor 4・5 による業老化制御機構の解析 <u>井上良平</u> , 宮田麗華, 山谷浩史, 高木優 <sup>23</sup> 〒朝信 <sup>14</sup> (広島大・院理学, <sup>3</sup> 埼玉大・院理工学, <sup>3</sup> 産総研・生物プロセス, <sup>4</sup> CREST)	1aE09 アクチン結合タンパク質ビリンの活性はリン脂質により修飾される横田位雄!織井秀文!田原寛:森安裕二,郭免維男!高木慎吾3 (「兵庫県立大・院生命理学、3埼玉大・院理工、3大阪大・院理)

F会場	G会場	H会場	会場	X 会場	Y 会場	Z <sub>会場</sub>	時間
光合成(光化学系)	システム生物学 (ゲノム・バイオインフォマティックス)	植物微生物相互作用(免疫1)	環境応答/非生物ストレス応答 (乾燥・浸透圧他)	シン	シンポ	シン	
1aF05 PsbPのN末端ベプチド断片が光化 学系IIの水分解酸素発生反応に及 ほす影響 西村太志'、長尾遼 <sup>2</sup> 、冨田めぐみ <sup>2</sup> 、野口巧 <sup>2</sup> 、佐藤文彦 <sup>3</sup> 、伊福健太郎 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京大院・生命科学, <sup>2</sup> 名大院・理)	1aG05 次世代シーケンサーを用いたトラ ンスポゾン転移の検出とその応用 土井考爾, 中込マリコ, 安江博, 廣 近洋彦, 宮尾玄藍雄(農業生物資 源・農業生物先端ゲノム研究セン ター)	1aH05 <b>④</b> MAMP応答性プロテインキナーゼ MRPK1の機能解析 <u>玄康洙</u> 、松井英譲、野村有子、中神 弘史(理研・CSRS)	1aI05 シロイヌナズナのストレス応答性 転写因子DREB2Aの翻訳後調節に おける負の活性制御ドメインの機 能解析 <u>港井瓶茂</u> <sup>1</sup> 秦峰 <sup>2</sup> 、城所聡 <sup>1</sup> 、篠崎一 雄 <sup>2</sup> 、篠崎和子 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東大院・農学生 命科学、 <sup>2</sup> 国際農研・生物資源利用、 <sup>3</sup> 理研・環境資源科学研究セ)	ンポジウムSO1 Epig	ジウム S 02	ポジウムS3 Ectopic	10:30
laF06 PSIIのプラストキノン結合部位の近傍に存在するホスファチジルグリセロール分子の役割 <u>遠藤嘉一郎</u> , 水澤直樹 <sup>2</sup> , 沈建仁 <sup>3</sup> , 山田聖人 <sup>4</sup> , 鞆達也 <sup>5</sup> , 小松悠久 <sup>6</sup> , 小林正美 <sup>6</sup> , 小林麻正美 <sup>6</sup> , 小林麻正美 <sup>6</sup> , 小林麻正美 <sup>6</sup> , 小林麻正 <sup>1</sup> , 和田元 <sup>12</sup> ('東東大・院・総合文化、 <sup>2</sup> 法政大・生命科学。 <sup>3</sup> 岡山大・院・台然科学、 <sup>4</sup> 東理大・理学研究科、 <sup>5</sup> 東理大・理学部、 <sup>6</sup> 筑波大・院・数理物理科学、 <sup>7</sup> ST・CREST)	laG06 Plant Omics Data Center (PODC): The Integrated Web Repository for Interspecies Gene Expression Networks Tomoyuki Takano¹, Shin Terashima¹, Hajime Ohyanagi¹A², Maasa Kanno¹, Morimoto Kyoko¹, Kanegae Hiromi¹, Sasaki Yohei¹, Kobayashi Masaaki¹, Yokoyama Koji¹, Aya Koichiro², Suwabe Keita², Suzuki Go¹, Watanabe Masao², Matsuoka Makoto², Yano Kentaro¹ (¹Sch. Agr., Univ. Meiji, ¹Bioscience and Biotechnology Center., Univ. Nagoya, ³Grad. Sch. Bioresorces., Univ. Mie, "Sch. Division of Natural Science, Univ. Ohoska kyoiku, ³Grad. Life Sci., Univ. Tohoku, ¹Tsukuba Division, Mitsubishi Space Software Co., Ltd. †Plant Genetics Laboratory, National Institute of Genetics)		1aI06 Study of inter-tissue transfer and transporters of abscisic acid Takashi Kuromori, Eriko Sugimoto, Kazuo Shinozaki (RIKEN CSRS)	Epigenetic and transcriptional control of environmental response	Molecular dissection of reproductive processes i	oic meristems and developmental plasticity in plants	10:45
1aF07 光化学系Ⅱ反応中心D1タンパク質 のAsn-298変異株の酸素発生活性 の解析 <u>黒田詳詩<sup>13</sup></u> , 兒玉なつ美 <sup>13</sup> , 上田和 世 <sup>2</sup> , 孫小羽 <sup>1-3</sup> , 菓子野味浩 <sup>4</sup> , 高橋裕 一郎 <sup>13</sup> (間山大・院・自然科学, <sup>2</sup> 岡山大・理・生物。 <sup>3</sup> ST-CREST, <sup>4</sup> 兵県大・院・生命理学)	laG07 A sensitive and accurate method and tool for rapid and comprehensive identification of conserved cis-element motifs on the basis of large-scale gene expression and sequence data <u>Yohei Sasaki</u> ', Naoki Yamamoto <sup>1</sup> , Hajime Ohyanagi <sup>1</sup> , Masaaki Kobayashi, Tomoyuki Takano <sup>1</sup> , Shin Terashima <sup>1</sup> , Eiji Nambara <sup>2</sup> , Masashi Ohtani <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Sch. Agri., Univ. Meiji, <sup>2</sup> Sch. of Cell & Systems Biol., Univ. Toronto)	MAMP 認識機構 <u>四井いずみ'</u> , 松井英譲 <sup>1</sup> , 野村有 子 <sup>1</sup> , 西浜高 <sup>2</sup> , 河内孝之 <sup>2</sup> , 中神弘 史 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 理研CSRS, <sup>2</sup> 京大·院生命科 学)	1a107 シロイヌナズナにおける PP2C 新 規相互作用因子の探索 野村麹平 <sup>1</sup> , 吉田拓也 <sup>1</sup> , 最上惇郎 <sup>1</sup> , 森本基子 <sup>1</sup> , 高橋史憲 <sup>2</sup> , 篠崎一雄 <sup>2</sup> , 篠崎和子 <sup>1</sup> (東大院・農学生命科学、 <sup>2</sup> 理研・環境資源科学研究セ)	mental response (9:30-12:30)	in plants (9:30-12:30)	in plants (9:30-12:15)	11:00
1aF08 PsbP-Like protein 1 (PPL1) は PSII-LHCII 超複合体の安定性と光 環境適応に必須である <u>草間親子</u> <sup>1</sup> . 松井信太郎 <sup>1</sup> . Marjaana Suorsa <sup>2</sup> . Eva-Mari Aro <sup>2</sup> . 佐藤文彦 <sup>2</sup> . 伊福健太郎 <sup>1</sup> (京大院・生命、 <sup>2</sup> Dept. of Biochem, Univ. Turku)	laG08 Construction of Gene Coexpression Database for Microalgal Species Yuichi Aoki, 'Assunobu Okamura', Takeshi Obayashi', Kengo Kinoshita <sup>12,3</sup> ('Grad. Sch. Info. Sci, Tohoku Univ., <sup>3</sup> Inst. Dev. Aging Cancer, Tohoku Univ., <sup>3</sup> Tommo., Tohoku Univ.)	1aH08 ● Processing body response under fig22 treatment in A. thaliana plants Risa Shigemasa¹, Kazuki Motomura¹, Shigeyuki Betsuyaku¹², Takahiro Hamada¹, Yuichiro Watanabe¹³ (¹Graduate School of Science, The University of Tokyo, ²JST PRESTO 'Design and Control of Cellular Functions', ³Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo)	1aI08 ヒメツリガネゴケのABA応答制御 におけるSnRK2遺伝子ファミリー の役割 大竹亮子 <sup>1</sup> 、米原稔治、Andrew C.Cuming <sup>2</sup> 、竹澤大輔、太治輝昭 <sup>2</sup> 、 林隆久 <sup>1</sup> 、披田洋一 <sup>1</sup> (東京農業大・ 院・バイオ、 <sup>2</sup> University of Leeds、 <sup>3</sup> 埼玉大学理工学研究科)	2:30)			11:15
1aF09 Inhibition mechanism of the water-splitting reaction of photosystem II by iodine ions Keisuke Kawakami <sup>1</sup> . Daisuke Hagiwara <sup>2</sup> , Yasufumi Umena <sup>1,3</sup> , Yoshimasa Fukushima <sup>1</sup> , Akitaka Ito <sup>2</sup> , Yoshio Teki <sup>2</sup> , Jian-Ren Shen <sup>4</sup> , Nobuo Kamiya <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> The OCU Advanced Research Institute for Natural Science & Technology (OCARINA), Osaka City University. <sup>2</sup> Graduate School of Science, Osaka City University, <sup>3</sup> PRESTO, <sup>4</sup> Graduate School of Natural Science and Technology, Okayama University)	1aG09 植物オミックス研究における相関 ネットワーク解析ソフト"金平糖 Java-GUI"の実用例 直生一斗,尾形善之2,永鳥良樹1, 細内致2、柴田大輔1,鈴木秀幸1 (1(公財)かずさDNA研究所・バ イオ研究開発。2大阪府立大・生命 環境)	1aH09 (3) Identification Of Interactor Of OsPUB44 That Is Positively Regulates PAMPs-induced Resistance In Rice Kazuva Ishikawa, Kento Inoue, Koji Yamaguchi, Satomi Yoshimura, Yuichiro Muraguchi, Shiori Kitano, Madoka Ogawa, Tsutomu Kawasaki (Graduate School of Agriculture, Kinki University)	1a109 ゼニゴケにおける転写因子ABI3 の機能解析 <u>基井雅和</u> !、小野大輔!、萩原優羽 <sup>3</sup> 、小松憲治治, 竹澤大輔!、石崎公庸 <sup>4</sup> 、河内孝之 <sup>5</sup> 、太治輝昭!、林隆久!、坂 田洋一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京康大・バイオ, <sup>2</sup> 培 玉大・大学院理工学研究科。 <sup>3</sup> 東京 農大短大・生物生産、 <sup>4</sup> 神戸大・院・ 理, <sup>5</sup> 京都大・院・生命科学)				11:30

# ●第1日 3月16日(月) 午前(9:30-12:30)

時間	A 会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	栄養成長	生体膜/イオン・物質輸送	一次代謝	光受容体・光応答	細胞骨格
11:45	1aA10 シロイヌナズナの葉の向背軸形成 におけるASL-AS2 による KRP5遺 伝子発現の抑刺機能の解明 <u>伊藤卓馬</u> <sup>1</sup> , 中川彩美 <sup>1</sup> , 石橋奈々 子 <sup>2</sup> , 高橋宏夫 <sup>2</sup> , 小鳥晶子 <sup>3</sup> , 町田奈 則 <sup>8</sup> , 町田代子 <sup>3</sup> (一部太子学大学 院応用生物学研究科 <sup>3</sup> 名古屋大 学大学院理学研究科 <sup>3</sup> 千葉大学 大学院 園芸学研究科 <sup>3</sup>		1aC10 海洋性光合成細菌によるポリヒド ロキシアルカン酸 (PHA) の生産 <u>独口美学子</u> 、沼田圭司(理化学研 究所 環境資源科学研究センター 酵素研究チーム)		1aE10 ウイルスタンパク質の形成する細胞質凝集体は小胞体流動を原動力としてアクチン・小胞体ネットワークと平行に動く 石川一也、難波成任(東京大・院・農)
12:00	1aA11 ミズハコベの異形葉性の分子メカニズムの解明 古賀皓之, 塚谷裕一(東大・院・理)		1aC11 シトクロムc <sub>M</sub> の欠損はシアノバクテリアの従属栄養生育を促進する <u>平出優人<sup>1</sup></u> ,上坂一馬 <sup>1</sup> ,井原邦夫 <sup>2</sup> , 藤田祐一 ( <sup>1</sup> 名大・院生命農, <sup>2</sup> 名大・遺伝子)		1aE11 シアノバクテリアにおける細胞運動ダイナミクスによる超細胞構造の創発 佐藤直樹、田島直幸(東京大学大学院総合文化研究科)
12:15	1aA12 Pereskia grandifolia を用いたサボテン科棘形態形成の理解 <u>河野忠賢</u> 、塚谷裕一(東京大学大 学院理学系研究課生物科学先攻発 生進化研究室)				

F会場	G会場	H会場	会場	X 会場	Y 会場	Z <sub>会場</sub>	時間
光合成(光化学系)  1aF10 Rearrangement of PSII and associated functional alteration during leaf maturation in <i>Arabidopsis thaliana</i> Hatsumi Nozue <sup>1</sup> , Takashi Shigarami <sup>1</sup> , Ryota Saruta <sup>1</sup> , Shigeichi Kumazaki <sup>2</sup> , Masayuki Nozue <sup>1</sup> (¹Fac. of Textile Sci. and Tech., Shinshu	システム生物学 (ゲノム・バイオインフォマティックス)	植物微生物相互作用 (免疫1)  1aH10 ⑤ PBI.27 regulates MAPKKKa mediated activation of MAP kinase in chitin-triggered immunity Koji Yamaguchi <sup>1</sup> , Kenta Yamada <sup>1</sup> , Tomomi Shirakawa <sup>1</sup> , Kazuya Ishikawa <sup>1</sup> , Mari Narusaka <sup>2</sup> , Yoshihiro Narusaka <sup>2</sup> , Kazuya Ichimura <sup>3</sup> , Fukamizo Tamo <sup>1</sup> , Naoto	環境応答/非生物ストレス応答 (乾燥・浸透圧他) 1aI10 Mg-chelatase H subunit: GUN5 controls three physiological functions in Arabilopsis Harue Ibata. Akira Nagatani, Nobuyoshi Mochizuki (Grad. Sch. Sci., Univ. Kyoto)	シンポジウムS01 E	シンポジウムS02	シンポジウムS03 日	11:45
Univ. <sup>2</sup> Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ.)  1aF11 光合成光化学系II における MnCa クラスターの歪んだ椅子型構造の 起源 <u>斉藤圭売<sup>12</sup></u> , 石北央 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東大 院工/ 先端研. <sup>2</sup> JST さきがけ)		Ishikawa <sup>1</sup> , Kazuya Ishimura <sup>2</sup> , Tamo Fukamizo <sup>1</sup> , Naoto Shibuya <sup>3</sup> , Tsutomu Kawasaki <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Grad. School of Agriculture, Kinki Univ. <sup>2</sup> Faculty	1all1 イネの乾燥耐性における酢酸の役割に関する研究 小川大輔 <sup>14</sup> 、金錘明 <sup>24、</sup> 草野都 <sup>23、</sup> 村 松昌幸 <sup>2</sup> 、宮尾光恵 <sup>2</sup> 、関原明 <sup>24、土</sup> 生 芳樹 <sup>14</sup> (農薬生物資源研究所、 <sup>2</sup> 理 研・環境登源科学研究センター、 <sup>3</sup> 筑波大学、 <sup>4</sup> JST, CREST)	Epigenetic and transcriptional	Molecular dissection of reproductive processes	Ectopic meristems and develo	12:00
		of Agriculture, Kagawa Univ, <sup>5</sup> Dept. Life Sci., Meiji Univ)  1aH12  Pattern recognition receptor activation confers salt tolerance in Arabidopsis  Kohji Yanmada <sup>1,4</sup> , <u>Tadashi Fujiwara<sup>2</sup></u> , Hirotaka Ariga <sup>3</sup> , Teruaki Taji <sup>3</sup> , Yusuke Saijo <sup>1,25</sup> , <sup>(1)</sup> Dept. of Plant-Microbe Interactions, Max planck inst. for Plant Bleeding Res., <sup>2</sup> Grad. Sch. Biol. Sci. NAIST., <sup>5</sup> Fac. of Biosci., Tokyo univ. of Agri., <sup>(2)</sup> Grad. Sch. Gari., Kyoto Univ., <sup>5</sup> PRESTO, JST)		Epigenetic and transcriptional control of environmental response (9:30-12:30)	ductive processes in plants(9:30-12:30)	developmental plasticity in plants (9:30-12:15)	12:15

# ●第1日 3月16日(月) 午後(13:30-16:45)

時 間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	栄養成長	生体膜/イオン・物質輸送	一次代謝	光受容体・光応答	膜交通
13:30	1pA01	1pB01 除草剤, ベンタクロロフェノール の作用機構に関する電気生理学的 解析 <u>新免維男</u> (兵庫県立大学大学院生 命理学研究科)	IpC01 <b>⑤</b> Loss of either starch synthase I or branching enzyme IIb alter starch biosynthetic enzyme complex formation in rice endosperm Naoko Crofts¹, Natsuko Abe², Ian J. Tetlow², Michael J. Emes³, Naoko F. Oitome¹, Yasunori Nakamura¹, Naoko Fujita¹ (¹Dep. Biol. Prod., Akita Pref. Univ., ³Grad. Sch. Biol. Prod., Akita Pref. Univ., ³Dep. Mol. Cell Biol., Univ. Guelph)	1pD01 シロイヌナズナ芽生えの脱黄化応答における代謝制御解析 <u>小塚使明</u> ', 高橋勝利', 今井答之', 上村松生', 澤田有司', 平井優美', 長谷あきら <sup>1</sup> (「京大・院理、 <sup>2</sup> 産総研 計測フロンティア、 <sup>3</sup> 岩手大・寒冷 バイオ、 <sup>4</sup> 理研・CSRS)	1pE01 The role of N-glycosylation of SRK in the self-incompatibility response of the Brassicaceae Masaya Yamamoto <sup>12</sup> . Titima Tantikanjan <sup>2</sup> . Takeshi Nishio <sup>1</sup> . Mikhail Nasrallah <sup>2</sup> . June Nasrallah <sup>2</sup> ('Grad. Sch. of Agri. Sci., Tohoku Univ., 'Sec. of Plant Biol., Cornell Univ.)
13:45	1pA02 QTL analysis of leaf morphological traits in Japanese traditional leafy vegetables, Mizuna and Mibuna Yaichi Kawakatsu¹, Kaminoyama Kaori¹, Igarashi Kaori², Nakayama Hokutoi³, Yasugi Masaki⁴, Kudoh Hiroshi⁴, J. Nagano Atsushi⁴⁵, Yano Kentaro², Kubo Nakao⁴, Kimura Seisuke¹ (¹Fac. Life Sci., Kyoto Sangyo Univ. ²Fac. Agri., Meiji Univ. ³Japan Society for the Promotion of Science, ¹Center for Ecological Research, Kyoto Univ. ³JST PRESTO, ¹Grad. Sch.Life Environ. Sci., Kyoto Pref.)	1pB02 木本植物の心材形成時における栄養塩回収機構の解析 真鶏壁! , 栗田悠子! , 馬場啓一², 大西美輪!, 小菅桂子! , 七條千津子!, 石崎公庸! , 深城英弘', 三村徹郎' (†神戸大院・理・生物, <sup>2</sup> 京都大・生存研)	1pC02 Stimulation of axillary buds elongation by metabolite and cytokinin in rice Miwa Ohashi <sup>1</sup> , Keiki Ishiyama <sup>1</sup> , Miyako Kusano <sup>23</sup> , Atsushi Fukushima <sup>2</sup> , Mikiko Kojima <sup>2</sup> , Soichi Kojima <sup>1</sup> , Toshihiko Hayakawa <sup>1</sup> , Hitoshi Sakakibara <sup>2</sup> , Tomoyuki Yamaya <sup>1</sup> ('Grad, Sch. Agr., Univ. Tohoku, <sup>2</sup> RIKEN, CSRS, <sup>3</sup> Grad, Sch. Life and Environmental Sciences., Univ. Tsukuba)	1pD02 Inter-organ communications during shade avoidance response Kazumasa Nito¹, Tomoharu Kajiyama², Junko Unten¹, Akihiko Fujiï, Nobuyoshi Mochizuki¹, Hideki Kambara², Akira Nagatani¹ (¹Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ., ²Central Research Lab., Hitachi, Ltd.)	1pE02 花粉形成過程に必要な受容体キナーゼの機能発現における AtERdy3Bの役割の特異性 加藤詩織! 杉山智之! 野元美佳? 多田安臣?, 山本雅也! 遠藤斗志 世, 西川周一。(「新海人、院・自然、科学、名大・院・理。"玄大・遠伝子、 東北大・院・農。"京産大・総合生 命科学、"新潟大・理・生物)
14:00	1pA03 Developmental and molecular studies on the mechanism of vegetative propagation in <i>Rorippa aquatica</i> Rumi Amano <sup>1</sup> , Hokuto Nakayama <sup>1,2</sup> , Shizuka Gunji <sup>3</sup> , Ali Ferjani <sup>3</sup> , Seisuke Kimura <sup>1</sup> (¹Fac. Life Sci., Kyoto Sangyo Univ. ²JSPS, ³Depart. Biol., Tokyo Gakugei Univ.)	流機構の解析 <u>栗田悠子</u> , 馬場啓一 <sup>2</sup> , 菅野里美 <sup>1</sup> , 杉田亮平, 廣瀬農 <sup>3</sup> , 大西美輪 <sup>1</sup> , 姉 川彩 <sup>1</sup> , 小菅桂子 <sup>1</sup> , 七條千津子 <sup>1</sup> , 石 崎公庸 <sup>1</sup> , 深城英弘 <sup>1</sup> , 田野井慶太 即 <sup>8</sup> 全子康平 <sup>4</sup> 也而五子 <sup>3</sup> 三村	1pC03 PPi opposes gluconeogenesis progression during seed oil mobilization in Arabidopsis Ali Ferjani <sup>1</sup> , Kensuke Kawade <sup>2</sup> , Akira Oikawa <sup>23</sup> , Mariko Asaoka <sup>4</sup> , Kazuki Takahashi <sup>1</sup> , Masanori Ishida <sup>1</sup> , Masayoshi Maeshima <sup>4</sup> , Masami Y Hirai <sup>2</sup> , Kazuki Saito <sup>25</sup> , Hirokazu Tsukaya <sup>6</sup> (¹Depart. Biol., Tokyo Gakugei Univ. ²CSRS., Riken, ³Fac. Agri., Yamagata Univ., ²Grad. Sch. Bioagri. Sci., Nagoya Univ., ⁵Grad. Sch. Pharm. Sci., Chiba Univ., ⁵Grad. Sch. Sci., Tokyo Univ.)	1pD03 ホウライシダの光受容体フィトクロム3における細胞内局在制御ドメインの解明 <u>木村泉美</u> , 鐘ヶ江健(首都大・院理工・生命科学)	1pE03 小胞体―ゴルジ体間のタンパク質 輸送に関わる MAG3の機能解析 高本越平'、高極英之'、長野稔'、藤 原正幸²、深尾陽一朗'、上田晴子'、 田村謙太郎'、嶋田知生'、西村いく こ¹(¹京大院・理、²奈良先端大・バ イオ・植物グローバル)
14:15	1pA04 シダ植物の薬形態異常変異体での LEAFY遺伝子の解析 株缶去、練販恵子、場合裕一(東 京大学理学系研究科生物科学専攻 発生進化研究室)	化について <u>藤原ひとみ</u> <sup>1</sup> , 大西美輪 <sup>1</sup> , 坂山英	IpC04 ピロリン酸代謝関連酵素の機能欠 失がピロリン酸濃度と生育に与え る影響 福田茉由¹,瀬上紹嗣¹,郡司玄², Ali Ferjam²,前鳥正義²('名古屋大・院 生命農,²東京学芸大・教育・生命)		1pE04 BCHIDNAはタンパク質の液胞輸送と液胞の形態に関与する <u>市野野礁</u> 嶋田知生, 西村いくこ (京大・院理)
14:30	1pA05 気孔形成における非対称分裂に影響を与える低分子化合物の解析 阪井裕美子 <sup>1</sup> , 菅野茂夫 <sup>2</sup> , 嶋田知 生, 西村いくこ <sup>1</sup> (京大・院理, <sup>2</sup> 徳鳥大・農工商連携センター)	1pB05 イネにおけるカリウムおよびセシ ウムの動態比較 <u>登達也</u> , 小林奈通子, 田野井慶太 朗, 中西友子(東大・院農)	1pC05 ランダム変異によるラン藻のヘテ ロシスト頻度増加株の作成と水素 生産性の向上 増川一 <sup>12</sup> 、櫻井英博 <sup>2</sup> , 井上和仁 <sup>23</sup> ( <sup>2</sup> 大阪市大・複合先端研 <sup>2</sup> 神奈川 大・光合成水素生産研 <sup>3</sup> 神奈川大・ 理)		1pE05 シロイヌナズナAP-2複合体の生理 機能の解明 門 <u>賜千穂</u> <sup>1</sup> , 髙木純平 <sup>1</sup> , 山岡尚平 <sup>2</sup> , 白川一 <sup>2</sup> , 上田晴戸 <sup>1</sup> , 田村謙太郎 <sup>1</sup> , 小嶋美紀子 <sup>2</sup> , 榊原灯 <sup>1</sup> , 駒田知生 <sup>1</sup> , 西村いくこ <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京大・院理, <sup>2</sup> 京大・院生命, <sup>3</sup> 理研・CSRS)

F会場	G会場	H会場	会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
光合成(光合成色素他)  1pF01 酸素非発生型光合成から酸素発生型光合成への進化 <u>塚谷祐介</u> <sup>12</sup> 。野地智脈 <sup>3</sup> 、溝口正 <sup>4</sup> 、民 大地 <sup>3</sup> 、伊藤繁 <sup>3</sup> 、増田真二 <sup>16</sup> (東工 大地球生命研究所、 <sup>3</sup> ST さきが け、 <sup>3</sup> 名工大院工、 <sup>4</sup> 立命館大院生 命科学、 <sup>5</sup> 名古屋大遺伝子実験施 設、 <sup>6</sup> 東工大バイオ研究基盤支援総 合センター)	ンステム生物学 (オミクス解析) 1pG01 Comparative Transcriptome Analysis of Ericaceous Plants for Elucidation of the Evolution of Achlorophylly in Non-Photosynthetic Plants Hironori Kaminaka <sup>†</sup> , Katsushi Yamaguchi <sup>‡</sup> , Yoshiko Ida <sup>†</sup> , Kei-ichiro Mishiba <sup>‡</sup> , Koji Iwase <sup>‡</sup> , Mikio Nishimura <sup>‡</sup> , Shuji Shigenobu <sup>‡</sup> , Shoji Mano <sup>‡</sup> ( <sup>‡</sup> Fac. Agr., Tottori Univ. <sup>‡</sup> Yatl. Inst. Basic Biol., <sup>‡</sup> Grad. Sch.	植物微生物相互作用(免疫2)  1pH01 Rタンパク質シグナルはゲノムに導入される新生SNPの特徴を変化させる 森明子¹、小川与比古²、猪狩和成²、森田(寺尾)美代¹、田坂昌生²、打田直行³('名古屋大・農、*NAIST・バイオ、3名古屋大・WPI-ITDM)	環境応答/非生物ストレス応答 (ストレス下の成長制御)  1pI01 窒素、リン、カルシウム欠乏に応答して根の伸長を維持することができないイネ(Oryza sativa)変異体 HCA7の解析 吉水良平、藤原徹、大森良弘、田中 伸裕(東大院農)	シンポジウムS4 植物	シンポジウムS05 植物	シンポジウムS06 Nex	13:30
1pF02 緑色硫黄細菌のバクテリオクロロフィル合成に関わる2つの水和化酵素 BchF と BchV の生体内での役割原田二朗 <sup>1</sup> , 寺村美里 <sup>2</sup> , 溝口正 <sup>2</sup> , 塚谷祐介 <sup>34</sup> , 山本健 <sup>4</sup> , 民秋均 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 久留米大・医、 <sup>2</sup> 立命館大院・生命科学、 <sup>3</sup> 東工大・地球生命研、 <sup>4</sup> JST・さきがけ)	Life Env. Sci., Osaka Pref. Univ.,  *Dept. Nat. Env. Sci., Teikyo Univ. of Sci.)  1pG02  Analysis of Diurnal Variation of Transcriptome in Solanum lycopersicum under Agricultural Situation Takanobu Higashi¹, Kotaro Takayama², Hirokazu Fukuda³ ('Grad. Sch. Sci., Univ. Osaka Pref.,  *Fac. Agri., Univ. Ehime, *Grad. Sch. Eng., Univ. Osaka Pref.)	1pH02 <b>3</b> Conservation of a coiled-coil type NLR-triggered immunity across plant lineages and dissection of the bifurcated signaling mechanism Florence Jacob, Xunli Lu, Barbara Kracher, Paul Schulze-Lefert, Takaki Maekawa (Max Planck Institute for Plant Breeding Research)	1pI02 <b>3</b> The Transcription Factor GTL1 Negatively Regulates Root-hair Growth Depending on Multiple Environmental Cues <u>Michitaro Shibata</u> <sup>1</sup> , Christian Breuer <sup>2</sup> , Ayako Kawamura <sup>1</sup> , Luke Braidwood <sup>1</sup> , Keiko Sugimoto <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> CSRS, RIKEN, <sup>2</sup> Univ. of Cologne, Biocenter/Botanical Inst.)	の能力とその利用―植物の	細胞壁の形成と維持のダ	Next generation researches in pla	13:45
1pF03 クロロフィリドa還元酵素の2種類の還元反応の解析 地本治樹 <sup>12</sup> , 加藤美奈 <sup>2</sup> , 溝口正 <sup>4</sup> , 山梨香緒里 <sup>1</sup> , 民秋均 <sup>4</sup> , 栗栖源嗣 <sup>2</sup> , 藤田祐一 <sup>1</sup> ( <sup>4</sup> 名古屋大学大学院生命 農学研究科 <sup>2</sup> 大阪大学蛋白質研究所 <sup>3</sup> 名古屋大学農学部 <sup>4</sup> 立命館大 学大学院生命科学研究科 <sup>1</sup>	1pG03 乾燥環境下におけるダイズ・イネ・トウモロコシの転写経路 圓山基之進!、後藤新悟: 光田展 隆: 石塚徹: 瀧口裕子3, 市川裕章4, 山本義治3, 井内聖: 浦野薫7, 篠崎 一雄7, 付田院農林水産薬研究セン ター、2農研機構・果樹研、3産総研・ 生物プロセス・2農業生物資源研 植物科学、近用生物、2型研・環境資 源科学セ)	1pH03 <b>⑤</b> R protein Pit regulates disease resistance through activation of small GTPase OsRac1 by OsSPIKE1 Yoji Kawano¹². Ko Shimamoto² ('Signal Trans. Immu., PSC, ¹Biosci., NAIST)	1pI03 <b>(3)</b> Nutrient stress triggered callus induction Bart Rymen, Akira Iwase, Keiko Sugimoto (RIKEN CSRS - Cell Function research team)	機能を掘り起こす―(13:30-16:30)	イナミズム(13:30-16:30)	plant physiology: Extensive environmental adaptation	14:00
1pF04 <b>(3)</b> Chlorophyll <i>b</i> Can be Synthesized from Pre-existing Chlorophyll <i>a</i> in Photosystems in <i>Arabidopsis thatiana</i> Ting JIA <sup>1</sup> , Hisashi Ito <sup>1,2</sup> , Ayumi Tanaka <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> Inst Low Temp Sci. Hokkaido Univ. <sup>2</sup> JST CREST)	1pG04 プラキボディウムの種子発達に伴 うトランスクリプトーム解析 <u>井上小韓<sup>12</sup></u> , 持田恵一, 上原由党 子, 佐々木忠将, 篠崎一雄, 島田 浩章 <sup>2</sup> (「理研・環境資源科学セン ター、 <sup>2</sup> 東京理科大・院・生物工)	1pH04 <b>⑤</b> SMN1 is Required for Dwarf and Cell Death Phenotypes of Arabidopsis mekk1 and mpk4 Momoko Takagi¹, Kohei Hamano¹, Alexander Graf², David Greenshields³, Hiroki Takagi⁴, Kazuo Shinozaki³, Ryohei Terauchi⁴, Ken Shirasu³, Kazuva Lchimura¹ (¹Facult. Grad. Sch. Agri., Kagawa Univ., ²Sainsbury Lab., JIC, UK, ³RIKEN CSRS, ⁴Iwate Biotech. Res. Cent.)	1pI04 <b>③</b> WIND1-regulated molecular network leading to cellular dedifferentiation Akira Iwase¹, Kengo Morohashi¹, Mariko Ohnuma¹, Momoko Ikeuchi¹, Nobutaka Mitsuda², Keiko Sugimoto¹ (¹RIKEN, CSRS Cell Function Research Team, ²AIST, Bioproduction Research Institute)			in plants	14:15
1pF05 Lactonization of Chl a in the presence of grated pineapple in aqueous acetone Yuhta Sorimachi¹, Masataka Nakazato², Masami Kobayashi¹ (¹Div. Materials Sci., Fac. Pure and Applied Sci., Univ. Tsukuba, ²Chlorophyll Res. Inst., Yamanashi)	1pG05 世代交代を制御する転写調節因子 KNOX2遺伝子の下流遺伝子の探索 棚原直子! 西山智明: 塚谷裕一! (で東京大学)学理男子研究科. *金沢大学・学際科学実験センター)	1pH05 <b>⑤</b> ATR4, a downy mildew effector recognized by its cognate <i>R</i> gene <i>RPP4</i> , evades recognition by changing in <i>planta</i> subcellular localization Shuta Asai¹². Oliver J. Furzer², Volkan Cevik², Naveed Ishaque², Ken Shirasu¹, Jonathan D.G. Jones² (¹Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, ²The Sainsbury Laboratory, UK)	1p105 DNA損傷応答に関わる転写因子 SOG1の標的遺伝子の解析 <u>荻田伸夫</u> <sup>1</sup> , 獎鳥葉子 <sup>1</sup> , 倉田哲也 <sup>1</sup> , 時澤睦朋 <sup>2</sup> , 山本義治 <sup>2</sup> , 高橋直紀 <sup>1</sup> , 梅田正明 <sup>14</sup> (学良先端大・バイオ, <sup>2</sup> 岐阜大・連農 <sup>2</sup> , 160 「以早大・連農 <sup>2</sup> , 160 「以早大・連農 <sup>2</sup> , 160 「以早大・返用生物 <sup>2</sup> , 160 「以早大・変子、160 「以早大・変子、160 「以早大・変子、160 「以早大・変子、160 「以来大・変子、160 「以来大・変子、160 「以来大・160 「以来大・160 「以来大・160 「以来大・160 「以来大・160 「以来大・160 「以来大・160 「以来大・160 「以来大・160 「以来大・160 「以来大・160 「以来大・160 「以来大・160 「以来大・160 「以			(13:30–16:30)	14:30

# ●第1日 3月16日(月) 午後(13:30-16:45)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	栄養成長	生体膜/イオン・物質輸送	一次代謝	光受容体・光応答	膜交通
14:45	1pA06 Search for the regulators of early sporophyte development in Marchantia polymorpha Masaki Niwa¹, Yuuki Sakai¹, Asuka Higo¹, Motomu Endo¹, Ayako Yamaguchi¹, Kimitsune Ishizaki², Katsuyuki T. Yamato³, Ryuichi Nishihama¹, Takashi Ishida¹, Shinichiro Sawa⁴, Takayuki Kohchi¹, Takashi Araki¹ (¹Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Uniw. ²Grad. Sch. Sci., Kobe Uniw. ³B.O.S.T., Kinki Uniw. ⁴Grad. Sch. Sci. Kobe Uniw. ³B.O.S.T., Kinki Uniw. ⁴Grad. Sch. Sci. Technol., Kumamoto Uniw.)	1pB06 根のマグネシウム吸収動態の放射 性同位元素を用いた解析 小 <u>林を通子</u> , 田野井慶太朗, 鈴木 寿', 岩田鍊', 中西友子'('東京大 学大学院農学生命科学研究科, '放 射線医学验合研究所' 東北大学サ イクロトロン・ラジオアイソトー ブセンター)	1pC06 ラン藻と高等植物の葉緑体の亜硝酸イオン輸送体の解析 前田 <u>自</u> 一、小俣達男(名古屋大・ 院生命農学)	1pD06 青色光依存の気孔開口に関与する H*-ATPase 分子種 山内麹龙, 武宮淳史*, 倉田哲也*, 堤俊文 <sup>1</sup> , 待木美佳 <sup>1</sup> , 木下俊則* <sup>5</sup> , 島崎研一郎* ( <sup>1</sup> 九州大・システム 生命 <sup>2</sup> 九州大・理 <sup>3</sup> 奈良先端技術 大・バイオサイエンス, <sup>4</sup> 名古屋大 院・理, <sup>5</sup> 名古屋大・WPI-ITbM)	IpE06 Insights into the Localization and Function of the Membrane Trafficking Regulator GNOM ARF-GEF at the Golgi Apparatus in Arabidopsis Satoshi Naramoto¹, Marisa Otegui², Riet de Rycke³, Tomoko Dainobu¹, Hiroo Fukuda¹, Akihiko Nakano¹⁴, Jin Frimi¹ ("Dept. Biol. Sci., Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, "Dept. Botany and Genetics, Univ. Wisconsin." 3 Dept. Plant Systems Biol. VIIB, Univ. Ghent. 'Live Cell Molecular Imaging Research Team, Extreme Photonics Research Group, RIKEN, 5nstitute of Science and Technology Austria)
15:00	1pA07 ゼニゴケNIMA関連キナーゼの機能解析 佐田健人 <sup>1</sup> , 石崎公庸 <sup>2</sup> , 河内孝之 <sup>2</sup> , 本瀬宏康 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 岡山大・院自然科学, <sup>2</sup> 神戸大・院理。 <sup>3</sup> 京都大・院生命科 学)	1pB07 <b>⑤</b> Dual, real-time monitoring of cytoplasmic Ca <sup>2+</sup> and ROS level using photoproteins. <u>Takuya Furuichi</u> <sup>1</sup> , Masaki Kuse <sup>2</sup> (¹Dept. of Health and Nutrition, Gifu Women's Univ., ²Grad. Sch. Agri. Sci. Kobe Univ.)	1pC07 Identification of a specific combination of DNA elements in the promoter regions of ammonium responsive genes in Arabidopsis root Noriyuki Konishi. Keiki Ishiyama, Aoi Maruyama, Masahide Saito, Ikumi Maru. Toshihiko Hayakawa, Tomoyuki Yamaya, Soichi Kojima (Grad. Sch. Agr., Univ. Tohoku)	1pD07 青色光によるアニオンチャネルの 不活性化を介した気孔開口保進 極山廉美!、武宮淳吏: 杉山直幸? 鳥崎研一郎 <sup>2</sup> ('九州大院・システ ム生命, <sup>2</sup> 九州大院・理, <sup>3</sup> 京大・薬)	1pE07 PIN タンパク質の細胞内輸送に関 わる <i>BEN3</i> の解析 田中左恵子, 松浦友紀, Maciej Adamowski <sup>2</sup> , Jiri Frimi <sup>2</sup> , 柿本辰男 <sup>1</sup> , 田中博和 <sup>1</sup> (「大阪大・院生物科学、 <sup>2</sup> IST, Austria)
15:15	1pA08 ヒメツリガネゴケがもつ4つの AN3ホモログの発現様式 川出健介, 藤田知道(北大・院・理)	1pB08 細胞膜HLA3と葉緑体包膜LCIAは 重炭酸輸送に協調的に働き、低 CO。環境において光合成を維持する 山野隆志、佐藤江美、井口ひろ、福 田有里、福澤秀哉(京大・院生命)	1pC08 <b>3</b> The C/N regulatory ubiquitin ligase ATL31 is localized to membrane compartment and associated with TGN-localized SNARE proteins in <i>Arabidopsis</i> Thais Huarancca Reves¹, Tomohiro Uemura², Takeo Sato¹, Junji Yamaguchi¹ ('Grad. Sch. Life Sci., Hokkaido Univ., <sup>2</sup> Grad. Sch. Sci., Univ. of Tokyo)	1pD08 青色光に依存した気孔開口におけるフォトトロピンシグナル伝達初期過程のin vitro 再構成 武宮淳史¹、土井彩加²、吉田早祐 美'、岡島公司²、徳富哲²、鳥崎研一郎'('九州大・院理,'大阪府大・院理	<u>伊藤瑛海</u> <sup>1</sup> , 加藤直也 $^{1}$ , 石原敬史 $^{1}$ , 鈴木千絵 $^{1}$ , 杉山友希 $^{1}$ , 上田貴志 $^{12}$ , 中野明彦 $^{13}$ ( $^{1}$ 東大・院・理系, $^{2}$ さ
15:30	1pA09 <b>⑤</b> Kinematic analysis and mathematical modeling of the effects of aluminum on root Growth in <i>Arabidopsis thaliana</i> Akitoshi Iwamoto¹. Chiaki  Umemura¹, Iwai Ohbayashi¹, Jian Peng Ma² (¹Department of Biology, Tokyo Gakugei University, ²Institute of Plant Science, Okayama University)		1pC09 糖と窒素栄養応答に関与する核局 在BTBタンパク質の機能解析 佐々木勇樹',安田盛貴',柳澤修 一 <sup>2</sup> ,佐藤長緒',山口淳二'(北海 道大・院生命 <sup>2</sup> 東大・生物生産工 学研究センター)	1pD09 フォトトロピンの自己リン酸化の機能的意義の解析 土井彩加 <sup>1</sup> , 武宮淳史 <sup>2</sup> , 井上晋一郎 <sup>3</sup> , 鳥崎研一郎 <sup>3</sup> ( <sup>3</sup> 九州大院・システム生命。 <sup>3</sup> 九州大院・理。 <sup>3</sup> 名古屋大院・理)	1pE09 環境変化によるSYP132の局在変 化の解析 <u>海老根一生<sup>1</sup></u> 、植村知博 <sup>1</sup> ・中野明 彦 <sup>12</sup> 、上田貴志 <sup>13</sup> (東大院・理・生 物科学、 <sup>2</sup> 理研・光量子工学、 <sup>3</sup> JST・ さきがけ)

F会場	G会場	H会場	会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
光合成(光合成色素他)  1pF06	システム生物学 (オミクス解析) 1pG06 液体クロマトグラフィー-フーリ エ変換イオンサイクロトロン共 鳴-質量分析による合窒素代謝物 特異的分析系の構築 中林売 <sup>1</sup> 、斉藤和季 <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> 理研 CSRS、 <sup>2</sup> 千葉大院・薬)	植物微生物相互作用 (免疫2)  1pH06 <b>③</b> Identification of Low-Molecular Inhibitors for Salicylic Acid Signaling Pathway by a High-Throughput Chemical Screening Nobuaki Ishihama¹, Yoshiteru Noutoshi², Seung-won Choi¹, Ivana Saska¹, Yuko Nomura¹, Hirofumi Nakagami¹, Kazutaka Murayama³, Mikako Shirouzu⁴, Yasumitsu Kondoh¹, Hiroyuki Osada¹, Ken Shirasu¹ (¹RIKEN CSRS, ²Grad, Sch. Env. Life Sci., Okayama Univ., ²Grad, Sch. Biomed, Eng., Tohoku Univ., ⁴RIKEN CLST)	環境応答/非生物ストレス応答 (ストレス下の成長制御)  1pI06 Regulation of auxin signaling is essential for stem cell maintenance under DNA stress conditions Naoki Takahashi¹, Masaaki Umeda¹²(¹Grad. Sch. Bio. Sci., NAIST. ²JST, CREST)	シンポジウムS0 植物の能力とその利用	シンポジウムS5 植物細胞壁の形成	シンポジウムの6 Next generation re	14:45
1pF07 (a) Changes in Antenna Sizes of Photosystems during State Transitions in Granal and Stroma- exposed thylakoid membrane by  microscopic fluorescence  spectroscopy Eunchul Kim 12. Tae Kyu Ahn 1.  Shigeichi Kumazaki 2 (1) Dept. of  Energy Science, Sungkyunkwan  Univ., Korea, 2 Grad. Sch. Sci., Kyoto  Univ.)	IpG07 Metabolomic diversity of representative soybean cultivars in 35 years of breeding Miyako Kusano <sup>12</sup> , Ivan Baxter <sup>3</sup> , Atsushi Fukushima <sup>1</sup> , Akira Oikawa <sup>1</sup> , Yozo Okazaki <sup>1</sup> , Ryo Nakabayashi <sup>1</sup> , Denise J. Bouvrette <sup>1</sup> , Frederic Achard <sup>1</sup> , Andrew R. Jakubowski <sup>1</sup> , Joan M. Ballam <sup>1</sup> , Jonathan R. Philips <sup>1</sup> , Angela H. Culler <sup>1</sup> , Kazuki Saito <sup>15</sup> , George G. Harrigan <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> RIKEN Center for Sustainable Resource Science, Yokohama, <sup>2</sup> Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, <sup>3</sup> Agricultural Research Service Plant Genetics Research Unit, Donald Danforth Plant Science Center, United States Department of Agriculture, <sup>4</sup> Monsanto Company, <sup>5</sup> Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Chiba University)	1pH07 <b>(3)</b> Small GTPase OsRac1-indued S-nitrosylation of GAPDH plays a critical role in rice immunity Ken-Ichi Kosami¹¹, Jing Su¹, Tadashi Fujiwara¹, Letian Chen¹, Masayuki Fujiwara¹, Hann Ling Wong¹, Tsutomu Kawasaki¹³, Ko Shimamoto¹, Yoji Kawano¹⁵ (¹Laboratory of Plant Molecular Genetics, Grad. Dept. of Biological Science, NAIST. ²Plant Science Education Unit, Dept. of Biological Science, NAIST. ³Laboratory of Plant Molecular Genetics, Dept. of Biological Science, Kinki University, ¹Institute for Protein Research, Osaka University, ⁵Signal transduction and Immunity Group, Shanghai Center for Plant Stress Biology)	1pI07 Brassinosteroids are involved in stem cell replenishment in Arabidopsis roots under DNA stress conditions Keisuke Fujimoto¹, Naoki Takahash¹, Masaaki Umeda¹² (¹Grad. Sch. Bio. Sci., Naist, ²JST, CREST)	―植物の機能を掘り起こす―	形成と維持のダイナミズム(13:30-16:30)	Next generation researches in plant physiology: Extensive en	15:00
1pF08 クロロフィル蛍光測定から見えるシアノバクテリアの代謝系間相互作用 小川敬子, 鈴木健太, 園池公毅(早稲田大・教育)	IpG08 Integrated Metabolomic and Transcriptomic Analysis Reveals Glutathione Independent Networks under Oxidative and Phosphrus Stresses in Arabidopsis Atsushi Fukushima', Mami Iwasa², Ryo Nakabayashi¹, Makoto Kobayashi¹, Makoto Suzuki¹, Naomi Hayashi¹, Tomoko Nishizawa¹, Yozo Okazaki¹, Kazuki Saito¹³, Miyako Kusano¹⁴ (*RIKEN CSRS, *Nissan Chem. Ind. LTD., ³Grad. Sch. Pharm., Chiba Univ. ⁴Grad. Sch. Life & Env. Sci., Univ. Tsukuba)	1pH08 植物免疫における膜局在型ユビキ チンリガーゼATL31のリン酸化と その機能解析 安田盛貴 <sup>1</sup> 、長谷川陽子 <sup>2</sup> 、門田康 弘 <sup>3</sup> 、深尾陽一朗 <sup>4</sup> 、佐藤長緒 <sup>4</sup> 、山口 淳二 <sup>1</sup> (北大院・理学研究院 <sup>2</sup> 北大・ 理, <sup>3</sup> 理研・CSRS, <sup>4</sup> 奈良先端大・植 物グローバル)	IpI08 ● tasiRNA-ARF pathway moderates floral architecture in plants subjected to drought and high-salinity stress Akihiro Matsui¹, Kayoko Mizunashi¹, Maho Tanaka¹, Eli Kaminuma¹, Hai Anh Nguyen¹³, Maiko Nakajima¹, Jong-Myong Kim¹, Van Dong Nguyen³, Tetsuro Toyoda¹, Motoaki Seki¹³⁵, ¹Plant Genomic Network Research Team, RIKEN CSRS. ³National Institute of Genetics. ³AGI, VAAS. ⁴Integrated Database Unit, RIKEN ACCC. ⁵Kihara Institute for Biological Research, Yokohama City Univ. °CREST, JST)	(13:30–16:30)		Extensive environmental adaptation in plants	15:15
1pF09 呼吸および葉緑体呼吸がプラストキノンブールの酸化還元状態に与える影響から見た藻類の多様性 三角授注 <sup>1</sup> 、輌達也 <sup>2</sup> 、関池公毅 <sup>4</sup> (「早稲田大・教育、 <sup>2</sup> 東京理大・理)		1pH09 BF-Tuの新規エピトープ部位であるEFa50のイネにおける認識機構 古 <u>川岳人</u> , 稲垣宏明, 澤井美広, 高 井亮広、平井洋行, 蔡身植(長浜 バイオ大学大学院バイオサイエン ス研究科植物分子環境生理学)	1p109 環境ストレス時の生長制御機構の解析 戸高大輔 <sup>1</sup> , 趙宇 <sup>1</sup> , 工藤まどか <sup>1</sup> , 篠 崎一雄 <sup>2</sup> , 篠崎和子 <sup>1</sup> (「東大院・農 学生命科学、 <sup>2</sup> 理研・環境資源科学 研究セ)			(13:30–16:30)	15:30

# ●第1日 3月16日(月) 午後(13:30-16:45)

時間	A 会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	栄養成長	生体膜/イオン・物質輸送	一次代謝	光受容体・光応答	膜交通
15:45	IpA10 A ROS responsible TF regulates root growth by directly controlling expression of novel protein that modulates cell length.  Kaho Mabuchi¹, Hiromasa Maki¹, Takamasa Suzuki²³, Mika Nomoto², Wolfgang Busch¹, Tetsuya Higashiyama²³, Philip Benfey⁵, Yasuomi Tada², Hironaka Tsukagoshi³⁵ (¹Grad. Sch. Bioagr. Sci., Nagoya Univ. ²Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ. ³ERATO, JST. ³Gregor Mendel Inst. ¬WPI-ITbM, Nagoya Univ. °Duke Univ. ¬Center for Gene Res., Nagoya Univ. °PTESTO, JST)		IpC10 C/N栄養環境を伝達する鍵代謝物 およびシグナル伝達系に関する解 析 佐藤長緒 <sup>1</sup> , 青山翔紀 <sup>1</sup> , Yu Lu <sup>1</sup> , Lunn John <sup>2</sup> , Stitt Mark <sup>2</sup> , 山口淳二 <sup>1</sup> (北大院・理, <sup>2</sup> Max Planck Institute of Molecular Plant Physiology)	1pD10 Amino acids in the Linker region are involved in light activation of the kinase in Arabidopsis phototropin1 <u>Sachiko Kashojiva</u> , Koji Okajima, Satoru Tokutomi (Dept. of Biol.Sci., Osaka Pref. Univ.)	IpE 10 Systematic analysis of SNAREs in the liverwort, Marchantia polymorpha Takehiko Kanazawa¹, Atsuko Era², Naoki Minamino¹, Yu Shikano¹, Masaru Fujimoto³, Ryuichi Nishihama¹, Katsuyuki Yamato⁵, Kimitsune Ishizaki⁵, Tomoaki Nishiyama², Takayuki Kohchi⁴, Akihiko Nakano¹⁵, Takayuki Kohchi⁴, Akihiko Nakano¹⁵, Takayuki Kohchi⁴, Akihiko Nakano¹⁵, Takashi Ueda¹¹⁵ (¹Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, 'Ñatl. Inst. Genet., 'Ğrad. Sch. Agri. Life Sci., Univ. Tokyo, 'Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ., 'Fac. Biol. Orient. Sci. Tech., Kinki Univ. 'Grad. Sch. Sci., Univ. Kobe, 'ĀSRC, Kanazawa Univ., '§RIKEN RAP, 'PRESTO, JST)
16:00	1pA11 (a) In vivo imaging analysis of the haustorium development in the parasitic plant Phtheirospermum japonicum. Takanori Wakatake. Satoko Yoshida. Ken Shirasul 2 (Biology, Graduate School of Science, University of Tokyo, RIKEN CSRS)		1pC11 Comprehensive detection of chloroplastic protein complexes revealed the novel regulator of nitrogen metabolisms Atsushi Takabayashi. Ayumi Tanaka (ILTS, Hokkaido Univ.)	1pD11 <b>③</b> Gene expression of CPD photolyase is primarily mediated by UVR8- and cryptochrome-dependent pathways in de-etiolated Arabidopsis seedlings Nan Li¹, Mika Teranishi¹, Tomonao Matsushira², Masaaki Watahiki¹, Tomohiko Tsuge⁵, Jun Hidema¹ (¹Grad. Sch. Life Sci. Tohoku Univ. ³Fac. Agr. Kyushu Univ. ³IST PRESTO. ⁴Fac. Sci. Hokkaido Univ., ⁵Inst. Chem. Res. Kyoto Univ.)	南野尚紀 <sup>1</sup> , 金澤建彦 <sup>1</sup> , 恵良厚子 <sup>2</sup> ,
16:15	1pA12			1pD12 基部陸上植物ゼニゴケのUV-B受容体の機能解析 姦戸健,宮城祐太,藤平健太,西 浜竜一,石崎公庸,河内孝之。近 藤陽一,(関東学院大学大学院工 学研究科物質生命科学専攻, <sup>2</sup> 京大 院・生命科学, <sup>3</sup> 神戸大・院・理)	1pE12 ゴルジ体 - 葉緑体間タンパク質輸送に関与するイネ膜タンパク質 TMP1の解析 <u>及川和聡</u> <sup>1</sup> , 伊東七実子 <sup>2</sup> , 中山勇 希 <sup>2</sup> , 石山隆一 <sup>2</sup> , 金古堅太郎 <sup>1</sup> , 古賀 彩、谷内智子 <sup>2</sup> , 高松壮 <sup>2</sup> , 三ツ井敏 明 <sup>12</sup> (「新潟大学農 応生化、 <sup>2</sup> 新潟 大学院 自然科学)
16:30	1pA13 タバコ属を用いた異科接木の挑戦 野田口理整 <sup>12</sup> 、佐藤良勝 <sup>8</sup> 、東山哲 也 <sup>123</sup> ('名古屋大学理学研究科, 'JST ERATO 東山ライブホロニク スプロジェクト, <sup>38</sup> 右古屋大学トラ ンスフォーマティブ生命分子研究 所)				

F会場	G会場	H会場	会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
光合成(光合成色素他)  1pF10 ホスファチジルグリセロールを欠損した業線体はなぜ発達が阻害されるのか 産井祥、小林康一、和田元(東京大・院・総合文化)	システム生物学 (オミクス解析)	植物微生物相互作用(免疫2)  1pH10 イネの過敏感細胞死を誘導する新 規エフェクタータンバク質IPPT の同定 <u>鈴木愛芽</u> <sup>1</sup> 、柳生晩輝 <sup>2</sup> 、川口雄正 <sup>2</sup> 、 近藤真千子 <sup>1</sup> 、蔡見植 <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> 長浜バイオ大、バイオ) <sup>2</sup> 長浜バイオ大院・ バイオ)	環境応答/非生物ストレス応答 (ストレス下の成長制御) 1pI10 バイオマス生産性を向上させた乾 燥ストレス耐性植物の創出 工 <u>藤まどか</u> 、戸高大輔、篠崎和子 (東大院・農学生命科学)	シンポジウムS04	シンポジウムS05	シンポジウムS06	15:45
1pF11 シロイヌナズナの葉緑体に存在する酸性膜間の機能に関する研究 堀遥香 小林康一,和田元(東大・院・総合文化)		1pH11 エンパクの細胞表面に存在するチオレドキシンはエフェクタービクトリンの構的である 兼市大輝 <sup>1</sup> 、中神弘史 <sup>2</sup> 、斎藤隆一郎 <sup>2</sup> 、中屋敷均 <sup>2</sup> 、土佐幸雄 <sup>2</sup> 、真山滋志 <sup>4</sup> 、多田野臣 <sup>2</sup> (名古屋大・院生命理学、 <sup>2</sup> 理研CSRS、 <sup>3</sup> 神戸大農 <sup>4</sup> 吉備国際大、 <sup>5</sup> 名古屋大学遺伝子実験施設)  1pH12 <b>③</b> PiPE、a Phytophthora-associated PAMPS from P. infestans, Binds to a Ca <sup>2</sup> ・Dependent Protein Kinase (CDPK) in Potato for the Induction of Hypersensitive Reaction Maotaka Furucihi <sup>12</sup> 、Kazutoshi Vokokawa <sup>2</sup> 、Masahito Ohta <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Mol Plant Pathology, Grad. Sch. Sci. Technology, Niigata U. (Grad. Sch. Sci. and Technology, Niigata U.)	1pI11 シロイヌナズナにおけるフェア リーリング形成化合物 (ICA,AHX,AOH)への遺伝子発現応答 岩本耕太郎 <sup>1234</sup> 、酒井晶子 <sup>2</sup> 、深沢知加子・表別倫宏 <sup>3</sup> ・青拳大院・ 河岸洋和 <sup>124</sup> 、本橋令王 <sup>1</sup> (静大院・ 農学 <sup>3</sup> 静大・グリーン研、 <sup>3</sup> 静県大・ 業、 <sup>4</sup> 静大院・創造)	植物の能力とその利用―植物の機能を掘り起こす― (13:30-16:30)	植物細胞壁の形成と維持のダイナミズム(13:30-16:30)	Next generation researches in plant physiology: Extensive environmental adaptation in plants (13:30–16:30)	16:00 16:15

### ●第2日 3月17日(火) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	栄養成長	転写制御	一次代謝・二次代謝	時計	オルガネラ
9:00	2aA01 Heterotrimeric G proteins は CLAVATA シグナル 伝達経路と協 調的に機能し 茎頂分裂組織における細胞増殖の制御を行う 石田商志!、田畑売!、山田昌史! 相 田光宏 <sup>3</sup> 、光増可奈子! 樋口雅之 <sup>3</sup> 。 辻寛之 <sup>3</sup> 、鳥本功 <sup>3</sup> 、澤進一郎'(「膝 本大・院・自然科学、 <sup>3</sup> Duke Univ. <sup>3</sup> 奈良先端大・バイオ)	2aB01 ラン藻 <i>Anabaena</i> sp. PCC7120における遺伝子発現制御系の開発 <u>P配後明佳<sup>12</sup></u> , 井須敦子 <sup>12</sup> , 深合佑 紀 <sup>12</sup> , 久媚徹 <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> 東工大・資源研, <sup>2</sup> JST・CREST)	2aC01 AIイオンが高シュウ酸植物の代謝 に及ぼす影響 <u>宮城教子</u> <sup>1</sup> , 橋田慎之介 <sup>2</sup> , 後藤文 之 <sup>2</sup> , 川合真紀 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 埼玉大・院・理工, <sup>2</sup> 電中研・環境科学研究所)	2aD01 The EC nighttime repressor plays a crucial role in modulating circadian clock transcriptional circuitry by conservatively double-checking both warm-night and nighttime-light cues in Arabidopsis thaliana Miki Kitayama, Chieko Takayama, Mayuka Tsubouchi, Haruka Oka, Yuji Nomoto, Takafumi Yamashino, Takeshi Mizuno (Nagoya Univ.AGR)	
9:15	2aA02 イネの腋芽形成の開始機構の解析 田中若奈 <sup>12</sup> , 大森良弘 <sup>1</sup> , 牛鳥智一 <sup>3</sup> 松板弘明 <sup>3</sup> , 松下智直 <sup>3</sup> , 能丸畝≢ <sup>32</sup> , 河野重行 <sup>2</sup> , 平野博之 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専 攻 <sup>3</sup> 東京大学大学院 新領域制成 科学研究科 先端生命科学専攻。 <sup>3</sup> 九州大学大学院農学研究院)	2aB02 シアノバクテリア Synechocystis sp. PCC 8803における暗条件下での 転写因子でAbrB2の役割 花井正実 <sup>1</sup> , <u>佐藤雄</u> 介 <sup>1</sup> , 宮城敦子 <sup>1</sup> , 川合真紀 <sup>1</sup> , 田中協子, 金子康子 <sup>1</sup> , 西山佳孝 <sup>1</sup> , 日原由香子 <sup>123</sup> (埼玉 大・院理工, <sup>2</sup> JST・さきがけ, <sup>3</sup> JST・CREST)	2aC02 イネのシュウ酸蓄積におけるイソ クエン酸経路の寄与 <u>西丸拓也</u> 。宮城敦子、山口雅利、川 合真紀(埼玉大・院・理工)	2aD02 Identification and characterization of a set of novel circadian clock-associated genes through a new approach in Arabidopsis thaliana Mayuka Tsubouchi, Miki Kitayama, Haruka Oka, Yuji Nomoto, Takafumi Yamashino, Takeshi Mizuno (NagoyaUniv.AGR)	2aE02 植物細胞におけるゴルジ体形成・維持機構の解析 <u>健康客子</u> , 植村知博。湖城恵 <sup>34</sup> , 馳澤盛一郎。, 上田貴志 <sup>25</sup> , 中野明 彦 <sup>12</sup> (理研・光量子工学研究領域、 <sup>2</sup> 東京大・院・理、 <sup>3</sup> 東京大・院・新 領域、 <sup>4</sup> エルピクセル(株)。 <sup>5</sup> さき がけ)
9:30	2aA03 イネの葉の初期発生における OsWOX4の機能解析 安居佑季子, 大森良弘 <sup>12</sup> , 平野博 之 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東大院・理, <sup>2</sup> 東大院・農生科)	2aB03 クロロフィル分解関連遺伝子の発現を制御する転写因子の探索 小田 (山溝) 一手型 <sup>2</sup> , 光田展隆 <sup>3</sup> , 坂本真吾 <sup>3</sup> , 小川大輔 <sup>3</sup> , 高木優 <sup>5</sup> , 大 宮あけみ <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 農研機構 花き研, <sup>2</sup> 日本学術振興会, <sup>3</sup> 産総研生物プロセス, <sup>4</sup> 和歌山県 暖地園芸セ, <sup>5</sup> 埼玉大 戦略的研究部門)	2aC03 ゲンチオオリゴ糖をシグナルとするリンドウ越冬芽の休眠調節機構の解明 <u>高種秀行</u> , 今村智弘。金野尚武。藤田晃平 <sup>1</sup> , 竹田匠 <sup>1</sup> , 西原昌宏 <sup>1</sup> ('岩手生物工学研究センター, <sup>2</sup> 東京理科大・基礎工, <sup>3</sup> 宇都宮大・農)	2aD03 Molecular mechanisms underlying the clock-controlled and PIF4- mediated diurnal and photoperiodic seedling growth including the elongation of hypocotyls in Arabidopsis thaliama . Haruka Oka, Funi Yoshimura, Mayuka Tsubouchi, Miki Kitayama, Yuji Nomoto, Takafumi Yamashino, Takeshi Mizuno (Nagoya Univ, AGR)	2aE03 The study of a plasma membrane protein involved in cell polarity in Physcomitrella patens Iunling Ren¹, Yuya Tsuchiya¹, Mitsuyasu Hasebe², Tomomichi Fujita³ (¹Grad. Sch. of Life Sci., Hokkaido Univ., ²Div. of Evol. Biol., NIBB, ³Fac. of Sci., Hokkaido Univ)
9:45	2aA04	2aB04 EPRIの新奇転写抑制モチーフの 機能解析 <u>伊藤丘</u> . 岡村僚太, 佐久間哲史, 山 本卓, 高橋陽介(広島大院・理)	2aCO4 Biochemical elucidation of binding mechanisms of sulfur containing amino acids to regulatory domains on PGDH from Arabidopsis Eiji Okamura. Masami Yokota Hirai (RIKEN CSRS Metabolic Systems Research Team)	2aD04 シロイヌナズナの概日リズム周期 を調整する新規低分子化合物群 中道範人 <sup>123</sup> 、上原貴犬。山口潤一 郎 <sup>12</sup> 。 西尾早織、瀧京美'笠原博 幸 <sup>14</sup> 、伊丹健一郎 <sup>12</sup> 、木下俊則 <sup>12</sup> (「名古屋大学 WPI・トランス フォーマティブ生命分子研究所、 <sup>2</sup> 名古屋大学快理学研究科、 科学技術振興機構 さきがけ、「理 化学研究所 環境資源科学研究セ ンター)	2aE04 タバコ BY-2 細胞を用いた Erwinia carotovora 培養濾過液誘導性細胞 死における液配単純化の観察 平川由麦, 絵垣匠!, 野村俊尚! 馳 澤盛一郎' ( <sup>1</sup> 東京大・院・新領域, <sup>2</sup> 理研・CSRS)
10:00	2aA05 維管束幹細胞の細胞運命制御機構の解析 <u>齊藤真人</u> , 近藤侑貴, 福田裕穂(東 大・院・理)	因子の探索と解析 <u>藤原すみれ</u> ,中井勇介 <sup>1</sup> ,坂本真 吾,木越景子,野村有子 <sup>2</sup> ,中神弘 史 <sup>2</sup> ,鄭貴美 <sup>1</sup> ,高木優 <sup>13</sup> (「産総研・ 生物プロセス。 <sup>2</sup> 理研・CSRS、 <sup>3</sup> 第王 北、瑞梅弘帝)	2aC05 <b>⑤</b> Understanding the dynamic behaviours of aspartate-family amino acids concentrations via mathematical model Kansuporn Sriyudthsak¹² Yuji Sawada¹ Yukako Chiba¹⁴ Yuji Sawada¹ Yukako Chiba¹⁴ Yii Yamashita³ Ayuko Kuwahara¹² Shigehiko Kanaya²⁵ Hitoshi Onouchi²⁵ Toru Fujiwara¹² Satoshi Naito³⁵ Shiraishi Fumihide⁵ Masami Yokota Hira¹¹² (¹CSRS, RIKEN, ¹JST, CREST, ³Grad. Sch. Life. Sci., Hokkaido Univ. ¹Facul. Sci., Hokkaido Univ. ¹Grad. Sch. Agr., Hokkaido Univi., ¬Grad. Sch. Agr., Life Sci., ³Grad. Sch. Agr., Life Sci., ³Grad. Sch. Agr., Life Sci., ³Grad. Sch. Biore. Bioenvtl. Sci., Kyushu Univ.)	2aD05 Arabidopsis deadenylases, AtCCR4a and AtCCR4b play an important role in determining the poly(A) length of CCA1 and TOC1 transcripts. Yuya Suzuki¹, Masami Yokota Hirai², Pamela J. Green³, Junji Yamaguchi¹⁴, Yukako Chiba¹⁴⁵, 'Grad. Schl. Life Sci., Hokkaido Univ., *RIKEN CSRS. *Delaware Biotech. Inst., Univ. Delaware, 'Fac. Sci., Hokkaido Univ., *JST PRESTO)	2aE05 炭疽病菌の侵入菌糸嚢膜に局在する因子の解析 島田貴士',高野義孝',植村知博', 中野明彦' <sup>3</sup> 、上田貴志' <sup>4</sup> (「東京大・院理, 「京都大・院農, <sup>3</sup> 理研・光量 子工学, <sup>4</sup> さきがけ)
10:15	2aA06 根端分裂組織における維管束細胞 の分裂活性化機構 伊藤 (大橋) 恭子 三枝毬亜, 福 田裕穂 (東大・院・理)	2aB06 (3) The substrate specificity of RNA DEPENDENT RNA POLYMERASE 6 Kyungmin Baeg¹². Hiro-oki Iwakawa¹. Yukihide Tomar¹¹² (¹Institute of Molecular and Cellular Biosciences. ²Department of Medical Genome Sciences, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo)	2aC06 ニンニクにおける含硫二次代謝物 生合成酵素群の発現部位の解析 吉本尚子 <sup>1</sup> 、杉野由佳 <sup>1</sup> 、小寺幸広 <sup>2</sup> 、 恒吉唯充 <sup>2</sup> 、存棄和季 <sup>1</sup> 。(十葉大・ 院薬、 <sup>2</sup> 湧永製薬、 <sup>3</sup> 理研 CSRS)	2aD06 ウキクサ個体内における細胞概日 時計の相互作用様式の解析 村中智明、小山時隆(京都大・院・ 理・植物)	ZaE06 Establishment of monitoring methods for autophagy in rice reveals autophagic recycling of chloroplasts and root plastids during energy limitation  Masanori Izumi <sup>12</sup> . Jun Hidema <sup>2</sup> , Shinya Wada <sup>3</sup> , Eri Kondo <sup>3</sup> , Takamitsu Kurusu <sup>4</sup> , Kazuyuki Kuchitsu <sup>4</sup> , Amane Makino <sup>3</sup> , Hiroyuki Ishida <sup>3</sup> (*PRIS, Tohoku Univ., *Grad. Sch. Life Sci., Tohoku Univ., *Grad. Sch. Agri. Sci., Tohoku Univ. *Grad. Sch. Sci. Tech., Tokyo Univ. Sci.)

F会場	G会場	H会場	会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
光合成(電子伝達他)	光合成・呼吸の環境応答	環境応答/非生物ストレス応答 (温度)	環境応答/非生物ストレス応答 (イオン・金属・栄養)	シン	シン	シン	
2aF01 NDH-光化学系I超複合体に介在するリンカータンパク質の分子進化 大谷卓人、山本宏、鹿内利治(京大・ 院理)	2aG01 Sink Capacity of Leaf Sheath Regulated by CRCT Affects the Photosynthetic Rate of Leaf Blade in Rice Grown under Elevated CO <sub>2</sub> Condition Ryutaro Morita. Tomoko Hatanaka, Shuji Misoo, Hiroshi Fukayama (Grad. Sch. Agri. Sci., Kobe Univ.)	2aH01 <b>(3)</b> Broad environmental response of the allopolyploid Arabidopsis kamchatica: transcriptome of cold response and zinc hyperaccumulation Kentaro Shimizu¹, Tim Paape¹, Masaomi Hatakeyama¹, Satoru Akama², Jun Sese², Kenta Tanaka³, Rie Shimizu-Inatsugi¹, Yoshihiko Onda³⁴ (¹Institute of Evolutionary Biology and Environmental Studies, University of Zurich, ²AIST CBRC, ³University of Tsukuba, Sugadaira Montane Research Center 'Center for Sustainable Resource Science, RIKEN)		シンポジウムS⑦ Leaming plant	シンポジウムS8 Green chemic:	シンポジウムS贸 Behavior of meristems	9:00
2aF02 業緑体NDH-PSI超複合体の形成に おける CRR3の機能 加藤義宣 <sup>1</sup> , 鹿内利治 <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> 京大院・ 理・植物分子遺伝、 <sup>2</sup> CREST)	2aG02  植物は根圏 CO2を葉での光合成に  利用しているか?   <u>下野裕之</u> <sup>1</sup> 、近藤始彦 <sup>3</sup> 、John R.   Evans <sup>3</sup> (岩手大学農学部、 <sup>2</sup> 農研機  構、 <sup>3</sup> オーストラリア国立大学)	2aH02 ヒメツリガネゴケにおける低温馴 化プロセスの解析 鑑遷登允,大竹充子 <sup>1</sup> ,小松憲治 <sup>2</sup> , 竹澤大輔 <sup>3</sup> ,太治輝昭 <sup>1</sup> ,林隆久 <sup>1</sup> ,坂 田洋一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京農業大・院・バイオ, <sup>2</sup> 東京農大・短・生物生産, <sup>3</sup> 埼玉大 学理工学研究科)	2a102 シアノバクテリア <i>Leptolyngbya</i> <i>boryana</i> における窒素固定遺伝子 の転写活性化タンパク質CnfR の DNA結合活性 山川盡伯 <sup>*</sup> , 鳥知田 <sup>*</sup> , 辻本良真 <sup>‡</sup> , 中 鳥洋 <sup>*</sup> , 藤田祐一 <sup>‡</sup> ( <sup>*</sup> 名大・院・生命 農、 <sup>*</sup> 名大・農、 <sup>*</sup> 名大・院・理)	physiology on pla	Green chemical biology workshop	eristems in response	9:15
2aF03 Enhanced O <sub>2</sub> -Dependent Pseudocyclic Electron Flow Partly Compensates Defect In PSI-Cyclic Electron Flow In Planta Hiroshi Yamamoto <sup>1,2</sup> , Shunichi Takahashi <sup>3,4</sup> , Murray Badger <sup>3</sup> , Toshiharu Shikanail <sup>1,2</sup> ('Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ., *CREST, JST, <sup>3</sup> RSB, Australian National Univ. *NIBB)	2aG03 Functional analysis of Rubisco activase-like protein, OsRca2 in rice Akiko Kobayashi. Tomoko Hatanaka, Shuji Misoo, Hiroshi Fukayama (Grad. Sch. Agri. Sci., Kobe Univ.)	2aH03 低温馴化および凍結耐性に関与する GPIアンカー型β-1,3-Glucanaseの解析 <u>高橋大輔</u> , 富永陽子 <sup>2</sup> , 河村幸男 <sup>12</sup> , 上村松生 <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> 岩手大・院・連合農学, <sup>2</sup> 岩手大・農・寒冷バイオ)	2a103 Functional Analysis of Nitrogen Deficiency Responsive Transcriptional Factor MYB1 in the Red Algae Cyanidioschyzon merolae Takashi Kanzaki <sup>1</sup> , Sousuke Imamura <sup>1,2</sup> , Kan Tanaka <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> Chem. Res. Lab., Tokyo Tech., <sup>2</sup> CREST, JST)	Learning plant physiology on plant-pathogen interactions	р (9:00—12:05)	se to environmental factors	9:30
2aF04 High light acclimation alleviates O2-induced PSI photoinhibition: Cultivar difference of the sensitivity to PSI photoinhibition in common wheat Daisuke Takagi. Shigeo Takumi. Chikahiro Miyake (Graduate School of Agricultural Science, Kobe University)	2aG04 Biomass Production and Nitrogen Use Efficiency in Transgenic Rice Plants with Individual Suppression of RBCS genes Keiichi Kanno. Yuji Suzuki, Shun Ogawa, Amane Makino (Grad. Sch. of Agric. Sci., Univ. Tohoku)	2aH04 低温不稔発生機構:幼穂形成前の 冷水温によるイネ類花の耐冷性喪 失と、葉の冷水温応答との関係 <u>鈴木健策</u> <sup>1</sup> ,青木直犬,松村尚和 <sup>1</sup> , 大杉立 <sup>2</sup> ,下野裕之 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 農研機構・ 東北農研 <sup>2</sup> 東京大・院農学生命, <sup>3</sup> 岩手大・農)	2aI04 単細胞紅藻 Cyanidiochyzon merolae における TOR (target of rapamycin) の機能解析 <u>今村社軸<sup>12</sup></u> , 旧中寛 <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> 東工大・資 源研, <sup>2</sup> JST, CREST)	ns (9:00-12:00)		ctors (9:00-11:55)	9:45
2aF05 Reduction-induced Suppression Of Electron Flow (RISE) In Photosynthetic Electron Transport System Keiichiro Shaku, Ginga Shimakawa, Masaki Hashiguchi, Chikahiro Miyake (Department of Biological and Environmental Science, Graduate School of Agricultural Science, Kobe University)	2aG05 コムギRubisco小サブユニット遺 伝子のイネへの導入とその光合成 解析 促料 <u>絶子</u> 、菅野圭一、菅原あつ子、近藤依里、鈴木雄二、牧野周(東 北大・院農)	2aH05 シロイヌナズナの低温初期応答に関するリン酸化プロテオミクス 三 <u>木雄史</u> <sup>1</sup> 、野村有子 <sup>2</sup> 、高橋大松生 <sup>3</sup> (「岩手大・農学部・寒冷バイオ、 <sup>2</sup> 理研・CSRS・植物プロテオミクス、 <sup>3</sup> 岩手大・院・連合農学)	2a105 ゼニゴケ EIL がエチレンおよび硫 黄栄養応答に果たす役割 牧野玄美',前田村華',上土井優 貴',胸山丹子'。石崎公甫',石田咲 子',西浜竜一',河内孝之',平山隆 志',丸山明子'。(竹九州大・農 <sup>2</sup> 九 州大・院・農、 <sup>3</sup> 神戸大・院・理,「京 研大・院・生命科学、 <sup>5</sup> 間山大・植物 研)				10:00
2aF06 Flavodiiron Proteins 2 and 4 Drive an O <sub>x</sub> -dependent Alternative Electron Flow to Replace Photosynthetic Linear Electron Flow in Synechocystis sp. PCC 6803 Ginga Shimakawa. Keiichiro Shaku, Chikahiro Miyake (Grad. Sch. Agric. Sci. Univ. Kobe)	2aG06 イネ業の一生におけるカルビン回 路関連酵素の遺伝子発現に窒素供 給量が及ほす影響 山岡千尋. 鈴木雄二, 牧野周(東 北大学大学院農学研究科応用生命 科学専攻植物栄養生理学分野)		2aI06 SDIは含硫化合物グルコシノレートの生合成を抑制する 丸山明子 <sup>123</sup> 。高宗万希子 <sup>2</sup> , 往崎容子 <sup>2</sup> , 韩隆之 <sup>2</sup> , 斉藤和季 <sup>24</sup> , 高橋秀 樹 <sup>25</sup> (九州大・院農、 <sup>3</sup> 理研・PSC、 <sup>3</sup> 福井県立・生物資源、午業大・院薬、 <sup>5</sup> ミシガン州立大)				10:15

# ●第2日 3月17日(火) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	栄養成長	転写制御	一次代謝・二次代謝	時計	オルガネラ
10:30	2aA07 Analysis of Vascular Development Regulated by LONESOME HIGHWAY Hirofumi Katayama¹, Yuka Kariya², Tomohiro Asakawa², Toshiyuki Kan², Hiroo Fukuda¹, Kyoko Ohashi- Ito¹ (¹Grad, Sch. Sci., Univ. Tokyo, ²Grad, Sch. Pha., Univ. Shizuoka)	2aB07 苔類ゼニゴケにおける microRNA の機能解析 都強正行, 藤本剛史 <sup>1</sup> , 西浜竜一 <sup>2</sup> , 石崎公庸 <sup>3</sup> , 栗原志夫 <sup>4</sup> , 松井南 <sup>4</sup> , 河 内孝之 <sup>2</sup> , 濱田隆宏 <sup>2</sup> , 渡邊雄一郎 <sup>3</sup> (東京大学学院総合文化研究科 広域科学専攻, <sup>3</sup> 京都大学大学院生 命科学研究科統合生命科学専攻, <sup>3</sup> 神戸大学大学院理学研究科生物 学専攻, <sup>4</sup> 理研 CSRS)	2aC07 液胞選別輸送レセプター VSR は SNGIの液胞輸送を介してシナビン酸エステルの生合成に関与する <u>國枝正</u> <sup>1</sup> 、初谷紀幸 <sup>12</sup> 、近藤真紀 <sup>3</sup> 、 西村幹夫 <sup>3</sup> 、崎田知生 <sup>1</sup> 、西村いくこ <sup>1</sup> (1京大・陸理 <sup>2</sup> 北大・連携研セ、 <sup>3</sup> 基生研・細胞生物)	2aD07 植物細胞概日時計の明暗サイクル 同調における <i>ELF3</i> の機能 園田全朗、小山時隆(京都大・院・ 理・植物)	2aE07 シロイヌナズナにおけるクロロファジーの誘導要因の解析 <u>中村咲耶</u> : 泉正範 <sup>12</sup> 石田宏幸 <sup>3</sup> , 坂本亘 <sup>4</sup> 日出間純 <sup>1</sup> (東北大・院 生命科学、東北大・学際研、 <sup>3</sup> 東北 大、院農、 <sup>4</sup> 岡山大・資源植物科学 研究所)
10:45	2aA08 シロイヌナズナのacl5 抑圧変異株 sac57dの原因遺伝子 SACL3の解析 臺吉吉',福鳥弘子',石井業水',坂 本智昭',倉田哲也',高橋卓'(尚 山大学大学院自然科学院自然科学院 良先端科学技術大学院大学)	2aB08 シロイヌナズナにおける新規 tudor タンパク質の機能解析 <u>塚田道雄</u> <sup>1</sup> , 都筑正行 <sup>2</sup> , 元村一基 <sup>2</sup> , 深尾陽一朗 <sup>3</sup> , 田村謙太郎 <sup>1</sup> , 海下隆左 <sup>12</sup> (1東京大・教養・統合自然 <sup>3</sup> 東京大・ 院・総合文化、 <sup>3</sup> 宗良先端大・バイオ、 <sup>4</sup> 京都大・院・理学)	2aC08 Influence of protein sorting inhibitor on anthocyanin accumulation Akari Sunaoshi, Taira Miyahara, Yoshihiro Ozeki (Life Sci., TUAT)	2aD08 コムギにおける生物時計機能は短 日応答性に必須である <u>村井耕二</u> ,西浦愛子,水野信之 <sup>2</sup> , 那須田周平 <sup>2</sup> ,風間裕介 <sup>3</sup> ,阿部知子 <sup>3</sup> (福井県・生物資源、京大院・農、 <sup>3</sup> 理研・仁科センター)	2aE08 ベルオキシソーム形成に関わる新 規因子APEM6の解析 <u>神垣あかね</u> . 真野昌二, 西村幹夫 (基生研)
11:00	2aA09 胚発生と維管東パターン形成におけるシロイヌナズナDof5.8転写因子の役割 <u>小西美稲子</u> ,柳澤修一(東京大・ 生物生産工学研究センター)	infection of various dsRNAs in Arabidopsis protoplasts	2aC09 Association between the shade color intensity and dihydroflavonol 4-redectase involved in anthocyanin biosynthesis in delphinium flower. Natsuki Miyagawa¹, Taira Miyahara¹, Mitsutoshi Okamoto², Yukio Hirose², Kimitoshi Osakaguch¹, Yoshihiro Ozek¹ (¹Life Sci., TUAT., ²Ehime Research Inst., ³Miyoshi Co., Ltd.)	2aD09 緑藻クラミドモナスの時計タンパ ク質ROC15の光誘導性分解に関わる遺伝子の同定 木下亜有美 <sup>12</sup> 、 <u>投尾拓哉<sup>12</sup></u> . 丹羽由 実 <sup>12</sup> 山野隆志 <sup>2</sup> 、福羅秀哉 <sup>2</sup> , 石浦 正寛 <sup>1</sup> ('名古屋大・遺伝子実験施 設 <sup>2</sup> 名古屋大・院・理学, <sup>3</sup> 京都大・ 院・生命科学)	
11:15	2aA10 Regulation of organ growth by synthesis of very-long-chain fatty acids in <i>Arabidopsis</i> Yoko Okushima <sup>1</sup> , Masaaki Umeda <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> Grad. Sch. Bio. Sci., NAIST, <sup>2</sup> JST, CREST)	2aB10 蔵責欠乏ストレスで栽培したシロ イヌナズナ由来租抽出液中でのダ イサー活性の変化 瀬田亨 <sup>1</sup> , 大津直子 <sup>1</sup> , 横山正 <sup>1</sup> , 金澤 章 <sup>2</sup> , 森山祐充 <sup>1</sup> , 福原敏行 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京 農工大・院・農, <sup>2</sup> 北大・院農)	2aC10 植物の稀少色素3-デオキシアント シアニンを利用した花色改変手法 の開発 西原昌宏、山田恵理,藤田晃平, 佐々木伸大,高橋秀行(岩手生工 研セ)		2aE10 D-アラニルD-アラニンはヒメツリガネゴケの葉緑体分裂に必要だが、シロイヌナズナでは必要ない子野隆之!、谷所幸治!清水春博? 佐藤モモ!,只野慎治!石川勇人! 瀧尾進!。武智克彰!高野博嘉!(『熊大・院自然科学。『九大・農学部、『熊大・沿岸域センター、「熊大・バルスパワー科学研究所)
11:30	2aA11 シロイヌナズナ TOLS2 遺伝子は 側根形成頻度を制御する <u>豊倉浩一</u> 、篠田明徳、郷達明,青木 優佳、三村徹郎、深城英弘、(神戸大・院・理)	2aB11 植物における発生段階依存的な小分子RNA産生活性の解析 田原線 <sup>1</sup> , 大谷美沙郡 <sup>23</sup> , 金勝一樹 <sup>1</sup> , 森山裕允 <sup>1</sup> , 福原敏行 <sup>1</sup> (津京農工 大・院・農、 <sup>2</sup> 奈良先端大・バイオ、 <sup>3</sup> 理研・CSRS)	2aC11 エゾリンドウからのフラボン配糖 化酵素遺伝子群の単離 佐々本伸大,山田恵理 <sup>1</sup> ,西崎雄 三省,中塚青河 <sup>3</sup> ,立澤文見 <sup>4</sup> ,樋口敦 美,藤田晃平 <sup>1</sup> ,高橋秀行 <sup>2</sup> ,西原昌 宏 <sup>1</sup> (岩手生工研 <sup>2</sup> 農工大・エ・生 命 <sup>3</sup> 静岡大院・農 <sup>4</sup> 岩手大・農)		2aE11 スクロース水浸処理によりクラス ター化した孔辺細胞における細胞 内構造の検討 及田住恵、絵垣匠、馳澤盛一郎(東京大・院・新領域)
11:45	2aA12 タイムラプスイメージングによる シロイヌナズナの側根発生の解析 <u>郷達明<sup>12</sup></u> 、Soazig Guyomarch <sup>2</sup> Laurent Laplaze <sup>2</sup> 、深城英弘 <sup>3</sup> Malcolm J. Bennett <sup>2</sup> (神戸大・院・ 理. <sup>2</sup> CPIB, Univ. of Nottingham, <sup>3</sup> IRD, UMR DIADE (IRD/UM2))				

F会場	G会場	H会場	会場	X 会場	Y 会場	Z <sub>会場</sub>	時間
光合成(電子伝達他)	光合成・呼吸の環境応答	環境応答/非生物ストレス応答 (温度)	環境応答/非生物ストレス応答 (イオン・金属・栄養)	シン	シン	シン	
2aF07 NADPH-dependent alkenal/one oxidoreductase (AOR) supports the growth and protect from oxidative stress in Arabidopsis thaliana Takagi Daisuke <sup>15</sup> . Kentaro Ifuku <sup>2</sup> . Hironori Inoue <sup>1</sup> . Masahiro Tamori <sup>3</sup> . Ken-ichi Ikeda <sup>1</sup> . Kanako Ikeda Inoue <sup>1</sup> . Hiroshi Fukayama <sup>1</sup> . Chikahiro Miyake <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Faculty of Agriculture, Graduate School of Agricultural Science, Kyoto University. <sup>3</sup> Faculty of Agricultural Science, Kinki University)	$2aG07$ $C_4$ 光合成における葉緑体NAD(P)H dehydrogenase の生理学的機能の解析 $\overline{\Delta}$ $\frac{1}{2}$ (高林厚史 $^{12}$ )、高林厚史 $^{12}$ 、高林厚史 $^{12}$ 、高林厚史 $^{12}$ 、高林厚史 $^{12}$ 、高林厚文 $^{12}$ 、高林原文 $^{12}$ 、高藤剛 $^{11}$ (京都大学大学院 生命科学研究所、 $^{12}$ 、本語、大学低温科学研究所、 $^{12}$ 、東北大学大学院 農学研究科)	2aH07 (3) Loss of Arabidopsis 5-3' exoribonuclease AtXRN4 function enhances heat stress tolerance under short-time heat stress tolerance under short-time heat stress treatments Hai Anh Nguyen <sup>12'</sup> , Akihiro Matsui¹, Maho Tanaka¹, Kayoko Mizunashi¹, Kentaro Nakaminami¹, Makoto Hayashi³, Kei lida⁵, Tetsuo Toyoda⁶ Van Dong Nguyen², Motoaki Seki¹-ks² Van Dong Nguyen², Motoaki Seki¹-ks² Campan Genomic Network Research Team, RIKEN CSRS, ⁵National Key Laboratory, AGI, Vietnam, ³Department of Bioscience, Nagahama Institute of Bioscience and Technology, ¹Kiĥara Institute for Biological Research, Yokohama City University, ⁵Graduate School of Medicine, Kyoto University, ⁵Intregrated Database Unit, RIKEN ACCC, ²CREST, JST)	2aI07 Lipidomic analysis of <i>Arabidopsis</i> suggests a possible metabolism of glucuronosyldiacylglycerol that has an essential role in mitigation of phosphorus depletion stress 國政 至三 <sup>1</sup> 、高野輔司 <sup>1</sup> 、斉藤和季 <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> 理研・CSRS、 <sup>2</sup> 干華大・院薬)	シンポジウムSO(Leaming plant physiolo	シンポジウムの8 Green chemical biology workshop	シンポジウムS9 Behavior of meristems	10:30
2aF08 Arabidopsis Thioredoxin m mutants impair the photo-reduction of the Calvin cycle enzymes, and cause growth defect Yuki Okegawa. Ken Motohashi (Fac. of Life Sci., Univ. of Kyoto Sangyo)	2aG08 Improvement of water use efficiency (WUE) and drought tolerance in tobacco by genetic engineering: Further analyses by metabolomics profiling and 5 <sup>31</sup> C measurement under stress.  Takahide Nishimura¹. Hiroki Kitaoka², Yuko Takagi³, Yasumune Nakayama⁴, Yudai Denpo⁴, Eiichiro Fukusaki⁴, Ichiro Tayasu⁵, Motomu Akita¹², Kathura Izu¹² (¹Gead. BiolOrient.Sci. Tech., Univ. Kinki, ¹astitute of Advanced Technology, Univ. Kinki, ¹Grad. Sch. Eng., Univ. Osaka, ⁵Center for Ecological Research., Univ. Kyoto)	activation of bZIP28, an Ārabidopsis membrane-bound transcription factor involved in the unfolded protein response Makoto Ashida, <u>Yuji Iwata</u> . Kei-ichiro Mishiba, Nozomu Koizumi (Osaka Prefecture University)	2a108 イネにおけるイノシトールピロリン酸合成酵素遺伝子の機能解析 <u>早川郷</u> 森下直紀,北村嘉崇,吉田 薫(東大・院農学生命科学)	Learning plant physiology on plant-pathogen interactions	/ workshop(9:00-12:05)	in response to environmental factors	10:45
2aF09 New factors modulating activity of ferredoxin-NADP(H) reductase in chloroplast Yutaro Chikuma <sup>1</sup> , Yoko Ariga <sup>1</sup> , Manuela Kramer <sup>2</sup> , Guy T Hanke <sup>2</sup> , Toshiharu Hase <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Inst. for Protein Research, Osaka univ., <sup>2</sup> Department of Plant Physiology, Osnabrueck Univ.)	2aG09 Flaveria 属における C,型光合成の 段階的形成 会旦 (山本) 幸美, 岸崎理紗, 横田明穂, 宗景 (中島) ゆり (奈良 先端大・バイオ)	2aH09 シロイヌナズナ DPB3-1は NFY サ ブユニットと複合体を形成して、 乾燥・高温ストレス誘弾性転写因 子 DREB2A の活性を高温ストレス 特異的に制御する 佐藤犨、溝井順哉、田中秀典、園 山恭之進。秦峰、刑部祐里子¹、永 田舞春・篠崎一起。篠崎和子¹ (¹東大院・農学生命科学。 <sup>2</sup> 国際農 研・生物資源利用、 <sup>3</sup> 理研・環境資 源科学研究セ)	2a109 タバコの培養細胞ならびに根におけるアルミニウムによる細胞死に 付うVPE 遺伝子の発現誘導 <u>ガ谷耕連</u> , 土屋善幸, 佐々木孝行, 山本洋子(岡山大, 植物研)	s (9:00-12:00)		tors (9:00-11:55)	11:00
2aF10 Kinetic studies on reduction of Bacillus subtilis ferredoxin-NADP+ oxidoreductase with reduced ferredoxin Daisuke Seo¹, Hidehiro Sakurai², Pierre Setif³, Takeshi Sakurai³ (¹Division of Material Science, Graduate School of Natural Science and Technology, Kanazawa University, ²Research Institute for Photobiological Hydrogen Production, Kanagawa University, ³CEA, iBiTecS, CNRS, URA 2096)	2aG10 Flaveria 属 C3-C4中間型 F floridana と C4様型 F brownii の交雑 F2集団 を用いた C4型進化過程の遺伝学 的解析 宗景 (中島) ゆり、井上史生、谷 口幸美、横田明穂(奈良先端大・ パイオ)	2aH10 Thellungiella salsuginea Heat shock factor Ald (TsHsfAld) 過剰発現トマトの高温耐性評価 生生発素 <sup>1</sup> 、高村知世・三浦智貴 <sup>1</sup> 、江面浩 <sup>2</sup> 、坂田洋一 <sup>1</sup> 、林隆久・太治輝昭 <sup>1</sup> (『東京農業大学・バイオ、 <sup>2</sup> 筑波大・遺伝子実験センター)	2al10 アルミニウム耐性タバコ培養細胞 株と野生株に発現する遺伝子群の 比較解析 土産華幸, 苅谷耕輝, 佐々木孝行, 山本洋子 (岡山大学資源植物科学 研究所)				11:15
2aF11 シロイヌナズナ変異株解析から見 えてきた葉緑体の機能調節におけ るレドックス制御の重要性 吉田啓亮 <sup>12</sup> 、久堀徹 <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> 東工大・資 源研、 <sup>2</sup> JST・CREST)	れるしくみ	2aH11 Arabidopsis thaliana accessions における高温ストレス耐性のQTL解析 有質整脚: 大岡海ゲ、中村浩太 朗', Barboza Luis², 井内聖³, 小林正 智ª, 坂田洋一: 林隆久, 太治輝昭' (「東京農大・バイオ * Max-Planck Institute for Plant Breeding Research, <sup>5</sup> 理研・BRC)	2aII1 <b>(3)</b> Plant response to cesium — towards efficient phytoremediation — Eri Adams. Ryoung Shin (RIKEN CSRS)				11:30
2aF12 リンケ乏下で誘導される呼吸鎖バイバス経路AOXの生理的役割の解析 愛知平達, 野口航(東大・院理学)			2al12 有用形質を持つ極限環境紅藻の新 規単離と環境ストレス応答遺伝子 の解析 兼態友 <sup>1</sup> 、重信直人 <sup>2</sup> 、小田しおり <sup>2</sup> 、 齋藤夏帆 <sup>2</sup> 、渡辺智 <sup>2</sup> ・吉川博文 <sup>12</sup> (「東京農大・NGRC、 <sup>2</sup> 東京農大・応 生料・バイオ)				11:45

# ●第2日 3月17日(火) 午後(13:00-16:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	栄養成長	転写後制御	二次代謝	植物ホルモン/ シグナル伝達物質	オルガネラ
13:00	2pA01 ACR4 functions downstream of ATML1 to promote embryonic development Nozomi Takada, Ayaka Yoshida, Shinobu Takada (Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, Osaka University)	2pB01 RNA分解酵素 DCP は選択的 RNA 代謝を通じて高温耐性に寄与する 元村一基 <sup>1</sup> , Quy Le Thi Nhat <sup>1</sup> , 倉田 哲也・朽名夏廊 <sup>54</sup> , 真野昌二 <sup>56</sup> 西 村幹夫 <sup>56</sup> , 濱田隆宏 <sup>1</sup> , 渡邊雄一郎 <sup>1</sup> (『東大院・総合文化・生命環境。 <sup>2</sup> 奈良先端大・バイオサイエンス・ 植物グローバル, <sup>3</sup> 東大院・新領域、 <sup>4</sup> エルビクセル(株) 研究開発本部、 <sup>5</sup> 基生研・細胞生物、 <sup>6</sup> 総研大・生命 科学)	2pC01 シソ科植物の20-ヒドロキシエク ジソン生合成に関与するC-22水酸 化酵素遺伝子の同定 大山清 <sup>1</sup> 、塚越谷樹 <sup>1</sup> ,明石智義 <sup>2</sup> 、關 光 <sup>2</sup> 、村中俊哉 <sup>3</sup> 、鈴木秀幸 <sup>4</sup> 、藤本善 徳 <sup>1</sup> (「東京工業大学大学院理工学 研究科・ <sup>2</sup> 1本大学生物資源科学 科、 <sup>3</sup> 大阪大学大学院工学研究科、 <sup>4</sup> かずさDNA研究所)	2pD01 適管液における長距離移行性ペプ チドの探索 <u>岡本暁<sup>12</sup></u> , 鈴木孝征 <sup>13</sup> , 東山哲也 <sup>134</sup> , 依林嘉克 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大院・理 <sup>2</sup> 日 本学術振興会特別研究員 PD, <sup>3</sup> ERATO 東山ライブホロニクスプロ ジェクト, <sup>4</sup> 名古屋大・WPI-ITbM)	2pE01 The biochemical role of CHLOROPLAST UNUSUAL POSITIONING 1 in chloroplast photorelocation movement. Sam-Geun Kong¹, Saku Kijima²³, Atsushi Shimada⁴, Keiko Hirose²³, Noriyuki Suetsugu¹, Fumio Takahashi³, Daisuke Kohda⁴, Taro Q. P. Uyeda²³, Masamitsu Wada¹ (¹Fac, Sci., Kyushu Univ., ²Biomed. Res. Inst., AIST. ³Grad. Sch. Life & Environ. Sci., Univ. Tsukuba, ⁴Med. Inst. of Bioreg., Kyushu Univ., ⁵Grad. Sch. Life Sci., Ritsumeikan Univ.)
13:15	2pA02 Transcriptional and post- transcriptional regulation of ATML1, a key regulator for epidermal cell identity <u>Hiroyuki lida</u> , Ayaka Yoshida, Shinobu Takada (Department of Biology, Graduate School of Science, Osaka University)	2pB02 How did a PPR protein manage a birth of RNA editing sites in evolution?  Kota Ishibashi <sup>1</sup> , Sota Fujii <sup>2</sup> , Toshiharu Shikanai <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Grad. Sch. Sci., Univ. Kyoto, <sup>2</sup> Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST)	2pC02 Botryococcus braunii Race B 品種における4-Hydroxy-3-methylbut-2-enyl-diphosphate reductase 遺伝子の単離と機能解析 <u>内田英健<sup>13</sup></u> , 住本惟光 <sup>13</sup> , 沖友香 <sup>13</sup> , 西井一郎 <sup>23</sup> , 松永茂樹 <sup>13</sup> , 岡田茂 <sup>13</sup> (東大、院農学生命、 <sup>2</sup> 奈良女・生 物科学、 <sup>3</sup> JST, CREST)	2pD02 花粉管誘引ペプチドLUREの受容 とシグナル伝達を担う受容体キ ナーゼの解析 武内秀憲 <sup>12</sup> 、東山哲也 <sup>123</sup> (「名大・ 院: 理, <sup>2</sup> JST・ERATO、 <sup>3</sup> 名大・ WPI-ITbM)	2pE02 苦類ゼニゴケにおけるキネシン様 タンパク質KAC の機能解析 末次憲之 <sup>1</sup> 、小松愛乃 <sup>1</sup> 、寺井三佳 <sup>1</sup> 、 和田正三 <sup>2</sup> 、河内孝之 <sup>1</sup> (京都大学 生命科学研究科遺伝子特性学分 野、九州大学理学研究院生物科学 部門)
13:30	2pA03 Epidermal cells elongate with polarity in Arabidopsis roots <u>Hirotomo Takatsuka</u> <sup>1</sup> , Masaaki <u>Umeda<sup>12</sup></u> ( <sup>1</sup> Nara Institute of Science and Technology, <sup>2</sup> JST CREST)	2pB03 植物オルガネラRNA編集における DYW ドメインの機能解析 一 <u>瀬瑞穂</u> , 杉田護(名大・遺伝子)	2pC03 異種β-アミリン酸化酵素遺伝子を 過剰発現した組換え体イネにおける生理学的影響 力 <u>藤</u> 蹙', 鳥谷善平*², 青野裕子', 平井宏太', 寺田理枝', Ame Osbourn', 開光', 松鳥良'。能年義 郷, 豊田弘', 山本幹津', 一瀬勇 規', 稲垣善茂' (「個大院: 環境生命, *舎良先端大・バイオサイエンス, *名城大・農', 'Metabolic Biology John Innes Centre, '阪大院' エ・生 命先端, '個大・植物研)	2pD03 ERECTA 受容体シグナリングは茎頂の幹細胞維持における WUSCHEL 依存性とサイトカイニン応答性を制御する 木村友香 <sup>12</sup> . 鳥居啓子 <sup>1,45</sup> . 田坂昌 生 <sup>3</sup> . 打田直行 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大・理. <sup>3</sup> NAIST・バイオ, <sup>4</sup> ワシントン大, <sup>5</sup> HHMI)	2pE03 Characterization of a Novel ClpS1-Interacting Adaptor Protein in Arabidopsis Chloroplasts Kenji Nishimura <sup>1</sup> , Giulia Friso <sup>1</sup> , Jitae Kim <sup>1</sup> , Lalit Ponnala <sup>2</sup> , Klaas J. van Wijk <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Dept. of Plant Biology, Cornell Univ., <sup>2</sup> Computational Biology Service Unit, Cornell Univ.)
13:45	2pA04 花芽発生を制御する転写因子 LATE MERISTEM IDENTITY 2の クチクラ形成における機能 大鳥良美 <sup>1</sup> , 鳴海貴子 <sup>2</sup> , 金子康子 <sup>3</sup> , 石川寿樹 <sup>4</sup> , 川合真紀 <sup>45</sup> , 高木優 <sup>45</sup> , 光田展隆 <sup>1</sup> (「産総研・生物プロセ ス、 <sup>2</sup> 香川大・農、埼玉大・教育、 埼玉大・院理工、 <sup>5</sup> 埼玉大・環境科 学)	2pB04 <b>⑤</b> Functional analyses of CPSF6 in Arabidopsis thaliana Xiaojuan Zhang. Takashi Aoyama, Tomohiko Tsuge (Institute for Chemical Research, Kyoto University)	2pC04 植物工場内における環境刺激に対する遺伝子発現を利用した高付加価値ステビアに関する研究 <u>米田有希</u> ,宮坂寿郎、大土井克明, 中嶋洋、清水浩(京都大学大学院 農学研究科地域環境科学専攻農業 システム工学分野)	2pD04         ERECTA 受容体ファミリーによるシロイヌナズナ胚軸の二次成長制御機構         加松末夏 <sup>12</sup> , 旧坂昌生³, 鳥居啓子 <sup>145</sup> , 打田直行¹ ('名古屋大・WIP. ITbM, '名古屋大・理, 3NAIST・バイオ, '4ワシントン大, 5HHMI)	2pE04  A chemical-inducible gene silencing system reveals the essential role of the SufBC2D complex for iron-sulfur cluster assembly in plastids Xueyun Hu¹, Ayumi Tanaka¹², Ryouichi Tanaka¹² (¹Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University, ²Japan Core Research for Evolutionary Science and Technology, Japan Science Technology Agency)
14:00	2pA05 枝分かれを促進する転写リプレッ サー <i>TSURU</i> の解析 <u>地田美穂</u> , 常工展隆 <sup>2</sup> (「埼玉夫庁、理工、『産総研・生物 プロセス)	2pB05 シロイヌナズナの側根帯化変異体の解析から見えてきたミトコンドリア mRNAのポリA 依存的代謝と編集の機能的連関大塚蔵嵩,山本荷葉子,間宮章 代1,有田真規,玉置管常,八木祐介,中村崇裕,野崎守,佐藤康,上田貴志,平山隆志, 佐山宗隆, 上田貴志,平山隆志, 佐山宗隆, 1九州大・農・生命機能,3変緩大・院・理工、4東京大・院・理、生物科学、5岡山大・資源植物研)	2pC05 (3) Convergent Evolution of Plant Lys Decarboxylase: Molecular Cloning and Characterization of Lys Decarboxylase from Clubmosses Somnuk Bunsupa¹, Kousuke Hanada², Hideki Ueno¹, Akira Maruyama¹, Kaori Aoyag¹, Kana Komatsu¹, Madoka Yamashita¹, Akira Oikawa², Ryosuke Sasaki⁴, Kazuki Saito¹⁴, Mami Yamazaki¹ (¹Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Chiba University, ²Department of Bioscience and Bioinformatics, Kyushu Institute of Technology, ²Faculty of Agriculture, Yamagata University, 'RIKEN Center for Sustainable Resource Science (CSRS))	2pD05 ゼニゴケに存在する二種類のCLE ペプチドは異なる機構により薬状 体の成長を制御する <u>平川有字樹</u> , 田畑完², 河内孝之³, 打田直行¹, 澤進一郎⁴, John Bowman⁵ (¹名古屋大・WPI-ITbM, ²名古屋大院・理。³京都大院・生命、 「熊本大院・自然, ⁵モナシュ大・生 物)	
14:15	2pA06 新規膜局在型ユビキチンリガーゼ ATL57は種子休眠に関与する 西村拓朗, 安田盛貴, 前川修吾, 佐 藤長緒, 山口淳二(北大院・生命 科学)	2pB06 タバコ業緑体リボソーム S16タン メルク質をコードする rps16 mRNA の翻訳抑制には上流 ORF が関与 している <u>中邨真之</u> 、杉浦昌弘(名古屋大学 遺伝子実験施設)	2pC06 ニチニチソウ茎組織における Terpenoid indole alkaloid の分布解析 <u>山本浩太郎</u> ! 大西美輪! 姉川彩! 高橋勝利! 水野初! 七條千津子! 石崎公庸! 山崎真巳! 深坡英弘! 升鳥努! 三村億郎! (神戸大・理・生物、 産能研・計測フロンティア研究部門、理研・生命システム研究センター、 4千葉大・薬)	2pD06 Role of root-activated cytokinins in the shoot in Arabidopsis Asami Osugi, Mikiko Kojima, Takatoshi Kiba, Hitoshi Sakakibara (RIKEN CSRS)	2pE06 ミトコンドリア片親遺伝をつかさ どる複層的分子機構 西村芳樹 <sup>1</sup> , 康内利治, 東江昭夫 <sup>2</sup> ( <sup>2</sup> 京大・院・理・植物分子遺伝学, <sup>2</sup> 千葉大・真菌医学研究センター)

F会場	G会場	H会場	会場	X 会場	Y 会場	Z <sub>会場</sub>	時間
光合成 (アンテナ他)  2pF01 シアノバクテリアのアンテナ-光 化学系1超分子複合体における フィコピリソームから光代学系1 四量体へのエネルギー移動 野地智康',渡辺麻衣 <sup>23</sup> ,池内昌 彦 <sup>23</sup> 伊藤繁'(名工大・院工、東大・ 院総合文化。『ST/CREST、「名大/遺伝子)	光合成・呼吸の環境応答  2pG01 シアノバクテリア光化学系IIの光 防御機構における熱放散の役割 <u>室間 女里</u> 、井上修平・神保晴彦!、 園池公毅 <sup>2</sup> ,高市真一 <sup>3</sup> ,西山佳孝 <sup>4</sup> (「埼玉大院・理工、 <sup>2</sup> 早稲田大・教育、 <sup>3</sup> 日本医大・生物)	植物微生物相互作用(免疫3) 2pH01 タバコ培養細胞BY-2の感染防御応答における初期応答と過敏感細胞 死を含む後期応答と過敏感細胞 所析 竹内希枝 <sup>1</sup> 、花俣繁 <sup>12</sup> 、大鳥知樹 <sup>1</sup> 、来 項著光 <sup>13</sup> 、北畑信隆 <sup>1</sup> 、朽津和臺 <sup>1</sup> (「東京理科大・理工・応用生物科 学、 <sup>2</sup> 東京大・院新領域、 <sup>3</sup> 東京工科 大・応用生物)	環境応答/非生物ストレス応答 (イオン・金属・栄養)  2p101 Isolation of a mutant showing accelerated senescence in darkness in Marchantia polymorpha L. Yuya Sato¹, Yutaka Kodama², Shohei Yamaoka², Kimitsune Ishizaki⁴, Takayuki Kohch¹, Yuko Inoue¹, Yuji Moriyasu¹ (¹Grad. Sch. Sci&Tec, Saitama Univ. ²BioSci, Utsunomiya Univ. ³Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ. ³Grad. Sch. Sci, Kobe Univ.)	シンポジウムS10 How Can Leaves	シンポジウムS11 The frontio	シンポジウムS12 Response	13:00
2pF02 光化学系I特異的アンテナは窒素 固定活性に重要である <u>渡邉麻衣<sup>12</sup></u> , 池内昌彦 <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院 総合文化、 <sup>3</sup> JST CREST)	2pG02 明所高温条件で誘導されるステート 2によるPSII障害回避機構の解析 九谷曜子 <sup>1</sup> , 山内靖雄 <sup>1</sup> , 東山真理 <sup>2</sup> , 秋本誠志 <sup>3</sup> , 井上加奈子 <sup>1</sup> , 池田健 一 <sup>1</sup> , 水谷正治 <sup>1</sup> , 杉本幸裕 <sup>1</sup> (神戸大・ 院農 <sup>2</sup> 神戸大・ 農 <sup>3</sup> 神戸大・分子 フォト)	2pH02 A calcium-independent kinase, Open Stomata 1, is essential for yeast elicitor-induced stomata closure Wenxiu Ye <sup>1</sup> , Yuji Adachi <sup>1</sup> , Daichi Muroyama <sup>1</sup> , Mohammad Issak <sup>1</sup> , Shintaro Munemasa <sup>1</sup> , Yoshimasa Nakamura <sup>1</sup> , Izumi Mori <sup>2</sup> , Yoshiyuki Murata <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Grad, Sch. Environm, & Life Sci., Okayama Univ., <sup>2</sup> Inst. Plant Sci. & Resources, Okayama Univ.)	におけるオートファジーの役割 江口雅丈・木村和彦、和田慎也、 泉正範。牧野周・石田宏幸・『東 北大・院農学。『宮城大・食産業学、 『東北大・学際科学)	Be	frontiers of vascular biology in plants	ξ	13:15
2pF03 光捕集アンテナタンパク質の多孔 質ガラスへの固定化と酸素存在下 でのメチルビオロゲンの光還元 <u>多田幹彦</u> <sup>1</sup> , 野地智康 <sup>1</sup> , 近藤政晴 <sup>1</sup> , 神哲郎 <sup>2</sup> , 南後守 <sup>3</sup> , 出羽数久 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 名 工大院工, <sup>2</sup> 産総研, <sup>3</sup> 阪市大複合先 端)	2pG03 シロイヌナズナ <i>FIB5 J</i> ックアウト植物における葉緑体の機能と構造に強光ストレスが与える影響 石井優実、大坪繭子, 田村典明(福岡女子大・人間環境・環境理)	2pH03 Crosstalk between photosynthesis and plant immunity is mediated by CAS Koji Shimotani <sup>1</sup> , Tsuyoshi Endo <sup>2</sup> , Toshiharu Shikanai <sup>3</sup> , Satoshi Sano <sup>3</sup> , Takashi Shimai <sup>3</sup> ('Grad. Sch. of Life and Env. Sci., Kyoto Prefectural University, <sup>2</sup> Grad. Sch. of Bio, Kyoto University, <sup>3</sup> Grad. Sch. of Sci., Kyoto University)	2pIO3 Arabidopsis POPEYE transcription factor modulates photosynthesis under iron deficient conditions. Ryoichi Araki¹. Takamasa Suzuki²²³⁴. Tetsuya Higashiyama²³⁵. Toshiharu Shikanai¹ ('Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ. ²Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ. ³JST ERATO. ¹Dept. Biol. Chem., Chubu Univ. ⁵WPI-ITbM., Nagoya Univ.)	Free from Sunburn? Kozi Asada Memorial Symposium	/ in plants(13:00-16:00)	environmental stimulation: From signaling	13:30
2pF04 Excitation energy transfer in thylakoid membranes from the chlorophyll-containing cyanobacterium Seji Akimoto <sup>12</sup> , Toshiyuki Shinoda <sup>3</sup> , Min Chen <sup>4</sup> , Suleyman I. Allakverdiev <sup>36</sup> , Tatsuya Tomo <sup>37</sup> ('Molecular Photoscience Research Center, Kobe Univ. 'JST CREST. '³Faculty of Science, Tokyo University of Science, School of Biological Sciences, University of Sydney, Australia, 'Institute of Plant Physiology, Russian Academy of Sciences, Russia, 'Institute of Basic Biological Problems, Russian Academy of Sciences, Russia, 'JST PRESTO')		2pH04 S-like ribonucleases of carnivorous plants: functional characteristics and evolution Naoki Arai', Emi Nishimura', Shinya Jumyo', Tianhui Liu², Takashi Ohyama¹² (¹Grad, Sch. of Adv. Sci. and Eng., Waseda Univ., ²Dept. Biol., Fac. of Educ. and Integrated Arts and Sci., Waseda Univ.)	構 さきがけ, <sup>2</sup> 石川県大・生物資源 工学, <sup>3</sup> 東大院・農)	(13:00-1	)0)	g to gene regulation(13:00-16:00)	13:45
2pF05 高周波変調ESRによる光化学系II の電子移動の測定 越沼渉、三野広幸(名古屋大学理 学研究科)	2pG05 Relationship Between Carbon Metabolism and DNA replication under the Dark Condition in Cyanobacteria Junya Yamamoto¹, Ryudo Ohbayashi¹², Taku Chibazakura¹, Satoru Watanabe¹, Hirofumi Yoshikawa¹² (¹Dept. of Biosci., Tokyo. Univ. of Agric., ²Japan Science and technology Agency (CREST))	2pH05 シュウ酸カルシウム針状結晶とプロテアーゼの相乗的耐虫効果:針 状結晶が他の耐虫性物質の作用を 増強する効果 今野浩太郎、井上A尚、中村匡利 (農業生物資源研究所)	2p105 ニコチアナミン合成酵素の高発現 はダイズとサツマイモの鉄欠乏耐 性を増強する 野副朋子! 瀬野浦武志* 金秀蓮! 負雄介! 高橋美智子! 中西啓仁! 大谷基泰* 西澤直子² (東京大学 大学院農学生命科学研究科新機能 植物開発学研究室, *石川県立大)	6:05)		0)	14:00
$2pF06$ FTIR分光電気化学法による光化 学系II第二キノン $Q_a$ の酸化還元電位計測 $-Q_a \cdot Q_a$ 間の電位制御と光 防御機構 加 <u>藤祐樹</u> 、長尾遼、野口巧(名古屋大・院理)		2pH06 イネを食害する植食性昆虫の新規 エリシター活性政分の解析 <u>新屋友規</u> <sup>1</sup> 、北條優子 <sup>1</sup> 、Alamgir Kabir <sup>1</sup> 、出崎能艾 <sup>2</sup> 、渋谷直人 <sup>3</sup> 、Ivan Galis <sup>1</sup> (「岡山大・植物研、 <sup>2</sup> 明治大・ 生命科学)	2pI06 栄養欠乏下のシロイヌナズナの根 における exon combination の網羅 解析 西田翔 <sup>1</sup> 、寛雄介 <sup>2</sup> 、嶋田幸久 <sup>2</sup> 、藤原 徹(「東大・院農学生命, <sup>2</sup> 横浜市大・ 木原生研)				14:15

# ●第2日 3月17日(火) 午後(13:00-16:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	栄養成長	転写後制御	二次代謝	植物ホルモン/ シグナル伝達物質	オルガネラ
14:30	2pA07 種子内におけるmiRNAの機能解析 <u>吉田誠也</u> . 都筑正行, 元村一基. 濱 田隆宏, 渡邊雄一郎(東京大・院・総合文化)	2pB07 シロイヌナズナにおける最小 uORFを介したホウ素依存的なリ ボソーム停滞によるmRNA分解・ 翻訳効率の制御機構 田中真幸¹, 反田直之¹, 三輪京子², 山下由衣². 千葉由佳子⁴, 尾之内 均³⁵, 内藤哲³⁴, 藤原徽¹ (津大院・ 農, ²北大院・地球環境 °北大院・ 生命, ⁴北大院・理, ⁵北大院・農)	2pC07 Novel enzyme genes possibly involved in late steps of nicotine biosynthesis in tobacco. Tsubasa Shoji¹, Keita Kato², Seddon Teoh¹, Hiroki Tanimoto³, Atsuko Takeuchi², Nobukazu Shitan², Shigehiko Kanaya¹, Kiyomi Kakiuchi³, Takashi Hashimoto¹ (¹Grad Sch Biol Sci, NAIST, ²Grad Sch Pharm, Kobe Pharm Univ, ²Grad Sch Meter Sci, NAIST, ¹Grad Sch Info Sci, NAIST, ¹Grad Sch Info Sci, NAIST,	2pD07 Functional analysis of cytokinin response regulators in <i>Marchantia polymorpha</i> Shiori Sugamata Aki¹. Tatsuya Mikami¹. Ryuichi Nishihama². Takayuki Kohchi². Masaaki Umeda¹.³ (¹Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST. ²Grad. Sch. Bio., Kyoto Univ. ³JST, CREST)	2pE07 マイクロ流体デバイスによって視えてきた業緑体核様体分裂のダイナミクス 上村 <u>富</u> 堂,小林優介 <sup>2</sup> ,原田尚実 <sup>2</sup> , 鹿内利治 <sup>2</sup> ,西村芳樹 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学・理学部、 <sup>2</sup> 京都大学・理学研究科)
14:45	2pA08 胚乳最外層の消失と植物体の形態 異常をもたらすシロイヌナズナ 切22突然変異の解析 電野至即?。赤堀一貴"、杉山礼央!、 鴨志田葵!、内田悠輝!、田中新太!、 五味湖苑子²、佐藤道夫²、川上直人 12 (・明大・農、²明大・院農)	2pB08 シロイヌナズナCGS1遺伝子の翻訳アレストにおける新生ペプチドの収縮とリボソーム出ロトンネルの研究 大艦悠文 <sup>1</sup> ,山下由宏 <sup>2</sup> ,尾上典之 <sup>2</sup> ,尾之内均 <sup>1</sup> ,内藤哲 <sup>12</sup> (北大・院農, <sup>2</sup> 北大・院生命)	2pC08	2pD08 タンパク質複合体の離合集散に よって植物花茎伸長を制御するブ ラシノステロイド情報伝達因子 <i>BSSI</i> の分子機能 嶋田勢津子 <sup>12</sup> , 山上あゆみ, 松井 南, 長田裕之 <sup>12</sup> , 浅見忠男 <sup>124</sup> , 中野 雄司 <sup>124</sup> (早頭研, 『頭所でSSR、 <sup>3</sup> 東大 院・農生科, <sup>4</sup> JST-CREST)	2pE08 根のプラスチドリボソームの損傷 は側根の発生異常を引き起こす <u>中田未友希</u> <sup>1</sup> 、塚谷裕一、帰口野 期 <sup>13</sup> (立教大・理・生命理センター、 <sup>2</sup> 東京大・院・理、 <sup>3</sup> 立教大・理・生 命理)
15:00	2pA09 糖誘導性核小体局在タンパク質 NuGAPI/APUM24のリボソーム生 合成への関与の可能性 <u>助川修</u> 室。石田哲也、柳澤修一(東 大・生物生産工学研究センター)	2pB09 シロイヌナズナにおけるストレス 顆粒形成機構の解析 福澤麻里奈!、佐藤繭子。元村一 基!・柳川由紀 <sup>3</sup> . 西村いくこ <sup>4</sup> . 豊岡 公徳 <sup>2</sup> . 渡邊雄一郎 <sup>1</sup> . 濱田隆宏 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大・院・総合文化、 <sup>2</sup> 理研・ CSRS、 <sup>2</sup> 農業生物資源研、 <sup>*</sup> 京都大・ 院・理学)	2pC09 <b>⑤</b> Jasmonate-responsive transcription factors control the steroidal glycoalkaloid biosynthesis in tomato Chonprakun Thagun¹, Shunsuke Imanishi², Ryo Nakabayashi², Kiyoshi Ohyama⁴, Tetsuya Mori³, Koichi Kawamoto⁵, Satoko Nonaka⁵, Chiaki Matsukura³, Hiroshi Ezura³, Kazuki Saito³, Takashi Hashimoto¹, Tsubasa Shoji¹ (*Grad. Sch. Bio. Sci., NAIST. *Naro Inst. Veg. Tea Sci., *RIKEN CSRS. *Grad. Sch. Sci. Eng., Tokyo Inst. Tech., *Grad. Sch. Sci.	2pD09 葉面積拡大を促進する新規プラシ ノステロイド情報伝達因子BIL8 の細胞内機能 <u>山上あゆみ<sup>15</sup></u> , 中田元基 <sup>12</sup> , 市川尚 斉 <sup>3</sup> 松井南 <sup>3</sup> 藤岡昭三 <sup>15</sup> 長田裕 之 <sup>15</sup> , 入焼哲夫 <sup>2</sup> , 浅見忠男 <sup>145</sup> , 中野 城司 <sup>155</sup> (津研、明治大院・農芸 化学、 <sup>3</sup> 理研・CSRS、 <sup>4</sup> 東大院・農生 科、 <sup>5</sup> JST-CREST)	2pE09 転写因子AtGLK1の細胞内動態と 制御機構の解析 徳丸充明', 安達ふみ', 戸田真 <sup>1</sup> , 稲 葉靖子 <sup>2</sup> 、矢津美美子', 榊原陽一 <sup>1</sup> , 水光正仁', 柿峰智博', 稲葉丈人 <sup>1</sup> ('宮崎大・農, '宮崎大・テニュア トラック機構, <sup>3</sup> 農研機構・野茶研)
15:15	2pA10	2pB10	Life Env. Sci., Tsukuba Univ.) 2pC10	2pD10	2pE10
10.10	Elucidating regulatory mechanisms of rhizome development on mineral nutrients <u>Kyohei Shibasaki</u> , Mikiko Kojima, Nobue Makita, Hitoshi Sakakibara (RIKEN YOKOHAMA)	シロイヌナズナの暗処理による炭 素欠乏条件下でオートファジーは	ナス科植物ステロイドサポニンの F環の構造多様性に関わるコレステ ロール26位水酸化酵素の機能解析 中安大! 梅基直行, 大山清 <sup>34</sup> 渡 辺文太 <sup>5</sup> , 村中俊哉 <sup>6</sup> , 斉藤和季 <sup>7</sup> , 杉	花茎伸長を促進するブラシノステロイド情報伝達因子BIL/ICよる 転写因子BIL/IBZRI の活性化機構 <u>宮地朋子</u> <sup>14</sup> , 市川尚斉 <sup>3</sup> , 松井南 <sup>3</sup> , 藤岡昭三 <sup>13</sup> , 長田裕之 <sup>13</sup> , 浅見忠 男 <sup>34</sup> , 中野雄司 <sup>14</sup> 、(平理所 <sup>-3</sup> 東大院・ 農生科・応生科, <sup>3</sup> 理研・CSRS, <sup>5</sup> JST-CREST)	ジロイヌナズナの葉緑体タンパク 質CSKによる核遺伝子の転写制御 支間美里、寿藤光紀・横山栗、鈴木 雄介、江波和彦、華岡光正 (千葉大・ 院園芸・応用生命)
15:30	2pA11 イネの栄養成長と老化葉の窒素リ サイクルにおけるオートファ ジーの役割の解析 和田慎也 <sup>1</sup> , 林田泰和 <sup>1</sup> , 泉正範 <sup>2</sup> , 来 須孝光 <sup>34</sup> , 花俣繁 <sup>4</sup> , 朽津和幸 <sup>4</sup> , 牧 野間 <sup>1</sup> , 石田宏幸 <sup>1</sup> (「東北大・院農、 <sup>2</sup> 東北大・院生命。 <sup>3</sup> 東京工科大・応 用生物。 <sup>4</sup> 東京理科大・理工・応用 生物)	2pB11 適管形成を負に制御する転写抑制 因子 VNI2のタンパク質制御機構 北川純子 <sup>1</sup> 、松田浩平 <sup>2</sup> 、加藤晃 <sup>2</sup> 、川 合真紀 <sup>1</sup> ・出村括 <sup>2</sup> 、山口雅利 <sup>14</sup> ( <sup>1</sup> 埼玉大学・院: 理工, <sup>2</sup> 奈良先端大・院・バイオサイエンス、 <sup>3</sup> 理研・バ イオマス工学, <sup>4</sup> JST・さきがけ)		2pD11 緑化調節を制御するブラシノステロイド情報伝達因子BPG4はクロロイル生合成の転写因子 GLK1,2と相互作用する 阿部晋 <sup>124</sup> , 山上あゆみ <sup>14</sup> , 市川尚 斉', 松井南', 長田裕之 <sup>1</sup> , 久城哲 夫 <sup>2</sup> , 浅見忠男 <sup>34</sup> , 中野雄司 <sup>14</sup> ( <sup>1</sup> 理研, "明治大院"。農芸化学, <sup>3</sup> 東大院・農 化生, <sup>4</sup> JST CREST)	
15:45	2pA12 異なる窒素栄養条件下において オートファジーの欠損がイネの窒 素利用と成長に及ぼす影響の解析 横浜蘇,和田慎也,牧野周,石田宏 幸(東北大・院農)	2pB12 <b>(3)</b> Role of the SCFCFK1 and SCFCFK2 ubiquitin ligases in mediating cell and organ size in Arabidopsis thaliana Anna Franciosini¹, Giovanna Serino², Keiko Sugimoto¹ (¹Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, Yokohama, Japan, ²Department of Biology and Biotechnology, Sapienza University of Rome, Italy)		2pD12 根端における DWF4の発現に対す る光の影響に関する研究 坂口潤、渡邊雄一郎(東大・院・ 総合文化)	

F会場	G会場	H会場	会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
光合成(アンテナ他) 2pF07	光合成・呼吸の環境応答 2pG07	植物微生物相互作用(免疫3) 2pH07	環境応答/非生物ストレス応答 (イオン・金属・栄養) 2pI07	シンポジウ	シンポ	シンポジウ	14:30
2月37 光合成水分解反応におけるチロシンY。を経由する新規なプロトン移動機構 中村他、野口巧(名古屋大院・理)	海洋性珪藻 Phaeodactylum	Analyses of plant defense and host suitability of herbivores Hinoshi Abe <sup>1</sup> . Takeshi Shimoda <sup>2</sup> , Yuji Sawada <sup>3</sup> , Shigemi Seo <sup>4</sup> , Masami Yokota Hirai <sup>3</sup> . Ken Tateishi <sup>4</sup> , Soichi Kugimiya <sup>5</sup> , Masatomo Kobayashi <sup>1</sup> ( <sup>3</sup> RIKEN BioResource Center, <sup>2</sup> NARC. <sup>3</sup> RIKEN CSRS, <sup>4</sup> NIAS, <sup>5</sup> NIAES)	Analysis of Low Magnesium Sensitive Mutants of Arabidopsis thaliana Hiroshi Nagao, Zhihang Feng, Naoyuki Sotta, Sho Nishida, Takehiro Kamiya, Toru Fujiwara (Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo)	S 10	ジウム S 11	S 12	14.30
2pF08 Native structure of photosystem II at 1,95Å resolution viewed by femtosecond X-ray pulses Michi Suga <sup>12</sup> , Isuamichi Akita <sup>12</sup> , Kunio Hirata <sup>2</sup> , Go Ueno <sup>3</sup> , Hironori Murakami <sup>3</sup> , Yoshiki Nakajima <sup>1</sup> , Tetsuya Shimizu <sup>1</sup> , Keitaro Yamashita <sup>3</sup> , Hideo Ago <sup>3</sup> , Masaki Yamamoto <sup>5</sup> , Jian-Ren Shen <sup>12</sup> (¹Okayama university, ²Photosynthesis Recearch Center, ³RIKEN SPring-8 Center)	2pG08 海洋性珪藻におけるアクアポリン の探索および機能解析 松井啓見, 中鳥健介, 松田祐介(関 学大・院生命科学)	2pH08 Jasmonate signaling plays an essential role in rice for the defense of roots against fungal pathogens Satoshi Fujieda <sup>1</sup> , Takafumi Shimizu <sup>2</sup> , Saki Nisino <sup>1</sup> , Nanao Fujiakawa <sup>3</sup> , Motoaki Tojo <sup>3</sup> , Moritoshi Iino <sup>1</sup> ('Grad. Sch. Sci., City Univ. Osaka, <sup>2</sup> Yokohama Inst., Riken. <sup>3</sup> Grad. Sch. Sci., Pref. Univ. Osaka)	2pI08 Genome-wide association study of Arabidopsis thaliana accessions on low-Mg sensitivity suggested involvement of CHLM in low-Mg adaptation Koshiro Oda <sup>1</sup> , Teruaki Taji <sup>2</sup> , Takehiro Kamiya <sup>1</sup> , Toru Fujiwara <sup>1</sup> ('Grad. Sch. Agri. Life Sci., Univ. of Tokyo, 'Dep. BioSci., Tokyo Univ. of Agri.)	How Can Leaves Be Free from Sunburn'	The frontiers of vascular biology in plants	Response for environmental stimulation:	14:45
ion in the water splitting Hiroki Nagashima <sup>1</sup> , Yoshiki	2pG09 シアノバクテリア重炭酸イオン輸送体を発現するシロイヌナズナの作出とその解析 上原晋 <sup>1</sup> , 安達ふみ <sup>1</sup> , 稲葉靖子 <sup>2</sup> , 稲 東丈人 <sup>1</sup> (宮崎大・農・宮崎大・テニュアトラック機構)	2pH09 Bacterial volatile that hampers plant growth Jun Murata. Takehiro Watanabe. Hajime Komura (Suntory Foundation for Life Sciences)	2p109 シロイヌナズナにおいてSnRK2およびそれらの相互作用因子SDB1プロテインキナーゼはMg²*感受性を調節している 最上韓郎!、藤田泰成³。吉田拓也¹、月居住史¹、中神弘史¹、野村有子⁴、藤原徹,西田翔³、柳澤修-5。石田苞也*、森本恭子²、城所聡、溝井碩哉、篠崎一雄*、篠崎一雄*、篠崎和子¹(*東大院-農学生命科学、天院:生命環境、 <sup>3</sup> 理研・環境資源利用。第次於「実生命環境、 <sup>5</sup> 生研・環境資源利用。第次大院:生命環境、 <sup>5</sup> 生研・環境資源利用。	Free from Sunburn? Kozi Asada Memorial Symposium(13:00-	3 (13:00–16:00)	From signaling to gene regulation	15:00
	2pG10 業緑体カルシウムセンサーホモロ クCrCASは緑藻無機炭素輸送体の 発現に必要である 王連勇 <sup>1</sup> , 山野隆志 <sup>1</sup> , 高根俊輔 <sup>1</sup> , 津 田高估 <sup>1</sup> , 得津隆太郎 <sup>2</sup> , 廣野雅文 <sup>2</sup> , 皆川順 <sup>2</sup> , 温差査鼓 <sup>2</sup> , 「東子、生命 科学。, <sup>2</sup> 基生研・環境光生物学。 <sup>3</sup> 東 大・理学)	2pH10 線虫感染過程におけるCLAVATA シグナル伝達系の関与 中上知!、江鳥千佳!、Ngan Bui Thi <sup>1</sup> , 田畑亮 <sup>2</sup> , 石田喬志 <sup>1</sup> 、澤進一郎 <sup>1</sup> (「熊本大・院自然科学、 <sup>2</sup> 基生研)	2pI10 イネのヒ素集積を制御する新たな 遺伝子座の同定 石川覚・倉侯正人 <sup>13</sup> 、安部匡・山口 紀子・藤原徹 <sup>2</sup> (「農環研、 <sup>2</sup> 東大院・ 農、 <sup>3</sup> KYB)	osium (13:00–16:05)		ation (13:00-16:00)	15:15
		2pH11 Analysis of Gene Expression in the Parasitic Region of Cuscuta japonica and Glycine max Daisuke Ikeue. <sup>1</sup> Schudoma Christian <sup>2</sup> , Zhang Wenna <sup>2</sup> , Yoshiyuki Ogata <sup>1</sup> , Kragler Friedrich <sup>1</sup> , Tomoaki Sakamoto <sup>3</sup> , Tetsuya Kurata <sup>3</sup> , Koh Aoki' ('Grad. Sch. Life Environ. Sci., Osaka Pref. Univ. <sup>2</sup> Max Plank Institute of Molecular Plant Physiology, <sup>3</sup> Nara Institute of Science and Technology)	2pI11 A novel member of the Major Facilitator Superfamily of transporters (OsMFS1) is a long distance transporter of Cd and enhances Cd accumulation in rice plants Midori Abe¹, Shogo Fujita¹, Kenji Sakuta¹, Yuichi Ishikawa¹, Tomokazu Konishi¹, Tomonobe Kusano², Shohab Youssefani¹a¹ ('Akita Pref. Univ. 'Graduate School of Life Sciences, Tohoku Univ. 'Graduate School of Medicine, Kyoto Univ.)	5)			15:30
							15:45

# ●第3日 3月18日(水) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	花成/生殖成長	細胞周期・分裂		植物ホルモン	細胞壁
9:00	3aA01 シロイヌナズナFTタンパク質の 輸送機構の解析 掘川工望、佐々木陽平、遠藤求、荒 木崇(京都大・院生命科学)	3aB01 イネ体細胞のDNA 倍数性に影響 を与える遺伝子の解析 <u>根根美佳</u> <sup>12</sup> 、井上慎子 <sup>1</sup> 、梅根一夫 <sup>2</sup> 、 寺内良平・永澤信津、前川雅彦 <sup>2</sup> 、 伊藤正樹 <sup>12</sup> (「名古屋大・院生命農 学。"JST、CREST、 <sup>3</sup> 基礎生物学研究 所、"岩手生工研センター。"秋田県 大・生物資源科学、「岡山大・資源 植物科学研究所)		3aD01 苔類ゼニゴケにおけるオーキシン 受容メカニズムの解析 加藤大貴 <sup>1</sup> 、鈴木秀野 <sup>2</sup> 、山岡尚平!、 西浜竜一,石崎公庸 <sup>2</sup> 、河内孝之 <sup>1</sup> (『京大・院・生命、 <sup>2</sup> 京大・農、 <sup>3</sup> 神戸 大・院・理)	3aE01 ガラクツロン酸転移酵素の変異は シロイヌナズナにおいてホウ素要 求量を低下させる <u>船川寛安</u> , 福間健, 三輪京子 <sup>23</sup> (『北大院環境, <sup>2</sup> 北大院地環, <sup>3</sup> JST さきがけ)
9:15	3aA02 チューベリゲンホモログ遺伝子のトマトにおける機能 田村勝徳、 <u>後藤弘爾</u> (岡山県農林 水産総合センター・生物科学研究 所)	3aB02 GRASファミリー転写因子による シロイヌナズナの細胞分裂と核内 倍加の制御 <u>総木俊哉</u> <sup>12</sup> , Breuer Christian <sup>3</sup> , 石 田喬志 <sup>4</sup> , 鈴木孝征 <sup>5,6</sup> , 東山哲也 <sup>5,6,7</sup> , 杉本慶子 <sup>3</sup> , 伊藤正樹 <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> 名大院・ 生命農。 <sup>2</sup> )ST・CREST、 <sup>3</sup> 理研 CSRS、 <sup>4</sup> 熊大院・自然科学、 <sup>5</sup> 名大院・ 理、 <sup>6</sup> JST・ERATO、 <sup>7</sup> 名大・ WPI-ITDM)		3aD02 ゼニゴケのオーキシン応答転写因 子ARP1は無性字の細胞分裂パ ターンを制御する 連整勝 <sup>1</sup> 、加藤大貴 <sup>1</sup> 、武田真由子 <sup>1</sup> 、 石崎公庸 <sup>2</sup> 、西浜竜一 <sup>1</sup> 、河内孝之 <sup>1</sup> (「京大・院・生命、 <sup>2</sup> 神戸大・院・理)	3aE02 シロイヌナズナKDO-8-フォス ファターゼ候補タンパク質の解析 原朋美, 王櫻霖, 小林優, 間藤徹(京 都大・院農)
9:30	3aA03 花成制御における <i>NaKR1</i> の役割 の解析 <u>根屋克弥</u> 、遠藤求、荒木崇 (京都大・院・生命)	3aB03 (a) Proteome-wide Analysis of CDK Substrates Reveals a Tight Interconnection of the Cell Cycle with Physiology and Development in Arabidopsis Hirofumi Harashima <sup>1</sup> , Arp Schnittger <sup>2</sup> , Keiko Sugimot <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> CSRS, RIKEN, <sup>2</sup> University of Hamburg)		3aD03 DELLA-GAFI/IDD2複合体による GA信号伝達とフィードバック制 御機構 <u>深澤壽太郎</u> <sup>12</sup> 、森雅彦 <sup>1</sup> 、宮本知佳 <sup>1</sup> 、 三島由佳 <sup>12</sup> 、神谷勇治 <sup>2</sup> 、山口信次 郎 <sup>2</sup> 、高橋陽介 <sup>1</sup> (「広島大院・理, <sup>2</sup> 理研・PSC)	3aE03 ベクチン分解酵素過剰発現イネの 環境ストレス応答解析 小原禁司!、佐藤淳也. 長谷川和 也!, 中村敦子!, 横山隆亮!, 西谷和 彦!, 南栄一3. 佐藤忍!, 岩井宏暁! ('気波大・鬼張鬼', 東北大・院・ 生命科学, "生物研)
9:45	3aA04 Condition-dependent expression of genetic variation for flowering time in natural populations of Arabidopsis thaliana Eriko Sasaki¹, Pei Zhang¹², Marie-Stanislas Remigereau², Magnus Nordborg¹ (¹Gregor Mendel Institute of Molecular Plant Biology GmbH, ²The University of Southern California)	3aB04 ヒメツリガネゴケ茎様体細胞の非 対称分裂における分裂面決定機構 幸節健、 <u>五島剛太</u> (名古屋大学 大 学院理学研究科 生命理学専攻)		3aD04 ジャスモン酸応答性 GTRI/ NPF2.10トランスポーターはジベレリン供給を介して雄ずいの発達 を促進する 佐藤(金森)美有 <sup>1</sup> , 斉藤沈 <sup>1</sup> , 関本 (佐々木)結子 <sup>2</sup> , 及川貴也 <sup>3</sup> , 派本 青*, 石丸泰寛 <sup>3</sup> , 内海知弥 <sup>3</sup> , 陳静 <sup>3</sup> , 瀬尾光範 <sup>5</sup> , 魚住信之 <sup>4</sup> , 上田実 <sup>3</sup> , 太 田啓之 <sup>12</sup> (「東工大・院生命理工、 <sup>2</sup> 東工大・ELSI、 <sup>3</sup> 東北大・院理、 <sup>4</sup> 東 北大・院工、 <sup>5</sup> 型研・CSRS、 <sup>6</sup> 東工大・バイオセンター)	
10:00	3aA05 輪生様枝序を生じるイネ変異体の 発生遺伝学的解析 池田相之 <sup>1</sup> , 田中若宗 <sup>1</sup> , 村井正之 <sup>2</sup> , 地本智昭 <sup>2</sup> , 宮田哲也 <sup>1</sup> , 平野博之 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東大院 <sup>2</sup> , 理 <sup>2</sup> 高知大・農 <sup>3</sup> 奈良 先端大・バイオ)	3aB05 DNA損傷時における植物クロマチン動態のイメージング解析 乎川健, 安藤格士, 片桐洋平, 杉 田有治, 松永幸大, 「東理大・院・理工学・応用生物科学, <sup>2</sup> 理研 QBiC)		3aD05 アプシジン酸シグナルで働く AHG1の相互作用因子の解析 西村宜之¹, James Moresco², 光田 展隆², Patrica 'ਧ², 西村秀希¹, 林優 彩², 平山隆志⁴, 木下俊則⁵, Julian Schroeder⁴, John Yates², 佐藤浩二¹ ('生物研・放育場, *TSRI, ³産総研, '個大・植物研, 5名大院・理・生命, 'UCSD)	3aE05 Promoting Secondary Cell Wall Formation in Poplar Xylem to Enhance CO <sub>2</sub> Assimilation Yoshimi Nakano¹, Misato Ohtani¹¹², Taku Demura¹² (¹Bio., NAIST, ²CSRS., RIKEN)
10:15	3aA06 A floral homeotic gene, AGAMOUS regulates stamen morphogenesis in Arabidopsis.  Taiyo Toriba <sup>13</sup> . Mitsuyasu Hasebe <sup>12</sup> , John Bowman <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> NIBB, <sup>2</sup> SOKENDAI, <sup>3</sup> Sch. Biol. Sci. Monash Univ.)	3aB06 植物ホルモンはリモデリング因子を 介してクロマチン構造を制御する 長谷川淳子! 佐々木卓 <sup>23</sup> 坂本卓 也! 関原明 <sup>23</sup> 松永幸大 <sup>13</sup> (1東理大・ 院: 理工、 <sup>2</sup> 理研・CSRS・植物ゲノ ム発現、 <sup>3</sup> CREST)		3aD06  Signaling components for ABA mediated decrease in epidermal cells  Archana Kumari. Tatsuo Kakimoto (Osaka University)	3aE06 nst二重変異体を用いた新規二次 壁合成因子の探索と解析 <u>坂本真吾</u> , 光田展隆 (産業技術総合研究所生物プロセス研究部門植物機能制御研究グループ)

F会場	G会場	H会場	会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
エピジェネティック制御	新技術	植物微生物相互作用(共生)	環境応答/非生物ストレス応答 (酸化・レドックス)	シン	シン	シン	
3aF01 KUMONOSU gene is involved in DNA methylation and heterochromatin-associated silencing Yoko Ikeda*, Leticia Lopez- Gonzalez*, Marie-Noelle Pouch- Pelissier*, Pierre Bourguet*, Thierry Pelissier*, Olivier Mathieu* (¹IPSR, Okayama Univ., ²CNRS UMR6293- INSERM U1103-GReD, France)	( <sup>1</sup> 生物研・ゲノム機能改変, <sup>2</sup> 横浜 市立大院・生命ナノ, <sup>3</sup> 横浜市立大・	3aH01 クラス1植物ヘモグロビンの一酸 化窒素除去活性は根粒菌の感染過程に影響する 角友博, 小薄健一, 福留光拳, 九町 健一, 黒木隆生, 有馬一成, 阿部美 紀子, 東四郎, <u>内海俊樹</u> (康児鳥大・ 院理工・生命化学)	3aI01 蛍光タンパク質を用いた細胞内酸 化還元状態の直接観察法の開発 <u>杉浦一億<sup>12</sup></u> 久媚徹 <sup>12</sup> (東京工業 大学資源化学研究所, <sup>3</sup> JST・ CREST)	ンポジウムS13 Fr	ポジウムS14 Lip	, ポジウムS15 Ma	9:00
3aF02 シロイヌナズナ26S プロテアソー ムによるトランスポゾン領域の DNAメチル化制御機構の解析 佐古香織', 高橋聡史', 金鍾明', 遠 藤高帆', 山口言二 <sup>3</sup> , 関原明 <sup>14</sup> ( <sup>1</sup> 理 研・CSRS <sup>2</sup> 理研・IMS, <sup>3</sup> 北大・院理, <sup>4</sup> CREST・JST)	3aG02 Cas9 nuclease, Cas9 nickaseによる イネ標的遺伝子の欠失変異 三上雅史 <sup>12</sup> , 遠藤真咲 <sup>2</sup> , 土岐精一 <sup>23</sup> (「横浜市大院・生命ナノ、 <sup>2</sup> 生物研・ ゲノム機能、 <sup>3</sup> 横浜市大・木原生研)	3aH02 ジベレリンシグナルによる共生遺 伝子NIN の発現制御と細胞分裂誘 導機構の解析 武田直也 <sup>12</sup> , 川口正代司 <sup>12</sup> ('基礎 生物学研究所・共生システム, <sup>2</sup> 総 研大)	3aI02 酸化ストレスシグナル分子として 機能する反応性短鎖緑葉揮発性化 合物 山内趙雄, 國嶋幹子, 水谷正治, 杉 本幸裕 (神戸大学大学院農学研究 科植物機能化学研究室)	Frontiers in plant calcium signaling	Lipid-based microstructures	Molecular message from	9:15
3aF03 Regulation of Active DNA Demethylation by an α-Crystallin Domain Protein in Arabidopsis <u>Daisuke Miki</u> , Weiqiang Qian, Mingguang Lei, Jian-Kang Zhu (CAS Shanghai Center for Plant Stress Biology)	3aG03 CRISPR/Cas9による植物ゲノム編 集技術開発と環境応答能の改変 <u>刑部祐里子<sup>12</sup></u> , 菅野茂夫 <sup>1</sup> , 篠崎一雄 <sup>2</sup> , 野地澄晴 <sup>1</sup> , 刑部敬史 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 徳島 大学県工商連携センター, <sup>2</sup> (独) 理化学研究所植物科学研究セン ター機能開発研究グループ)	3aH03 根粒共生特異的因子NINは遺伝子 発現制御において硝酸と拮抗的に 作用する 征矢野敬 <sup>123</sup> 、下田宜司 <sup>2</sup> 、林誠 <sup>23</sup> (「基生研、 <sup>2</sup> 生物資源研究所、 <sup>3</sup> 理研・環境資源)	3a[03 シロイヌナズナにおける2 - アル ケナールレダクターゼアイソ フォーム の細胞内局在性と器官 別発現 <u>薗藤真吾</u> <sup>1</sup> 下谷絋司 <sup>2</sup> 、椎名隆 <sup>2</sup> 、高 野和文 <sup>2</sup> 、佐野智 <sup>2</sup> (「京都府大・生 命環境、 <sup>2</sup> 京都府大・院・生命環境 科学)	(9:00-	res and microdomains	from the under ground	9:30
3aF04 Molecular analysis of high-salinity stress tolerance mechanisms caused by epigenetic inhibitor treatments Minoru Ueda <sup>12</sup> , Akihiro Matsui <sup>1</sup> , Maho Tanaka <sup>1</sup> , Kaori Sako <sup>1</sup> , Taku Sasaki <sup>12</sup> , Jong-Myong Kim <sup>1</sup> , Akihiro Ito <sup>3</sup> , Norikazu Nishino <sup>3</sup> , Minoru Yoshida <sup>3</sup> , Motoaki Seki <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> Plant Genomic Network Research Team, RIKEN CSRS, <sup>2</sup> IST CREST, <sup>3</sup> Chemical Genomics Research Group, RIKEN CSRS)	3aG04 CRISPR/Cas9によるトマトIAA9遺伝子を標的としたゲノム編集技術の確立 上田梨約: 石原諒典 <sup>1</sup> , 渡辺崇人 <sup>1</sup> , 菅野茂夫 <sup>1</sup> , 宮脇克行 <sup>1</sup> , 野地澄晴 <sup>1</sup> , 刑部杭里子 <sup>12</sup> , 刑部敬史 <sup>1</sup> ('徳大・農工商連携セ、 <sup>2</sup> 理研・環境資源科学セ)	3aH04 ミヤコグサの根粒共生におけるチアミン生合成酵素遺伝子 Thil の 解析 <u>永江美和</u> !、武田直也 <sup>12</sup> 、川口正代 司 <sup>12</sup> (「基礎生物学研究所、 <sup>2</sup> 総研大)	3aI04 シアノバクテリア翻訳因子EFTu の酸化傷害機構とその生理学的意 養 神保晴彦 <sup>1</sup> , ラヤコーン ユッタナシ リクル <sup>1</sup> , 永野孝典 <sup>1</sup> , 久堀徹 <sup>2</sup> , 西山 佳孝 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 埼玉大・院・理工, <sup>2</sup> 東工大・ 資源研) 環境応答/非生物ストレス応答 (塩ストレス・重力 他)	. 12:00)	iins (9:00-12:10)	(9:00-12:00)	9:45
3aF05 シロイヌナズナ異数体様形態異常 の発生機構の解析 渡辺明夫, 外館和季, 佐藤奈美子, 櫻井健二, 高橋秀和, 赤木宏守(秋 田県立大・生物資源科学)	3aG05 シロイヌナズナ種子を用いた組換 えタンパク質生産の可能性 金 <u>井雅武</u> <sup>1</sup> 、杉山真也 <sup>2</sup> 、近藤真紀 <sup>1</sup> 、 山田健志 <sup>3</sup> 、真野昌二 <sup>14</sup> 、藩上雅史 <sup>2</sup> 、 西村幹夫 <sup>1</sup> (「基生研、「国立国際・ 肝疾患、 <sup>3</sup> 京大・院理、 <sup>4</sup> 総研大・生 命科学)	3aH05 リン酸処理はアーバスキュラー蘭 根の新しい樹枝状体形成を抑制する 人八重善裕'、大森良弘'、齊藤知恵 子'、藤原徹'('東京大学大学院農 学生命科学研究科、 <sup>2</sup> 東京大学大学 院理学系研究科)	3a105 緑藻クロレラのトリアシルグリセロール蓄積における混合ストレスの有効性 佐藤典詮 <sup>12</sup> 平井一帆 <sup>1</sup> , 林泰平 <sup>1</sup> , 佐藤敦史 <sup>1</sup> , 長谷川柚里, 都筑幹夫 <sup>12</sup> (「東京薬科大学生命科学部, <sup>3</sup> JST CREST)				10:00
3aF06 Analysis of an Arabidopsis thaliana Mutant which Preferentially Produces Heterozygotes Ryuichiro Futagoishi¹, Akiko Yoshinaga¹, Kyoko Miwa², Toru Fujiwara¹ (¹Grad. Sch. Agr., Univ. Tokyo. ²Grad. Sch. Env., Univ. Hokkaido)	3aG06 <b>⑤</b> Applications of Synchrotron radiation analysis of nutritional and anti-nutritional components of pea seeds.  Perumal Vijayan¹, Rachid Lahlali¹, Arun Shammugam², Brandon Smith², Ian Willick², Saroj Kumar¹, Emil Hallin¹, Tom Warkentin², Karen Tanino², Chithra Karunakaran¹ (¹Canadian Light Source, 44 Innovation Boulevard, Saskatoon, SK S7N 2V3, Canada. ²Department of Plant Sciences, University of Saskatchewan, 51 campus Dr., Saskatoon, SK S7N 5A8, Canada.)	3aH06 <b>③</b> 野外環境で非マメ科植物シロイヌナズナの根に感染する根粒菌の宿主生育促進活性とその分子機構中野亮平¹, Nina Dombrowski¹, Ruben Garrido Oter¹², Alice McHardy²³ Paul Schulze-Lefert¹³ (¹Department of Plant Microbe Interactions, Max Planck Institute for Plant Breeding Research, ²Department for Algorithmic Bioinformatics, Heinrich Heine University Duesseldorf, ³Cluster of Excellence on Plant Sciences (CEPLAS))	3aI06 イネ品種「ひとめぼれ」耐塩性突 然変異体の選抜と原因遺伝子の同 定 <u>高木玄樹</u> , 阿部陽, 及川香梨, 八重 樫弘樹, 小原務, Muluneh Tamiru, 植村亜衣子, 寺内良平(岩手生物 工学研究センター)				10:15

# ●第3日 3月18日(水) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	花成/生殖成長	細胞周期・分裂		植物ホルモン	細胞壁
10:30	3aA07 High-throughput screening of reproductive mutants by using POEM phenomenon Ryushiro Kasahara¹². Yoshihiro Kinoshita², Natsuko Ono², Tetsuya Higashiyama².² (¹JST PREST, ²TTbM, Nagoya Univ. ³JST ERATO)	3aB07 ラングム森を用いた顕微鏡画像からのフェノーム解析システムの開発 <u>朽名夏廊</u> <sup>12</sup> 、馳澤盛一郎 <sup>1</sup> (「東京大 学・院・新領域 <sup>2</sup> エルピクセル株 式会社研究開発本部)		3aD07 Novel antagonists of abscisic acid receptors as secondary dormancy-breakers Naoki Mimura <sup>1</sup> , Masanori Okamoto <sup>2</sup> , Naoki Asahina <sup>3</sup> , Noriaki Kawashima <sup>3</sup> , Toshiyuki Ohnishi <sup>1,3,4</sup> , Yasushi Todrorki <sup>1,3,4</sup> ("Grad. School Agric., Shizuoka Univ. <sup>2</sup> ALRC, Tottori Univ. <sup>3</sup> Faculty Agric., Shizuoka Univ. <sup>4</sup> RIGST, Shizuoka Univ.)	3aE07 二次細胞壁形成で発現する遺伝子の網羅的機能解析 <u>遠藤暁詩</u> , 橋本悟史, 齊藤知恵子, 福田裕穂(東京大・院・理)
10:45	3aA08 Molecular mechanism of zygote polarization and embryo patterning			3aD08 コムギ無細胞系を基盤とした新 規ABAアゴニスト化合物の探索・	3aE08 道管の二次細胞壁パターンを制御 する新規ROPエフェクターの解
	in Arabidopsis Minako Ueda <sup>12</sup> , Yusuke Kimata <sup>2</sup> , Daisuke Kurihara <sup>3</sup> , Tetsuya Higashiyama <sup>123</sup> ( <sup>1</sup> ThM, Nagoya Univ. <sup>2</sup> Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ., <sup>3</sup> JST, ERATO)			同定 <u>根本主一郎</u> <sup>1</sup> , 篠崎一雄 <sup>2</sup> , 澤崎達也 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 愛媛大 · PROS, <sup>2</sup> 理研 · CSRS)	析 長島慶宜 <sup>12</sup> 、福田裕穂 <sup>1</sup> 、小田祥久 <sup>23</sup> (「東京大・院理・生物科学、 <sup>3</sup> 国立 遺伝研・新分野、 <sup>3</sup> 科学技術振興機 構・さきがけ)
11:00	3aA09 Development of polyspermic rice zygotes produced in vitro <u>Erika Toda</u> , Yukinosuke Ohnishi, Takashi Okamoto (Dept of Biol Sci, Tokyo Metropolitan Univ.)			3aD09 ABA代謝不活性化酵素 CYP707A を阻害する新奇アブシナゾール 増田淳也: 久保尻由貴 <sup>1</sup> , 轟秦司 <sup>12</sup> (一静大院・農学研究科・ <sup>2</sup> 静大・グ リーン研)	3aE09 Identification of the master regulator of Casparian strip formation in Arabidopsis.  Takehiro Kamiya¹, John Danku³, Monica Borghi³, Sadaf Naseer², Niko Geldner², Toru Fujiwara¹, David Salt³ (¹Dept. Agr. Chem, Univ. Tokyo. ²Dept. Plant Mol. Biol., Univ. Lausanne, ³Inst. Biol. Environ. Sci., Univ. Aberdeen)
11:15	3aA10 咨類ゼニゴケの雄性配偶子形成過程を制御する分子機構の解析 <u>肥後あすか</u> <sup>1</sup> , 丹羽優喜 <sup>1</sup> , 大和勝 幸 <sup>2</sup> , 坂本智昭 <sup>2</sup> 倉田哲也 <sup>3</sup> 白川 一 <sup>1</sup> , 重信秀治 <sup>4</sup> , 石崎公庸 <sup>5</sup> , 西浜竜 一 <sup>1</sup> , 河内孝之 <sup>1</sup> , 荒木崇 <sup>1</sup> , (京都大・ 院: 生命舟学, <sup>3</sup> , 近畿大・生物理工, <sup>3</sup> 奈良先端大・バイオサイエンス, (基生研, <sup>5</sup> 神戸大・理学)			3aD10 シロイヌナズナにおけるストリゴ ラクトンを介した葉老化制御の解 析 <u>上田浩晶<sup>1</sup></u> . 草場信 <sup>12</sup> (「広鳥大院・ 理, <sup>2</sup> CREST)	
11:30	3aA11 転写因子BONOBOは苦類ゼニゴ ケの有性生殖器官形成を制御する。 山岡尚平! 友を寛和: 西浜竜一! 山口勝声! 重信秀治: 石崎公康! 大和勝幸 <sup>4</sup> . 河内孝之 <sup>1</sup> ('京大・院・ 生命科学、 基生研・ <sup>3</sup> 神戸大・院・理、 '近大・生物理工')			3aD11 シロイヌナズナMAX1はカーラクトンC-19位酸化酵素である <u>野村崇人</u> <sup>1</sup> 、阿部聡子, 佐渡愛香 <sup>2</sup> 、来生貴也 <sup>2</sup> 、金賢一 <sup>1</sup> 、米山香織 <sup>1</sup> 、謝 肖男 <sup>1</sup> 、大西科幸 <sup>1</sup> 、瀬口義哉 <sup>2</sup> 、山口信次郎 <sup>3</sup> 、秋山脈紀 <sup>3</sup> 、米山弘一 <sup>1</sup> (「宇都彦大・バイオ・ <sup>2</sup> 大阪府立大院・生命環境、 <sup>3</sup> 東北大院・生命科学、 <sup>4</sup> 静岡大院・農)	3aE11
11:45	3aA12 Gene duplication and genetic exchange drive the evolution of S-RNase-based self-incompatibility Ken-ichi Kubo <sup>1</sup> , Timothy Paape <sup>2</sup> , Masaomi Hatakeyama <sup>3</sup> , Tetsuyuki Entani <sup>1</sup> , Rie Shimizu-Inatsugr <sup>2</sup> , Kentaro Shimizu <sup>2</sup> , Seiji Takayama <sup>1</sup> ('Grad. Sch. Bio. Sci., NAIST, <sup>2</sup> Inst. Evol. Biol. Enviro., Univ. Zurich, <sup>3</sup> FGCZ, Univ. Zurich)			3aD12 シロイヌナズナにおけるカーラクトン酸メチルの同定。及びその枝分かれ抑制活性に関する研究 瀬戸養並,浅見慶,太田彩恵子,田中海,佐渡愛香,秋山康紀。阿 部路子。野村崇八,山口信次郎 <sup>14</sup> (「東北大・院生命科学。 <sup>2</sup> 大阪府立 大・院生命環境。 <sup>2</sup> 宇都宮大・バイ オ、「JST CREST)	

F 会場 G 会場 H 会場 I 会場	大 会場	<b>Y</b> 会場	Z <sub>会場</sub>	時間
F 会場  I ビジェネティック制御  新技術  AGOT	会場  ストレス応答 重力 他)  マアッキはIlimum を テナー機構の解明石では、東近路中、 東近路中、 インナー・ 名大アナー・ を管・理・ローク 名性 一名大アナー・ を管・管・アーク 名性 一名大アナー・ を管・管・アーク 名性 一字 で大大・ で大大・ で大大・ で大大・ を管・管・アーク 名は、 で大大・ で大大・ をできる。 では、 のよるとの。 は、 のよるとの。 に、。 では、 のよるとの。 ののよるとの。 のなるよるとの。 のなるよるとの。 のなるよるとの。 のなるよるとの。 のなるよるとの。 のなるように のな		Z場 シンポジウムS15 Molecular message from the under ground(9:00−12:00)	時間         10:30         10:45         11:00         11:45

# 一般講演(ポスター)プログラム

#### ポスター【前半】 第1日 3月16日(月)

#### ■ 植物ホルモン/シグナル伝達物質

1P01 シロイヌナズナ花茎切断処理に応答する植物ホルモン関連遺伝子の発現解析

松岡啓太<sup>1</sup>, 湯本絵美<sup>1</sup>, 奥川大樹<sup>1</sup>, 齋藤朴<sup>1</sup>, 中原陽平<sup>1</sup>, 横田孝雄<sup>1</sup>, 山根久和<sup>1</sup>, 佐藤忍<sup>2</sup>, <u>朝比奈雅志</u><sup>1</sup> ( $^{1}$ 帝京大・理エ・バイオ、 $^{2}$ 筑波大・生命環境)

1P02 シロイヌナズナ切断花茎における遺伝子発現に対するジャスモン酸の影響

<u>松岡啓太</u><sup>1</sup>, 湯本絵美<sup>1</sup>, 奥川大樹<sup>1</sup>, 齋藤朴<sup>1</sup>, 中原陽平<sup>1</sup>, 横田孝雄<sup>1</sup>, 山根久和<sup>1</sup>, 佐藤忍<sup>2</sup>, 朝比奈雅志<sup>1</sup> ( $^{1}$ 帝京大・理工・バイオ,  $^{2}$ 筑波大・生命)

1P03 ジャスモン酸輸送体は、非傷害部位での過剰な傷害応答を抑制する.

石丸泰寬<sup>1</sup>,及川貴也<sup>1</sup>,鈴木健史<sup>1</sup>,松浦英幸<sup>2</sup>,高橋公咲<sup>2</sup>,浜本晋<sup>3</sup>,魚住信之<sup>3</sup>,清水崇史<sup>4</sup>,瀬尾光範<sup>4</sup>,太田啓之<sup>5</sup>,上田実<sup>1</sup>( $^{1}$ 東北大・院理学, $^{2}$ 北海道大・院農学, $^{3}$ 東北大・院工学, $^{4}$ 理研・CSRS, $^{5}$ 東京工業大・院生命理工学)

1P04 OsRERJ1, a rice JA dependant defense response transcription factor, interacts with OsJAZ proteins

<u>Ioana Valea</u>, Hideaki Nojiri, Kazunori Okada (Laboratory of Environmental Biochemistry, Biotechnology Research Center, The University of Tokyo)

1P05 Cross-talk between JA and auxin in nicotine metabolism in tobacco

<u>Keita Kato</u><sup>1,2</sup>, Tsubasa Shoji<sup>2</sup>, Takashi Hashimoto<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Department of Natural Medicinal Chemistry, Kobe Pharmaceutical University, <sup>2</sup>Graduate School of Biological Science, Nara Institute Science and Technology)

1P06 オーキシン応答を制御するアブシシン酸シグナル伝達系の解析

ト滋慶<sup>1,2</sup>, 小賀田拓也<sup>1</sup>, 永利友佳理<sup>1</sup>, 矢野めぐむ<sup>1</sup>, 藤田泰成<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>国際農研・生物資源利用, <sup>2</sup>筑波大・生命環境)

1P07 シロイヌナズナ種子におけるアブシジン酸シグナルネットワークのリン酸化プロテオーム解析

天谷杏奈¹,中神弘史²,平山隆志³,梅澤泰史¹(¹農工大学・院BASE, ²理研・CSRS, ³岡山大・IPSR)

1P08 Phosphoproteomic analysis of the ABA signaling pathway in Physcomitrella patens

Yoshimasa Honda<sup>1</sup>, Naoyuki Sugiyama<sup>2</sup>, Mayuri Kuwamura<sup>3</sup>, Ryosuke Terao<sup>1</sup>, Kozue Ishizuka<sup>1</sup>, Yoichi Sakata<sup>3</sup>, Daisuke Takezawa<sup>4</sup>, Yasushi Ishihama<sup>2</sup>, Kazuo Shinozaki<sup>5</sup>, Taishi Umezawa<sup>1,6</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. BASE, Tokyo Univ. Agric. Tech., <sup>2</sup>Kyoto Univ., <sup>3</sup>Tokyo Univ. Agric., <sup>4</sup>Saitama Univ., <sup>5</sup>RIKEN CSRS, <sup>6</sup>PRESTO, JST)

1P09 A novel regulatory mechanism for plant stress signaling revealed by characterization of the abscisic acid-insensitive mutant of *Physcomitrella patens* 

Masashi Saruhashi<sup>1</sup>, Totan Kumar Ghosh<sup>1</sup>, Kenta Arai<sup>1</sup>, Yumiko Ishizaki<sup>1</sup>, Kazuya Hagiwara<sup>1</sup>, Kenji Komatsu<sup>2</sup>, Taishi Umezawa<sup>3</sup>, Yoichi Sakata<sup>4</sup>, Daisuke Takezawa<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Inst. for Env. Sci. and Tech., Saitama Univ., <sup>2</sup>Dept. of Jr. Coll. Bio. Tech., Tokyo Univ. of Agr., <sup>3</sup>Grad. Sch. BASE, Tokyo Univ. Agric. Tech., <sup>4</sup>Dept. of Bio., Tokyo Univ. of Agr.)

1P10 POSITIVE AND NEGATIVE REGULATORY MECHANISMS OF ABA SIGNALING ARE CRUCIAL FOR GROWTH AND STRESS RESPONSES IN LIVERWORTS

<u>Totan Kumar Ghosh</u><sup>1</sup>, Shuuhei Murai<sup>1</sup>, Keito Kato<sup>1</sup>, Kimitsune Ishizaki<sup>2</sup>, Takayuki Kohchi<sup>3</sup>, Yoichi Sakata<sup>4</sup>, Daisuke Takezawa<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci and Eng., Saitama Univ., <sup>2</sup>Grad. Sch. Sci., Kobe Univ., <sup>3</sup>Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ., <sup>4</sup>Dept. Bioscience, Tokyo Univ. Agric.)

1P11 低窒素条件下のキュウリにおけるアブシジン酸誘導緑色保持効果に対する NO の関与の可能性

岡真理子, 鈴木もと, 水田恵梨佳 (鳥取大・農)

1P12 ブドウ果実の着色に及ばす生理活性物質処理の影響

中嶋直子1, 井上博道1, 草塲新之助1, 中村ゆり2(1(独) 農研機構・果樹研, 2(独) 農研機構・本部)

1P13 Endogenous plant hormone metabolism and their effect on fatty acid accumulation and composition in soybean seed

<u>Thien Nguyen Quoc</u><sup>1,2</sup>, Neil Emery<sup>1</sup>, Suresh Narine<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Department of Biology, Trent University, <sup>2</sup>Trent Centre for Biomaterials Research, Department of Physics & Astronomy, Trent University)

1P14 一細胞からのアブシシン酸、ジャスモノイルイソロイシンの定量分析

<u>清水崇史</u><sup>1</sup>, 宮川慎也<sup>2</sup>, 江崎剛史<sup>3</sup>, 水野初<sup>3</sup>, 升島努<sup>3</sup>, 小柴共一<sup>2</sup>, 瀬尾光範<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>理研 CSRS, <sup>2</sup>首都大院 生命, <sup>3</sup>理研 QBiC)

1P15 Physiological analysis of GSSG for promotion of adventitious root formation

Nobuaki Urata<sup>1,3</sup>, Naoki Negishi<sup>1,3</sup>, Mikiko Kojima<sup>2</sup>, Hitoshi Sakakibara<sup>2</sup>, Ken'ichi Ogawa<sup>3,4</sup>, Akiyoshi Kawaoka<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>Agri-Biotechnology Research Laboratory, Nippon Paper Industries, <sup>2</sup>Riken CSRS, <sup>3</sup>CREST IST, <sup>4</sup>RIBS Okayama)

1P16 Root-promoting activities of amide conjugate of phenyllactic acid and tryptophan and its derivatives

<u>Yuko Maki</u><sup>1</sup>, Hiroshi Soejima<sup>1</sup>, Toru Kitamura<sup>1</sup>, Tamizi Sugiyama<sup>2</sup>, Masaaki Watahiki<sup>3</sup>, Junji Yamaguchi<sup>3</sup> (<sup>1</sup>Snow Brand Seed Co.,Ltd., <sup>2</sup>Fac. Agri, Meiji Univ., <sup>3</sup>Fac. Sci, Hokkaido Univ.)

1P17 シロイヌナズナの ROS 生成酵素 RbohA-J の活性制御機構と発現部位の網羅的解析

船木洋一<sup>1</sup>, 中内愛由子<sup>1</sup>, <u>杉浦誠</u><sup>1</sup>, 橋本研志<sup>1</sup>, 村上祐樹<sup>1</sup>, 森恭一郎<sup>1</sup>, 河原崎朋子<sup>1</sup>, 飯塚文子<sup>1</sup>, 木村幸恵<sup>1,2</sup>, 賀屋秀隆<sup>1,3</sup>, 北畑信隆<sup>1</sup>, 朽津和幸<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京理科大学・理工・応用生物科学、<sup>2</sup>ヘルシンキ大、<sup>3</sup>農業生物資源研)

1P18 窒素飢餓誘導性ペプチドシグナル CEP を介したシステミックな硝酸取り込み制御

田畑亮, 住田久美子, 篠原秀文, 松林嘉克 (名古屋大学 大学院理学研究科)

1P19 苔類ゼニゴケにおける受容体様キナーゼ ERECTA と分泌ペプチド EPIDERMAL PATTERNING FACTOR の機能解析 門田幸恵,西浜竜一,河内孝之(京大・院・生命)

1P20 苔類ゼニゴケにおけるオーキシン受容体 MpTIR1 の生理機能の解析

鈴木秀政<sup>1</sup>, 加藤大貴<sup>2</sup>, 山岡尚平<sup>2</sup>, 西浜竜一<sup>2</sup>, 河内孝之<sup>2</sup>(<sup>1</sup>京大・農, <sup>2</sup>京大・院・生命科学)

1P21 新規オーキシン受容阻害剤の開発と解析

鈴木優志, 白井郁也, 浅見忠男 (東大院・農生科・応生化)

#### ■栄養成長

1P22 シロイヌナズナ NEK ファミリーの機能解析

金澤まい1, 酒井達也2, 高橋卓13, 本瀬宏康13(1岡山大・理生物, 2新潟大・院自然科学, 3岡山大・院自然科学)

1P23 シロイヌナズナの parl1 変異は acl5 変異のサーモスペルミン欠乏による矮性表現型を抑圧する

山本真衣, 高橋卓(岡山大・理)

1P24 シロイヌナズナにおけるザイレミン応答のトランスクリプトーム解析

<u>吉本香織</u><sup>1</sup>, 坂本智昭<sup>2</sup>, 倉田哲也<sup>2</sup>, 本瀬宏康<sup>1</sup>, 高橋卓<sup>1</sup> (<sup>1</sup>岡山大学大学院自然科学研究科, <sup>2</sup>奈良先端科学技術大学院 大学)

1P25 シロイヌナズナの胚軸における二次成長過程の解析

高津永、井藤純、田坂昌生(奈良先端大・バイオ)

1P26 as2 rpl4d 背景での葉の裏側化を抑制する変異体の遺伝学および発生学的解析

高原正裕1, 塚谷裕一2, 堀口吾朗1.3(1立教大・理・生命理, 2東京大・院・理, 3立教大・理・生命理センター)

1P27 シロイヌナズナ *fasciata* 突然変異体の変異原処理から得られた aerial rosette leaf を形成する *138-2* 突然変異体とその原因遺伝 子の単離

川嵜正子<sup>1,2</sup>, 木村幸恵<sup>1</sup>, 田中啓介<sup>3</sup>, 坂田洋一<sup>4</sup>, 朽津和幸<sup>1</sup>, 阿部光知<sup>5</sup>, 土生芳樹<sup>2</sup>, 賀屋秀隆<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京理科大学 理工 学部 応用生物科学科, <sup>2</sup>農業生物資源研究所 農業生物先端ゲノム研究センター, <sup>3</sup>東京農業大学 生物資源ゲノム解析センター, <sup>4</sup>東京農業大学 応用生物科学部 バイオサイエンス学科, <sup>5</sup>東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻)

1P28 Impact of PPi overaccumulation on epidermal cell differenciation and development

Shizuka Gunji<sup>1</sup>, Hirokazu Tsukaya<sup>2</sup>, Ali Ferjani<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Depart. Biol., Tokyo Gakugei Univ., <sup>2</sup>Grad. Sch. Sci., Tokyo Univ.)

1P29 ケミカルバイオロジーによるシロイヌナズナの葉の向背軸形成に関わる因子の探索

<u>玉井元樹</u><sup>1</sup>,中川彩美<sup>1</sup>,伊藤卓馬<sup>1</sup>,大賀一臣<sup>1</sup>,高橋広夫<sup>2</sup>,小島晶子<sup>1</sup>,町田泰則<sup>3</sup>,町田千代子<sup>1</sup>( $^1$ 中部大・院・応用生物, $^2$ 千葉大・院・園芸, $^3$ 名古屋大・院・理)

1P30 カンプトテシン産生植物チャボイナモリの DNA トポイソメラーゼ I は、カンプトテシン投与した as1 における葉の向背軸不全を抑圧する

大河内俊貴<sup>1</sup>, 高橋真理<sup>2</sup>, 中川彩美<sup>1</sup>, 山崎真巳<sup>3</sup>, 斉藤和季<sup>3</sup>, 町田泰則<sup>2</sup>, 町田千代子<sup>1</sup>(<sup>1</sup>中部大・院・応用生物, <sup>2</sup>名大・院・理, <sup>3</sup>千葉大・薬学研究院)

1P31 シロイヌナズナの葉の向背軸極性分化における ETT 下流因子 IPT3 遺伝子の役割の解明

香田佳那¹,石橋奈々子²,小嶋美紀子³,中川彩美¹,高橋広夫⁴,榊原均³,町田泰則²,町田千代子¹,小島晶子¹(¹中部大・応用生物,²名古屋大院・理学,³理研・CSRS,⁴千葉大院・園芸)

1P32 Roles of INCURVATA2 and Replication Factor C subunit 3 in the establishment of adxial-abaxial polarity in which the AS1-AS2 is involved

Quy Toan Luong<sup>1</sup>, Sumie Keta<sup>1</sup>, Toshiharu Asai<sup>1</sup>, Haruka Funahashi<sup>1</sup>, Ayami Nakagawa<sup>1</sup>, Nanako Ishibashi<sup>2</sup>, Yasunori Machida<sup>2</sup>, Chiyoko Machida<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Bioscience and Biotechnology, Chubu University, <sup>2</sup>Graduate School of Science, Nagoya University)

1P33 Genetic analysis for natural variation in leaf shape of Daikon radish (Raphanus sativus var. longipinnatus)

<u>Toshiaki Kubo</u><sup>1</sup>, Kaori Kaminoyama<sup>1</sup>, Yaichi Kawakatsu<sup>1</sup>, Kaori Igarashi<sup>2</sup>, Hokuto Nakayama<sup>1,3</sup>, Kentaro Yano<sup>2</sup>, Seisuke Kimura<sup>1</sup> (¹Fac, Life Sci., Kyoto Sangyo Univ., ²Fac, Agri., Meiji Univ., ³Japan Society for the Promotion of Science)

1P34 マイクロ RNA と AUXIN RESPONSE FACTOR を介したシロイヌナズナの根のパターン形成機構

古川明日香1,中島敬二1,2(1奈良先端大・バイオ,2科学技術振興機構・さきがけ)

1P35 シロイヌナズナ側根形成におけるオーキシン依存的な転写制御機構の解析

<u>井藤純¹</u>, 深城英弘², Chuanyou Li³, 古谷将彦¹, 田坂昌生¹ (¹奈良先端大・バイオ, ²神戸大・院・理, ³Chinese Academy of Sciences)

1P36 PIP5K3 と他のタイプ B PIP5K 遺伝子との機能重複に関する解析

齊藤涼, 和田悠貴香, 加藤真理子, 柘植知彦, 青山卓史(京都大·化研)

1P37 シロイヌナズナ根毛における  $Ca^{2+}$ 結合タンパク質 PCaP2 とホスファチジルイノシトール-4,5 二リン酸の細胞内動態 加藤真理子<sup>1</sup>,柘植知彦<sup>1</sup>,前島正義<sup>2</sup>,青山卓史<sup>1</sup>(1京大・化研,2名大院・生命農)

1P38 シロイヌナズナの光による根毛形成促進突然変異体 lrh1 の単離と解析

山下慶子<sup>1</sup>, 草野博彰<sup>2</sup>, 橋本佳世<sup>3</sup>, 中澤美紀<sup>4</sup>, 松井南<sup>5</sup>, 奈良久美<sup>6</sup> (<sup>1</sup>奈良女子大・院・生物科学, <sup>2</sup>東京理科大・基礎工学部・生物工学, <sup>3</sup>奈良女子大・院・共生自然科学, <sup>4</sup>(株) インプランタイノベーションズ, <sup>5</sup>理研CSRS, <sup>6</sup>奈良女子大・自然科学・生物科学)

#### ■ 生殖成長

1P39 An enhancer trap screening to identify genes regulating egg cell specification and differentiation in *Marchantia polymorpha*Tetsuva Hisanaga<sup>1</sup>, Keiji Nakajima<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Biol. Sci, NAIST, <sup>2</sup>PRESTO, JST)

1P40 Arabidopsis DOK1 encodes a functional dolichol kinase involved in reproductive processes

Yueh Cho<sup>1,2,3</sup>, Chao-Yuan Yu<sup>1</sup>, <u>Kazue Kanehara</u><sup>1,2,4,5</sup> (<sup>1</sup>Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, <sup>2</sup>Molecular and Biological Agricultural Sciences Program, Taiwan International Graduate Program, Academia Sinica, <sup>3</sup>Graduate Institute of Biotechnology, National Chung-Hsing University, <sup>4</sup>Biotechnology Center, National Chung-Hsing University, <sup>5</sup>Department of Applied Science and Engineering, Muroran Institute of Technology)

1P41 単子葉植物ムスカリの花器官形成を制御する MADS ボックス型転写因子の発現解析および機能解析 三浦佳奈¹,中田睦¹,久保田渉誠²³,佐藤修正¹,永野聡一郎¹,中野優⁴,菅野明¹(¹東北大・院・生命科学,²日大・生物資源科学,³東大・院・総合文化,⁴新潟大・農)

1P42 Class I and Class II TCP genes from Phalaenopsis orchid display functions on lateral organs and reproductive development
Yu-Fu Lin, You-Yi Chen, Yu-Yun Hsiao, Wan-Lin Wu, Wen-Chieh Tsai (Institute of Tropical Plant Sciences, National Cheng Kung
University)

1P43 受精異常突然変異体 gcs1 のホモ接合変異体の作出と生理学的解析

<u>永原史織</u><sup>1</sup>,武内秀憲<sup>1,2</sup>,東山哲也<sup>1,2,3</sup>(<sup>1</sup>名大・院・理,<sup>2</sup>JST・ERATO,<sup>3</sup>名大・WPI-ITbM)

1P44 ゼニゴケの生殖における RWP-RK ファミリー遺伝子 *MpRKD* の機能

<u>厚井聡</u><sup>1,2</sup>, 久永哲也<sup>2</sup>, 嶋村正樹<sup>3</sup>, 石崎公庸<sup>4</sup>, 河内孝之<sup>5</sup>, 中島敬二<sup>2,6</sup> (<sup>1</sup>大阪市立大・院・理, <sup>2</sup>奈良先端大・バイオ, <sup>3</sup>広島大・院・理, <sup>4</sup>神戸大・院・理, <sup>5</sup>京大・院・生命, <sup>6</sup>科学技術振興機構・さきがけ)

1P45 イネの花粉形成および代謝制御におけるオートファジーの役割

来須孝光<sup>1,2,3</sup>,陶文紀<sup>2</sup>,花侯繁<sup>2,4</sup>,岡咲洋三<sup>5</sup>,二平耕太朗<sup>2</sup>,北畑信隆<sup>2</sup>,小嶋美紀子<sup>5</sup>,永田典子<sup>6</sup>,榊原均<sup>5</sup>,斉藤和季<sup>5</sup>,多田雄一<sup>1</sup>,朽津和幸<sup>2,3</sup>(<sup>1</sup>東京工科大・応用生物,<sup>2</sup>東京理科大・理工·応用生物科学,<sup>3</sup>東京理科大・総合研究機構,<sup>4</sup>東京大院・新領域・先端生命,<sup>5</sup>理研・環境資源科学,<sup>6</sup>日本女子大・理・物質生物科学)

1P46 Comparative Analysis Of Self-incompatibility Factors In Genus *Arabidopsis* 

Mai Matsushima<sup>1</sup>, Tomoki Matsuda<sup>1</sup>, Kaori Nagasaka<sup>1</sup>, Chihiro Hoshiai<sup>1</sup>, Saki Narita<sup>1</sup>, Moe Nabemoto<sup>2</sup>, Satomi Sakazono<sup>2</sup>, Hiromi Masuko-Suzuki<sup>2</sup>, Kentaro Yano<sup>3</sup>, Kentaro K. Shimizu<sup>4</sup>, Seiji Takayama<sup>5</sup>, Yasuaki Kagaya<sup>6</sup>, Yuhko Kobayashi<sup>6</sup>, Issei Kobayashi<sup>6</sup>, Katsuzumi Okumura<sup>1</sup>, Go Suzuki<sup>7</sup>, Masao Watanabe<sup>2</sup>, Keita Suwabe<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Biores., Mie Univ., <sup>2</sup>Grad. Sch.

Life Sci., Tohoku Univ., <sup>3</sup>Fac. Agri., Meiji Univ., <sup>4</sup>Univ. Zurich, <sup>5</sup>Grad. Sch. Bio Sci., NAIST, <sup>6</sup>Life Sci. Res. Cent., Mie Univ., <sup>7</sup>Div. Nat. Sci., Osaka Kyoiku Univ.)

#### ■花成・時計

1Q01 FT 遺伝子の転写活性化における新奇花成因子 FE の機能解析

澁田未央, 渡辺綾子, 米田好文, 阿部光知 (東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)

1Q02 カルシウム依存性タンパク質キナーゼ CPK33 は FD をリン酸化しフロリゲン複合体形成を制御する

<u>川本望</u><sup>1</sup>, 笹部美知子<sup>2</sup>, 遠藤求<sup>1</sup>, 町田泰則<sup>3</sup>, 荒木崇<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京都大学大学院生命科学研究科, <sup>2</sup>弘前大学農学生命科学部, <sup>3</sup>名古屋大学大学院理学研究科)

1Q03 2 つのシロイヌナズナ fkf1 サプレッサー変異体について

矢作道枝、高瀬智敬、清末知宏(学習院大・院生命科学)

1Q04 A mechanism of early flowering in *pect1-4* mutants of *Arabidopsis thaliana* 

<u>Natsumi Hoshino</u><sup>1</sup>, Saki Ikegai<sup>1</sup>, Miki Yadake<sup>2</sup>, Mayu Nakagawa<sup>3</sup>, Yuki Fujiki<sup>1,2</sup>, Ikuo Nishida<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Fac. Sci., Univ. Saitama, <sup>2</sup>Grad. Sch. Sci. and Eng., Univ. Saitama, <sup>3</sup>Office for Promotion of Gender Equ., Univ. Hirosaki)

1Q05 AFT と TFL1 による二重の花成抑制メカニズム

樋口洋平1, 久松完2(1東大院・農,2農研機構・花き研)

1Q06 ホウレンソウ FT ホモログの単離と特徴づけ

安部英里香1、藤野介延1、増田清1、山口夕2(1北大・院農、2大阪府大・院生環)

1Q07 FAC 様チューベリゲン複合体によるジャガイモ塊茎形成制御機構の解析

田岡健一郎、高橋賢多、齋藤亜美、張禎日、島本功(奈良先端大・バイオ)

1Q08 イネ TFL1 ホモログ RCN の花序形態形成制御における機能

鈴木美穂、田岡健一郎、石川理恵、島本功(奈良先端大・バイオ)

1Q09 花成促進リンゴ花での AP1/FUL ホモログの発現解析

<u>和田雅人</u><sup>1</sup>, 高田万里子<sup>2</sup>, 山形拓<sup>2</sup>, 本多親子<sup>1</sup>, 田中守谷友紀<sup>1</sup>, 田中紀充<sup>3</sup>, 岩波宏<sup>1</sup>, 花田俊男<sup>1</sup>, 小森貞男<sup>2</sup> ( $^{1}$ (独) 農研機構 果樹研究所リンゴ、<sup>2</sup>岩手大・農学部、 $^{3}$ 弘前大・農学生命)

1Q10 シアノバクテリア概日時計タンパク質 KaiB の分子機能とアミノ酸配列の種間比較

廣田周平、北川徳明、浅野宏幸、小山時隆(京都大・院・理・植物)

1Q11 Driving the circadian pacemaker by the KaiC phosphorylation cycle

Miyuki Hara<sup>1</sup>, Yoriko Murayama<sup>1</sup>, Keiko Okano Imai<sup>2</sup>, Takao Kondo<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ., <sup>2</sup>Lab. Bio., Kansai Medical Univ.)

1Q12 パーティクルガンを用いたトランジェントアッセイによるヒメツリガネゴケの生物時計遺伝子の発現解析

龍昌志1,一瀬瑞穂2,樋口海杜3,杉田護2,青木摂之1(1名大院・情報科学,2名大・遺伝子,3名大・情文)

1Q13 細胞内フラビン代謝制御に関与する新規因子の同定

戸田結奈1, 小川貴央2, 吉村和也3, 重岡成12(1近畿大院・農・バイオ, 2近畿大・農・バイオ, 3中部大・応生・食栄)

#### ■ 細胞周期·分裂

1Q14 Functional analysis of ABA in red algae

Yuki Kobayashi<sup>1</sup>, Hiroyuki Ando<sup>2</sup>, Mitsumasa Hanaoka<sup>2</sup>, Kan Tanaka<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Chem. Res. Lab., Tokyo Tech., <sup>2</sup>Grad. Sch. Horticulture, Chiba Univ.)

1Q15 紅藻 Cyanidioschyzon merolae の細胞周期制御に関わる MAPK の同定

鈴木紀之, 小林勇気, 田中寛 (東京工業大学 資源化学研究所)

1Q16 タバコ培養細胞 BY-2 のオートファジーの細胞周期に依存した制御

<u>花俣繁</u> $^{1,2}$ , 来須孝光 $^{1,3,4}$ , 朽津和幸 $^{1,3}$  ( $^{1}$ 東京理科大・理工・応用生物科学,  $^{2}$ 東京大院・新領域・先端生命,  $^{3}$ 東京理科大・総合研究機構,  $^{4}$ 東京工科大・応用生物)

1Q17 Molecular mechanism of SOG1 activation in response to DNA damage.

Kaoru Yoshiyama(Okamoto), Seisuke Kimura (Kyoto Sangyo Univ. Faculty of Life Sciences)

#### ■ オルガネラ/細胞骨格

1Q18 単細胞紅藻シゾンにおける葉緑体に依存した核遺伝子の光誘導転写制御

大原ひかる<sup>1</sup>, 安藤洸幸<sup>1</sup>, 小倉駿佑<sup>1</sup>, 藤井岳<sup>2</sup>, 今村壮輔<sup>2</sup>, 田中寛<sup>2</sup>, 恵良厚子<sup>3</sup>, 宮城島進也<sup>3</sup>, 五十嵐雅之<sup>4</sup>, 内海龍太郎<sup>5</sup>, <u>華岡光正</u><sup>1</sup> (<sup>1</sup>千葉大・院園芸・応用生命, <sup>2</sup>東工大・資源研, <sup>3</sup>遺伝研, <sup>4</sup>微化研, <sup>5</sup>近畿大・農・バイオ)

1Q19 RECX によるオルガネラゲノム安定性の維持

小田原真樹、関根靖彦(立教大学 理学部 生命理学科)

- 1Q20 Isolation of interacting proteins for AHG2 or AGS1 that is involved in the regulation of poly(A) status of mitochondrial mRNA in plants.

  Takashi Hirayama<sup>1</sup>, Reiko Nakagawa<sup>2</sup>, Yusuke Yagi<sup>3</sup>, Jian Feng Ma<sup>1</sup>, Takahiro Nakamura<sup>3</sup>, Takakazu Matsuura<sup>1</sup> (<sup>1</sup>IPSR, Okayama Univ., <sup>2</sup>CLST, RIKEN, <sup>3</sup>Faculty of Agriculture, Kyushu Univ.)
- Analysis of the protein and RNA composition of RNA binding protein complexes involved in rice seed storage protein biosynthesis

  Tatsushi Suzuki<sup>1</sup>, Chris Coriz<sup>1</sup>, Jack H. Chambers<sup>1</sup>, James A. Hage<sup>1</sup>, Yongil Yang<sup>2</sup>, Thomas W. Okita<sup>2</sup>, <u>Andrew J. Crofts</u><sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>Intl. Lib. Arts, Akita Intl. Univ., <sup>2</sup>Inst. of Biol. Chem. Washington State Univ., <sup>3</sup>Dept. Biol. Production, Akita Pref. Univ.)
- 1Q22 シロイヌナズナにおける核の形態制御にかかわる CRWNs の解析

坂本勇貴1, 杉山智哉1, 高木慎吾2, 松永幸大1(1東理大・理工学・応用生物科学, 2大阪大・院・理)

- 1Q23 Localization Of *Daucus carota* NMCP2 To The Nuclear Periphery Requires Disassembly/assembly Of The Nuclear Envelope In Mitosis Kiyoshi Masuda, Yuta Kimura, Riku Hikita (Grad. Sch. Agr., Hokkaido Univ.)
- 1Q24 対数増殖期および定常状態期におけるタバコ培養細胞内オルガネラの超微形態変化

<u>豊岡公徳</u><sup>1</sup>, 佐藤繭子<sup>1</sup>, 若崎眞由美<sup>1</sup>, 朽名夏麿<sup>2,5</sup>, 永田典子<sup>3</sup>, 松岡健<sup>4</sup> ( $^{1}$ 理研CSRS,  $^{2}$ 東京大・院新領域,  $^{3}$ 日本女子大・理,  $^{4}$ 九州大院・植物栄養,  $^{5}$ エルピクセル (株)・研究開発本部)

1Q25 画像処理技術を用いたゴルジ体由来輝点の数および面積の定量的評価

<u>湖城恵</u> $^{1,2}$ , 伊藤容子 $^{3}$ , 中野明彦 $^{3,4}$ , 馳澤盛一郎 $^{1}$  ( $^{1}$ 東京大・院・新領域、 $^{2}$ エルピクセル株式会社、 $^{3}$ 理研・光量子工学研究領域、 $^{4}$ 東京大・院・理)

1Q26 ミトコンドリア機械受容チャネル MSL1 の機能解析

<u>艾原佐紀</u><sup>1</sup>, 原田尚実<sup>1</sup>, 市川美恵<sup>1</sup>, 山本洋子<sup>2</sup>, 椎名隆<sup>1</sup>(<sup>1</sup>京府大・院・生命環境, <sup>2</sup>岡山大・資源植物科学研究所)

1Q27 シロイヌナズナ CRUMPLED LEAF 変異体の根の生長に対する一酸化窒素の影響

村田綾、青木雄哉、氏原麻衣、吉岡泰(名大院・理・生命理)

1Q28 根の色素体で見られるストレス誘導 Ca<sup>2+</sup>シグナル

小谷美穂, 椎名隆(京都府立大学 生命環境科学研究科)

1Q29 シロイヌナズナに蓄積する緊縮応答因子 ppGpp の LC-ESI-MS/MS を用いた定量法

井原雄太1、太田啓之1.3、増田真二2.3(1東工大・院生命理工学、2東工大・バイオセンター、3東工大・地球生命研)

#### ■ 細胞壁

1Q30 Transcriptional factors regulating microtubule orientation in *Populus tremula × Populus tremuloides* 

Naoki Takata<sup>1</sup>, Toru Taniguchi<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Forest Bio Res. Cent., For. Forest Prod. Res. Inst., <sup>2</sup>Forest Tree Breeding Cent., For. Forest Prod. Res. Inst.)

1Q31 冬期ポプラにおける導管液成分の合成に関与する遺伝子の環境による発現制御

青原勉, 古川純, 佐藤忍(筑波大学生命環境系)

1Q32 シロイヌナズナ種子発芽時の細胞伸長における α-キシロシダーゼの役割

渡邊飛鳥, 重山拓摩, 徳地小夏, 藤茂雄, 川上直人 (明治大・農・生命科学)

1Q33 イネの発達過程におけるペクチンメチル基転移酵素 PMT の機能解析

<u>鎌田志保美</u><sup>1</sup>, 長谷川和也<sup>1</sup>, 青原勉<sup>1</sup>, 中村敦子<sup>1</sup>, 砂川直輝<sup>2</sup>, 五十嵐圭日子<sup>2</sup>, 佐藤忍<sup>1</sup>, 岩井宏暁<sup>1</sup> (<sup>1</sup>筑波大・生命環境系、 $^2$ 東京大・院・農生科)

1Q34 樹木培養細胞における細胞壁マトリクス多糖の構造変化とセルロースの特性

掛川弘一、戸川英二(森林総合研究所 バイオマス化学研究領域)

1Q35 Role of phosphorylation of cellulose synthase during secondary cell wall development

Teruyo Okada, Satoshi Naramoto, Satoshi Endo, Chieko Saito, Hiroo Fukuda (Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)

1Q36 ダイズ耐裂莢性遺伝子はディリジェント様タンパク質が関与する新たな裂莢機構を示す

<u>藤野介延</u><sup>1</sup>, 鈴木雅也<sup>1</sup>, 廣瀬亜矢<sup>2</sup>, 稲葉大貴<sup>1</sup>, 山田哲也<sup>3</sup>, 羽鹿牧太<sup>3</sup>, 小松邦彦<sup>2</sup>, 片山健至<sup>4</sup>, 佐山貴司<sup>5</sup>, 石本政男<sup>5</sup>, 船附秀行<sup>6</sup>(<sup>1</sup>北大・院農, <sup>2</sup>農研機構・北農研, <sup>3</sup>農研機構・作物研, <sup>4</sup>香川大・農, <sup>5</sup>生物研, <sup>6</sup>農研機構・近中四農研)

1Q37 グルタチオン施用により最も発現増加する遺伝子の細胞壁形成への関与

大野隆史<sup>1</sup>, 越久由美子<sup>1</sup>, 髙部圭司<sup>1</sup>, 小川健一<sup>2,3</sup> (<sup>1</sup>京大院・農, <sup>2</sup>岡山生物研, <sup>3</sup>CREST・JST)

1Q38 Overexpression of fungal xylanases altered cell wall structures in poplar

<u>Chiaki Hori</u><sup>1</sup>, Misato Ohtani<sup>2</sup>, Jennifer Mortimer<sup>1</sup>, Xiang Yu<sup>1</sup>, Nobuyuki Nishikubo<sup>4</sup>, Kiyohiko Igarashi<sup>3</sup>, Taku Demura<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>RIKEN CSRS, <sup>2</sup>NAIST GSBS, <sup>3</sup>The University of Tokyo, Agriculture department, <sup>4</sup>Oji Paper Company)

#### ■ 光合成

1R01 タイプ1光合成反応中心の保存されたアンテナクロロフィルの役割

浅井智広<sup>1</sup>, 近藤徽<sup>2</sup>, 伊藤繁<sup>3</sup>, 大岡宏造<sup>4</sup>(<sup>1</sup>立命大・生命科学, <sup>2</sup>東工大・院理工, <sup>3</sup>名大・遺伝子, <sup>4</sup>阪大・院理)

1R02 A cytochrome bc complexe is Rieske/cytochrome b-type in photosynthetic green sulfur bacteria

<u>Hirozo Oh-oka</u><sup>1</sup>, Tomoya Yamamoto<sup>1,2</sup>, Risa Mutoh<sup>2</sup>, Chihiro Azai<sup>3</sup>, Genji Kurisu<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Science, Osaka University, <sup>2</sup>Institute for Protein Research, Osaka University, <sup>3</sup>College of Life Science, Ritsumeikan University)

1R03 初期型光合成電子伝達を硫化水素依存的に誘導する因子の探索

清水隆之1. 増田真二23(1東工大・生命理工、2東工大・バイオセンター、3東工大・地球生命研)

- 1R04 様々な緑色光合成細菌から単離したクロロゾームと FMO タンパク質の比較と人工光合成系に向けた再構成系の検討 <u>漁野岬</u><sup>1</sup>,原田二朗<sup>2</sup>,塚谷祐介<sup>3,4</sup>,溝口正<sup>1</sup>,民秋均<sup>1</sup>(<sup>1</sup>立命館大・院生命科学,<sup>2</sup>久留米大・医,<sup>3</sup>東工大・地球生命研、<sup>4</sup>IST・さきがけ)
- 1R05 Physicochemical properties of chlorophyll f in a cyanobacterium strain KC1

<u>Hirohisa Komatsu</u><sup>1</sup>, Shinya Akutsu<sup>1</sup>, Daiki Fujinuma<sup>1</sup>, Tadashi Watanabe<sup>2</sup>, Mayumi Ohnishi Kameyama<sup>3</sup>, Hiroshi Ono<sup>3</sup>, Satoshi Ohkubo<sup>4</sup>, Hideaki Miyashita<sup>4</sup>, Masami Kobayashi<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Institute of Materials Science, University of Tsukuba, <sup>2</sup>Institute of Industrial Science, University of Tokyo, Komaba, <sup>3</sup>National Food Research Institute, NARO, Tsukuba, <sup>4</sup>Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University, Kyoto)

1R06 Physicochemical properties of chlorophylls a, b and d

<u>Daisuke Fukayama</u><sup>1</sup>, Hayato Furukawa<sup>1</sup>, Tatsuya Iemura<sup>1</sup>, Hideaki Miyashita<sup>2</sup>, Tadashi Watanabe<sup>3</sup>, Masami Kobayashi<sup>1</sup> (¹Div. Materials Sci., Fac. Pure and Applied Sci., Univ. Tsukuba, ²Grad. School Human and Environ. Studies, Kyoto University, ³Res. Center Math and Sci. Edu., Orga. Adv. Edu., Tokyo Univ. Science)

1R07 Chls detected in processed foods

1R12

<u>Kanako Kimura</u><sup>1</sup>, Daiki Fujinuma<sup>1</sup>, Shinya Akutsu<sup>1</sup>, Hideaki Miyashita<sup>2</sup>, Masami Kobayashi<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Div. Materials Sci. Fac. Pure and Applied Sci. Univ. Tsukuba, <sup>2</sup>Grad. School Human and Environ. Studies, Kyoto Univ.)

1R08 シロイヌナズナ暗所子葉緑化変異は FLU 変異によるのか

松山知樹1, 浅見忠男2(1理研・計算宇宙物理研究室,2東大院・農生科・応生化)

<u>小林変美</u><sup>1</sup>, 浅井智広<sup>1</sup>, 溝口止<sup>1</sup>, 民秋均<sup>1</sup>, 塚谷祐介<sup>2,3</sup>, 寺内一姫<sup>1</sup> (<sup>1</sup>立命館大・院生命科字, <sup>2</sup>東上大・地球生命研, <sup>3</sup>JST・さきがけ)

1R10 Chlorophyll Protein Complexes in Geranylgeranyl Reductase Mutant of the green alga Chlamydomonas reinhardtii

<u>Sireesha Kodru</u><sup>1</sup>, K Krishna Niyogi<sup>2</sup>, Yuichiro Takahashi<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Natural Science and Technology, Okayama University, <sup>2</sup>Department of Plant and Microbial Biology, University of California, Berkely, <sup>3</sup>JST-CREST)

1R11 シロザ由来の水溶性クロロフィル結合タンパク質の植物内における発現プロファイルおよび局在の解析 高橋重一,中山克己,佐藤浩之(東邦大・理・生物分子)

シロイヌナズナにおける Chlb 分解に対する SGR の機能検証

松田香織<sup>1</sup>, 下田洋輔<sup>1</sup>, 伊藤寿<sup>1,2</sup>, 田中歩<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>北大 低温研, <sup>2</sup>CREST JST)

1R13 Evolution of green plants accompanied the changes in light-harvesting systems

Motoshi Kunugi<sup>1</sup>, Atsushi Takabayashi<sup>2,3</sup>, Ayumi Tanaka<sup>2,3</sup> (<sup>1</sup>Hokkaido university Life science, <sup>2</sup>Hokkaido university Institute of low temperature science, <sup>3</sup>JST CREST)

1R14 A combined immunoprecipitation and mass spectrometric approach to determine OHP1-interacting partners.

<u>Fumiyoshi Myouga</u><sup>1</sup>, Kaori Takahashi<sup>2</sup>, Ryouichi Tanaka<sup>2</sup>, Hirofumi Nakagami<sup>3</sup>, Kazuo Shinozaki<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Gene Dis. Res. Group, RIKEN CSRS, <sup>2</sup>Inst. Low Temp. Sci., Hokkaido Univ., <sup>3</sup>Plant Proteo. Res. Unit, RIKEN CSRS)

1R15 Synechocystis sp. PCC 6803 における鉄-硫黄モチーフをもつ遺伝子欠損株の作製とその性質 <u>澤田葵</u><sup>1</sup>, 池田翔一<sup>1</sup>, 長尾遼<sup>2</sup>, 土屋徹<sup>3</sup>, 鞆達也<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京理科大学理学部, <sup>2</sup>名古屋大学大学院理学研究科, <sup>3</sup>京都大学大学院人間・環境学研究科)

1R16 Energy transfer changes in *Anabaena variabilis* filaments under nitrogen depletion

<u>Aya Onishi</u><sup>1</sup>, Shimpei Aikawa<sup>2,3</sup>, Akihiko Kondo<sup>2,3</sup>, Seiji Akimoto<sup>1,3,4</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci., Univ. Kobe, <sup>2</sup>Grad. Sch. Eng., Univ. Kobe. <sup>3</sup>IST-CREST. <sup>4</sup>Molecular Photoscience Research Center. Univ. Kobe)

1R17 Long-term light adaptation of the unicellular red alga *Cyanidioschyzon merolae*, probed by time-resolved fluorescence spectroscopy

<u>Yoshifumi Ueno</u><sup>1</sup>, Shimpei Aikawa<sup>2,3</sup>, Akihiko Kondo<sup>2,3</sup>, Seiji Akimoto<sup>1,3,4</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci., Univ. Kobe, <sup>2</sup>Grad. Sch. Eng., Univ. Kobe, <sup>3</sup>IST-CREST, <sup>4</sup>Molecular Photoscience Research Center, Univ. Kobe)

1R18 蛍光寿命顕微鏡による糸状シアノバクテリアと緑藻のチラコイド膜の評価

野末秀穂1,椋野翠1,津田裕美1,椎名隆2,寺嶋正秀1,熊崎茂一1(1京大・院理,2京府大・院生命環境)

1R19 ラマン散乱スペクトル顕微鏡による糸状シアノバクテリアの非蛍光性分子イメージング 玉水公人、寺嶋正秀、熊崎茂一(京大・院理)

1R20 超高感度クロロフィル計測システムの開発と緑色光合成細菌の単一細胞測定への応用 <u>溝口正</u><sup>1</sup>、伊佐治恵<sup>1</sup>、安居嘉秀<sup>2</sup>、正津大介<sup>2</sup>、軍司昌秀<sup>2</sup>、原田二朗<sup>3</sup>、塚谷祐介<sup>4,5</sup>、民秋均<sup>1</sup>(「立命館大・院生命科学、 <sup>2</sup>島津製作所、<sup>3</sup>久留米大・医、<sup>4</sup>東工大・地球生命、「JSTさきがけ)

1R21 Development of an intracellular inorganic carbon nanosensor based on Förster resonance energy transfer (FRET)

<u>Iqna kamila Abfa</u><sup>1</sup>, Elizabeth Freeman<sup>2</sup>, Mikiko Morishita<sup>1</sup>, Luke Mackinder<sup>2</sup>, Martin Jonikas<sup>2</sup>, Sae Kikutani<sup>1</sup>, Yusuke Matsuda<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Department of Bioscience, Kwansei-Gakuin University, <sup>2</sup>Carnegie institution, Standford University)

1R22 The Role Of Structural Change Of Thylakoid Membranes Under Light Stress

Miho Nishimura, Daisuke Nanba, Nodoka Tsumura (Graduate School of Natural Science and Technology, Okayama University)

1R23 Study on the Molecular Mechanism of the Drought Tolerance of Antarctic Moss and Alga by the Picosecond Time-Resolved Fluorescence Spectroscopy

<u>Yutaka Shibata</u><sup>1</sup>, Koichiro Taniyama<sup>1</sup>, Ali Ahmed<sup>1</sup>, Makiko Kosugi<sup>2</sup>, Hiroshi Fukumura<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci., Tohoku Univ., <sup>2</sup>Natl. Inst. Polar Res.)

1R24 Electron flow to oxygen in thylakoids contributes to acclimation of plants to drought and fluctuating light

Mari Noritomi, Yasuhiro Utsumi, <u>Michito Tsuyama</u> (Grad. Sch. Agri., Kyushu Univ.)

1R25 ケナフ(*Hibiscus cannabis* L.)の高い二酸化炭素吸収速度とそれを維持する生理生態学的機構の解析 川口ひかる<sup>1</sup>, 澤上航一郎<sup>2</sup>, 鈴木祥弘<sup>1</sup> (<sup>1</sup>神奈川大学 理学研究科 生物科学専攻, <sup>2</sup>東京大学院 理学系研究科 附属植物 園 日光分園)

1R26 オオムギ葉緑体内の鉄分布の品種間差と鉄欠乏耐性の関係 小川智美<sup>1</sup>. 齋藤彰宏<sup>2</sup>. 樋口恭子<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東農大 農化. <sup>2</sup>東農大 生物応用化学)

#### ■ 光合成・呼吸の環境応答

1R27 Cyclic electron flow is enhanced under high-temperature stress to dissipate excess energy in *Symbiodinium*Yusuke Aihara, Jun Minagawa (NIBB)

1R28 LHCSR1 は緑藻の光合成に必要か

小菅晃太郎<sup>1,2</sup>, 得津隆太郎<sup>1,2</sup>, クリシュナニョーギ<sup>3</sup>, 皆川純<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>基礎生物学研究所環境光生物学研究部門, <sup>2</sup>総合研究大学院大学 生命科学研究科, <sup>3</sup>カリフォルニア大学 バークレー校)

1R29 緑藻クラミドモナスの屋外環境における光環境適応 – LHCSR3 と STT7 による NPQ の二重制御 – 大西紀和,皆川純(基生研・環境光)

1R30 緑藻クラミドモナスの NPQ における細胞内シグナル伝達

<u>得津隆太郎</u><sup>1</sup>,Dimitris Petroutsos<sup>2</sup>,Giovanni Finazzi<sup>2</sup>,皆川純<sup>1</sup>(<sup>1</sup>基礎生物学研究所,<sup>2</sup>CEA, Grenoble)

1R31 Role of H  $^+$  /K  $^+$  antiporter, KEA3 in the regulation of photosynthesis

Caijuan Wang, Hiroshi Yamamoto, Toshiharu Shikani (Lab. Plant Molecular Genetics, Grad. Sch. Sci., Univ. Kyoto)

1R32 ユーカリ光合成に対する酸化型グルタチオンの効果

<u>岩崎(葉田野)郁<sup>1,4</sup></u>、林和典<sup>2,4</sup>、粟野達也<sup>3,4</sup>、高部圭司<sup>3,4</sup>、河岡明義<sup>2,4</sup>、小川健一<sup>1,4</sup>(<sup>1</sup>岡山生物研、<sup>2</sup>日本製紙アグリ・バイオ研、<sup>3</sup>京大院・農、<sup>4</sup>科学技術振興機構・CREST)

1R33 変異導入組換え Cys-rich CuZn-SOD の作製と活性に対する修飾 SH 基の影響 金松澄雄(南九州大・食品)

- 1R34 ダイコン (*Raphanus sativus*) における CN バランスと胚軸のシンク活性が葉の形態・生理的学的特性に与える影響の解析 杉浦大輔,渡辺千尋,別役恵理子,寺島一郎(東大・院・理)
- 1R35 Difference In Light Acclimation Capacity Of Photosynthetic Apparatus Between Two Ecotypes of Japanese Beech Chizuru Tanaka, Tanaki Sakai, <u>Jun-ya Yamazaki</u>, Emiko Maruta (Dept. Biol., Fac. Sci., Toho Univ.)
- 1R36 高バイオマスソルガム F1 系統の光合成特性とバイオマス増産の解析

田副雄士<sup>1</sup>, 牧野周<sup>1</sup>, 佐塚隆志<sup>2</sup>, 山口未来<sup>2</sup>, 平野恒<sup>2</sup>, 北野英己<sup>2</sup>, 春日重光<sup>3</sup>, 池内雅裕<sup>4</sup>, 遠藤剛<sup>4</sup>, 齊藤知恵子<sup>5</sup>, 福田裕穂<sup>5</sup> (<sup>1</sup>東北大・院・農, <sup>2</sup>名古屋大・生物セ, <sup>3</sup>信州大・アルプスセ, <sup>4</sup>京都大・院・生命, <sup>5</sup>東京大・院・理)

1R37 Photosynthesis of diatom, green algae and cyanobacteria under the high light in an Antarctic lake

Tomoko Ishihara<sup>1</sup>, Sakae Kudoh<sup>2,3</sup>, Natsuko Inoue-Kashino<sup>1</sup>, Yuko Fukunaga<sup>1</sup>, Atsuo Miyazawa<sup>1</sup>, Yasuhiro Kashino<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci., Univ. Hyogo, <sup>2</sup>National Inst. Polar Res., <sup>3</sup>Dept. Polar Sci., SOKENDAI)

1R38 SLAC1 のチャネル機能を改変したイネ変異株の解析

橋村綾菜、射場厚、楠見健介(九州大・理・生物科学)

1R39 紅藻シアニジオシゾンにおける生理活性に対する有機物の添加効果の解析

<u>森山崇</u><sup>1,2</sup>, 毛利奈津美<sup>1,2</sup>, 佐藤直樹<sup>1,2</sup> ( $^{1}$ 東京大・院総合文化,  $^{2}$ JST CREST)

1R40 スベリヒユにおける光合成及びドーパミンに関連する代謝物の日変化

<u>早坂亮祐</u><sup>1,2</sup>, 若山正隆<sup>1,3</sup>, 及川彰<sup>1,3,4</sup>, 曽我朋義<sup>1,2,3</sup>, 冨田勝<sup>1,2,3</sup> (¹慶大・先端生命研, ²慶大・環境情報, ³慶大・院・政策・メディア, ⁴山形大・農)

### ■エピジェネティック制御

1S01 塩ストレス条件下およびストレスホルモン処理におけるシロイヌナズナのダイサーの 2 本鎖 RNA 切断活性の変化 西堀有紀、田原緑、森山裕充、福原敏行(東京農工大・農学部・応用生物科学科)

1S02 アントシアニン過剰蓄積系統を用いた二本鎖 RNA 結合タンパク質 DRB3 の機能解析

松崎拓真, 薄井智之, 森山裕充, 福原敏行(東京農工大学農学部応用生物科学科)

1S03 シロイヌナズナのレトロトランスポゾン、AtRE1 の発現制御機構の解析

金晶1, 山岸祐実1, 伊藤秀臣2, 加藤敦之2(1北海道大学 大学院生命科学院, 2北海道大学 大学院理学研究院 生物科学)

1S04 イネのゲノムワイドなメチル化パターン変化と人為的方向付の可能性について

降籏妙子<sup>1</sup>, 伊藤愛<sup>2</sup>, 小林裕子<sup>3</sup>, 小林一成<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>三重大院・地域イノベーション, <sup>2</sup>三重大・生資, <sup>3</sup>三重大・生命センター)

## ■ タンパク質修飾・分解

1S05 Localization and structure of peptidyl serine O-α-galactosyltransferase in tobacco BY-2 cell

Ryohei Saisho<sup>1</sup>, Akiko Suyama<sup>2</sup>, Ken Matsuoka<sup>1,2,3</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. of Biores. Bioenv. Sci., Kyushu Univ., <sup>2</sup>Fac. Agr., Kyushu Univ., <sup>3</sup>Biotron Appl. Ctr., Kyushu Univ.)

## ■ 転写・転写後制御

1S06 The OsTGAP1 functions to control the production of diterpenoid phytoalexins in rice roots

<u>Yuri Yoshida</u><sup>1</sup>, Koji Miyamoto<sup>2</sup>, Hisakazu Yamane<sup>2</sup>, Hideaki Nojiri<sup>1</sup>, Kazunori Okada<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Biotechnology Research Center, The Univ. of Tokyo, <sup>2</sup>Dept. of Biosciences, Teikyo univ.)

1807 イネのファイトアレキシン生産を制御する転写因子 DPF の ジャスモン酸に応答した発現誘導

<u>堤京</u><sup>1</sup>, 吉田悠里<sup>1</sup>, 宮本皓司<sup>2</sup>, 山根久和<sup>2</sup>, 野尻秀昭<sup>1</sup>, 森昌樹<sup>3</sup>, 岡田憲典<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大・生物工学セ, <sup>2</sup>帝京大・バイオ, <sup>3</sup>生物研)

1808 Next-generation Sequencing Of Genomic DNA Fragments Bound To HY5 Transcription Factor in vitro.

<u>Yukio Kurihara</u><sup>1</sup>, Yuko Makita<sup>1</sup>, Mika Kawashima<sup>1</sup>, Y. Yoshiharu Yamamoto<sup>2</sup>, Minami Matsui<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Synthetic Genomics Research Team, Biomass Engineering Cooperation Division, RIKEN CSRS, <sup>2</sup>The United Graduate School of Agricultural Science, Faculty of Applied Biological Sciences, Gifu University)

1S09 気孔機能化に関わる SCAP1 遺伝子のプロモーター解析

<u>森脇宏介</u>¹, 佐竹秀元¹, 袮冝淳太郎¹, 柳澤修一², 射場厚¹(¹九州大・院・理, ²東京大・生物生産工学研究センター)

1S10 シロイヌナズナ FLO2 変異体の解析

谷口一至, 石井陽平, 草野博彰, 島田浩章 (東京理科大学)

1S11 Analysis of regulatory mechanism on the *RBE1* gene by FLO2

Shota Iwakoshi, Kao-Chih She, Hiroaki Kusano, Hiroaki Shimada (Dept. of Biol. Sci & Technol., Tokyo Univ. of Sci.)

1S12 イネのサクラネチン生合成酵素遺伝子を制御する転写因子の探索

小川哲史1, 宮本皓司2, 山根久和2, 野尻秀昭1, 岡田憲典1(1東大・生物工学セ, 2帝京大・理工・バイオ)

1S13 JACKDAW による SCARECROW 遺伝子の転写制御メカニズムの解析

小林淳、木嵜暁子(静岡大学・院・理)

1S14 Synechocystis sp. PCC 6803 の glgA 発現抑制株による PHB 生産

<u>長井一晃<sup>1,2</sup></u>, 小関良宏<sup>1,2</sup>, 山田晃世<sup>1,2</sup> ( $^{1}$ 東京農工大院 生命,  $^{2}$ JST-CREST)

1S15 低温ストレスに応答した mRNA 合成と分解の協調的制御

荒江星拓<sup>1</sup>,以西史織<sup>1</sup>,峯田克彦<sup>2</sup>,平井優美<sup>3</sup>,鈴木悠也<sup>1</sup>,金谷重彦<sup>4</sup>,山口淳二<sup>1,5</sup>,内藤哲<sup>6</sup>,<u>千葉由佳子</u><sup>1,5</sup>(<sup>1</sup>北大院・生命,<sup>2</sup>北大院・情報,<sup>3</sup>理研,CSRS,<sup>4</sup>奈良先端大,<sup>5</sup>北大院・理,<sup>6</sup>北大院・農)

1S16 ゼニゴケのタンパク質性 RNase P の解析

杉田千恵子<sup>1</sup>, 西浜竜一<sup>2</sup>, 河内孝之<sup>2</sup>, 杉田護<sup>1</sup>(<sup>1</sup>名大・遺伝子, <sup>2</sup>京大・院生命科学)

1S17 ヒメツリガネゴケの P-type PPR タンパク質の機能解析 (2)

後藤誠也, 一瀬瑞穂, 加藤歩美, 杉田千恵子, 杉田護(名大・遺伝子)

1S18 シロイヌナズナの脱アデニル化酵素複合体 AtCCR4-NOT の構成因子の同定

荒江星拓<sup>1</sup>. 鈴木悠也<sup>1</sup>. 千葉由佳子<sup>1,2,3</sup>(<sup>1</sup>北大院・生命, <sup>2</sup>北大院・理, <sup>3</sup>IST・さきがけ)

1S19 OsMac1, OsMac2, OsMac3 の 5'非翻訳領域は下流 ORF の翻訳を促進する

<u>青木裕美</u><sup>1</sup>, 寺村浩<sup>5</sup>, Schepetilnikov Mikhail<sup>3</sup>, A Ryabova Lyubov<sup>3</sup>, 佐々木忠将<sup>4</sup>, 草野博彰<sup>1</sup>, 島田浩章<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>東京理科大学 基礎工学部 生物工学科 島田研究室、<sup>2</sup>東京理科大・RNA研究セ、<sup>3</sup>IBMP, Univ. of Strasbourg, <sup>4</sup>現 理研、<sup>5</sup>現 神戸大)

1S20 Roles of snRNA cap hypermethylation in plant development

Ryoko Hiroyama<sup>1</sup>, Taku Demura<sup>1,2</sup>, Misato Ohtani<sup>1,2</sup> (¹RIKEN CSRS, ²Grad. Sch. Biosci., NAIST)

1S21 The *Arabidopsis thaliana* DEAD-BOX protein AtRH7 is involved in pre-rRNA processing and is required for plant growth under the cold.

Yuelin Liu<sup>1,2</sup>, Daisuke Tabata<sup>1,2</sup>, Shunya Sato<sup>1,2</sup>, Ryozo Imai<sup>1,2</sup> (¹NARO Hokkaido Agric. Res. Ctr., ²Grad. Sch.of Agric., Hokkaido Univ.)

1S22 COP9 シグナロソーム結合因子 AtPrp43 の機能解析

<u>後藤翔</u><sup>1</sup>, 野元美佳<sup>2</sup>, 多田安臣<sup>3</sup>, 青山卓史<sup>1</sup>, 柘植知彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京都大学 化学研究所, <sup>2</sup>名古屋大学 大学院 理学研究科, <sup>3</sup>名 古屋大学 遺伝子実験施設)

1S23 TRIP 法を用いた植物核ゲノム中の潜在的プロモーター領域の包括的解析系の構築

<u>畑貴之</u><sup>1</sup>, 高田直東<sup>1</sup>, 立川誠<sup>2</sup>, 松尾充啓<sup>2</sup>, 佐藤壮一郎<sup>2</sup>, 小保方潤一<sup>1,2</sup>( $^1$ 京都府大・生命環境, $^2$ 京都府大院・生命環境)

## ■ システム生物学/バイオインフォマティックス/データベース

Establishment of Single Cell Transcriptome Analysis in *Physcomitrella patens* Leaf Cells toward Reprogramming Study

<u>Minoru Kubo</u><sup>1</sup>, Tomoaki Nishiyama<sup>2</sup>, Daniel Lang<sup>3</sup>, Taku Demura<sup>1,4</sup>, Ralf Reski<sup>3,5</sup>, Mitsuyasu Hasebe<sup>6,7</sup> (<sup>1</sup>CFST, NAIST, <sup>2</sup>Adv. Sci. Res. Center, Kanazawa Univ., <sup>3</sup>Plant Biotech., Fac. Biol., Univ. Freiburg, <sup>4</sup>Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST, <sup>5</sup>FRIAS, Univ. Freiburg, <sup>6</sup>NIBB, NINS, <sup>7</sup>Sch. Life Sci., Grad. Univ. Adv. Stud.)

1S25 Comprehensive gene expression analysis of Euglena gracilis in response to anaerobic and high CO<sub>2</sub> treatment

<u>Takuya Tomiyama</u><sup>1</sup>, Yuta Yoshida<sup>2</sup>, Takanori Maruta<sup>1</sup>, Yoshihiro Sawa<sup>1</sup>, Kazuharu Arakawa<sup>2</sup>, Takahiro Ishikawa<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>Dept. Appl. Biosci. and Biotech., Fac. Life and Environ. Sci., Shimane Univ., <sup>2</sup>Inst. Adv. Biosci., Keio Univ., <sup>3</sup>JST/CREST)

1S26 ゼニゴケゲノムアノテーションデータベースの構築

<u>長崎英樹</u><sup>1</sup>,石崎公庸<sup>2</sup>,大和勝幸<sup>3</sup>,河内孝之<sup>4</sup>,中村保一<sup>1</sup>( $^{1}$ 遺伝研・大量遺伝情報, $^{2}$ 神戸大・院・理, $^{3}$ 近大・生物理工・生物工学, $^{4}$ 京大・院・生命科学)

1S27 Research applications of PODC (Plant Omics Data Center): For discovering new gene on the basis of information on expression networks and biological knowledge

Satomi Asano<sup>1</sup>, Takano Tomoyuki<sup>1</sup>, Shin Terashima<sup>1</sup>, Masaaki Kobayashi<sup>1</sup>, Masaa Kanno<sup>1</sup>, Kyoko Morimoto<sup>1</sup>, Hiromi Kanegae<sup>1</sup>, Soichi Ozaki<sup>1</sup>, Yohei Sasaki<sup>1</sup>, Misa Saito<sup>1</sup>, Toru Kudo<sup>1</sup>, Koji Yokoyama<sup>1</sup>, Koichiro Aya<sup>2</sup>, Keita Suwabe<sup>3</sup>, Go Suzuki<sup>4</sup>, Masao Watanabe<sup>5</sup>, Makoto Matsuoka<sup>2</sup>, Hajime Ohyanagi<sup>1,6</sup>, Kentaro Yano<sup>1</sup> (<sup>1</sup>School of Agriculture, Meiji University, <sup>2</sup>Bioscience

9 日本植物生理学会通信 No.123

and Biotechnology Center, Nagoya University, <sup>3</sup>Graduate School of Bioresources, Mie University, <sup>4</sup>Division of Natural Science, Osaka Kyoiku University, <sup>5</sup>Graduate School of Life Sciences, Tohoku University, <sup>6</sup>Mitsubishi Space Software Co., Ltd.)

1S28 シダ植物オントロジー (FO) の開発

鐘ケ江弘美<sup>1</sup>,川島秀一<sup>2</sup>,藤枝香<sup>3</sup>,中村保一<sup>3</sup>,<u>鐘ケ江健<sup>4</sup></u>,岡本忍<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東大・院農学生命科学,<sup>2</sup>ライフサイエンス統合データベースセンター,<sup>3</sup>遺伝研・生命情報・大量遺伝情報,<sup>4</sup>首都大・院理工・生命科学)

1S29 Noise - Plasticity Correlations of Gene Expressions in Arabidopsis thaliana

<u>Akinori Awazu</u><sup>1,2</sup>, Koudai Hirao<sup>1</sup>, Hiraku Nishimori<sup>1,2</sup>, Atsushi Nagano<sup>3,4</sup> (<sup>1</sup>Department of Mathematical and Biosciences, Hiroshima University, <sup>2</sup>Research Center for Mathematics on Chromatin live Dynamics, Hiroshima University, <sup>3</sup>Center for Ecological Research, Kyoto University, <sup>4</sup>JST PRESTO)

1S30 RNASeq 解析を促進するウェブを基盤としたツール PoTHoS の開発

<u>鈴木孝征<sup>1,2</sup>,</u>東山哲也<sup>2,3,4</sup>(<sup>1</sup>中部大学応用生物学部,<sup>2</sup>JST・ERATO東山ライブホロニクスプロジェクト,<sup>3</sup>名古屋大学 WPI-ITbM,<sup>4</sup>名古屋大学大学院理学研究科)

1S31 ダイコンのメタボローム解析における前処理方法の比較検討

西村光平 $^{1,2}$ , 若山正隆 $^{1,3}$ , 曽我朋義 $^{1,2,3}$ , 冨田勝 $^{1,2,3}$  ( $^{1}$ 慶大・先端生命研, $^{2}$ 慶大・環境情報, $^{3}$ 慶大・院・政策・メディア)

1S32 TOMATOMICS: An integrated Database for Comprehensive Omics Information in Tomato.

Soichi Ozaki<sup>1</sup>, Mai Takazawa<sup>1</sup>, Maasa Kanno<sup>1</sup>, Kyoko Morimoto<sup>1</sup>, Satomi Asano<sup>1</sup>, Masaaki Kobayashi<sup>1</sup>, Hajime Ohyanagi<sup>1</sup>, Koh Aoki<sup>2</sup>, Kentaro Yano<sup>1</sup> (<sup>1</sup>School of Agriculture, Meiji University, <sup>2</sup>Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University)

1S33 Systems Approach to Excitation-Energy and Electron Transfer Reaction Networks in Thylakoid Membrane: Model Studies for Chlorophyll a Fluorescence Induction

<u>Takeshi Matsuoka</u><sup>1</sup>, Shigenori Tanaka<sup>1</sup>, Kuniyoshi Ebina<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of System Informatics, Kobe University, <sup>2</sup>Graduate School of Human Development and Environment, Kobe University)

1S34 Data mining in Plant Omics Data Center: A case of molecular chaperone and protein disulfide isomerase genes

Toru Kudo<sup>1</sup>, Tomoyuki Takano<sup>1</sup>, Shin Terashima<sup>1</sup>, Masaaki Kobayashi<sup>1</sup>, Masaa Kannno<sup>1</sup>, Kyoko Morimoto<sup>1</sup>, Hiromi Kanegae<sup>1</sup>, Soichi Ozaki<sup>1</sup>, Yohei Sasaki<sup>1</sup>, Misa Saito<sup>1</sup>, Satomi Asano<sup>1</sup>, Koji Yokoyama<sup>1</sup>, Koichiro Aya<sup>2</sup>, Keita Suwabe<sup>3</sup>, Go Suzuki<sup>4</sup>, Masao Watanabe<sup>5</sup>, Makoto Matsuoka<sup>2</sup>, Hajime Ohyanagi<sup>1,6</sup>, Kentaro Yano<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Sch. of Agriculture, Meiji Univ., <sup>2</sup>Bioscience and Biotechnology Center, Nagoya Univ., <sup>3</sup>Grad. Sch. of Bioresources, Mie Univ., <sup>4</sup>Div. of Natural Science, Osaka Kyoiku Univ., <sup>5</sup>Grad. Sch. of Life Science, Tohoku Univ., <sup>6</sup>Mitsubishi Space Software Co., Ltd.)

## ■ 新技術/新手法

1S35 Expression Analysis of Multi-gene Constructs in Various Plants

<u>Tsuyoshi Nakagawa</u><sup>1</sup>, Toshiki Saisho<sup>1</sup>, Kenta Shibahara<sup>1</sup>, Testsuya Kimura<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Cent. Integ. Res. Sci., Shimane Univ., <sup>2</sup>Grad. Sch. Biores., Mie Univ.)

1S36 An ion-beam induced balancer chromosome in Arabidopsis

<u>Ayako Sakamoto</u><sup>1</sup>, Thi Thuong Lan Vo<sup>1,2</sup>, Mutsumi Akita<sup>1</sup>, Yoshihiro Hase<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Ion Beam Mutagenesis Res. Gr., JAEA, <sup>2</sup>Fac. Biol., Univ. Sci. Hanoi)

1S37 CRISPR/Cas9 システムによる VirE2-interacting protein 2 遺伝子破壊イネの作出

<u>横井彩子</u><sup>1</sup>, 三上雅史<sup>1,2</sup>, 遠藤真咲<sup>1</sup>, 土岐精一<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>生物研・ゲノム機能, <sup>2</sup>横浜市大院・生命ナノ, <sup>3</sup>横浜市大・木原生研)

1S38 植物ゲノム編集のための TALEN エントリーベクターシリーズの開発

草野博彰, 小野寺瞳, 紀平望帆, 島田浩章 (東京理科大・生物工)

1S39 TALEN を用いた植物ゲノム編集のための2遺伝子発現ベクター pDual-35S\_Ex の開発

小野寺瞳, 紀平望帆, 草野博彰, 島田浩章 (東京理科大·生物工)

1S40 植物ゲノム編集 活性評価ベクター pDual35S-R-Luc+の開発

紀平望帆,小野寺瞳,青木裕美,草野博彰,島田浩章(東京理科大学 基礎工学部 生物工学科 島田研究室)

1S41 アガートラップ法を用いたゼニゴケ T-DNA 挿入突然変異体集団の作出

濵島典子1,2, 児玉豊2(1字都宮大・農,2字都宮大・バイオセンター)

1842 ウキクサ類におけるカルス誘導とアグロバクテリウム共培養による安定形質転換体作製の試み

伊藤照悟,内海陽子,小山時隆(京都大学大学院 理学研究科 生物科学専攻 植物学教室 形態統御学)

1843 遺伝子導入の最適化と可視化マーカーによるジャトロファ形質転換体の迅速スクリーニング系の確立

<u>七里吉彦</u><sup>1</sup>, 木戸真史<sup>1</sup>, 加藤敦司<sup>2</sup>, 植田朋樹<sup>1</sup>, 辻本壽<sup>2,3</sup>, 明石欣也<sup>1,2</sup> ( $^{1}$ 鳥取大・農,  $^{2}$ 鳥取大・院連合農学,  $^{3}$ 鳥取大・乾燥地研)

1S44 ゼニゴケ精子凍結保存法の開発

十川太輔<sup>1</sup>,安達徽<sup>1</sup>,田中大介<sup>2</sup>,石崎公庸<sup>3</sup>,河内孝之<sup>4</sup>,大和勝幸<sup>1</sup>(<sup>1</sup>近畿大・生物理工,<sup>2</sup>基生研・IBBPセンター, <sup>3</sup>神戸大・院理学,<sup>4</sup>京都大・院生命科学)

1S45 ガラス化法によるヒメツリガネゴケの超低温保存技術の確立

<u>田中大介</u><sup>1</sup>,石川雅樹<sup>2</sup>,長谷部光泰<sup>2</sup>,竹澤大輔<sup>3</sup>,成瀬清<sup>1</sup> (<sup>1</sup>基生研・IBBPセンター,<sup>2</sup>基生研・進化多様性生物学領域。<sup>3</sup>埼玉大・院理工学研究科・環境科学研究センター)

1S46 ゼニゴケ成熟葉状体切片の迅速なアガートラップ形質転換

田中(坪山)祥子12, 野中聡子3, 児玉豊12(1字都宮大院・農,2字都宮大・バイオセンター,3筑波大・生命環境)

1S47 植物細胞を用いた BiFC 競合分析: タンパク質間相互作用を正しく判断するための適切な実験デザイン

藤井雄太1,2, 児玉豊2(1宇都宮大院・農,2宇都宮大・バイオセンター)

#### ■バイオリソース

1S48 理研 BRC における平成 27 年度の植物培養細胞リソース関連事業について

小林俊弘, 安部洋, 井内聖, 小林正智 (理研·BRC)

1S49 トマト研究推進のためのマイクロトム変異体リソース

四方雅仁<sup>1</sup>, 星川健<sup>1</sup>, 有泉亨<sup>1</sup>, 福田直也<sup>1</sup>, 久保康隆<sup>2</sup>, 金山喜則<sup>3</sup>, 青木考<sup>4</sup>, 江面浩<sup>1</sup> (<sup>1</sup>筑波大·生命環境, <sup>2</sup>岡山大·院自然科学, <sup>3</sup>東北大·院農, <sup>4</sup>大阪府立大·院生命環境)

#### ■ バイオマス/その他

1S50 2次元 NMR を用いた希硫酸前処理後固体画分の組成解析

<u>寺村浩</u><sup>1</sup>, 佐々木建吾<sup>2</sup>, 藍川晋平<sup>1</sup>, 松田史生<sup>3,4</sup>, 岡本真美<sup>4</sup>, 白井智量<sup>4</sup>, 川口秀夫<sup>1</sup>, 荻野千秋<sup>1</sup>, 山崎将紀<sup>5</sup>, 菊地淳<sup>4,6,7,8</sup>, 近藤昭彦<sup>1,4</sup>(<sup>1</sup>神大院・工, <sup>2</sup>神大院・自然, <sup>3</sup>阪大院・情報, <sup>4</sup>理研・BMEP, <sup>5</sup>神戸大院・農・附属食資源教育研究センター, <sup>6</sup>理研・CSRS, <sup>7</sup>横市大院・医, <sup>8</sup>名大・生命農学)

1S51 Usability of *Brachypodium* for promotion of crop and biomass production research

<u>Yasuyo Himuro</u><sup>1</sup>, Kanako Ishiyama<sup>2</sup>, Fumie Mori<sup>2</sup>, Fuminori Takahashi<sup>1</sup>, Satoshi Iuchi<sup>2</sup>, Motoyuki Ashikari<sup>3</sup>, Masatomo Kobayashi<sup>1,2</sup>, Kazuo Shinozaki<sup>1</sup> (<sup>1</sup>BMEP, CSRS, RIKEN, <sup>2</sup>Plant Div., BRC, RIKEN, <sup>3</sup>Bioscience and Biotechnology Center, Nagoya Univ.)

1S52 デントコーンの生育ステージによるグルタチオンの収量に対する効果

<u>逸見健司</u><sup>1</sup>,中川昌人<sup>1,2</sup>,長尾伸一郎<sup>3</sup>,秋山俊彦<sup>3</sup>,小川健一<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>岡山生物研,<sup>2</sup>科学技術振興機構・CREST,<sup>3</sup>岡山畜産研)

1S53 The dominant theory explains about half the hybrid vigor; in case of a F<sub>1</sub>-hybrid, high-biomass sorghum "Tentaka".

<u>Miki Yamaguchi</u><sup>1</sup>, Satoko Nakamura-Araki<sup>2</sup>, Yusuke Ito<sup>2</sup>, Kozue Shinohara-Ohmae<sup>2</sup>, Makoto Matsuoka<sup>2</sup>, Hidemi Kitano<sup>2</sup>, Shigemitsu Kasuga<sup>3</sup>, Takashi Sazuka<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Agr., Univ. Nagoya, <sup>2</sup>Biosci. and Biotech. Center, Nagoya Univ., <sup>3</sup>AFC, Fac. of Agri., Shinshu Univ.)

1S54 Population genetics and speciation mode in four wild Arabidopsis species: a multilocus study

Wei-Kuang Wang<sup>1</sup>, Chao-Li Huang<sup>2</sup>, Tzen-Yuh Chiang<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Department of Environment Engineering and Science, Feng Chia University, Taichung, Taiwan 407, <sup>2</sup>Department of Life Sciences, National Cheng Kung University, Tainan, Taiwan 701)

1855 Establishment of growth scale in Brachypodium distachyon for developmental context comparisons with Triticeae crops

Yoshihiko Onda, Kei Hashimoto, Takuhiro Yoshida, Tetsuya Sakurai, Yuji Sawada, Masami Hirai, Kiminori Toyooka, Keiichi Mochida. Kazuo Shinozaki (RIKEN CSRS)

1S56 水素化金属による植物への影響と可能性

<u>菅野晶子</u><sup>1</sup>,渡辺弘恵<sup>1</sup>,植田勇人<sup>2</sup>(1(株) TAANE, <sup>2</sup>(株) バイオス)

1857 国道 23 号線における遺伝子組換え (GM) セイヨウアブラナについての 5 年間の分布調査

中嶋信美<sup>1</sup>, 鞍谷均<sup>2</sup>, 西沢徹<sup>3</sup>, 青野光子<sup>1</sup>, 玉置雅紀<sup>1</sup>, 久保明弘<sup>1</sup>, 佐治光<sup>1</sup>(<sup>1</sup>国立環境研究所, <sup>2</sup>東京バイオテクノロジー専門学校、<sup>3</sup>福井大学教育地域科学部)

#### ■ 植物微生物相互作用

1S58 Study On Molecular Interaction Between *Arabidopsis thaliana* And A Plant Growth-Promoting Bacterium *Pseudomonas fluorescens* A-2.

Mari Ooura, Akito Imai, Yuya Ito, Takashi Ano, Masahiro Okanami (Fac. Biol. Ortd. Sci. Technol., Kinki Univ.)

1S59 Isolation Of Plant Growth-Promoting Bacteria

Masahiro Okanami, Chihiro Futoi, Mari Ooura, Yuki Matsumoto, Takashi Ano (Fac. Biol. Ortd. Sci. Technol., Kinki Univ.)

1S60 イネ免疫システムにおける脂質認識タンパク質の機能解析

藤原正幸<sup>1</sup>. 島本功<sup>2</sup>. 深尾陽一朗<sup>1</sup>(<sup>1</sup>奈良先端大 バイオ 植物グローバル, <sup>2</sup>奈良先端大・バイオ・植物分子遺伝学)

#### ■ 一次代謝

1T01 Metabolomic analysis of OsGLK1-ox Bamboo Pn Cells

Shinjiro Ogita<sup>1</sup>, Taiji Nomura<sup>1</sup>, Fumiaki Hirose<sup>2</sup>, Hiroaki Ichikawa<sup>2</sup>, Yasuo Kato<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Biotechnology Research Center, Toyama Prefectural University, <sup>2</sup>National Institute of Agrobiological Sciences)

1702 質量分析装置を用いたシロイヌナズナ植物体のオーキシン添加に応答する代謝変動解析

<u>姉川彩</u> $^1$ ,大西美輪 $^1$ ,高橋勝利 $^2$ ,七條千津子 $^1$ ,石崎公庸 $^1$ ,深城英弘 $^1$ ,三村徹郎 $^1$ ( $^1$ 神戸大・院・理・生物, $^2$ 産業技術総合研究所)

1T03 植物 C/N 応答制御における鍵代謝物の探索

<u>青山翔紀</u><sup>1</sup>, John Edward Lunn<sup>2</sup>, Mark Stitt<sup>2</sup>, 佐藤長緒<sup>1</sup>, 山口淳二<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北海道大・院生命, <sup>2</sup>Max Planck Institute of Molecular Plant Physiology)

1T04 Functional analysis of 14-3-3 proteins in vegetative growth and fruit development in tomato

<u>Yu Lu</u><sup>1</sup>, Chiaki Matsukura<sup>2</sup>, XingWen Li<sup>1</sup>, Takeo Sato<sup>1</sup>, Junji Yamaguchi<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Life Science, Hokkaido University, <sup>2</sup>Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba)

1T05 ミヤコグサの地上部と地下部間の成長バランスを制御する受容体キナーゼ ARN1 は窒素により発現誘導を受け、地上部のARN1 が根の伸長を決めている

<u>矢野幸司</u><sup>1</sup>, 寿崎拓哉<sup>2,3</sup>, 梅原洋佐<sup>4</sup>, 佐藤修正<sup>5</sup>, 河内宏<sup>6</sup>, 林誠<sup>4</sup>, 川口正代司<sup>2,3</sup>, 藤原徹<sup>1</sup> ( $^{1}$ 東大院・農学生命科学,  $^{2}$ 基生研,  $^{3}$ 総研大,  $^{4}$ 生物研,  $^{5}$ 東北大院・生命科学,  $^{6}$ 国際基督教大)

1T06 低窒素栄養応答に関わる GARP 型転写因子の機能解析

<u>本羽隆敏</u><sup>1</sup>, 光田展隆<sup>2</sup>, 瀧口裕子<sup>2</sup>, 高木優<sup>2,3</sup>, 近藤陽一<sup>4</sup>, 吉積毅<sup>5</sup>, 松井南<sup>1</sup>, 榊原均 $^1$  ( $^1$ 理研・CSRS,  $^2$ 産総研・生物プロセス,  $^3$ 埼玉大・環境科学,  $^4$ 関東学院大・理工,  $^5$ 慶應大・先端生命科学)

1T07 シロイヌナズナの窒素再利用機構におけるプリン分解の役割検証

高木紘<sup>1</sup>、渡邊俊介<sup>1</sup>、田中翔馬<sup>2</sup>、島田裕士<sup>1,2</sup>、坂本敦<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>広島大・院理、<sup>2</sup>広島大・理)

1T08 ヘテロシストを形成しないシアノバクテリア Leptolyngbya boryana における窒素固定と光合成の両立

小谷弘哉<sup>1</sup>, 野中葵<sup>2</sup>, 辻本良真<sup>1</sup>, 藤田祐一<sup>1</sup>(<sup>1</sup>名大·院生命農, <sup>2</sup>名大·農)

1T09 高温ストレスに応答したシロイヌナズナ葉の脂質組成の解析

<u>東泰弘</u> $^{1}$ ,岡咲洋三 $^{1}$ ,明賀史純 $^{1}$ ,篠崎一雄 $^{1}$ ,斉藤和季 $^{1,2}$ ( $^{1}$ 理研CSRS, $^{2}$ 千葉大・院薬学)

1T10 A pair of differentially localized methyltransferases required for phosphatidylcholine biosynthesis and plant postembryonic development in *Arabidopsis thaliana* 

Yu-chi Liu, Ying-Chen Lin, Yuki Nakamura (Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica)

#### ■二次代謝

1T11 Characterization of a P450 Gene, La-CYP1, Expressed in *Lupinus angustifolius* Bitter Cultivar Luchao Sun, Somnuk Bunsupa, Kazuki Saito, Mami Yamazaki (Grad, Pharm, Sci., Chiba Univ.)

Cell cultures and molecular investigation on *Polygonum tinctorium* and *Indigofera tinctoria* plant to understand indican biosynthesis.

<u>Yoshiko Minami</u><sup>1</sup>, Bijaya K. Sarangi<sup>2</sup>, Pattanaik Lopa<sup>2</sup>, Apurva Mishra<sup>2</sup>, Rohini Bakde<sup>2</sup>, Sanjog T. Thul<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Dept. of Biochemistry, Okayama Univ. of Science, <sup>2</sup>Environmental Biotechnology Divison, CSIR-NEERI, Council of Scientific and Industrial Research, India)

1T13 ARR14 はシロイヌナズナの色素体内イソペンテニル二リン酸生合成経路の転写レベルの制御に寄与する 橋川博一、高林佑輔、萬年一斗、高橋征司、中山亨(東北大・院工)

1T14 Carotenoid Biosynthesis genes in liverwort, Marchantia polymorpha (3)

 $\underline{\text{Miho Takemura}}^1, \text{Takashi Maoka}^{1,2}, \text{Norihiko Misawa}^1 (^1\text{Res. Inst. Biores. Biotech., Ishikawa Pref. Univ.,}^2\text{Res. Inst. Prod. Dev.})$ 

1T15 ユーグレナのカロテン合成系遺伝子の単離と機能解析

加藤翔太¹,加瀬大地¹,大谷津知世¹,高市真一²,石川孝博³,朝比奈雅志¹,高橋宣治¹,篠村知子¹(¹帝京大・理工, $^2$ 日本医科大, $^3$ 島根大・生物資源)

1T16 Cloning and Functional Analysis of Phytoene Desaturase and ζ-carotene Desaturase Genes in *Arthrospira platensis*<u>Koh Takahashi</u>¹, Hirotoshi Fukuizumi¹, Hideyuki Suzuki², Norihiko Misawa³, Takashi Maoka⁴, Masaharu Yamada¹, Kenjiro
Sugiyama¹ (¹Grad Sch. Eng., Kogakuin Univ., ²Kazusa DNA Res. Inst., ³Res. Inst. Biores. Biotech., Ishikawa Pref. Univ., ⁴Res.
Inst. Prod. Develop.)

1T17 Carotenoids and carotenogenesis genes in Rhodophyta

Shinichi Takaichi<sup>1</sup>, Mari Mochimaru<sup>2</sup>, Akiko Yokoyama<sup>3</sup>, Hiroko Uchida<sup>4</sup>, Akio Murakami<sup>4</sup> (<sup>1</sup>Nippon Medical School, <sup>2</sup>Komazawa University, <sup>3</sup>University of Tsukuba, <sup>4</sup>Kobe University)

1T18 A membrane-bound prenyltransferase catalyzes O-prenylation of coumarins in Angelica keiskei

Ryosuke Munakata<sup>1</sup>, Florence Jacob<sup>1</sup>, Takao Koeduka<sup>2</sup>, Akifumi Sugiyama<sup>1</sup>, Kazufumi Yazaki<sup>1</sup> (<sup>1</sup>RISH, Kyoto Univ., <sup>2</sup>Agric., Yamaguchi Univ.)

1T19 Induction of caffeine biosynthesis in tissue cultures of *Camellia sinensis* 

<u>Fumiyo Nakayama</u><sup>1</sup>, Midori Goto<sup>1</sup>, Kouichi Mizuno<sup>2</sup>, Misako Kato<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Ochanomizu University Graduate School of Humanities and Sciences, <sup>2</sup>Faculty of Bioresource of Science, Akita Prefectural University)

## ■ 環境応答/非生物ストレス応答(傷害)

1U01 傷害応答に関わる(3Z): (2E)-ヘキセナールイソメラーゼの同定と機能解析 <u>國嶋幹子</u>,山内靖雄,水谷正治,杉本幸裕(神大・院農)

#### ■ 環境応答/非生物ストレス応答(温度)

 1U02
 Synechococcus sp. NKBG 15041c の新規増殖関連遺伝子の探索とキャラクタリゼーション

 田中崇彬<sup>1,2</sup>、小関良宏<sup>1,2</sup>、山田晃世<sup>1,2</sup>(¹東京農工大院 生命、²IST-CREST)

1U03 Ligation of bZIP60 mRNA cleaved by IRE1 in Arabidopsis

Yukihiro Nagashima, Yuji Iwata, Kei-ichiro Mishiba, Nozomu Koizumi (Grad. Sch. of Life Env. Sci., Osaka Pref. Univ.)

1U04 Molecular mechanism of plant growth regulation under high temperature

Shinya Koizumi<sup>1</sup>, Satoshi Kidokoro<sup>1</sup>, Naohiko Ohama<sup>1</sup>, Junya Mizoi<sup>1</sup>, Kazuo Shinozaki<sup>2</sup>, Kazuko Yamaguchi-Shinozaki<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Laboratory of Plant Molecular Physiology, Department of Applied Biological Chemistry Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, <sup>2</sup>Center for Sustainable Resource Science, RIKEN)

1U05 Synechococcus elongatus PCC7942 における保存された機能未知レスポンスレギュレーター Rre1 の機能解析

小林一幾1, 島田友裕2, 田中寛2(1東京工業大学総合理工, 2東京工業大学資源化学研究所)

1006 高温適応性の解明に向けたバジル6品種の葉形態変化の観察と抗酸化物質濃度の測定

佐野俊夫, 森茉理絵, 大嵩南海希, 礒田真奈帆(法政大学生命科学部)

1U07 神経変性疾患治療薬 4-PBA による植物の高温ストレス耐性向上の検討

<u>古川陽介</u><sup>1</sup>, 佐藤貴大<sup>2</sup>, 眞島瑠里<sup>2</sup>, 中里真侑<sup>2</sup>, 赤津悠輔<sup>1</sup>, 飯田博一<sup>2</sup>, 近藤陽一<sup>2</sup> ( $^{1}$ 関東学院大学大学院工学研究科物質生命科学専攻,  $^{2}$ 関東学院大学)

1U08 稲の高温障害の抑制に関わる活性酸素消去系遺伝子

山口武志, 黒田昌治, 山川博幹, 中田克 (中央農業総合研究センター)

1U09 植物の高温ストレス応答の初期で働く転写因子 HsfA1 の活性制御機構の解析

大濱直彦<sup>1</sup>, 溝井順哉<sup>1</sup>, 趙慧美<sup>1</sup>, 小泉慎也<sup>1</sup>, 草壁和也<sup>1</sup>, 高橋史憲<sup>2</sup>, 石田哲也<sup>3</sup>, 柳澤修一<sup>3</sup>, 篠崎一雄<sup>2</sup>, 篠崎和子<sup>1</sup> (「東大院・農学生命科学」。<sup>2</sup>理研・環境資源科学研究セン<sup>3</sup>東大・生物生産工学研究センター)

1U10 Functional Analysis of 70 kDa Heat Shock Proteins in Arabidopsis

<u>Huimei Zhao</u><sup>1</sup>, Naohiko Ohama<sup>1</sup>, Shinya Koizumi<sup>1</sup>, Kazuya Kusakabe<sup>1</sup>, Junya Mizoi<sup>1</sup>, Satoshi Kidokoro<sup>1</sup>, Kazuo Shinozaki<sup>2</sup>, Kazuko Yamaguchi-Shinozaki<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo, <sup>2</sup>Center for Sustainable Resource Science, RIKEN)

1U11 HSP90 in auxin signaling

Etsuko Watanabe<sup>1</sup>, Kenji Yamada<sup>1,2</sup>, Mikio Nishimura<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Nat. Inst. Basic. Biol., <sup>2</sup>Grad. Sch. Sci. Kyoto Univ.)

1U12 シアノバクテリア Hsp90 と Hsp60 の相互作用

石津光暉<sup>1</sup>, Andreas Horn<sup>2</sup>, 仲本準<sup>1</sup> (<sup>1</sup>埼玉大・院理工学, <sup>2</sup>バイロイト大・院生物学)

1U13分子シャペロン HtpG (Hsp90) と DnaJ (Hsp40) の相互作用の解析石川凌、仲本準 (埼玉大・院理工学)

1U14 Understanding the role of protein trafficking in high temperature-mediated plant growth and development

Yukino Nakasato<sup>1</sup>, Takashi Ueda<sup>2</sup>, Abidur Rahman<sup>1</sup> (<sup>1</sup>CRC, Faculty of Agriculture, Univ. Iwate, <sup>2</sup>Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)

1U15 Understanding the role of protein trafficking in regulating the plant growth and development under cold temperature
Eisuke Kobayashi, Abidur Rahman (Cryobiofrontier Research Center)

1U16 急激な温度降下で生じるセントポーリア葉の傷害誘導メカニズム

大西美輪<sup>1</sup>,角浜憲明<sup>1</sup>,鈴木祥弘<sup>2</sup>,梶山智晴<sup>3</sup>,七條千津子<sup>1</sup>,石崎公庸<sup>1</sup>,深城英弘<sup>1</sup>,飯田秀利<sup>4</sup>,神原秀記<sup>3</sup>,三村徹郎<sup>1</sup>(<sup>1</sup>神戸大院・理,<sup>2</sup>神奈川大・理,<sup>3</sup>(株)日立製作所・中央研究所,<sup>4</sup>東京学芸大・教育・生命科学)

1U17 強光・低温の複合ストレス応答を用いた環境ストレス応答性遺伝子群の分類 <u>速水菜月</u><sup>1</sup>, 日恵野綾香<sup>1</sup>, 樋口美栄子<sup>2</sup>, 花田耕介<sup>3</sup>, 松井南<sup>2</sup>, 山本義治<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>岐阜大学応用生物科学研究科, <sup>2</sup>理化学研究所CSRS, <sup>3</sup>九州工業大学若手フロンティア研究アカデミー)

1U18 ICE1 相互作用因子 MYC タンパク質による負の低温シグナル調節

太田賢<sup>1</sup>, 佐藤愛子<sup>1</sup>, 野澤理恵子<sup>1</sup>, Jian-Kang Zhu<sup>2</sup>, 三浦謙治<sup>1</sup> (<sup>1</sup>筑波大学生命環境科学研究科, <sup>2</sup>Purdue University)

1U19 シロイヌナズナにおける *DREB1* ファミリー遺伝子群の低温誘導性制御機構の解析

石川朋 $\underline{\alpha}^1$ , 城所聡<sup>1</sup>, 戸田智美<sup>1</sup>, 溝井順哉<sup>1</sup>, 篠崎一雄<sup>2</sup>, 篠崎和子<sup>1</sup> (¹東大院・農学生命科学, ²理研・環境資源科学研究セ)

1U20 Functional analysis of the Arabidopsis CAMTA family transcription factors in cold stress responses

Koshi Yoneda<sup>1</sup>, Satoshi Kidokoro<sup>1</sup>, Kyonoshin Maruyama<sup>2</sup>, Nobutaka Mitsuda<sup>3</sup>, Masaru Takagi<sup>3,4</sup>, Kazuo Shinozaki<sup>5</sup>, Kazuko Yamaguchi-Shinozaki<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo, <sup>2</sup>Biol. Resources Post-harvest Div., JIRCAS, <sup>3</sup>AIST, Bioproduction Research Institute, <sup>4</sup>Institute for Environmental Science and Technology, Univ. Saitama, <sup>5</sup>RIKEN, CSRS)

1U21 ダイズの環境ストレス応答性 DREB1 型転写因子群の機能解析

<u>城所聡</u><sup>1</sup>,渡邉慶太郎<sup>1</sup>,大堀鉄平<sup>1</sup>,森脇崇<sup>1</sup>,圓山恭之進<sup>2</sup>,溝井順哉<sup>1</sup>,Myint Phyu Sin Htwe Nang<sup>2</sup>,藤田泰成<sup>2</sup>,関田 佐知子<sup>1</sup>,篠崎一雄³,篠崎和子<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東大院・農学生命科学,<sup>2</sup>国際農研・生物資源利用,<sup>3</sup>理研・環境資源科学研究セ)

1U22 富士山高山帯に生育するフジハタザオにおける CBF および COR の遺伝子発現解析

中村優里, 狩野かな子, 増澤武弘, 木嵜暁子 (静岡大・理)

1U23 Calcium signal: a clue to cold sensing of plant cell in the field

Hayato Hiraki, Mastuo Uemura, Yukio Kawamura (Cryobiofrontier Research Center, Faculty of Agriculture, Iwate university)

## ■ 環境応答/非生物ストレス応答(乾燥・水分・浸透圧)

1U24 VOZ2 localizes to P-bodies and stress granules under abiotic stress conditions

Misaki Murotani, Kanako Yamasaki, Masahiko Sato (Graduate School of Life and Environmental Sciences, Kyoto Prefectural University)

1U25 MIZ1 expression in epidermis and/or cortex is essential for hydrotropism of Arabidopsis roots

<u>Lei Pang</u><sup>1</sup>, Akie Kobayashi<sup>1</sup>, Nobuharu Fujii<sup>1</sup>, Malcolm J. Bennett<sup>2</sup>, Tae-Woong Bae<sup>1</sup>, Yutaka Miyazawa<sup>3</sup>, Hideyuki Takahashi<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Life Sci., Tohoku Univ., <sup>2</sup>Sch. Biosci., Univ. Nottingham, <sup>3</sup>Fac. Sci., Yamagata Univ.)

1U26 Osmotic responses and morphological adaptation of plant's cultured cells against environmental stresses

<u>Masahrio Inouhe</u><sup>1</sup>, Yoh Sakuma<sup>1</sup>, Mai Okuura<sup>2</sup>, Saori Wakasaki<sup>2</sup>, Hironori Niki<sup>3</sup> (<sup>1</sup>Biology Sci., Graduate School of Science and Engineer., Ehime Univ., <sup>2</sup>Dept. Biol., Faculty Sci., Ehime Univ., <sup>3</sup>Genetic Strains Research Center, National Institute of Genetics)

1U29 シロイヌナズナにおける tRNA 硫黄修飾の欠失は植物の乾燥ストレス条件下での成長に影響する. <u>中井由実</u><sup>1</sup>,原田明子<sup>2</sup>,中井正人<sup>3</sup>,矢野貴人 $^1$ ( $^1$ 大阪医科大学・生化学教室, $^2$ 大阪医科大学・生物学教室, $^3$ 大阪大学・蛋白研)

1U30 転写活性化ドメインを付加した転写抑制因子の過剰発現により乾燥耐性を獲得した系統の解析 木越景子<sup>1</sup>, 高木優<sup>1,2</sup>, 藤原すみれ<sup>1</sup> (<sup>1</sup>産総研・生物プロセス, <sup>2</sup>埼玉大・環境科学)

1U31 Comparative root transcriptome analyses of two soybean cultivars with contrasting drought-tolerant phenotype under well-watered and dehydration conditions

<u>Chien Van Ha</u><sup>1</sup>, Yasuko Watanabe<sup>1</sup>, Uyen Thi Tran<sup>1</sup>, Maho Tanaka<sup>2</sup>, Motoaki Seki<sup>2</sup>, Lam-Son Phan Tran<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Signaling Pathway Research Unit, RIKEN Center for Sustainable Resource Science, Yokohama, JAPAN 230-0045, <sup>2</sup>Plant Genomic Network Research Team, RIKEN Center for Sustainable Resource Science, Yokohama, JAPAN 230-0045)

Metabolome and transcriptome analyses of tissue specific and drought stress response in soybean

<u>Kaoru Urano</u><sup>1</sup>, Kyonoshin Maruyama<sup>2</sup>, Miyako Kusano<sup>1,3</sup>, Akira Oikawa<sup>1,4</sup>, Yozo Okazaki<sup>1</sup>, Ryo Nakabayashi<sup>1</sup>, Mikiko Kojima<sup>1</sup>,

Tetsuya Sakurai<sup>1</sup>, Hironori Takasaki<sup>1</sup>, Hitoshi Sakakibara<sup>1</sup>, Kazuki Saito<sup>1,5</sup>, Kazuko Yamaguchi-Shinozaki<sup>6</sup>, Kazuo Shinozaki<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>CSRS, RIKEN, <sup>2</sup>Bio. Res. Div., JIRCAS, <sup>3</sup>Fac. Life Envi. Sci., Univ. Tsukuba, <sup>4</sup>Fac. Agri., Yamagata Univ., <sup>5</sup>Grad. Sch. Pha. Sci.,

Chiba Univ., <sup>6</sup>Grad. Sch. Agri. Life Sci., Univ. Tokyo)

Analysis of transcriptional regulation of Arabidopsis *PIF* family genes in response to abiotic stresses

<u>Jin Seok Moon</u><sup>1</sup>, Satoshi Kidokoro<sup>1</sup>, Daisuke Todaka<sup>1</sup>, Sayuri Igusa<sup>1</sup>, Junya Mizoi<sup>1</sup>, Kazuo Shinozaki<sup>2</sup>, Kazuko Yamaguchi-Shinozaki<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad, Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo, <sup>2</sup>Center for Sustainable Resource Science, RIKEN)

1U34 トマトの転写因子 SIDREB2 ファミリーの機能解析

<u>内田健斗</u>, 佐久間洋, 井上雅裕, 三浦由佳, 原裕詞, 伊豆行人 (愛媛大・院・理工学)

1U35 温度・水欠乏応答性遺伝子 At1g73480 の発現調節に関わる転写因子プロモーター領域の網羅的解析 神原綾子, 小倉麻耶, 佐久間洋, 井上雅裕 (愛媛大学大学院理工学研究科生理学研究室)

1U36 乾燥・高温複合ストレスに対するダイズの生理応答および遺伝子発現応答の解析 <u>繁田薫</u>¹, 溝井順哉¹, 城所聡¹, 小平憲祐¹, 篠崎一雄², 篠崎和子¹ (¹東大院・農学生命科学, ²理研・環境資源科学研究セ)

1U37 車軸藻植物門クレブソルミディウムにおけるアブシジン酸応答の解析 <u>唐司典明</u>1, 堀孝一 $^{1,2}$ , 瀬尾光範 $^{3}$ , 太田啓之 $^{1,2,4}$  ( $^{1}$ 東工大・院生命理工, $^{2}$ JST,CREST, $^{3}$ 理研・環境資源科学研究センター, $^{4}$ 東工大ELSI)

1U38 Identification and biochemical characterization of wheat ABA receptors, which are identified by bioinformatics analysis

<u>Ryosuke Mega</u><sup>1</sup>, Kousuke Hanada<sup>2</sup>, Masanori Okamoto<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Arid Land Research Center, Tottori University, <sup>2</sup>Frontier Research

Academy for Young Researchers, Kyushu Institute of Technology)

1U39 シロイヌナズナにおける SnRK2 新奇相互作用因子の同定 相馬史幸<sup>1</sup>,最上惇郎<sup>1</sup>,吉田拓也<sup>1</sup>,阿部倉緑<sup>1</sup>,高橋史憲<sup>2</sup>,溝口昌秀<sup>1</sup>,梅澤泰史<sup>2</sup>,溝井順哉<sup>1</sup>,篠崎一雄<sup>2</sup>,篠崎和子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大院・農学生命科学、<sup>2</sup>理研・環境資源科学研究セ)

1U40 ABA 依存のリン酸化による bHLH 型転写因子 AKS1 の活性制御

高橋洋平1.2, 木下俊則2.3, 島崎研一郎1 (1九州大・院理・生物科学, 2名古屋大・院理・生命理学, 3名古屋大・WPI-ITbM)

1U41 Molecular analysis of signaling related to abscisic acid-dependent plasmodesmatal regulation

<u>Takumi Tomoi</u><sup>1</sup>, Munenori Kitagawa<sup>2</sup>, Yoichi Sakata<sup>3</sup>, Tomomichi Fujita<sup>4</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. of Life Sci., Hokkaido Univ., <sup>2</sup>RIKEN CSRS, <sup>3</sup>Dept of Biosci., Tokyo Univ. of Agric., <sup>4</sup>Fac. of Sci., Hokkaido Univ.)

1U42 Abscisic Acid-dependent Regulation of Plasmodesmata Function

Munenori Kitagawa<sup>1</sup>, Takumi Tomoi<sup>2</sup>, Yoichi Sakata<sup>3</sup>, Mayuko Sato<sup>1</sup>, Kiminori Toyooka<sup>1</sup>, Hitoshi Sakakibara<sup>1</sup>, Tomomichi Fujita<sup>4</sup> (¹RIKEN, CSRS, ²Grad. Sch. of Life Sci., Hokkaido Univ., ³Dept of Bio-sci., Tokyo Univ. of Agric., ⁴Fac. of Sci., Hokkaido Univ.)

#### ■ 環境応答/非生物ストレス応答(重力・光)

微小重力環境下で生育したシロイヌナズナの花茎の形態学的解析 1U43

> 村本雅樹1, 唐原一郎1, 筋師洵也2, 矢野幸子3, 谷垣文章3, 嶋津徹4, 笠原春夫5, 神阪盛一郎1 (1富山大・院・理工, <sup>2</sup>富山大・理、<sup>3</sup>宇宙航空研究開発機構、<sup>4</sup>日本宇宙フォーラム、<sup>5</sup>有人宇宙システム株式会社)

1U44 Prostrate Growth Habit of Arabidopsis *lazy1* Is Partially Suppressed by Phytochrome B Mutation

Kotaro Yamamoto<sup>1,2</sup>, Shu Sasaki<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Dept. Biol. Sci., Fac. Sci., Hokkaido Univ., <sup>2</sup>Grad. Sch. Life Sci., Hokkaido Univ.)

1U45 シロイヌナズナの DLLs-RLDs タンパク質間相互作用を介した重力シグナリング分子機構の解明

谷口雅俊1, 平野良憲2, 鈴木可奈子1, 箱嶋敏雄2, 森田(寺尾)美代1(1名大院・生命農, 2奈良先端大・バイオ)

過重力条件を利用したシロイヌナズナの arg1 pgm 二重突然変異体の重力屈性を低下させる突然変異 (enhancer of arg1 pgm) の 1U46 単離

> 藤井伸治¹,山川あゆみ¹,菅村裕子¹,宮沢豊¹²,山下雅道³,高橋秀幸¹(¹東北大・院・生命科学,²山形大・理,³宇宙 農業サロン)

シロイヌナズナ光防御関連遺伝子 ELIP2 の発現量ナチュラルバリエーションを利用した eGWAS の試み 1U47

内藤彩乃, 中野友貴, 齋藤竜典, 小山博之, 小林佑理子, 山本義治(岐阜大・応生院)

光防御関連遺伝子 ELIP2 のプロモーターに結合する転写因子の in vitro スクリーニング 1U48

> 齋藤竜典<sup>1</sup>,速水菜月<sup>1</sup>,野元美佳<sup>2</sup>,多田安臣<sup>2</sup>,松井南<sup>3</sup>,光田展隆<sup>4</sup>,山本義治<sup>3.5</sup>(<sup>1</sup>岐大・院応生,<sup>2</sup>名大・遺伝子,<sup>3</sup>理 研・CSRS、4産総研・生物プロセス、5岐大・応生)

#### ■ 環境応答/非生物ストレス応答(酸化・レドックス)

Anabaena sp. PCC 7120 における NTRC の標的タンパク質の探索 1U49

見原翔子<sup>1</sup>, 吉田啓亮<sup>1,2</sup>, 肥後明佳<sup>1,2</sup>, 久堀徹<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>東工大・資源研, <sup>2</sup>IST・CREST)

1U50 Anabaena sp. strain PCC 7120 の鉄硫黄クラスター生合成蛋白質は Trx と相互作用する

<u>野亦次郎</u>1-2,前田真希1,井須敦子2,井上和仁3,久堀徽1-2(1東工大・資源,2JST・CREST,3神奈川大・理・生物)

1U51 活性酸素ストレスによるメタカスパーゼ遺伝子破壊体の細胞死誘導解析

> 坪田卓也<sup>1</sup>, 佐藤守亮<sup>2</sup>, 後藤郁人<sup>2</sup>, 上土井優貴<sup>2</sup>, 鈴木寬<sup>1</sup>, 岩崎行玄<sup>1</sup>, 林潤<sup>2</sup>(<sup>1</sup>福井県立・院生物資源, <sup>2</sup>福井県立・ 生物資源)

シロイヌナズナの非常に相同性の高い2-アルケナールレダクターゼアイソフォーム間の異なる基質特異性 1U52

嶋本有美香、高野和文、佐野智(京都府大・院・生命環境科学)

1U53 An Ozone-sensitive Arabidopsis Mutant With Deficiencies In Glycolate Oxidases

> Shoko Saji<sup>1</sup>, Srinivas Bathula<sup>2</sup>, Akihiro Kubo<sup>1</sup>, Masanori Tamaoki<sup>1</sup>, Mitsuko Aono<sup>1</sup>, Tomoharu Sano<sup>1</sup>, Kazuo Tobe<sup>1</sup>, Nobuyoshi Nakajima<sup>1</sup>, Hikaru Saji<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Natl. Inst. Environ. Studies, <sup>2</sup>Dravidian Univ.)

## ポスター【後半】 第3日 3月18日(水)

#### ■ 植物ホルモン/シグナル伝達物質

2P01 車軸藻植物門クレブソルミディウムにおける原始的なオーキシン応答の解析

大高きぬ香<sup>1</sup>, 堀孝一<sup>1,2</sup>, 太田啓之<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>東工大・生体システム, <sup>2</sup>JST,CREST, <sup>3</sup>東工大・ELSI)

2P02 Roles of Aux/IAAs at the shoot apical meristem.

Yasushi Shimizu-Mitao, Tatsuo Kakimoto (Grad. Sch. Sci., Univ. Osaka)

2P03 The MAB4-PID complex controls PIN dynamics in the plasma membrane

Masahiko Furutani, Masao Tasaka (Nara Institute of Science and Technology)

2P04 Characterization of novel genes that regulate Indole-3-butyric acid response in Arabidopsis thaliana

Miori Yoshida, Taiki Hanzawa, Abidur Rahman (Cryobioforntier Research Center, Faculty of Agriculture, Iwate University)

Selective herbicidal action of auxinic herbicide 2,4-dichlorophenoxyacetic acid(2,4-D) is regulated through actin mediated cell death Kana Umetsu, Abidur Rahman (Cryobiofrontier Research Center, Faculty of Agriculture, Iwate University)

2P06 YUCCA に対するフェニルボロン酸類の阻害機構の解析

佐藤明子, 筧雄介, 山崎千秋, 嶋田幸久 (横浜市立大・木原生研)

2P07 イネにおける新規オーキシン生合成阻害剤の作用解析

<u>中村郁子</u><sup>1</sup>,青山龍司<sup>1</sup>,國土祐未子<sup>2</sup>,石井貴広<sup>2</sup>,佐藤明子<sup>1</sup>,菊地理恵<sup>1</sup>,筧雄介<sup>1</sup>,添野和雄<sup>2</sup>,嶋田幸久<sup>1</sup>(「横浜市大・木原生研」。2農研機構・近中四農研)

2P08 イネにおけるオーキシン生合成経路の解析

添野和雄<sup>1</sup>,國土祐未子<sup>1</sup>,石井貴広<sup>1</sup>,中村郁子<sup>2</sup>,嶋田幸久<sup>2</sup>(1農研機構・近中四農研,<sup>2</sup>横浜市大・木原生研)

2P09 Axhs1 遺伝子は、シロイヌナズナにおけるオーキシンとブラシノステロイドの相互作用に関与する.

<u>長瀬泰亮</u>, 高瀬尚文, 關谷次郎, プリエト ラファエル (京都学園大学, バイオ環境学部, バイオサイエンス学科, 植物バイオテクノロジー研究室)

2P10 ブラシノステロイドによるシロイヌナズナ花茎の伸長・重力応答領域の決定分子機構の探索

<u>筧雄介</u><sup>1</sup>, 木村あかり<sup>1</sup>, 曽我康一<sup>2</sup>, 保尊隆享<sup>2</sup>, 山崎千秋<sup>1,3</sup>, 鈴木優志<sup>1,4</sup>, 嶋田幸久<sup>1</sup> ( $^{1}$ 横浜市大・木原生研,  $^{2}$ 大阪市大院・理・生物,  $^{3}$ 日本宇宙フォーラム,  $^{4}$ 東大院・農生科・応生化)

2P11 新規植物カルス形成促進化合物 FPX と新規植物成長促進化合物 PPG の同定と生理作用解析

<u>田中翔太</u><sup>1,2</sup>,藤岡昭三<sup>1</sup>,久城哲夫<sup>2</sup>,長田裕之<sup>1,3</sup>,浅見忠男<sup>4,5</sup>,中野雄司<sup>1,3,5</sup>(<sup>1</sup>理研,<sup>2</sup>明治大院・農芸化学,<sup>3</sup>理研・CSRS,<sup>4</sup>東大院・農化生,<sup>5</sup>JST CREST)

2P12 イネジベレリンシグナル伝達における INDETERMINATE DOMAIN (IDD) family protein の機能解析

木下俊介, 吉田英樹, 氷上卓磨, 平野恒, 松岡信, 上口(田中)美弥子(名大・生物機能研究センター)

2P13 Transfer of cytokinin synthesis gene under the control of seed specific promoter in rice

Yuumi Orikasa<sup>1</sup>, Kana Furuta<sup>1</sup>, Ivan Galis<sup>2</sup>, Hiroetsu Wabiko<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Akita Prefectural University, <sup>2</sup>Okayama University)

2P14 ケミカルスクリーニングによる D14 を標的とする新規ストリゴラクトンアゴニストの探索

安井令<sup>1</sup>,瀬戸義哉<sup>1</sup>,笠原博幸<sup>2</sup>,山口信次郎<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東北大・院・生命科学,<sup>2</sup>理研CSRS)

2P15 植物ホルモンを介した側枝形成におけるショ糖生合成系の関与

大鳥久美 $^{1,2}$ 、川本智美 $^1$ 、田部記章 $^{1,2}$ 、田茂井政宏 $^{1,2}$ 、重岡成 $^{1,2}$ ( $^1$ 近畿大・農・バイオ、 $^2$ JST, CREST)

2P16 VLCFA synthesis controls leaf production in poplar and Arabidopsis

Hidekazu Iwakawa<sup>1</sup>, Yusuke Atsumi<sup>1</sup>, Yoko Okushima<sup>1</sup>, Masaaki Umeda<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>NAIST, <sup>2</sup>JST CREST)

#### ■ 栄養成長

2P17 ATML1 activates expression of ACR4 during the initiation of epidermal cell fate

<u>Takada Nozomi</u>, Ayaka Yoshida, Shinobu Takada (Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, Osaka University)

2P18 初期生育においてリン酸欠乏耐性を示すイネ変異体の同定と解析

<u>吉田紗貴</u><sup>1</sup>, 田中伸裕<sup>1</sup>, 高木宏樹<sup>2</sup>, 寺内良平<sup>2</sup>, 藤原徹<sup>1</sup> ( $^{1}$ 東京大学農学生命化学研究科応用生命化学専攻植物栄養・肥料学研究室,  $^{2}$ 岩手生物工学研究センター)

2P19 A rice MAP3K, Os11g45280, controls plant growth concerning tiller formation.

<u>Yuta Ymamura</u><sup>1</sup>, Hiroshi Fukayama<sup>1</sup>, Daisuke Matsuoka<sup>1,2</sup>, Takashi Nanmori<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Faculty of Agriculture, Kobe Univ., <sup>2</sup>Research Center for Environmental Genomics, Kobe Univ.)

2P20 イネ α-アミラーゼ遺伝子の登熟中種子および発芽種子における発現解析

中田克, 宮下朋美, 羽方誠, 黒田昌治, 山口武志, 山川博幹(中央農研北陸センター)

2P21 イネ α-アミラーゼ大腸菌発現タンパク質の酵素特性

平井理恵子, 中田克, 中田百理子, 山川博幹(中央農研 北陸研セ)

2P22 Seed longevity of *Arabidopsis* natural variations before and after priming treatments

Naoto Sano, Mitsunori Seo (CSRS, RIKEN)

2P23 qLTG3-1 を持つ準同質遺伝子系統を用いた低温条件下で吸水させた種子のプロテオーム的解析

水鳥希洋人1, 山口琢也2, 山田哲也1, 金勝一樹1(1農工大院・農, 2富山県農林水産総合技術センター)

2P24 X線マイクロCTによる発芽吸水過程にみられる種子内部構造変化の観察

山内大輔<sup>1</sup>,福田安希<sup>1</sup>,中石佳那<sup>2</sup>,玉置大介<sup>1</sup>,佐藤繭子<sup>3</sup>,豊岡公徳<sup>3</sup>,上杉健太朗<sup>4</sup>,星野真人<sup>4</sup>,唐原一郎<sup>5</sup>,峰雪芳宣<sup>1</sup>(<sup>1</sup>兵庫県大・院・生命理学,<sup>2</sup>兵庫県大・理・生命,<sup>3</sup>理研・CSRS,<sup>4</sup>高輝度光科学研究センター,<sup>5</sup>富山大・院・理丁)

2P25 シロイヌナズナの胎生発芽突然変異体, YY10-4の解析

大沼夏樹1, 川上直人1,2 (1明大・農, 2明大・院農)

2P26 Regulation of leaf senescence by an abscisic acid inducible Arabidopsis MAPKKK, MAPKKK18

Daisuke Matsuoka, Takashi Nanmori (Research Center for Environmental Genomics)

2P27 海生種子植物アマモにおけるアブシシン酸関連遺伝子の解析

<u>坪俊介</u>, 板東由希子, 佐藤洸, 塩田肇 (横浜市大・院・生命ナノシステム科学)

2P28 Overexpression of ARP1 delays plant growth by affecting the ABA signaling.

<u>Hiroki Sugimoto</u><sup>1</sup>, Kotomi Ueno<sup>1</sup>, Daisuke Matsuoka<sup>1,2</sup>, Takashi Nanmori<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Agr., Univ. Kobe, <sup>2</sup>Research Center for Environmental Genomics, Univ. Kobe)

2P29 非典型型 Aux/IAA タンパク質 IAA30 は FUS3 による ABA と IAA レベルの上昇を介して種子休眠獲得に関わる

加賀谷安章<sup>1</sup>,山口裕子<sup>1</sup>,脇坂恵<sup>1</sup>,加賀谷道子<sup>1</sup>,山本章子<sup>2</sup>,竹林裕美子<sup>3</sup>,瀬尾光範<sup>3</sup>,服部束穂<sup>2</sup>( $^{1}$ 三重大・生命科学セ, $^{2}$ 名大・生物機能セ, $^{3}$ 理研・CSRS)

2P30 Involvement of an ERF transcription factor gene, EPI1 in jasmonate-mediated senescence in Arabidopsis

<u>KwiMi Chung</u><sup>1</sup>, Toshitsugu Nakano<sup>2</sup>, Masaru Ohme-Takagi<sup>1,3</sup>, Kaoru Suzuki<sup>1</sup> (¹Bioprod. Res. Inst., Natl. Inst. Adv. Ind. Sci. & Tech. (AIST), ²Inst. Crop Res. Dev., Vietnam Nat. Univ. Agri, ³Inst. Envir. Sci. & Tech. (IEST), Saitama Univ.)

2P31 Ectopic expression of NSR1/MYR2 confers delayed leaf senescence in Arabidopsis.

Yuki Naito<sup>1</sup>, Toshitsugu Nakano<sup>1,2</sup>, Namie Ohtsuki<sup>1,3</sup>, <u>Kaoru Suzuki</u><sup>1</sup> (<sup>1</sup>Bioproduction Res. Inst., AIST, <sup>2</sup>Vietnam Natl. Univ. Agri., <sup>3</sup>NIAS)

2P32 ゼニゴケにおける杯状体形成関連遺伝子 GEMMA-CUP ASSOCIATED MYB 2 の解析

<u>高見英幸</u><sup>1</sup>,塚本成幸<sup>2</sup>,增田晃秀<sup>3</sup>,七條千津子<sup>2</sup>,深城英弘<sup>2</sup>,三村徹郎<sup>2</sup>,河内孝之<sup>3</sup>,石崎公庸<sup>2</sup>( $^{1}$ 神戸大・理, $^{2}$ 神戸大・院・理, $^{3}$ 京都大・院・生命)

2P33 R2R3-MYB 型転写因子 GCAM1 は苔類ゼニゴケの杯状体形成を制御する

<u>塚本成幸</u><sup>1</sup>,菅谷友美<sup>2</sup>,大和勝幸<sup>3</sup>,西浜竜一<sup>4</sup>,久保浩義<sup>2</sup>,七條千津子<sup>1</sup>,深城英弘<sup>1</sup>,三村徹郎<sup>1</sup>,河内孝之<sup>4</sup>,石崎公庸<sup>1</sup>( $^{1}$ 神戸大・院・理、 $^{2}$ 信州大・院・理工学系, $^{3}$ 近畿大・生物理工, $^{4}$ 京大・院・生命科学)

2P34 無性芽形成異常変異体 karappo2 における変異原因遺伝子の同定

<u>樋渡琢真</u><sup>1</sup>,山口勝司<sup>2</sup>,重信秀治<sup>2</sup>,澤進一郎<sup>3</sup>,七條千津子<sup>4</sup>,深城英弘<sup>4</sup>,三村徹郎<sup>4</sup>,河内孝之<sup>5</sup>,石崎公庸<sup>4</sup>(<sup>1</sup>神戸大・理,<sup>2</sup>基生研,<sup>3</sup>熊本大・院・自然科学,<sup>4</sup>神戸大・院・理,<sup>5</sup>京都大・院・生命)

2P35 Agrobacterium rhizogenes 由来 rolB 遺伝子の発現がセイヨウミヤコグサの生長に及ぼす影響

矢野翼 $^1$ ,山本昭洋 $^2$ ,國武久登 $^2$ ,佐伯雄 $^2$ ,明石良 $^2$ ( $^1$ 宮崎大院・農工, $^2$ 宮崎大・農)

2P36 セイヨウミヤコグサスーパールート系統を用いたアミノ酸合成と植物表現型に影響するシロイヌナズナ由来 *SYNC1* 遺伝子の機能解析

<u>矢野翼</u><sup>1</sup>,田中秀典<sup>2</sup>,栗野太貴<sup>3</sup>,山本昭洋<sup>2</sup>,國武久登<sup>2</sup>,佐伯雄一<sup>2</sup>,明石良<sup>2</sup>(<sup>1</sup>宮崎大院・農工,<sup>2</sup>宮崎大・農,<sup>3</sup>宮崎大院・農)

2P37 気孔パターン形成機構の数理モデル解析

<u>藤田浩徳</u><sup>1</sup>, Robin J. Horst<sup>2</sup>, Jin Suk Lee<sup>2</sup>, 川口正代司<sup>1,3</sup>, 鳥居啓子<sup>2,4</sup> (<sup>1</sup>基礎生物学研究所, <sup>2</sup>Univ. of Washington, <sup>3</sup>総研大・生命科学, <sup>4</sup>名大・WPI-ITbM)

2P38 Analysis of Mechanisms of Stomatal Cluster Formation in Saxifraga stolonifera and Begonia semperflorens

Eri Yorifuji, Hirokazu Tsukaya (Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)

2P39 シロイヌナズナにおける種子成熟遺伝子の発芽後の発現抑制に関わる新規因子の解析

河合都妙<sup>1</sup>, 鈴木孝征<sup>1,6</sup>, 小内清<sup>2,3</sup>, 前尾健一郎<sup>4</sup>, 石浦正寬<sup>2,3</sup>, 東山哲也<sup>5,6,7</sup>, 中村研三<sup>1</sup> (<sup>1</sup>中部大・応用生物, <sup>2</sup>名古屋大・遺伝子, <sup>3</sup>JST・先端計測, <sup>4</sup>名古屋大・院・生命農, <sup>5</sup>名古屋大・院・理, <sup>6</sup>JST・ERATO, <sup>7</sup>名古屋大・WPI-ITbM)

2P40 植物を矮性化させる GARP ファミリー転写因子の解析

高橋未来哉1,池田美穂2,高木優2(1埼玉大・理,2埼玉大院・理工)

## ■ 光受容体・光応答

2Q01 青色光受容体 ZTL がシロイヌナズナの胚軸伸長に及ぼす影響

齋藤彩<sup>1</sup>, 宮崎裕士<sup>1,2</sup>, <u>高瀬智敬</u><sup>2</sup>, 清末知宏<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>学習院大·院生命科学, <sup>2</sup>学習院大·理)

2Q02 クリプトクロムを介した青色光による低温馴化制御機構

今井裕之1,河村幸男1,長谷あきら2,上村松生1(1岩手大・連合農学,2京都大・院・理)

2Q03 ヒメツリガネゴケ青色光受容体フォトトロピンの機能同定

木村優希, 鐘ヶ江健(首都大・院理工・生命科学)

2Q04 Gene expression profiling of genes and signaling pathways associated with etiolation of *Arabidopsis thaliana* under continues blue light

Wen-Dee Ong<sup>1,2</sup>, Emiko Okubo-Kurihara<sup>1</sup>, Yukio Kurihara<sup>1</sup>, Kumar Sudesh<sup>2</sup>, Minami Matsui<sup>1</sup> (¹RIKEN Center for Sustainable

Resource Science, ²School of Biological Sciences, Universiti Sains Malaysia)

2Q05 シロイヌナズナの根で遠赤色光により誘導される PR1 様遺伝子 FPL の発現解析

<u>山口潤子</u><sup>1</sup>, 吉本(宮崎)愛<sup>2</sup>, 奈良久美<sup>3</sup>(<sup>1</sup>奈良女子大・院・生物科学,<sup>2</sup>奈良女子大・理,<sup>3</sup>奈良女子大・自然科学・生物科学)

2Q06 Involved of JA and light in gene expressions of phyAphyC genes

Seiichiro Kiyota (National Institute of Agrobiological Sciences)

2Q07 光情報伝達に関わるシロイヌナズナ R2R3 型 MYB 転写因子の解析

<u>嶋田勢津子</u><sup>1</sup>, 近藤陽一<sup>1,2</sup>, 吉積縠<sup>1,3</sup>, 岡義人<sup>1,4</sup>, 堀井陽子<sup>1</sup>, 栗山朋子<sup>1</sup>, 川島美香<sup>1</sup>, 松井南<sup>1</sup>(<sup>1</sup>理研・CSRS, <sup>2</sup>関東学院・理工・生命, <sup>3</sup>慶應大・先端生命研, <sup>4</sup>福建農林大学)

2Q08 無傷葉における気孔の光応答と孔辺細胞 H+-ATPase リン酸化レベルの解析

 $\underline{g}$  <u>藤英伍</u><sup>1</sup>,木下俊則<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>名大院・理・生命,<sup>2</sup>名大・WPI-ITbM)

2Q09 ヒメツリガネゴケ VOZ の機能解析

村上繁晃1,新田拓也1,高橋文雄1,佐藤雅彦2,笠原賢洋1(1立命館大・院生命科学,2京都府立大・院生命環境)

2Q10 照射光の光質がダッタンソバの幼苗期の光形態形成に与える影響

<u>北崎一義</u><sup>1</sup>,渡辺慎一<sup>1</sup>,松尾征徳<sup>1</sup>,池長裕史<sup>1</sup>,岡本章秀<sup>1</sup>,谷野章<sup>2</sup>,古谷茂喜<sup>1</sup>,鮫島國親<sup>1</sup>(<sup>1</sup>農研機構 九州沖縄農業研究センター,<sup>2</sup>島根大学 生物資源科学部)

2Q11 糸状性シアノバクテリア Rivularia sp. M-261 の光屈性の屈曲の形成

片山光徳 (日大・生産工)

2Q12 A Mathematical Model Capable of Reproducing the Phase Response of Arabidopsis Under Various Light Conditions

<u>Takayuki Ohara</u><sup>1</sup>, Isao Tokuda<sup>1</sup>, Hirokazu Fukuda<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci. & Eng., Univ. Ritsumeikan, <sup>2</sup>Grad. Sch. Eng., Univ. Osaka Prefecture)

#### ■ 膜交通

2Q13 PIN タンパク質の細胞内局在制御に関わる膜輸送因子の発生における役割の解析

 $\underline{\text{田中博和}^1}$ , 松浦友紀 $^2$ , 石川朋美 $^1$ , 北倉左恵子 $^1$ , 柿本辰男 $^1$  ( $^1$ 阪大・院・理,  $^2$ 阪大・理)

2Q14 Analysis of the Arabidopsis Ortholog of Tobacco Secretory Carrier Membrane Protein 2

<u>Yamato Oda</u><sup>1</sup>, Kiminori Toyooka<sup>2</sup>, Ken Matsuoka<sup>1,3,4</sup> (<sup>1</sup>Sch. Agric., Kyushu Univ., <sup>2</sup>RIKEN CSRS, <sup>3</sup>Fac. Agric., Kyushu Univ., <sup>4</sup>Biotron Appl. Ctr., Kyushu Univ.)

2Q15 FAB1 controls the polarity, the secretion, the internalization, the degradation of membrane proteins

平野朋子,佐藤雅彦,小堤彩美,山本美奈,北澤志奈(京都府立大学大学院生命環境科学研究科)

シロイヌナズナ液胞輸送経路におけるクラスリン輸送系の解析 2Q16

松波絵里香1、中川強2、地阪光生1、長屋敦1、横田一成1、西村浩二2(1島根大・生物資源、2島根大・総科セ・遺伝子)

2Q17 植物における新規クラスリン結合性タンパク質の探索

> 入江明<sup>1</sup>、上田正道<sup>1</sup>、黄嘉禾<sup>1</sup>、藤原正幸<sup>2</sup>、深尾陽一朗<sup>2</sup>、有村慎一<sup>1</sup>、藤本優<sup>1</sup>、堤伸浩<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東大・院農、<sup>2</sup>奈良先端大・ バイオ・植物グローバル)

PEL1/ABCG11 タンパク質の細胞膜局在に関わる新規因子の探索 2Q18

田井聡美<sup>1</sup> . 柿本辰男<sup>2</sup> . 田中博和<sup>2</sup> (<sup>1</sup>阪大・理 . <sup>2</sup>阪大・院理学)

2Q19 シロイヌナズナ ara6-1 変異体における QQS を介した糖代謝と病原性細菌に対する抵抗性機構

筒井友和1,中野明彦12,上田貴志13(1東大院・理系,2理研・光量子工学,3さきがけ)

2Q20 葉緑体包膜に局在する OsLACS9 の機能解析

> 谷内智子1,濱田侑紀1,髙松壮1,伊東七実子1,石山隆一1,古賀彩2,及川和総2,三ツ井敏明12(1新潟大院・自然科 学. 2新潟大農・応生化)

#### ■ 牛体膜/イオン・物質輸送

2Q21 細胞膜型アクアポリン OsPIP1:1 の細胞膜移行要因の解明

高橋永暉¹,松本直²,渡辺絵梨子¹,宮守由香梨¹,岩崎郁子¹(¹秋田県立大·生物資源科学,²農研機構 中央農研)

イオノームに変化のあるイネ変異型株の解析 2Q22

平栗章弘, 藤原徹, 神谷岳洋 (東大·院農生命)

2Q23 アメリカネムノキの就眠運動を制御する外向き K+チャネル

> 及川貴也<sup>1</sup>、鈴木健史<sup>1</sup>、石丸泰寛<sup>1</sup>、浜本晋<sup>2</sup>、宗正晋太郎<sup>3</sup>、村田芳行<sup>3</sup>、魚住信之<sup>2</sup>、上田実<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東北大院・理、<sup>2</sup>東北大 院・工. 3岡山大院・環境生命)

2Q24 ヨシ根の Na 回収・排出に関わる輸送体候補分子の発現パターン解析

鎌田裕1, 樋口恭子2(1東農大 農化, 2東農大 生物応用化学科)

イネのリン分配に関与する輸送体 OsSultr3:4 の機能解析 2Q25

竹本侑馬, 山地直樹, 馬建鋒(岡山大・植物研)

2Q26 チオール化合物がアブラナのカドミウム動態に及ぼす影響

> 中村進一1, 鈴井伸郎2, 尹永根2, 石井里美2, 河地有木2, 頼泰樹1, 服部浩之1, 藤巻秀2(1秋田県立大・生物資源, 2原 子力機構・量子ビーム)

2Q27 シャジクモ藻類クレブソルミディウムにおける細胞膜プロトンポンプ

> 高橋宏二, 堀孝一2.3, 大高きぬ香3, 太田啓之2.3.4, 木下俊則5 (¹名古屋大・院理・生命, ²JST, CREST, ³東工大・生体 システム、<sup>4</sup>東工大・ELSI、<sup>5</sup>名古屋大・ITbM)

アクアポリンの水輸送活性とオオムギ根の水透過性の水銀感受性 2Q28

柴坂三根夫, 中原由揮, 且原真木 (岡山大学資源植物科学研究所)

2Q29 低カドミウム蓄積イネの作出とその表現型解析

> <u>田中伸眷</u><sup>1</sup>,西田翔<sup>1</sup>,神谷岳洋<sup>1</sup>,石川覚<sup>2</sup>,藤原徽<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学農学生命科学研究科植物栄養肥料学研究室,<sup>2</sup>農業環境 技術研究所)

2Q30 Identification of mitochondrial calcium transporter MCU and its regulator MICU1 in Arabidopsis thaliana

> Akihisa Hamatani<sup>1</sup>, Chihiro Asakura<sup>1</sup>, Yosuke Mizukami<sup>1</sup>, Saki Yomogihara<sup>1</sup>, Takashi Shiina<sup>1</sup>, Yoko Yamamoto<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Life and Environmental Sciences, Kyoto Prefectural University, 2Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)

2Q31 Complementation of rsx1-2 mutants by cell type-specific expression of an RSX1-sGFP construct

> Ayumi Homma<sup>1</sup>, Zhongrui Duan<sup>1</sup>, Megumi Kobayashi<sup>2</sup>, Noriko Nagata<sup>2</sup>, Yuki Fujiki<sup>1</sup>, Ikuo Nishida<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Science and Engineering, Saitama University, 2Department of Chemical and Biological Sciences, Faculty of Science, Japan Women's

2Q32 プロテオリポソーム再構成系を利用したシロイヌナズナ PAPST1 ホモログ At3g51870 の輸送基質の解析

<u>名樂仁</u><sup>1</sup>, 井上寬之<sup>2</sup>, 戸澤譲<sup>3,4</sup>, 野澤彰<sup>4</sup> (¹愛媛大·SSC, ²愛媛大·院·理工, ³埼玉大·院·理工, ⁴愛媛大·PROS)

2Q33 葉緑体チラコイド膜形成における糖脂質生合成制御機構の解明

成瀬祐樹<sup>1</sup>、村川雅人<sup>1</sup>、円由香<sup>2</sup>、池田桂子<sup>3</sup>、下嶋美恵<sup>2</sup>、太田啓之<sup>1,4,5</sup>(<sup>1</sup>東工大・院・生命理工、<sup>2</sup>東工大・バイオ研究基盤支援総合センター、<sup>3</sup>東工大・技術部・バイオ技術センター、<sup>4</sup>東工大・ELSL <sup>5</sup>IST・CREST)

2Q34 シダ植物ヘビノネゴザにおけるカドミウム蓄積のキャラクタリゼーション

近藤慎之助、蒲池浩之(富山大・院理工・生物圏環境)

2Q35 亜鉛欠乏時に根で高発現するイネ OsZIP9 の機能解析

佐々木明正, 柏野美帆, 山地直樹, 馬建鋒(資源植物科学研究所, 岡山大)

2Q36 アルカリ条件下で栽培したオオムギの根伸長と原形質膜 H+ATPase 活性の関係

牧島平, 樋口恭子(東農大・応生)

2Q37 シロイヌナズナ概日時計変異体を用いた根の水透過性とアクアポリン PIP2s のリン酸化の解析

<u>奥村綾子</u><sup>1</sup>, 且原真木<sup>2</sup>, 金子智之<sup>3</sup>, 奈良久美<sup>4</sup>(<sup>1</sup>奈良女子大・理, <sup>2</sup>岡山大・資源植物研, <sup>3</sup>旭川医科大・生理学, <sup>4</sup>奈良女子大・自然科学・生物科学)

2Q38 耐塩性ダイズからクローニングした Cation/H+-アンチポーター遺伝子の機能解析

<u>庄野真理子</u><sup>1</sup>, Vu Thi Thu Hien<sup>2</sup>, 許東河 $^2$  ( $^1$ 国際農研·熱研,  $^2$ 国際農研·生物資源)

2Q39 シロイヌナズナ亜鉛輸送体 ZIP13 の花粉管伸長における役割

藤田早紀1,長崎(武内)菜穂子2,藤原崇志1,深尾陽一朗2,前島正義1,河内美樹1(1名大・生命農,2奈良先・バイオ)

2Q40 Physiological role of H<sup>+</sup>-pyrophosphatase in *Arabidopsis thaliana*: comparison with loss-of-function and overexpression mutants

<u>Mariko Asaoka</u><sup>1</sup>, Shoji Segami<sup>1</sup>, Ali Ferjani<sup>2</sup>, Masayoshi Maeshima<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad.Sch.Bioagr.Sci.,Nagoya Univ., <sup>2</sup>Tokyo Gakugei Univ.

Department of Biology)

## ■ 光合成

2R01 Effects of Inactivation of Mo-type Nitrogenase and Expression of V-type Nitrogenase Activity on Photobiological H<sub>2</sub> Production by Nostoc sp. PCC 7422

<u>Takeshi Sato</u><sup>1</sup>, Hajime Masukawa<sup>2</sup>, Masaharu Kitashima<sup>3</sup>, Hidehiro Sakurai<sup>4</sup>, Kazuhito Inoue<sup>1,3,4</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci., Kanagawa Univ., <sup>2</sup>OCU Adv. Res. Inst. Natural Sci. and Tech., <sup>3</sup>Dept. Biol. Sci., Fac. Sci., Kanagawa Univ., <sup>4</sup>Res. Inst. Photobiol. H2 Prod., Kanagawa Univ.)

2R02 光化学系 I・カーボンナノチューブ複合体作成の試み

野沢陽佑, 二井大輔, 嶋田友一郎, 鞆達也(東京理科大学理学部鞆研究室)

2R03 Isolation of Photosystem I Assembly Machinery Containing Ycf3 and Ycf4 by Affinity Chromatography from *Chlamydomonas reinhardtii*<u>Sreedhar Nellaepalli</u><sup>1,2</sup>, Hiroshi Kuroda<sup>1,2</sup>, Shin Ichiro Ozawa<sup>1,2</sup>, Yuichiro Takahashi<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Natural Science and Technology, Okayama University, <sup>2</sup>JST-CREST)

2R04 ヒスチジンタグを利用した高純度の光化学系 I 複合体のアフィニティ精製

吉田香織<sup>1</sup>, 高橋裕一郎<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>岡山大学大学院自然科学研究科・高橋裕一郎研究室, <sup>2</sup>JST-CREST)

2R05 シロイヌナズナにおける pgr5 欠損変異が葉緑体 ATP 合成に及ぼす影響の解析

高橋拓子, 王彩娟, 山本宏, 鹿内利治(京大 理学研究科)

2R06 Novel grana-localized proteins, RIQ1 and RIQ2, contribute to efficient induction of NPQ in Arabidopsis.

Ryo Yokoyama<sup>1</sup>, Hiroshi Yamamoto<sup>1</sup>, Kentaro Ifuku<sup>2</sup>, Satomi Takeda<sup>3</sup>, Yoichiro Fukao<sup>4</sup>, Maki Kondo<sup>5</sup>, Mikio Nishimura<sup>5</sup>, Toshiharu Shikanai<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. of Science, Kyoto University, <sup>2</sup>Grad. Sch. of Biostudies, Kyoto University, <sup>3</sup>Grad. Sch. of Science, Osaka Prefecture University, <sup>4</sup>Plant Global Education Project, Nara Institute of Science and Technology, <sup>5</sup>National Institute of Basic Biology)

2R07 Study on FdC2, a ferredoxin homologue ubiquitously present in oxygenic photosynthetic organisms: Analysis of expression and localization in maize leaves

<u>Keisuke Ota</u><sup>1</sup>, Yoko Ariga<sup>1</sup>, Guy T. Hanke<sup>2</sup>, Toshiharu Hase<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Institute for Protein Research, Osaka University, <sup>2</sup>Department of Plant Physiology, Osnabrueck University)

2R08 The close relationship between leaf photosynthesis and crop yield: Analysis of transgenic rice with reduced content of cytochrome b<sub>6</sub>/ f complex

<u>Wataru Yamori</u><sup>1,3</sup>, Eri Kondo², Yuji Suzuki², Amane Makino², (¹Chiba University, ²Grad. Sch. Agri. Sci., Tohoku Univ., ³PRESTO, JST)

- Purification, Crystallization And Crystal Structural Analysis Of PsbA3-only Photosystem II

  Natsumi Ugai<sup>1</sup>, Michi Suga<sup>1</sup>, Miwa Sugiura<sup>2</sup>, Masako Iwai<sup>3</sup>, Masahiko Ikeuchi<sup>3</sup>, Jien-Ren Shen<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. of Nat. Sci. and Tech., Okayama Univ., <sup>2</sup>Proteo-sci. Rese. Cent., Ehime Univ., <sup>3</sup>Grad. Sch. of Arts and Sci., The Univ. of Tokyo)
- 2R10 Crystal structure of the tll0287 protein that binds to photosystem II with the D1 subunit encoded by the *psbA2* gene at 2.0 Å resolution <a href="Taiki Motomura">Taiki Motomura</a><sup>1,2</sup>, Michihiro Suga², Miwa Sugiura³, Thanh-Lan Lai⁴, Alain Boussac⁴, Jian-Ren Shen¹.² (¹Grad. Sch. Sci., Univ. Hyogo, ²Grad. Sch. Natural Sci. and Tech./Fac. Sci., Okayama Univ., ³Proteo-Sci. RC, Ehime Univ., ⁴iBiTec-S)
- 2R11 葉緑体 FtsH の相互作用候補因子 EngA を高発現するシロイヌナズナの解析 森満莉恵<sup>1</sup>、加藤裕介<sup>2</sup>、坂本亘<sup>2</sup>(<sup>1</sup>岡山大院・環境生命、<sup>2</sup>岡山大・資源植物科学研究所)
- 2R12 光化学系 II 酸素発生系における D1 タンパク質上の Asp-61 の役割の解析 <u>上田和世</u><sup>1</sup>, 黒田洋詩<sup>2,3</sup>, 兒玉なつ美<sup>2,3</sup>, 菓子野康浩<sup>4</sup>, 高橋裕一郎<sup>2,3</sup> (<sup>1</sup>岡山大・理・生物, <sup>2</sup>岡山大・院・自然科学, <sup>3</sup>JST-CREST, <sup>4</sup>兵県大・院・生命理学)
- 2R13 化学架橋と質量分析を用いた高等植物光化学系 II における膜表在性タンパク質の結合様式の解析 <u>伊福健太郎<sup>1</sup></u>, 井戸邦夫<sup>1</sup>, 深尾陽一朗<sup>2</sup>, Jon Nield<sup>3</sup>, 西村大志<sup>1</sup>, 佐藤文彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京大院・生命, <sup>2</sup>奈良先端大・バイオ, <sup>3</sup>ロンドン大学クイーン・メアリー校)
- 2R14 葉緑体 NAD(P)H dehydrogenase 様複合体の蓄積に関わる PsbQ-Like(PQL)3 タンパク質の機能解析 横江友貴¹, 仲村渉¹, 薮田真也², 佐藤文彦¹², 伊福健太郎¹² (¹京大・農, ²京大院・生命)
- 2R15 光化学系 II における第二キノン電子受容体 Q<sub>B</sub> の首振り機構による電子・プロトン伝達 嘉手川千央,加藤祐樹,<u>野口巧</u>(名古屋大学 理学研究科 物質理学専攻(物理系))
- 2R17 Identification and characterization of fructose-1,6-bisphosphatase from *Euglena gracilis*Takahisa Ogawa<sup>1,2</sup>, Kazuyuki Kumokawa<sup>1</sup>, Kosuke Shinohara<sup>1</sup>, Ayako Kimura<sup>1,2</sup>, Harumi Sakuyama<sup>1,2</sup>, Takanori Maruta<sup>2,3</sup>,

  Takahiro Ishikawa<sup>2,3</sup>, Masahiro Tamoi<sup>1,2</sup>, Shigeru Shigeoka<sup>1,2</sup> (¹Dept. Adv. Biosci., Fac. Agr., Kinki Univ., ²JST, CREST, ³Dept.

  Life Sci. Biotechnol., Fac. Life Environ. Sci., Shimane Univ.)
- 2R18 NAD-ME 型 C<sub>4</sub> 植物キビにおける C<sub>4</sub> 代謝とミトコンドリア電子伝達系の関係 畠山友翔、上野修 (九州大・院農・生物資源環境科学府)
- 2R19 海洋性珪藻リン酸輸送体候補タンパク質 <u>杉山俊樹</u>,中島健介,松田祐介(関西学院大学大学院理工学研究科松田研究室)
- 2R20
   Symbiodinium minutum の光化学系 I の性質

   伊藤道俊¹,清水信介¹,鈴木健裕²,堂前直²,高橋俊一³,鞆達也¹(¹東京理科大学・理学部,²理研・グローバル研究

   クラスタ,³基礎生物学研究所)
- 2R21 共生藻 Symbiodinium と一重項酸素発生との相関 野島淳寛<sup>1</sup>、伊藤道俊<sup>1</sup>、高橋俊一<sup>2</sup>、鞆達也<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京理科大学理学部鞆研究室、<sup>2</sup>基礎生物学研究所)

#### ■ 光合成・呼吸の環境応答

- 2R22 CO<sub>2</sub> Responsive CCT Protein, CRCT Is a Positive Regulator of Starch Synthesis in Vegetative Organ in Rice

  <u>Aiko Kodo</u><sup>1</sup>, Ryutaro Morita<sup>2</sup>, Tomoko Hatanaka<sup>2</sup>, Shuji Misoo<sup>2</sup>, Hiroshi Fukayama<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Fac. of Agric., Kobe Univ., <sup>2</sup>Grad. Sch. Agric., Kobe Univ.)
- 2R23 CO<sub>2</sub> Responsive CCT Protein Ortholog in Arabidopsis Controls the Starch Accumulation in Leaves.

  Nozomu Chuma, Tomoko Hatanaka, Shuji Misoo, Hirosi Fukayama (Grad.Sch.Agri.Sci.,Kobe Univ.)
- 2R24
   シロイヌナズナの pect1-4 変異はシアン耐性呼吸変異 aox1a-1 と合成致死性を示す

   矢竹美樹¹, ユヤンボ¹, 藤木友紀¹², 野口航³, 西田生郎¹²(¹埼玉大・院理工, ²埼玉大・理, ³東京大・院理)
- 2R25 Synechocystis sp. PCC 6803 におけるテトラピロール生合成系遺伝子の低酸素誘導に必須の転写活性化タンパク質 ChIR を恒常的に活性型とする変異群

平出優人, 川尻安志, 山川壽伯, 藤田祐一(名古屋大学・院生命農)

2R26 ラン藻を用いた脂肪酸生産において鍵となるアシル ACP 合成酵素は強光条件下での光化学系の活性維持に重要な役割を果たす

高谷信之 $^{1,4}$ , 鵜瀬和秀 $^{1}$ , 加藤明宏 $^{1}$ , 小島幸治 $^{2,4}$ , 池田和貴 $^{3,4}$ , 愛知真木子 $^{2,4}$ , 前田真 $^{-1,4}$ , 小俣達男 $^{1,4}$  ( $^{1}$ 名大・院・生命農、 $^{2}$ 中部大・応用生物、 $^{3}$ 理研IMSメタボローム、 $^{4}$ IST CREST)

2R27 強光照射によるシロイヌナズナ β-carotene hydroxylase 遺伝子の発現調節への GUN1,ABI4 の影響和田優、竹田恵美(大府大・院理学)

Revealing Different Properties Of Chloroplasts In Different Tissues By 3-D Fluorescence Lifetime Imaging Microscopy

Shinji Fukuda<sup>1</sup>, Takashi Shiina<sup>2</sup>, Kanako Yamasaki<sup>2</sup>, Masahide Terazima<sup>1</sup>, Shigeichi Kumazaki<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci., Univ. Kyoto, <sup>2</sup>Grad. Sch. Human, Env. Sci., Pref. Univ. Kyoto)

## ■ 植物微生物相互作用

2R28

2S02 Isolation and characterization of naturally occurring endophytic fungi from the Brassicaceae

<u>Takahiro Imamura</u><sup>1</sup>, Yukari Oida<sup>1</sup>, Kei Hiruma<sup>1</sup>, Yusuke Saijo<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>NAIST, <sup>2</sup>PRESTO, JST)

2S03 アグロバクテリウムによる遺伝子導入効率を向上させる化合物の同定

木村光宏, 磯部祥子 (かずさDNA研究所 先端研究部)

2S04 根こぶ線虫が感染時に誘導する巨大細胞の成熟メカニズム

相良知実<sup>1</sup>, Ngan Bui Thi<sup>1</sup>, 佐藤博<sup>1</sup>, 岩堀英晶<sup>2</sup>, 中上知<sup>1</sup>, 石田喬志<sup>1</sup>, 澤進一郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>熊本大·院自然科学, <sup>2</sup>九沖農研究)

2S05 CLE シグナル伝達系を介した線虫と植物の相互作用

金丸由実, 江島千佳, Ngan Bui Thi, 山口泰華, 中上知, 石田喬志, 澤進一郎(熊本大・院自然科学)

2S06 Development and parasitization of *Orobanche aegyptiaca* callus tissue

Yuko Odani, Koh Aoki (Grad. Sch. Life Environ. Sci., Osaka Pref. Univ.)

2S07 Involvement of ALMTs in dicarboxylate transport in nodules of *Lotus japonicus* 

<u>Kojiro Takanashi</u><sup>1</sup>, Takayuki Sasaki<sup>2</sup>, Tomohiro Kan<sup>1</sup>, Yuka Saida<sup>1</sup>, Akifumi Sugiyama<sup>1</sup>, Yoko Yamamoto<sup>2</sup>, Kazufumi Yazaki<sup>1</sup> (<sup>1</sup>RISH, Kyoto Univ., <sup>2</sup>IPSR, Okayama Univ.)

2S08 ミヤコグサのリポ多糖結合タンパク質の機能解析

<u>坂元洸太</u><sup>1</sup>, 村上英一<sup>1</sup>, 高山仁美<sup>1</sup>, 重岡麻由美<sup>1</sup>, 下田宜司<sup>2</sup>, 武藤さやか<sup>3</sup>, 永野幸生<sup>3</sup>, 九町健一<sup>1</sup>, 阿部美紀子<sup>1</sup>, 内海俊樹<sup>1</sup> ( $^{1}$ 鹿児島大・院理工・生命化学、 $^{2}$ 生物資源研、 $^{3}$ 鹿児島大学・院連合農学)

2S09 Bradyrhizobium elkanii USDA61 株のエフェクターに対する反応のミヤコグサ系統間差の解析

<u>日下部翔平</u><sup>1</sup>, 金子貴一<sup>2</sup>, 安田美智子<sup>3</sup>, 三輪大樹<sup>3</sup>, 岡崎伸<sup>3</sup>, 佐藤修正<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東北大・院生命科学, <sup>2</sup>京産大・総合生命, <sup>3</sup>東京農工大・院農)

2S10 地衣類共生シアノバクテリアの共生および非共生状態における光合成特性

<u>佐藤知樹</u><sup>1</sup>,小村理行<sup>2</sup>,原光二郎<sup>1</sup>,小峰正史<sup>1</sup>,山本好和<sup>1</sup>,伊藤繁<sup>3</sup>,岩崎郁子<sup>1</sup>( $^{1}$ 秋田県立大・生物資源科学, $^{2}$ 名古屋市立大・院・医, $^{3}$ 名古屋大・遺伝子実験)

2S11 Hunting core virulent effectors in *Colletotrichum* species

Naoyoshi Kumakura<sup>1</sup>, Pamela Gan<sup>1</sup>, Ayako Tsushima<sup>1</sup>, Yasuhiro Kadota<sup>1</sup>, Shuta Asai<sup>1</sup>, Mari Narusaka<sup>2</sup>, Yoshihiro Narusaka<sup>2</sup>, Yoshitaka Takano<sup>3</sup>, Ken Shirasu<sup>1</sup> (<sup>1</sup>CSRS RIKEN, <sup>2</sup>RIBS Okayama, <sup>3</sup>Grad, Sch. Agri., Univ., Kyoto)

2S12 Disease history and population genetic structure of Ralstonia solanacearum phylotype I in Asia

<u>Kun-Chan Tsai</u><sup>1,2</sup>, Wei-Kuang Wang<sup>3</sup> (<sup>1</sup>Department of Comparative Studies, the Graduate School for Advanced Studies, Japan, <sup>2</sup>National Museum of Ethnology, Osaka, Japan, <sup>3</sup>Department of Environmental Engineering and Science, Feng Chia University, Taichung, Taiwan)

2S13 Analysis of saliva protein in gel saliva

Akitaka Hozumi, Yuto Ohnaka, Koh Aoki (Grad. sch. Life Environ. Sci., Osaka Pref. Univ.)

2S14 Characterization of herbivore-induced rice volatiles under real and mimic herbivory

Islam S. Sobhy, Atsushi Miyake, Ivan Galis (Institute of Plant Science and resources (IPSR), Okayama University)

2S15 Development of rice protection strategies based on the natural defense mechanisms against herbivores

<u>Kimiaki Tanabe</u>, Yuko Hojo, Tomonori Shinya, Kabir Md Alamgir, Ivan Galis (Okayama University Institute of Plant Science and Resources)

日本植物生理学会通信 No.123

- 2S16 Roles of jasmonate-induced volatiles in rice defense system
  - Shiduku Taniguchi<sup>1</sup>, Yumi Hosokawa-Shinonaga<sup>2</sup>, Seika Miyoshi<sup>2</sup>, Keiichiro Tanaka<sup>2</sup>, Shoko Yamada<sup>2</sup>, Yuya Uji<sup>2</sup>, Kazuya Akimitsu<sup>1,2</sup>. Kenii Gomi<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>United Grad. Sch. Agric. Sci., Ehime Univ., <sup>2</sup>Fac. of Agr., Kagawa Univ.)
- 2S17 OsMYC2 positively regulates resistant response to rice bacterial blight
  - <u>Yuya Uji</u><sup>1</sup>, Shiduku Taniguchi<sup>2</sup>, Daisuke Tamaoki<sup>1</sup>, Hodaka Shisido<sup>1</sup>, Shoko Yamada<sup>1</sup>, Kazuya Akimitsu<sup>1,2</sup>, Kenji Gomi<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Fac. of Agr., Kagawa Univ., <sup>2</sup>United Grad. Sch. Agric. Sci., Ehime Univ.)
- 2S18 NAD 及び関連代謝物による植物の病害抵抗性誘導の作用機構
  - 三輪晃敬<sup>1</sup>,澤田有司<sup>2</sup>,平井優美<sup>2</sup>,佐藤和広<sup>3</sup>,西内巧<sup>1</sup>( $^{1}$ 金沢大学・学際センター, $^{2}$ 理研・環境資源科学研究センター, $^{3}$ 岡山大学・植資研)
- 2S19 Arabidopsis Lipopolysaccharide-Binding Protein AtLBR-2 Shows Bactericidal Activity Under Reducing Conditions
  - Sayaka IIZASA<sup>1,2</sup>, Ei'ichi IIZASA<sup>3</sup>, Genki SUENAGA<sup>2,4</sup>, Yukio NAGANO<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Agri. Sci., Kagoshima Univ., <sup>2</sup>Anal. Res. Cntr. Exp. Sci., Saga Univ., <sup>3</sup>Med., Saga Univ., <sup>4</sup>Agri., Saga Univ.)
- 2S20 The pattern receptor PEPR complexes in the presence or absence of the coreceptor BAK1 in Arabidopsis
  - <u>Taishi Hirase</u><sup>1</sup>, Yu Misawa<sup>1</sup>, Tadashi Fujiwara<sup>1</sup>, Misuzu Yamasita-Yamada<sup>2</sup>, Kohji Yamada<sup>2</sup>, Iris Finkemeier<sup>3</sup>, Yusuke Saijo<sup>1,2,4</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Biological Sciences, Nara Institute of Science and Technology, <sup>2</sup>Department of Plant-Microbe Interactions, Max Planck Institute for Plant Breeding Researches, <sup>3</sup>Plant Proteomics and Mass Spectrometry Group, Max Planck Institute for Plant Breeding Research, <sup>4</sup>PRESTO, JST)
- 2S21 シロイヌナズナ CERK1 の自己リン酸化はキナーゼの活性化と基質の特異的リン酸化を通じてキチン応答を制御する <u>渋谷匡俊</u>, 須藤健吉, 島田日加瑠, 鈴木丸陽, 中島正登, 辻本奈都美, 大西美帆子, 紀藤圭治, 出崎能丈, 賀来華江, 渋谷直人 (明治大・農・生命科学)
- 2S22 キチン受容体キナーゼ CERK1 のユビキチン化部位の同定と機能解析
  - 中島正登、渋谷匡俊、田中優太、椎野聖大、紀藤圭治、出崎能丈、賀来華江、渋谷直人(明治大・農・生命科学)
- 2S23 キチンシグナル伝達における膜局在ユビキチンリガーゼの機能解析
  - 長谷川陽子<sup>1</sup>,安田盛貴<sup>2</sup>,佐藤長緒<sup>2</sup>,山口淳二<sup>2</sup>(<sup>1</sup>北大・理,<sup>2</sup>北大院・理学研究院)
- 2S24 CERK1 と相互作用因子する E3 ユビキチンリガーゼの機能解析
  - 高橋昌平 $^1$ , 中島正登 $^1$ , 八嶋航平 $^1$ , 須藤健吉 $^1$ , 小泉春樹 $^1$ , 三浦駿希 $^1$ , 紀藤圭治 $^1$ , 鳴坂真理 $^2$ , 鳴坂義弘 $^2$ , 出崎能丈 $^1$ , 賀来華江 $^1$ . 渋谷直人 $^1$  ( $^1$ 明治大・農・生命科学、 $^2$ 岡山生科研)
- 2S25 The role and regulation of Arabidopsis sugar transporters in plant immunity
  - Kohji Yamada<sup>1</sup>, Yusuke Saijo<sup>2,3</sup>, Yoshitaka Takano<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Agri., Kyoto Univ., <sup>2</sup>Grad. Sch. Bio. Sci., NAIST, <sup>3</sup>PRESTO, JST)
- 2S26 細胞内膜交通系を介したシロイヌナズナの感染防御応答の制御機構の解析
  - 大滝幹<sup>1</sup>,羽山大介<sup>1</sup>,河村康希<sup>1</sup>,北畑信隆<sup>1</sup>,花俣繁<sup>1</sup>,来須孝光<sup>1,2</sup>,海老根一生<sup>3</sup>,上田貴志<sup>3</sup>,朽津和幸<sup>1,4</sup>(<sup>1</sup>東京理科大・理工・応用生物科学,<sup>2</sup>東京工科大・応用生物,<sup>3</sup>東京大・理・生物科学,<sup>4</sup>東京理科大・総合研究機構)
- 2S27 植物免疫応答としてのカロース蓄積に関わる膜交通系因子の解析
  - 八嶋航平 $^1$ , 小針政輝 $^1$ , 住谷雄介 $^1$ , 上田貴志 $^2$ , 出崎能丈 $^1$ , 賀来華江 $^1$ , 渋谷直人 $^1$  ( $^1$ 明治大・農・生命科学,  $^2$ 東大・院理系)
- 2S28 植物の PAMP 誘導免疫反応における細胞質 Ca2+濃度上昇と防御応答遺伝子発現の関係
  - 山岡征矢,下谷絋司,田中志整,椎名隆(京都府立大学院生命環境科学研究科植物分子生物学研究室)
- 2S29 デュアル抵抗性蛋白質システムは植物の科の壁を越えて機能する
  - <u>鳴坂義弘</u><sup>1</sup>, 白須賢<sup>2</sup>, 高野義孝<sup>3</sup>, 山田哲也<sup>4</sup>, 久保康之<sup>5</sup>, 鳴坂真理<sup>1</sup> ( $^{1}$ 岡山生物研, $^{2}$ 理研環境資源科学セ, $^{3}$ 京大院農, $^{4}$ 北大院農, $^{5}$ 京府大生命環境)
- 2S30 デュアル抵抗性蛋白質システムを構成する RPS4 および RRS1 の機能解析
  - <u>鳴坂真理</u>¹, 白須賢², 豊田和弘³, 白石友紀¹, 鳴坂義弘¹(¹岡山生科研, ²理研・環境資源科学セ, ³岡山大院・環境生命)
- 2S31 Identification of Immune Factors Interacted with Xa1, the Bacterial Blight Resistance BED-NB-LRR Protein in Rice.
  - Nao Hayata, Satomi Yoshimura, Toshiya Ouchi, Yuta Ido, Tsutomu Kawasaki (Grad. School of Agriculture, Kinki Univ)
- 2S32 相同な NBS-LRR タンパク質をコードするトビイロウンカ抵抗性遺伝子 *BPH26* といもち病抵抗性遺伝子 *Pib* は何が特異性を決定するのか?
  - <u>加星光子</u><sup>1</sup>, 田村泰盛<sup>2</sup>, 高橋章<sup>1</sup>(<sup>1</sup>生物研・遺伝子組換え研究センター, <sup>2</sup>生物研・昆虫科学研究領域)

日本植物生理学会通信 No.123

2S33 Fine mapping of RBG2, a quantitative trait locus for resistance to Burkhorderia glumae, on rice chromosome 1

<u>溝淵律子</u><sup>1</sup>, 佐藤宏之<sup>2</sup>, 福岡修一<sup>1</sup>, 對馬誠也<sup>3</sup>, 井辺時雄<sup>4</sup>, 矢野昌裕<sup>5</sup>(<sup>1</sup>(独) 農業生物資源研究所, <sup>2</sup>(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター, <sup>3</sup>(独) 農業環境技術研究所, <sup>4</sup>(独) 農業・食品産業技術総合研究機構, <sup>5</sup>(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所)

2S34 イネ免疫機構における細胞膜マイクロドメイン移行タンパク質の解析

<u>長野稔</u><sup>1</sup>,藤原正幸<sup>2</sup>,深尾陽一朗<sup>2</sup>,島本功<sup>2</sup>,川合真紀<sup>1</sup>(<sup>1</sup>埼玉大・院・理工,<sup>2</sup>奈良先端大・バイオ)

2S35 Toward elucidating complex regulation of Arabidopsis MEKK1 pathway in plant immunity signaling

Momoko Takagi<sup>1</sup>, Kohei Hamano<sup>1</sup>, Alexander Graf<sup>2</sup>, David Greenshields<sup>3</sup>, Hiroki Takagi<sup>4</sup>, Kazuo Shinozaki<sup>3</sup>, Ryohei Terauchi<sup>4</sup>, Ken Shirasu<sup>3</sup>, Kazuya Ichimura<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Faculity and Graduate school of Agri., Kagawa Univ., <sup>2</sup>Sainsbury Lab., JIC, UK, <sup>3</sup>RIKEN CSRS, <sup>4</sup>Iwate Biotech. Res. Cent.)

2S36 Molecular Analysis of *Ralstonia solanacearum* GMI1000 Effectors which Suppress HR-like Cell Death Induced by MEK2<sup>DD</sup>

Mikiya Sato<sup>1</sup>, Yoshito Taguchi<sup>1</sup>, Hirofumi Yoshioka<sup>2</sup>, Nobukazu Tanaka<sup>3</sup>, Kazuya Akimitsu<sup>1</sup>, Kazuya Ichimura<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Agriculture, Kagawa University, <sup>2</sup>Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, <sup>3</sup>Center for Gene Science,

Hiroshima University)

2S37 Identification of upstream factors of *Arabidopsis* MKK3 involved in plant immunity signaling.

<u>Masaya Nagata</u><sup>1</sup>, Masako Nakamura<sup>1</sup>, Kaori Takizawa<sup>2</sup>, Ken Shirasu<sup>2</sup>, Kazuya Ichimura<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Faculty and Graduate School of Agri., Kagawa Univ., <sup>2</sup>RIKEN Center for Sustainable Resource Science)

2S38 RNA-seq による MAPK-WRKY 経路下流の免疫応答誘導機構の解析

安達広明1, 佐藤昌直2, 吉岡博文1 (1名大院生農, 2基生研)

2S39 Transcriptome Analysis of Wound-Induced Accumulation of Salicylic Acid in WIPK/SIPK-Suppressed Plants Suggests Involvement of a CBP60-Type Transcription Factor in the Activation of Salicylic Acid Biosynthesis Independent of Transcriptional Activation of Isochorismate Synthase Gene

Shinpei Katou<sup>1</sup>, Kumiko Takagi<sup>1</sup>, Ichiro Mitsuhara<sup>2</sup>, Shigemi Seo<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Fac. Agr., Shinshu Univ., <sup>2</sup>Natl. Inst. Agrobiol. Sci.)

2S40 A small chemical compound, P7 inhibits the salicylic acid signaling pathway in *Arabidopsis* 

<u>Seung-won Choi</u><sup>1</sup>, Nobuaki Ishihama<sup>1</sup>, Yoshiteru Noutoshi<sup>2</sup>, Ivana Saska<sup>1</sup>, Yuko Nomura<sup>1</sup>, Hirofumi Nakagami<sup>1</sup>, Yasumitsu Kondoh<sup>1</sup>, Hiroyuki Osada<sup>1</sup>, Ken Shirasu<sup>1</sup> (<sup>1</sup>CSRS, RIKEN, <sup>2</sup>Grad. Sch. Env. and Life Sci., Okayama Univ.)

2S41 マンガン欠乏条件における過敏感細胞死と Mn-SOD の関係の解明

佐久間健,大久保啓亮,吉野加奈子,佐野俊夫(法政大学生命科学部応用植物科学科植物栄養医科学研究室)

2S42 Identification of plant activator from a library of 8,000 small cyclic peptides

Yusuke Kouzai<sup>1</sup>, Yurie Yamanaka<sup>1</sup>, Megumi Watanabe<sup>1</sup>, Mizuki Kitamatsu<sup>2</sup>, Yoshiteru Noutoshi<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. of Env. LifeSci., Okayama Univ., <sup>2</sup>Dept. Appl. Chem., Kinki Univ.)

2S43 植物免疫制御剤の作用機構の解析

<u>吉田亜祐美</u><sup>1</sup>, 北畑信隆<sup>1</sup>, 吉川岳史<sup>1</sup>, 助川夏雄<sup>1</sup>, 八木智華子<sup>1</sup>, 木村貴史<sup>1</sup>, 来須孝光<sup>2</sup>, 浅見忠男<sup>3</sup>, 朽津和幸<sup>1</sup> (¹東京理科大・理工・応用生物科学, ²東京工科大・応用生物, ³東京大学・院・農学生命科学)

#### ■ 一次代謝

2T01 ラン藻 Synechococcus elongatus PCC 7942 を用いた脂肪酸生産に対する明暗周期の影響

<u>松浦美祥</u><sup>1</sup>,鵜瀬和秀<sup>1</sup>,加藤明宏<sup>1</sup>,高谷信之<sup>1,4</sup>,池田和貴<sup>2,4</sup>,小島幸治<sup>3,4</sup>,愛知真木子<sup>3,4</sup>,前田真一<sup>1,4</sup>,小俣達男<sup>1,4</sup>(「名古屋大学大学院生命農学研究科,<sup>2</sup>理研・IMS,<sup>3</sup>中部大・応用生物,<sup>4</sup>JST CREST)

2T02 ラン藻 Synechococcus elongatus PCC7942 の内在性 RND 型輸送体が脂肪酸生産に与える影響

加藤明宏<sup>1</sup>、鵜瀬和秀<sup>1</sup>、上坂一馬<sup>1,5</sup>、高谷信之<sup>1,5</sup>、池田和貴<sup>2,5</sup>、小島幸治<sup>3,5</sup>、愛知真木子<sup>3,5</sup>、前田真一<sup>1,5</sup>、井原邦夫<sup>4,5</sup>、小俣達男<sup>1,5</sup>( $^{1}$ 名大・院・生命農、 $^{2}$ 理研・IMS・メタボローム、 $^{3}$ 中部大・応用生物、 $^{4}$ 名大・遺伝子、 $^{5}$ JST CREST)

2T03 Chlamydomonas debaryana NIES-2212 における光独立栄養条件下でのトリアシルグリセロールの蓄積

豊島正和<sup>1,2</sup>, 佐藤直樹<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>東京大・院・総合文化, <sup>2</sup>JST-CREST)

2T04 緑藻クラミドモナスにおける TAG 生合成経路に関わる新規遺伝子の解析

<u>浅見航太</u><sup>1</sup>, 下嶋美恵<sup>2</sup>, 大林武<sup>3</sup>, 太田啓之<sup>1,4,5</sup> (<sup>1</sup>東工大・院生命理工, <sup>2</sup>東工大・バイオセンター, <sup>3</sup>東北大・院情報科学, <sup>4</sup>東工大・ELSI, <sup>5</sup>JST・CREST)

1 1 2 日本植物生理学会通信 No.123

- 2T05 Comprehensive analysis of the extracellular lipids accumulation on the surface of *Klebsormidium flaccidum* and their possible biosynthetic pathways deduced from the genome sequence
  - Satoshi Kondo<sup>1</sup>, Koichi Hori<sup>1,2</sup>, Takashi Nobusawa<sup>1,2</sup>, Kinuka Ohtaka<sup>1</sup>, Mie Shimojima<sup>3</sup>, Hiroyuki Ohta<sup>1,2,3,4</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Biosci. Biotech., TITECH, <sup>2</sup>JST, CREST, <sup>3</sup>Ctr. Biol. Res. Info., TITECH, <sup>4</sup>ELSI, TITECH)
- 2T06 藻類の油脂蓄積条件の検討および高効率な油脂抽出法の探索
  - <u>越達朗</u><sup>1</sup>, 松村有里子<sup>1</sup>, 下嶋美恵<sup>2</sup>, 岩澤篤郎<sup>1</sup>, 河野雅弘<sup>1</sup>, 太田啓之<sup>1,3,4</sup>(<sup>1</sup>東工大・院生命理工学,<sup>2</sup>東工大・バイオ研究基盤支援総合センター,<sup>3</sup>東工大・ELSI、<sup>4</sup>JST・CREST)
- 2T07 *Chlamydomonas reinhardtii* における相同組み換えによる遺伝子破壊・改良と脂質合成系遺伝子破壊株単離の試み <u>栗田朋和</u><sup>1,3</sup>, 石塚嵩広¹, Won-Yong Song², Sunghoon Jang², Youngsook Lee², 西田生郎¹ (¹埼玉大・院理工, ²浦項工大, ³JST・CREST)
- Analysis of a Gene for Endoplasmic Reticulum-Localized Lysophosphatidic Acid Acyltransferase in *Chlamydomonas reinhardtii*Shogo Kamisuki<sup>1</sup>, Tomokazu Kurita<sup>1,2</sup>, Yasuyo Yamaoka<sup>3</sup>, Lee Youngsook<sup>3</sup>, Ikuo Nishida<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci. Eng., Univ. Saitama, <sup>2</sup>JST.CREST, <sup>3</sup>Div. Boil. Biotech., POSTECH., Korea.)
- 2T09 新規キメラプロモーターを用いた種子貯蔵油脂量増加の試み
  - <u>青柳俊広</u>,木嵜暁子 (静岡大・院生物科学)
- 2T10 Effects Of Dual Mutations In The Glyoxylate Cycle And Gluconeogenesis On Seed Oil Reserve Mobilization And Postgerminative Growth
  - Ryosuke Morimoto<sup>1</sup>, Hirokazu Tukaya<sup>2</sup>, Ali Ferjani<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Depart. Biol., Tokyo Gakugei Univ., <sup>2</sup>Grad. Sch. Sci., Tokyo Univ.)
- 2T11 Compensation Is Specifically Triggered By Lowered Sucrose Production From Seed Oil Reserves
  - Kazuki Takahashi<sup>1</sup>, Hirokazu Tukaya<sup>2</sup>, Ali Ferjani<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Depart. Biol., Tokyo Gakugei Univ., <sup>2</sup>Grad. Sch. Sci., Tokyo Univ.)

#### ■二次代謝

- 2T12 ナデシコ目植物におけるフラボノイド合成の転写制御因子
  - 原田理紗子, 田中明日香, 由田和津子(お茶の水女子大学)
- 2T13 Metabolome Analysis Of The Transgenic Rice Accumulating A High Amount Of Flavonoids In Seeds.
  - <u>Yuko Ogo</u><sup>1</sup>, Tetsuya Mori<sup>2</sup>, Ryo Nakabayashi<sup>2</sup>, Kazuki Saito<sup>2,3</sup>, Fumio Takaiwa<sup>1</sup> (<sup>1</sup>NIAS, <sup>2</sup>RIKEN CSRS, <sup>3</sup>Grad. Sch. of Pharm. Sci., Chiba University)
- 2T14 Enzymatic Characterization of Flavonoid Substrate Prenyl Transferases in Macaranga tanarius.
  - <u>Yoshiaki Date</u><sup>1</sup>, Ryo Shimizu<sup>1</sup>, Yoko Maeda<sup>1</sup>, Ryosuke Munakata<sup>1</sup>, Akifumi Sugiyama<sup>1</sup>, Shigenori Kumazawa<sup>2</sup>, Shuichi Fukumoto<sup>3</sup>, Kazufumi Yazaki<sup>1</sup> (<sup>1</sup>RISH., Kyoto Univ., <sup>2</sup>Univ. Shizuoka, <sup>3</sup>POKKA SAPPORO Food & Beverage Ltd.)
- 2T15 シロイヌナズナ花粉特異的フラボノールの高次配糖化酵素 UGT79B6 の局在とその生理的役割 榊原圭子<sup>1</sup>, 菅原聡子<sup>1</sup>, 斎藤和季<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>理研・CSRS, <sup>2</sup>千葉大・院薬)
- 2T16 シンビジウム花弁におけるアントシアニン生合成
  - 中塚貴司1, 原田健二1, 鈴木智大2, 道羅英夫2, 大野始1(1静岡大学・院農, 2静岡大学・グリーン研)
- 2T17 Functional analyses of R2R3 MYB transcription factors in anthocyanin biosynthesis pathway of the strawberry (cv. Sachinoka)

  Yasuko Ishikawa, Katsuyuki Miyawaki, Keishi Osakabe, Sumihare Noji (CCAIC., Univ. Tokushima)
- 2T18 マツバボタン PgPAP の発現解析
  - <u>岩瀬かおり</u>,田中明日香,由田和津子,作田正明(お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 ライフサイエンス専攻作田研究室)

#### ■ 環境応答/非生物ストレス応答(イオン・金属・塩)

- 2U01 Identification of transcription factors related to tolerance to nitrogen deficiency
  - Ji Min Shin<sup>1</sup>, Chuan-Ming Yeh<sup>1</sup>, Nobutaka Mitsuda<sup>1,2</sup>, Masaru Ohme-Takagi<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci. & Eng., Saitama Univ., <sup>2</sup>Bioprod. Res. Inst., Natl. Inst. Adv. Ind. Sci. & Technol. (AIST))
- 2U02 NO 供与体 SNP が緑藻クラミドモナスの性分化及び窒素同化におよぼす効果
  - 中西純代、小林千紘、大坪繭子、田村典明(福岡女子大・人間環境・環境理)
- 2U03 Identification and Characterization of Arabidopsis Transcription Factors Involved in Phosphate Deficiency Responses

  <u>Chuan-Ming Yeh</u><sup>1</sup>, Nobutaka Mitsuda<sup>2</sup>, Masaru Takagi<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci. & Eng., Saitama Univ., <sup>2</sup>Bioprod. Res. Inst., Natl. Inst. Adv. Ind. Sci. & Technol. (AIST))

2U04 低リン酸応答に関与する転写制御因子の解明

<u>中村麻由子</u><sup>1</sup>, Chuan-Ming Yeh<sup>2</sup>, 高木優<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>埼大・理, <sup>2</sup>埼大・理工)

2U05 Analysis of sulfate assimilation pathway in NAD kinase2 overexpressing Arabidopsis plants

Yuki Sato<sup>1</sup>, Toshiki Ishikawa<sup>1</sup>, Masatoshi Yamaguchi<sup>2</sup>, Maki Kawai<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Saitama University, <sup>2</sup>IEST in Saitama University)

2U06 低ホウ素耐性を示すシロイヌナズナナチュラルアクセッションの遺伝学的解析

久野香織<sup>1</sup>, 佐野亮輔<sup>2</sup>, 倉田哲也<sup>2</sup>, 出村拓<sup>2</sup>, 千葉美恵<sup>1</sup>, 三輪京子<sup>1</sup>(<sup>1</sup>北大・院・環境, <sup>2</sup>奈良先端大・バイオ)

2U07 PRL1 gene is essential for calcium deficiency tolerance in Arabidopsis.

<u>Yusuke Shikanai</u><sup>1</sup>, Mutsumi Yamagami<sup>2</sup>, Shuji Shigenobu<sup>3</sup>, Katsushi Yamaguchi<sup>3</sup>, Takehiro Kamiya<sup>1</sup>, Toru Fujiwara<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Agri., Univ. Tokyo, <sup>2</sup>IES, <sup>3</sup>NIBB)

2U08 Identification of A Novel Low-Magnesium-Sensitive Responsible Gene in Arabidopsis thaliana

Zhihang Feng, Hiroshi Nagao, Takehiro Kamiya, Toru Fujiwara (Grad. Sch. Agr. Life Sci. Univ. Tokyo)

2U09 トマト根におけるマグネシウム欠乏によるマグネシウム輸送体の発現

長田武, 井上典子, 三神達也 (摂南大学理工学部生命科学科)

2U10 トマト FRO および Nramp3 の 3 価鉄シデロフォア吸収への寄与

木元皇, 柴田薫, 大保卓郎, 長田武 (摂南大学理工学部生命科学科生命環境科学研究室)

2U11 シロイヌナズナにおけるビスマス応答遺伝子の解析

栗﨑亮平, 大島嵩弘, 長田武 (摂南大学理工学部生命科学科生命環境科学研究室)

2U12 亜鉛輸送体の発現を制御するシロイヌナズナ転写因子 bZIP19 のオルソログの機能解析

稲葉尚子, 深尾陽一朗(奈良先端大 バイオサイエンス)

2U13 Autophagy in response to zinc deficiency in Arabidopsis thaliana: autophagy-related maintenance of zinc homeostasis

Ekaterina Merkulova, Loreto Naya, Céline Masclaux-Daubresse, Kohki Yoshimoto (INRA Versailles)

2U14 鉄欠乏オオムギ上位葉における SOD 活性の上昇とその主たるアイソフォーム

尾畑玲¹、大森周人²、齋藤彰宏²、樋口恭子²(¹東農大 院 農化、²東農大 化学)

2U15 微生物と植物におけるタンパク質非結合フラビン

佐藤純一<sup>1</sup>, <u>関野滉太</u><sup>1</sup>, 富塚駿<sup>1</sup>, 田中英資<sup>1</sup>, 石井達也<sup>1</sup>, 新町文絵<sup>2</sup>, 木俣真弥<sup>1</sup>, 川崎信治<sup>1</sup>, 新村洋一<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京農業大学応用生物科学部バイオサイエンス学科, <sup>2</sup>日本大学短期大学部生物資源学科)

2U16 Analysis of mechanism of ammonium toxicity using ammonium-tolerant lines in Arabidopsis thaliana

Takushi Hachiya, Mikiko Kojima, Nobue Makita, Hitoshi Sakakibara (RIKEN CSRS)

2U17 A mutation in *NAC103* alleviates DNA damage and ROS accumulation in root meistem of excess boron sensitive Arabidopsis mutant.

Naoyuki Sotta<sup>1</sup>, Takuya Sakamoto<sup>1</sup>, Takehiro Kamiya<sup>1</sup>, Shinichiro Sawa<sup>2</sup>, Ryo Tabata<sup>2</sup>, Masashi Yamada<sup>3</sup>, Mitsuyasu Hasebe<sup>4,5</sup>, Shuji Shigenobu<sup>4,5</sup>, Katsushi Yamaguchi<sup>4</sup>, Toru Fujiwara<sup>1,6</sup> (¹Grad. Sch. Agr. Life Sci. Univ. Tokyo, ²Grad. Sch. Sci. Tech.

Kumamoto Univ., <sup>3</sup>Dep. Biol. IGSP Ctr. System Biol. Duke Univ., <sup>4</sup>NIBB, <sup>5</sup>SOKENDAI, <sup>6</sup>CREST.JST)

2U18 Comparative analysis of zinc-finger protein STOP1 involved in aluminum tolerance in *Physcomitrella patens* and *Arabidopsis thaliana*<u>Kenji Komatsu</u><sup>1</sup>, Masakazu Kanei<sup>2</sup>, Yui Mukai<sup>1</sup>, Emi Miyashita<sup>1</sup>, Motoaki Seki<sup>3</sup>, Maho Tanaka<sup>3</sup>, Yoichi Sakata<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Dept. of Bioprod. Technol., Jr. College of Tokyo Univ. of Agriculture, <sup>2</sup>Dept. of Biosci., Tokyo Univ. of Agriculture, <sup>3</sup>CSRS, RIKEN)

2U19 植物におけるスフィンゴ脂質不飽和化の分子機構と生理的意義

石川寿樹、金松、長野稔、川合真紀(埼玉大学・院・理工)

2U20 アジサイのアルミニウム処理による組織の AI 量と輸送体の発現量の変動

田内翔子1, 大原健史1, 根岸孝至1, 津呂正人2, 吉田久美1 (1名大院・情報科学, 2名城大・農学)

2U21 ゲノムワイド関連解析によるシロイヌナズナアクセッション間の AI 耐性に関与する遺伝的変異の同定

<u>中野友貴</u><sup>1</sup>, 大橋聖<sup>1</sup>, 楠和隆<sup>1</sup>, 井内聖<sup>2</sup>, 時澤睦朋<sup>3</sup>, 山本義治<sup>1</sup>, 小林正智<sup>2</sup>, 小山博之<sup>1</sup>, 小林佑理子<sup>1</sup> ( $^{1}$ 岐大·応生,  $^{2}$ 理研BRC,  $^{3}$ 岐大·連農)

2U22 ニッケル誘導性の酸性コンパートメントとオートファジーとの関連性

齋藤彰宏, 山口萌, 樋口恭子(東京農大・生応化)

2U23 蘚類ハイゴケにおけるモミラクトン生合成遺伝子のストレス応答性の解析

<u>藤原薫</u><sup>1</sup>, 野尻秀昭<sup>1</sup>, 野崎浩<sup>2</sup>, 林謙一郎<sup>2</sup>, 川出洋<sup>3</sup>, 岡田憲典<sup>1</sup> ( $^{1}$ 東大・生物工学セ,  $^{2}$ 岡山理科大・理,  $^{3}$ 東京農工大院・農)

2U24 Environmental copper regulate protonemal cell differentiation by auxin in copper moss, Scopelophila cataractae.

<u>Toshihisa Nomura</u><sup>1</sup>, Misao Itouga<sup>1</sup>, Yukari Kato<sup>1</sup>, Mikiko Kojima<sup>1</sup>, Hitoshi Sakakibara<sup>1</sup>, Seiichiro Hasezawa<sup>2</sup> (<sup>1</sup>RIKEN, Center for Sustainable Resource Science, <sup>2</sup>Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo)

日本植物生理学会通信 No.123

2U25 Understanding the role of ABC proteins in cesium transport

Sayaka Kumagai, Abidur Rahman (Cryobiofrontier Research Center, Faculty of Agriculture, Iwate University)

2U26 Cr 超集積性植物の簡便なスクリーニング方法と Cr,Cd マルチ超集積性植物の選別

伊藤汰一1, 山路恵子2, 服部明正3(1筑波大学生命環境学群, 2筑波大学生命環境系, 3埼玉県立松山高等学校)

2U27 シロイヌナズナ Na 輸送体 AtHKT1 の花器官の形成への関与

<u>浜本晋</u><sup>1</sup>, 平林一輝<sup>1</sup>, 加藤恵<sup>1</sup>, 堀江智明<sup>2</sup>, Julian I Schroeder<sup>3</sup>, Eduardo Blumwald<sup>4</sup>, 横山隆亮<sup>5</sup>, 西谷和彦<sup>5</sup>, 石川敦司<sup>6</sup>, 魚住信之<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東北大・院工, <sup>2</sup>信州大・繊維, <sup>3</sup>UC San Diego, <sup>4</sup>UC Davis, <sup>5</sup>東北大・院生命, <sup>6</sup>福井県大・生物資源)

2U28 Functional Analysis of Histone Acetylation in Plant Abiotic Stress Responses

Huong M. Nguyen (Plant Genomic Network Research Team, RIKEN CSRS)

- 2U29 Correlation of leaf sheath transcriptome profiles with physiological traits of bread wheat cultivars under mild salinity stress

  Fuminori Takahashi<sup>1,2,4</sup>, Joanne Tilbrook<sup>3</sup>, Christine Trittermann<sup>3</sup>, Bettina Berger<sup>4</sup>, Stuart Roy<sup>3</sup>, Motoaki Seki<sup>5</sup>, Kazuo

  Shinozaki<sup>1,2</sup>, Mark Tester<sup>3,4,6</sup> (¹RIKEN CSRS Biomass Research Platform, ²RIKEN CSRS Gene Discovery Research, ³ACPFG,

  4The Plant Accelerator, ⁵RIKEN CSRS Plant Genomic Network Research, <sup>6</sup>KAUST Center for Desert Agriculture)
- 2U30 CYP94ファミリー遺伝子の発現上昇はイネの塩処理条件下での生存能を高める 黒谷賢一<sup>1</sup>, <u>林憲志</u><sup>1</sup>, 畑中彩希<sup>1</sup>, 戸田陽介<sup>1</sup>, 小川大輔<sup>1</sup>, 市川裕章<sup>2</sup>, 石丸泰寛<sup>3</sup>, 田下諒<sup>3</sup>, 鈴木健史<sup>3</sup>, 上田実<sup>3</sup>, 服部 東穂<sup>1</sup>, 武田真<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名大・生物機能研究セ、<sup>2</sup>農業生物資源研、<sup>3</sup>東北大・院理)
- 2U31 Molecular characterization of salinity tolerance inducing gene Mangrin from mangrove via transgenic potato
  <u>Sayo Ohsugi</u><sup>1</sup>, Akiyo Yamada<sup>2</sup>, Yoshihiro Ozeki<sup>2</sup>, Taichi Oguchi<sup>3</sup>, Kazuo N. Watanabe<sup>3</sup>, Akira Kikuchi<sup>3</sup> (¹College of Biological Sciences, University of Tsukuba, ²Department of Biotechnology, Faculty of Technology, Tokyo University of Agriculture and Technology, ³Gene Research Center, University of Tsukuba)
- 2U32 アズキ近縁野生種 *Vigna nakashimae* における耐塩性系統の特定と RADseq を用いた遺伝的多様性解析
  <u>小木曽映里</u><sup>1</sup>, Sompong Chankaew<sup>2</sup>, Marubodee Rusama<sup>3</sup>, 坂井寛章<sup>1</sup>, 内藤健<sup>1</sup>, 友岡憲彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>農業生物資源研究所, <sup>2</sup>カセサート大学, <sup>3</sup>三重大学)
- 2U33 塩ストレスに対するイネ根水透過性(Lp,)の品種間比較

中原由揮, 柴坂三根夫, 且原真木 (岡山大学資源植物科学研究所)

2U34 理研 BRC のシロイヌナズナ近縁種が示す環境ストレス応答の違い

井内聖, 川村節子, 小林正智(理研BRC)

#### ■ 環境応答/非生物ストレス応答(pH)

2U35 pH イメージングによる細胞内環境制御解析

栗田和貴 $^1$ , 金鍾明 $^2$ , 関原明 $^{2,3}$ , 松永幸大 $^{1,3}$  ( $^1$ 東理大・理工・応生,  $^2$ 理研・CSRS,  $^3$ CREST)

2U36 シアノバクテリア *Synechocystis* sp.PCC6803 の Slt ABC transporter の環境ストレスへの応答

<u>田原寛子</u><sup>1</sup>,松橋歩<sup>1</sup>,内山純爾<sup>2</sup>,小川覚<sup>3</sup>,松本幸次<sup>4</sup>,太田尚孝<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>東理大・理,<sup>2</sup>東理大・総研・RNA,<sup>3</sup>三重大・医・電顕室,<sup>4</sup>埼玉大・理・分子生物)

2U37 Synechocystis sp. PCC6803 の酸性ストレス耐性への Lipid A トランスポーターホモログの関与

<u>松橋歩</u><sup>1</sup>, 田原寛子<sup>1</sup>, 伊藤雄太郎<sup>2</sup>, 内山純爾<sup>3</sup>, 小川覚<sup>4</sup>, 太田尚孝<sup>1,3</sup> ( $^{1}$ 東理大,  $^{2}$ 東理大・基礎工・生物工,  $^{3}$ 東理大・総研・RNA,  $^{4}$ 三重大・医・電顕室)

2U38 シアノバクテリアの酸性順化株が発現するタンパク質の同定

<u>内山純爾</u><sup>1</sup>, 船水健斗<sup>2</sup>, 兼崎友<sup>3</sup>, 吉川博文<sup>3,4</sup>, 太田尚孝<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>東理大・総研・RNA, <sup>2</sup>東理大・理, <sup>3</sup>東農大・NGRC, <sup>4</sup>東京農大・応生化・バイオ)

2U39 高 pH 水耕液がオオムギ根の細胞分裂・分化に及ぼす影響

荒木怜, 須恵雅之, 樋口恭子 (東農大農化)

#### ■ 環境応答/非生物ストレス応答(その他の環境要因)

2U40 自然条件下におけるスギの遺伝子発現の年周性と植栽環境による違い

<u>能勢美峰</u><sup>1</sup>, 栗田学<sup>1</sup>, 平岡裕一郎<sup>1</sup>, 井城泰一<sup>1</sup>, 武津英太郎<sup>1</sup>, 高橋誠<sup>1</sup>, 花岡創<sup>1</sup>, 三浦真弘<sup>1</sup>, 三嶋賢太郎<sup>1</sup>, 高島有哉<sup>1</sup>, 坪村美代子<sup>1</sup>, 柳原尚貴<sup>2</sup>, 田村美帆<sup>2,3</sup>, 渡辺敦史<sup>2,3</sup> (<sup>1</sup>森林総合研究所 林木育種センター, <sup>2</sup>九州大学大学院 生物資源環境科学府, <sup>3</sup>九州大学大学院 農学研究院)

2U41 側方根冠におけるシロイヌナズナ PLDζ2 の役割

<u>島村亮太</u><sup>1</sup>, 谷口(山本)幸美<sup>2</sup>, 谷口雅俊<sup>3</sup>, 加藤真理子<sup>1</sup>, 柘植知彦<sup>1</sup>, 林謙一郎<sup>4</sup>, 青山卓史<sup>1</sup> ( $^{1}$ 京都大・化研,  $^{2}$ 奈良 先端大・バイオ,  $^{3}$ 名大院・生命農,  $^{4}$ 岡山理科大・理)

2U42 シロイヌナズナの固形培地表面を成長する根の伸長に異常を示す変異株

<u>野田顕吾</u>,神谷岳洋,大森良弘,鹿内勇佑,藤原徹(東京大学 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 植物栄養·肥料学研究室)

2U43 elf3 変異体を背景植物とした新奇気孔開度変異体のスクリーニング

<u>奥野凌輔</u><sup>1</sup>, 井上晋一郎<sup>1</sup>, 富山将和<sup>1</sup>, 林真妃<sup>1</sup>, 木下俊則<sup>1,2</sup> (「名古屋大・院理・生命理学, <sup>2</sup>名古屋大・トランスフォーマティブ生命分子研究所)

2U44 シロイヌナズナの気孔開度変異体 scs2、scs3 の表現型解析

<u>菊地淳子</u><sup>1</sup>,井上晋一郎<sup>1</sup>,曽田翠<sup>1</sup>,髙橋宏二<sup>1</sup>,木下俊則<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>名大・院理・生命理学,<sup>2</sup>名古屋大学トランスフォーマ ティブ生命分子研究所)

2U45 Environmental responses of H<sup>+</sup>-ATPase overexpression transgenic plants

<u>Yin Wang</u><sup>1,2</sup>, Tadashi Fujiwara<sup>3</sup>, Yosuke Toda<sup>4</sup>, Yusuke Saijo<sup>3</sup>, Toshinori Kinoshita<sup>1,4</sup> (¹Institute of Transformative Bio-Molecules (WPI-ITbM), Nagoya University, ²Institute for Advanced Research, Nagoya University, ³Graduate School of Biological Sciences, Nara Institute of Science and Technology, <sup>4</sup>Division of Biological Science, Graduate School of Science, Nagoya University)

2U46 ハナスベリヒユ(*Portulaca* hybrid)花弁で発現するサブファミリー I 細胞膜 H+-ATPase 遺伝子の解析

<u>志田爽太</u><sup>1</sup>, 中西史<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京学芸大学 生命科学,<sup>2</sup>東京学芸大学 自然 理科教育)

2U47 Studies of nyctinastic movement in leguminous plant by using FT overexpressor

<u>Yoshiki Hosoya</u><sup>1</sup>, Masahiro Takahara<sup>2</sup>, Hideaki Nakano<sup>1</sup>, Tomoro Hikichi<sup>1</sup>, Nobuyuki Kanzawa<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. Mater. & Sci., Fac. Sci. & Technol., Sophia Univ., <sup>2</sup>Dep. Life Sci., Coll. of Sci., Rikkyo Univ.)

2U48 シロイヌナズナにおけるバイオマス蓄積と花芽形成に対する二酸化窒素の効果

高橋美佐, 坂本敦, 森川弘道 (広島大・院理)

#### ■ 環境応答/非生物ストレス応答(その他)

2U49 ラン藻 Synechocystis sp. PCC 6803 株におけるアシル ACP 合成酵素が低温応答に及ぼす影響

<u>氣多澄江</u>1.4,上坂一馬2.4,池田和貴3.4,小島孝治1.4,松本宇生1.4,小俣達男2.4,愛知真木子1.4(1中部大学 応用生物学部,2名古屋大学 大学院生命農学研究科,3理化学研究所 統合生命医科学研究センター メタボローム研究チーム,4JST-CREST)

2U50 RNA-Seq 法による脂肪酸耐性擬似復帰ラン藻の解析

<u>上坂一馬</u> $^{1,4}$ , 鵜瀬和秀 $^{1}$ , 加藤明宏 $^{1}$ , 高谷信之 $^{1,4}$ , 前田真一 $^{1,4}$ , 愛知真木子 $^{2,4}$ , 井原邦夫 $^{3,4}$ , 小俣達男 $^{1,4}$  ( $^{1}$ 名古屋大, 院生命農,  $^{2}$ 中部大, 応用生物,  $^{3}$ 名古屋大, 遺伝子,  $^{4}$ JST, CREST)

2U51 Identification of Genes Involved in DNA Damage Response in *Arabidopsis thaliana* 

<u>Jiahui Shi</u><sup>1</sup>, Toshimi Okuda<sup>1</sup>, Hirotsugu Hattori<sup>1</sup>, Soichi Inagaki<sup>1</sup>, Tomoaki Sakamoto<sup>1</sup>, Tetsuya Kurata<sup>1</sup>, Yoko Okushima<sup>1</sup>, Masaaki Umeda<sup>1,2</sup> (¹Grad. sch. of Bio. Sci., NAIST, ²JST, CREST)

2U52 Does ectopic expression of rice GABA-T or GLYR confer abiotic stress tolerance on the plants?

<u>Kazuhito Akama</u><sup>1</sup>, Barry Shelp<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Dept. Biol. Sci., Shimane Univ., <sup>2</sup>Dept. Plant Agri., Guelph Univ.)

2U53 チンゲンサイ葉肉プロトプラスト単離時における一次代謝産物の動態

中山善博1,渡辺正巳1,草野都2(1千葉大学大学院園芸学研究科,2理化学研究所環境資源科学研究センター)

1 1 6 日本植物生理学会通信 No.123

# 第56回日本植物生理学会年会 座長リスト

第1日 2015年3月16日	(月)	午前
1aA 栄養成長	市橋	祐樹 泰範 晶子
1aB 生体膜/イオン・物質輸送	中西藤田	洋一 美紀
1aC 一次代謝	森山 辻 荷 下嶋	放典
1aD 光受容体·光応答		智直 和昌
1aE 細胞骨格		隆 剛太 祥久
1aF 光合成(光化学系)	伊福	昌彦 健太郎 恵典
1aG システム生物学(ゲノム・バイオイン)		健太郎 惇
1aH 植物微生物相互作用(免疫1)	松井	康弘 英譲 公志
1aI 環境応答/非生物ストレス応答(乾燥	岡本 刑部	他) 昌憲 祐里子 宏二
第1日 2015年3月16日	(月)	午後
1pA 栄養成長	木村 川出 塚越	
1pB 生体膜/イオン・物質輸送	古市山野	卓也 隆志

1pC	一次代謝	早川	俊彦
		高林	厚史
		佐藤	長緒
1pD	光受容体・光応答	小塚	俊明
		鐘ヶ泊	工健
		武宮	淳史
1pE	膜交通	山本	雅也
		楢本	悟史
		伊藤	瑛海
1pF	光合成(光合成色素他)	 塚谷	 祐介
•		岩井	優和
		和田	
	 システム生物学(オミクス解析)	········· 草野	
1pG	マステム生物子(オステス所列)		洋三
			<b>什二</b>
1pH	植物微生物相互作用(免疫2)	打田	直行
•		前川	隆紀
			和也
	環境応答/非生物ストレス応答(ストレ	(   * - / /-/	
	WANTED SPET WAS I VANDE (ALL	矢野 岩瀬	幸司
Ā		矢野 岩瀬 戸高	幸司 哲 大輔
ŽI.	第2日 2015年3月17日	矢野 岩瀬 戸高	幸司 哲 大輔
		矢野 岩瀬 戸高	幸司 哲 大輔
	第2日 2015年3月17日	矢野 岩瀬 戸高	幸司 哲 大輔 <b>午前</b> 
	第2日 2015年3月17日	矢野瀬高 (火) 近藤 瀬	幸司 哲 大輔 <b>午前</b> 
2aA	第2日 2015年3月17日 <sup>栄養成長</sup>	矢野瀬高 (火) 近郷 小西	幸哲 大 <b>午前</b> (作 情 明 新 千
	第2日 2015年3月17日 <sup>栄養成長</sup>	矢岩戸 (火) 近郷小 日原	幸哲 大 午前
2aA	第2日 2015年3月17日 <sup>栄養成長</sup>	矢岩戸 <b>(火)</b> 近郷 小 日 光田	幸哲 大 <b>午前</b> (作明 新 (新)
2aA 2aB	第2日 2015年3月17日 栄養成長 転写制御	矢岩戸 (火) 近郷小 日光濱 田田	幸哲大 <b>午</b> 「情明 情明 「情明 「情明 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」
2aA 2aB	第2日 2015年3月17日 <sup>栄養成長</sup>	矢岩戸 (火) 遊郷小 日光濱 川 合	幸哲大 午 作
2aA 2aB	第2日 2015年3月17日 栄養成長 転写制御	矢岩戸 (火) 近郷小 日光濱 川平 田田 合井	幸哲大 <b>午</b> 「情明 情明 「情明 「情明 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」
2aA 2aB 2aC	第2日 2015年3月17日 栄養成長 転写制御 一次代謝·二次代謝	矢岩戸 (火) 近郷小 日光濱 川平佐 野瀬高	幸哲大 午
2aA 2aB 2aC	第2日 2015年3月17日 栄養成長 転写制御	矢岩戸 (火) 近郷小 日光濱 川平佐 松野瀬高	幸哲大 午 作
2aA 2aB 2aC	第2日 2015年3月17日 栄養成長 転写制御 一次代謝·二次代謝	矢岩戸 火 近郷小 日光濱 川平佐 松小野瀬高 藤 黃西 原田田 合井々 尾山	幸哲大 午
2aA 2aB 2aC	第2日 2015年3月17日 栄養成長 転写制御 一次代謝·二次代謝	矢岩戸 火 近郷小 日光濱 川平佐 松小野瀬高 藤 黃西 原田田 合井々 尾山	幸哲大 午 作
2aA 2aB 2aC 2aD	第2日 2015年3月17日 栄養成長 転写制御 一次代謝·二次代謝	矢岩戸 火 近郷小 日光濱 川平佐 松小木野瀬高 藤 西 原田田 合井々 尾山下	幸哲大 午
2aA 2aB 2aC 2aD	第2日 2015年3月17日 栄養成長 転写制御 一次代謝·二次代謝	矢岩戸 火 近郷小 日光濱 川平佐 松小木 有野瀬高 ) 藤、西 原田田 合井々 尾山下 村	幸哲大 午 (

2aF	光合成(電子伝達他)	鹿内 三宅 本橋	利治 親弘 健	2pH	植物微生	物相互作用(免疫3)	新屋 椎名 澤 遊	.—
2aG	光合成・呼吸の環境応答	 深山 宗景 遠藤		2pI	環境応答	/非生物ストレス応答(イオ	····································	高範 朋子
2aH	環境応答/非生物ストレス応答(温度)	河村 三浦 井内	幸男 謙治 聖	É	第3日	2015年3月18日		午前
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	5	77 CI	2010 + 3/110	(>1<)	ניא ו
2aI	環境応答/非生物ストレス応答(イオン	今村	壮輔 祐一	3aA	花成/生殖	直成長		美那子 求 大陽
É	第2日 2015年3月17日(	火)	午後	3aB	細胞周期	· 分裂	 朽名 鈴木	
				3aD	植物ホル	······・······························	深澤	 壽太郎
2pA	栄養成長	前川 和田 池田	慎也	oub	TE DO 14.77			信次郎
				3aE	細胞壁		遠藤	暁詩
2pB	転写後制御/ タンパク質分解	山口 石田 田中	宏幸				横山三輪	
				3aF	エピジェ	ネティック制御	佐古	香織
2pC	二次代謝	山崎					池田	陽子
		大西	英伸 美輪	3aG	新技術		 嶋田 遠藤	
2pD	植物ホルモン / シグナル伝達物質	岡本	暁					
		中野 平川	雄司 有字樹	ЗаН	植物微生	物相互作用(共生)	武田 晝間	直也 敬
 2pE	オルガネラ	高野	博嘉	3aI	環境応答	/非生物ストレス応答		
		華岡 真野	光正 昌二		(酸化・レドックス・塩ストレス・重		高橋	
2pF	光合成 (アンテナ他)	 渡邉 野地 野口	智康				田茂邦 若林	岸 政宏 憲一
••••			••••					
2pG	光合成・呼吸の環境応答	西山	佳孝					

坂本 亘 吉川 博文